

(仮称)彦根市子ども・若者プラン策定にかかる
調査結果報告書

平成 26 年 3 月

彦 根 市

目 次

「子ども・子育て支援事業計画」策定にかかるニーズ調査

I. 調査の概要.....	2
1 調査の目的.....	2
2 調査概要.....	2
3 報告書の見方.....	3
II. 調査結果（就学前児童調査・小学生児童調査）.....	4
1 お子さんご家族の状況について.....	4
2 子どもの育ちをめぐる環境について.....	8
3 保護者の就労状況について.....	17
4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）.....	28
5 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	40
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について（就学前児童）.....	44
7 病気の際の対応について.....	48
8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	58
9 放課後の過ごし方について.....	64
10 子育て観やサービスの満足度などについて.....	71
11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	86
12 調査結果のまとめ.....	99

若者の意識調査

I. 調査の概要.....	104
1 調査の目的.....	104
2 調査概要.....	104
3 報告書の見方.....	104
II. 調査結果（19 歳～30 歳の市民用調査）.....	105
1 回答者について.....	105
2 現代社会の中での回答者の考え方について.....	108
3 回答者の状況について.....	111
4 仕事と家庭、子育てについて.....	125
5 全体を通して.....	132
6 調査結果のまとめ.....	133

資料

1 調査票（就学前児童用調査）.....	136
2 調査票（小学生用調査）.....	148
3 調査票（19 歳～30 歳の市民用調査）.....	158

「子ども・子育て支援事業計画」策定にかかる ニーズ調査

（就学前児童用調査・小学生用調査）

I. 調査の概要

1 調査の目的

平成 24 年 8 月、国において「子ども・子育て支援法」が制定され、各自治体は「子ども・子育て支援事業計画」を策定することになりました。

彦根市では、この事業計画をとおして、子どもたちにとって、質の高い教育・保育・子育て支援を保障し、一人ひとりの子どもたちが健やかに成長できる社会の実現に向けて取り組むこととしています。このため、市民の皆様の子育て支援に関する生活実態、ご意見などを把握すべく、「子ども・子育て支援新制度におけるニーズ調査」を行いました。

2 調査概要

- 調査地域：彦根市全域
- 調査対象者：彦根市内在住の就学前児童の保護者（就学前児童用調査）
彦根市内在住の小学生の保護者（小学生用調査）
- 抽出方法：住民基本台帳より、就学前児童 2,000 人、小学生 1,000 人の合計 3,000 人を無作為抽出
- 調査方法：郵送配布・郵送回収による郵送調査法
- 調査期間：平成 25 年 11 月 1 日（金）～平成 25 年 11 月 15 日（金）

調査票	配布数（件）	有効回収数（件）	有効回収率（件）
就学前児童用調査	2,000	897	44.9%
小学生用調査	1,000	416	41.6%
合 計	3,000	1,313	43.8%

3 報告書の見方

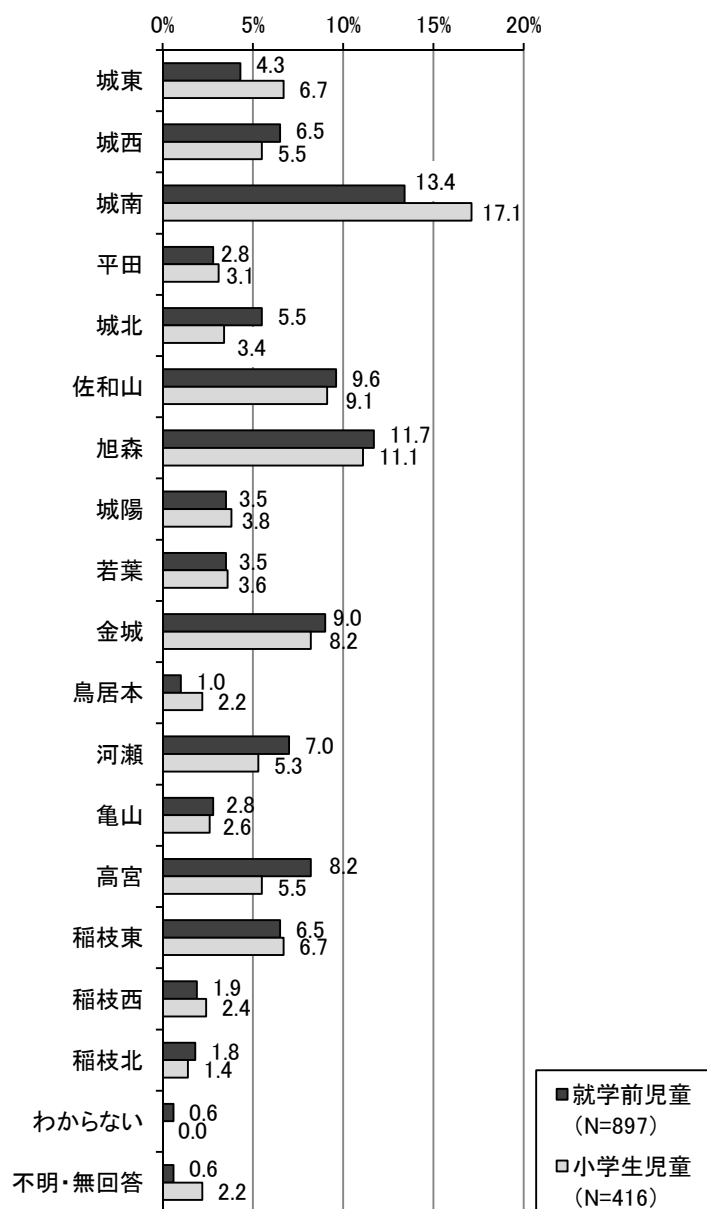
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 「前回調査」とは、「彦根市次世代育成支援行動計画策定に係る子育て支援に関するニーズ調査」（平成21年3月実施）を言います。

Ⅱ．調査結果（就学前児童調査・小学生児童調査）

1 お子さんご家族の状況について

（１）居住学区〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問1〕

居住地小学校区についてみると、「城南」が就学前児童で 13.4%、小学生児童で 17.1%と最も高くなっています。



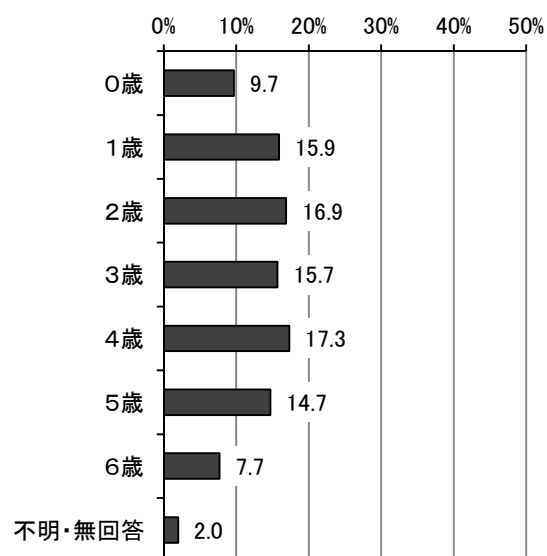
（２）対象の子どもの年齢と学年（平成 25 年 10 月 1 日現在）〈数量回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問2〕

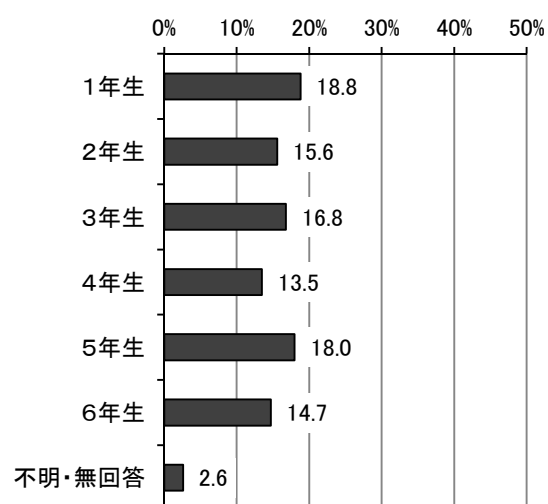
就学前児童において、対象の子どもの年齢は「4歳」が 17.3%、「2歳」が 16.9%、「1歳」が 15.9%などとなっています。

小学生児童において、対象の子どもの学年は「1年生」が 18.8%、「5年生」が 18.0%、「3年生」が 16.8%などとなっています。

就学前児童(N=897)



小学生児童(N=416)



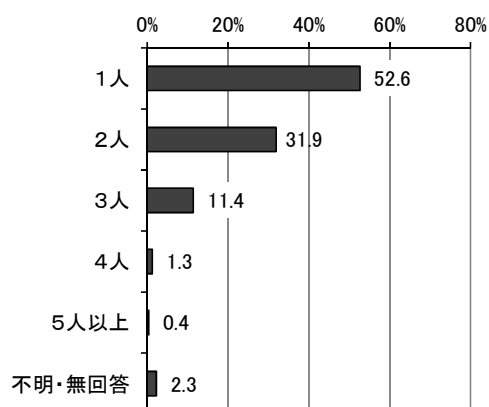
（３）きょうだいの人数〈数量回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問3〕

きょうだいの人数についてみると、就学前児童で「１人」が52.6%、小学生児童で「２人」が58.4%と最も高く、次いで、就学前児童で「２人」が31.9%、小学生児童で「３人」が19.2%となっています。

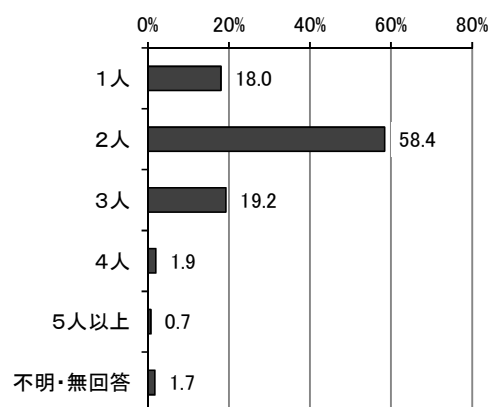
きょうだい２人以上いる場合の末子の年齢についてみると、就学前児童では「５歳」が23.5%で最も高く、「４歳」「２歳」「３歳」と続いています。小学生児童では「４歳」が11.7%で最も高く、「５歳」「１０歳」「１１歳」と続いています。

（※「きょうだい」の数は対象者を含めた人数になります）

就学前児童 (N=897)

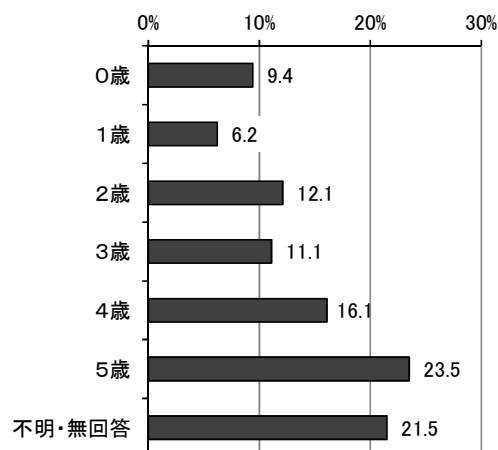


小学生児童 (N=416)

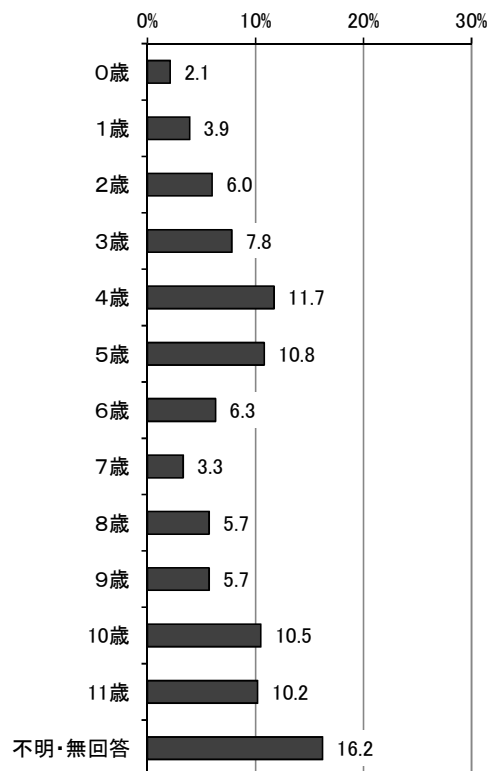


◎きょうだい２人以上いる場合の末子の年齢（平成25年10月1日現在） 〈数量回答〉

就学前児童 (N=404)

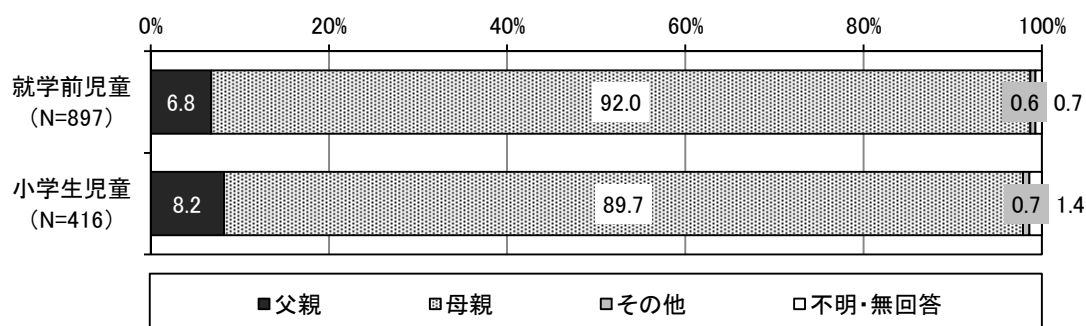


小学生児童 (N=334)



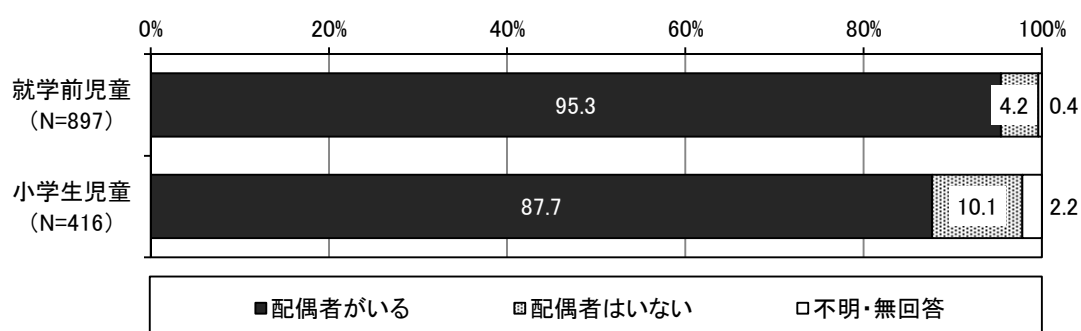
（４）調査票の回答者〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問４〕

回答者についてみると、「母親」が就学前児童で 92.0%、小学生児童で 89.7%と最も高くなっています。



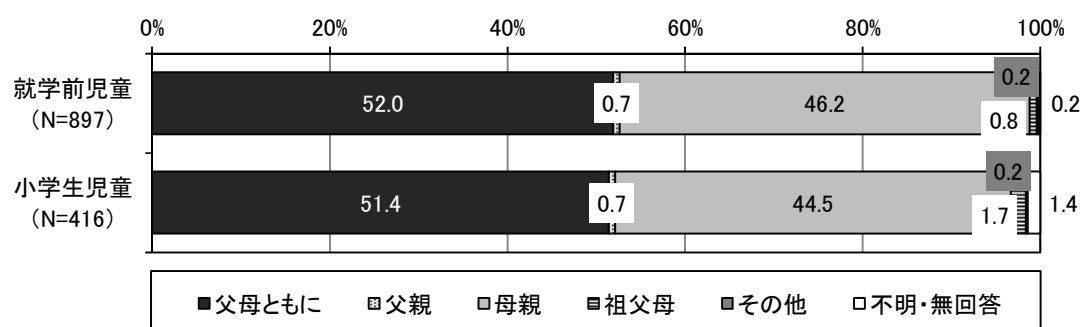
（５）調査票の回答者の配偶関係の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問５〕

回答者の配偶関係の有無についてみると、「配偶者がいる」が就学前児童で 95.3%、小学生児童で 87.7%と最も高くなっています。



（６）子育てを主に行っている方〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問６〕

子育てを主に行っている方についてみると、「父母ともに」が就学前児童で 52.0%、小学生児童で 51.4%と最も高く、次いで、「母親」が就学前児童で 46.2%、小学生児童で 44.5%となっています。



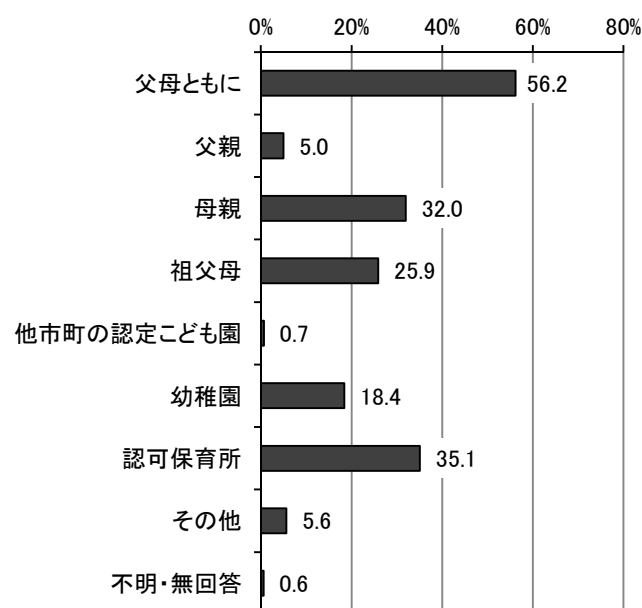
2 子どもの育ちをめぐる環境について

（１）子育てに日常的に関わっている方（施設）〈複数回答〉

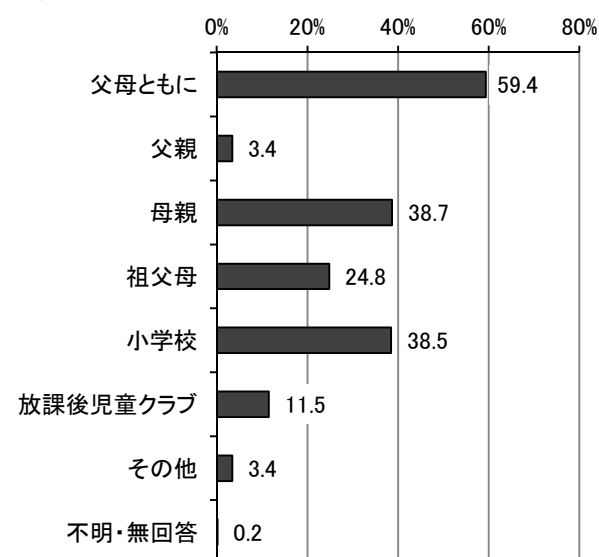
〔就学前児童調査…問7・小学生児童調査…問11〕

子育てに日常的に関わっている方（施設）についてみると、「父母ともに」が就学前児童で56.2%、小学生児童で59.4%と最も高く、次いで、就学前児童で「認可保育所」が35.1%、「母親」が32.0%、小学生児童で「母親」が38.7%、「小学校」が38.5%となっています。

就学前児童 (N=897)



小学生児童 (N=416)

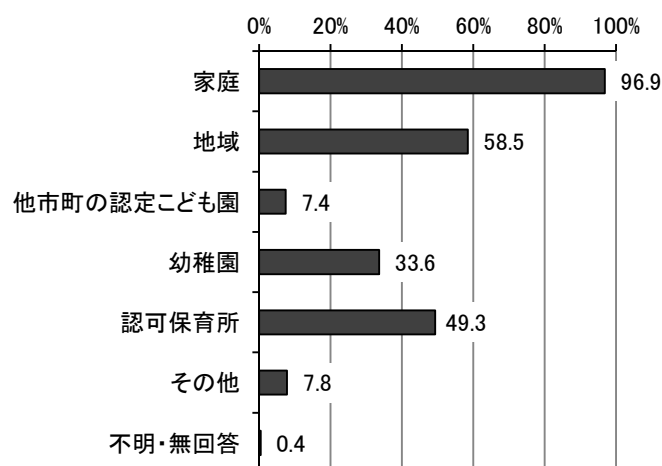


（２）子育てや教育に影響すると思われる環境〈複数回答〉

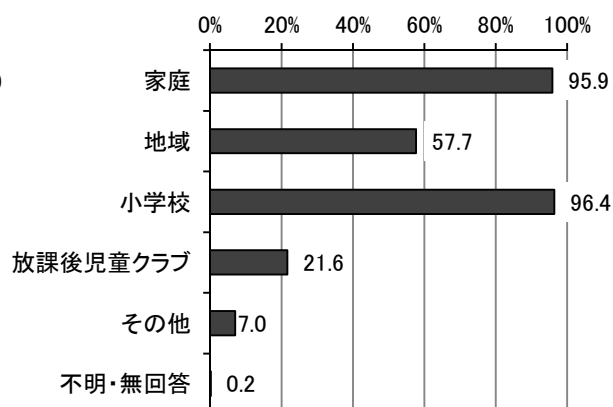
〔就学前児童調査…問8・小学生児童調査…問12〕

子育てや教育に影響すると思われる環境についてみると、就学前児童で「家庭」が96.9%、小学生児童で「小学校」が96.4%と最も高く、次いで、就学前児童で「地域」が58.5%、「認可保育所」が49.3%、小学生児童で「家庭」が95.9%、「地域」が57.7%となっています。

就学前児童 (N=897)



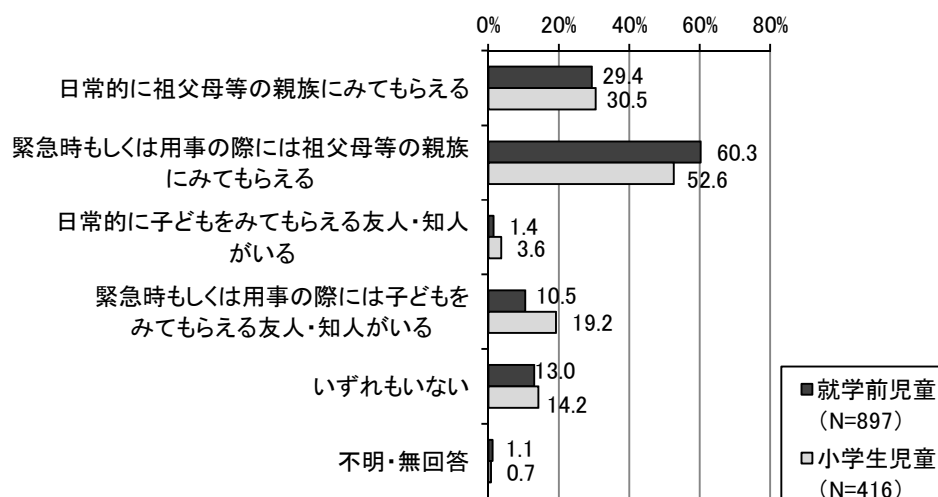
小学生児童 (N=416)



（３）お子さんをみてもらえる親族・知人の有無〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問9・小学生児童調査…問13〕

お子さんをみてもらえる親族・知人の有無についてみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前児童で 60.3%、小学生児童で 52.6%と最も高く、次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前児童で 29.4%、小学生児童で 30.5%となっています。

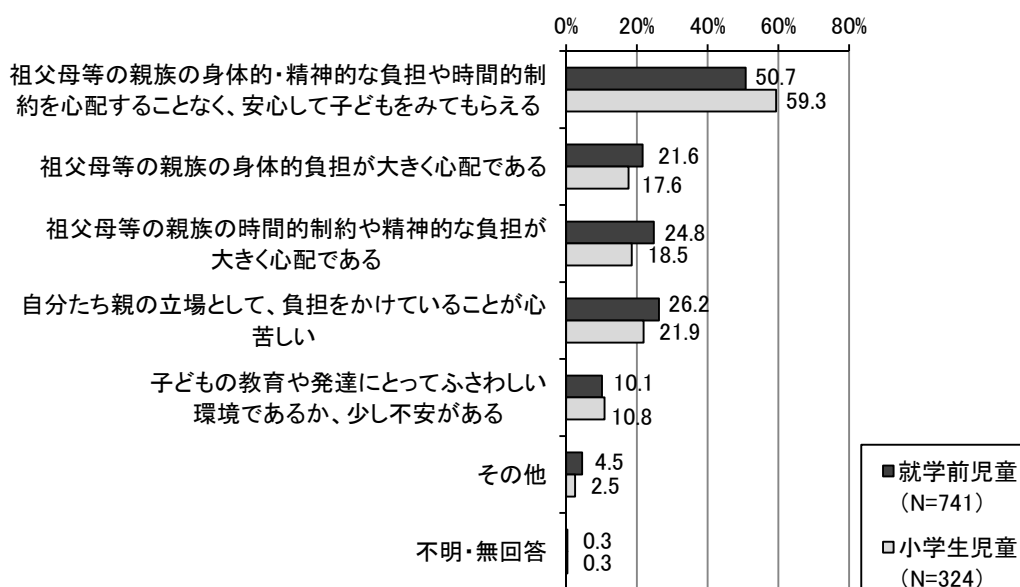


（３）で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」を選んだ方

（３）－１ 祖父母等の親族にみてもらっている状況〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問9-1・小学生児童調査…問13-1〕

祖父母等の親族にみてもらっている状況についてみると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が就学前児童で 50.7%、小学生児童で 59.3%と最も高く、次いで、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が就学前児童で 26.2%、小学生児童で 21.9%となっています。

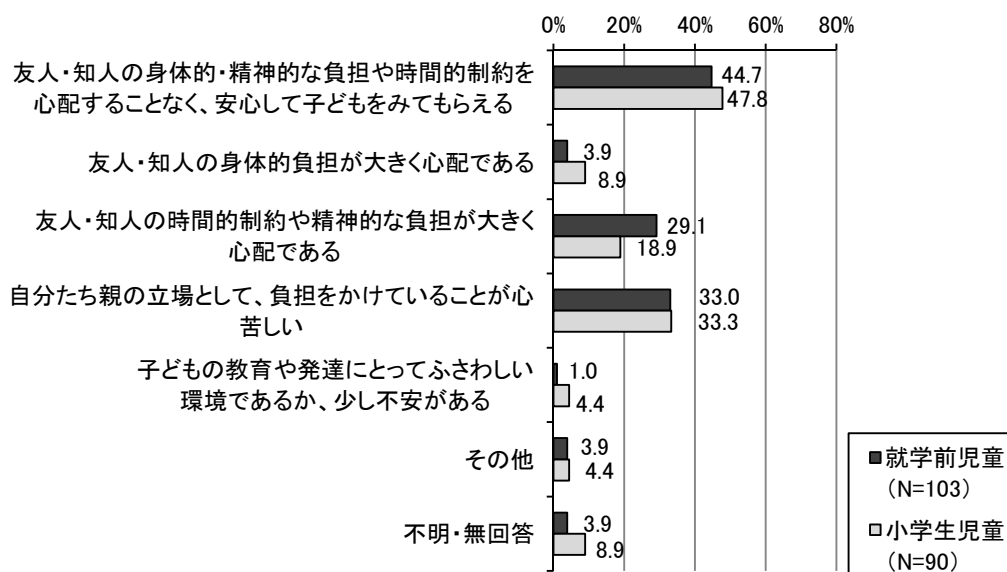


（３）で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を選んだ方

（３）－２ 友人・知人にみてもらっている状況〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問9-2・小学生児童調査…問13-2〕

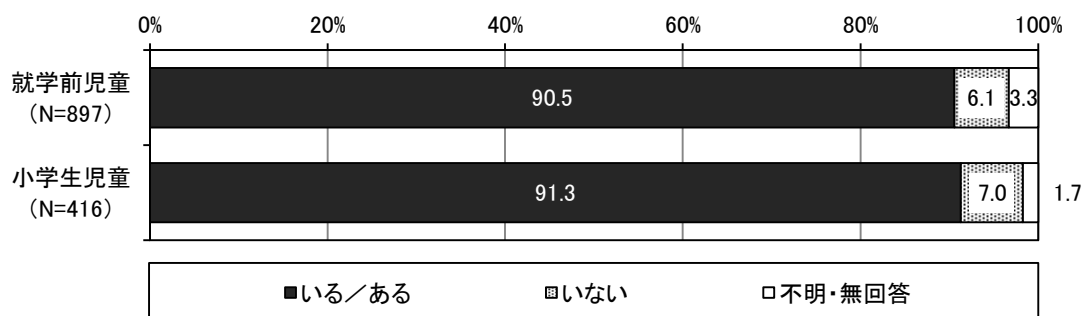
友人・知人にみてもらっている状況についてみると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が就学前児童で44.7%、小学生児童で47.8%と最も高く、次いで、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が就学前児童で33.0%、小学生児童で33.3%となっています。



（４）気軽に相談できる人の有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問10・小学生児童調査…問14〕

気軽に相談できる人の有無についてみると、「いる／ある」が就学前児童で90.5%、小学生児童で91.3%となっています。



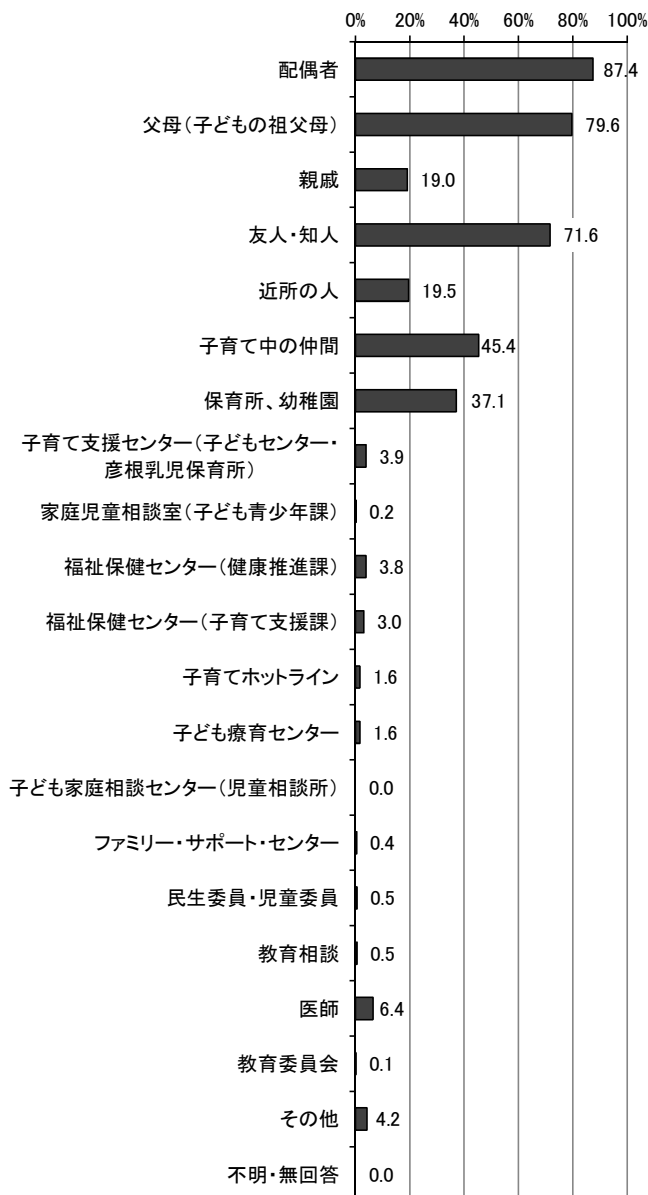
(4)で「いる／ある」を選んだ方

(5) 子育てをする上での相談相手や相談先〈複数回答〉

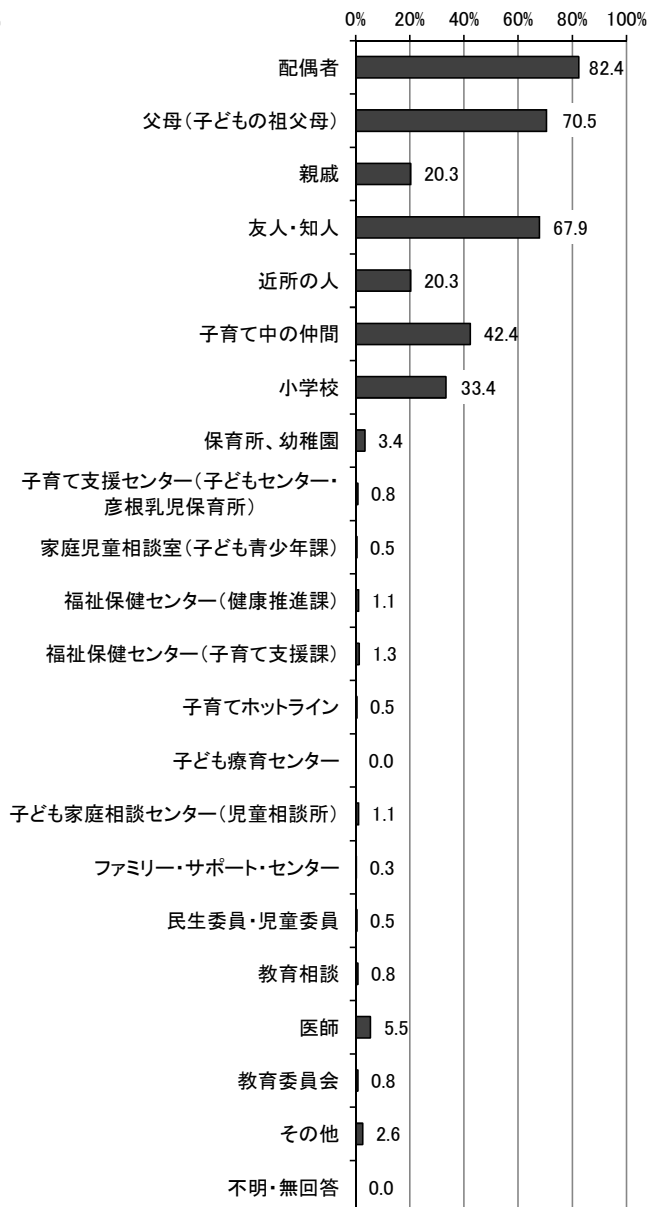
〔就学前児童調査…問 10-1・小学生児童調査…問 14-1〕

子育てをする上での相談先についてみると、「配偶者」が就学前児童で 87.4%、小学生児童で 82.4%と最も高く、次いで、「父母(子どもの祖父母)」が就学前児童で 79.6%、小学生児童で 70.5%、「友人・知人」が就学前児童で 71.6%、小学生児童で 67.9%となっています。

就学前児童(N=812)

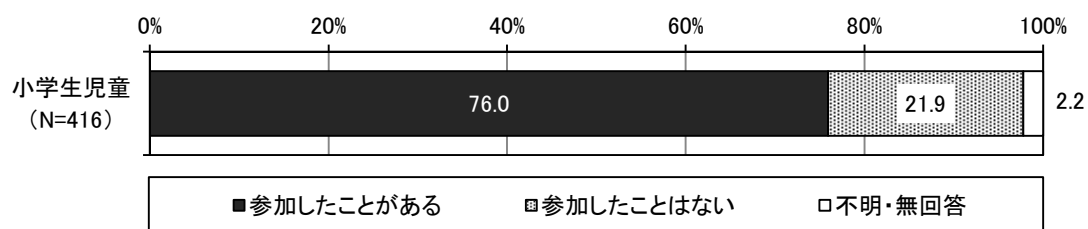


小学生児童(N=380)



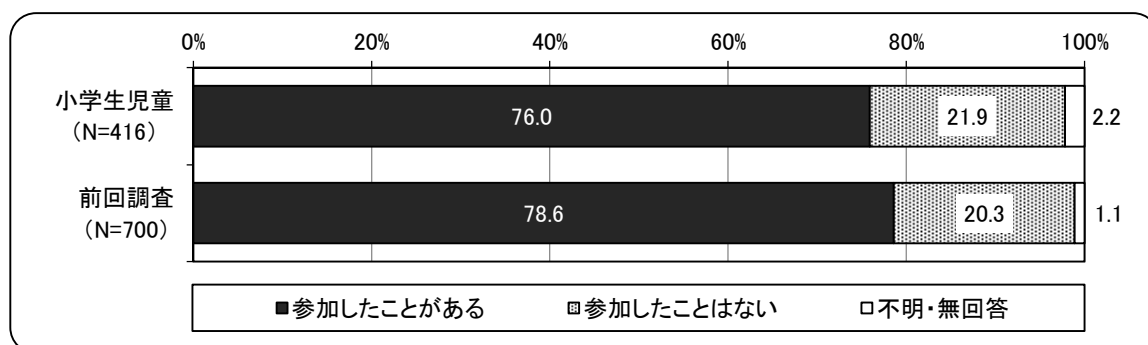
（６）地域活動やグループ活動などの参加の有無〈単数回答〉〔小学生児童調査…問 15〕

地域活動やグループ活動などの参加の有無についてみると、「参加したことがある」が 76.0%、「参加したことはない」が 21.9%となっています。



◆前回調査との比較◆

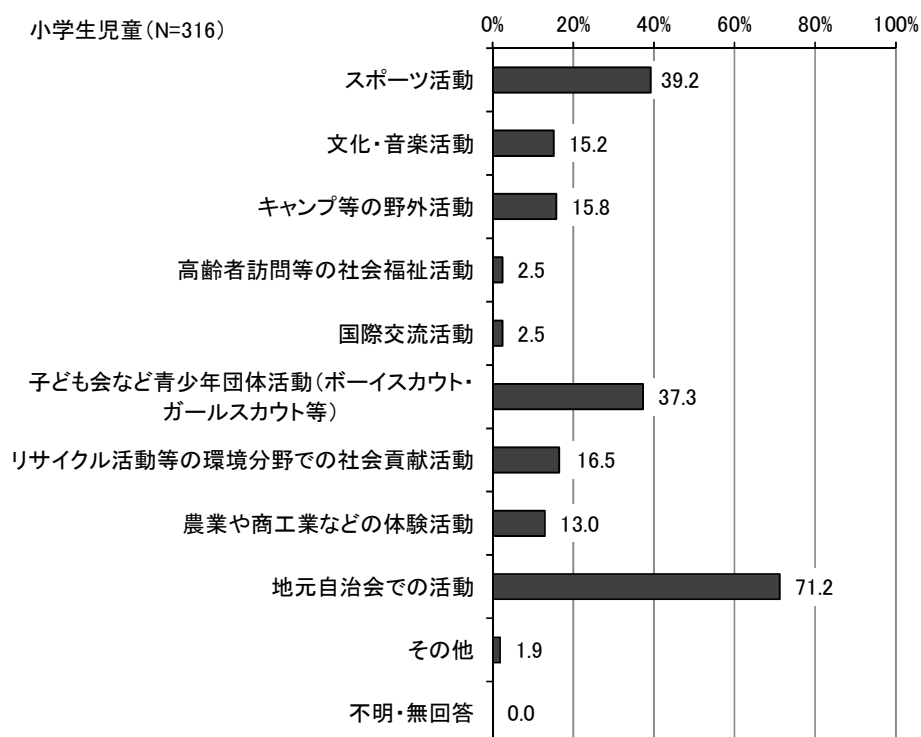
前回調査と比較してみると、「参加したことがある」が減少しています。



(6)で「参加したことがある」を選んだ方

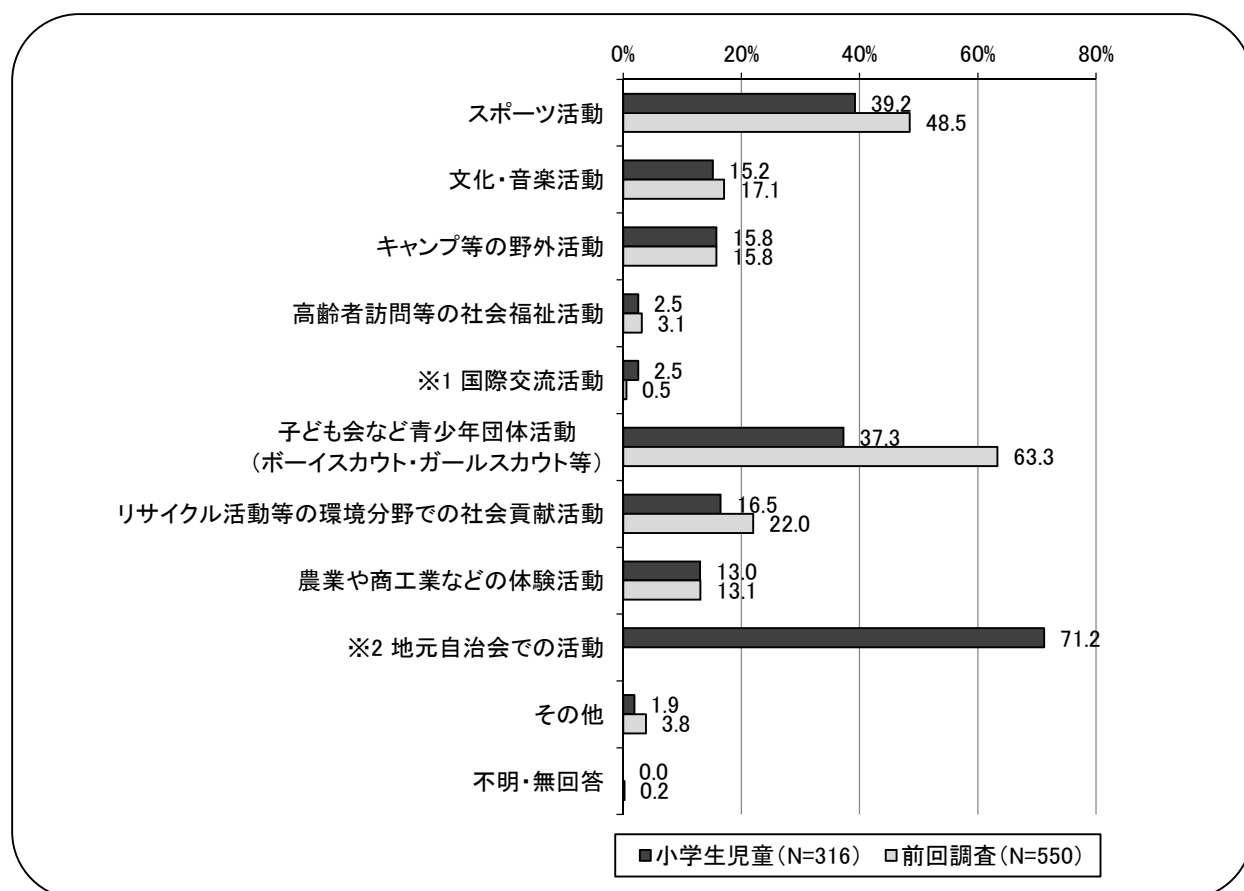
(6)－1 参加したことがある活動〈複数回答〉〔小学生児童調査…問 15-1〕

参加したことがある活動についてみると、「地元自治会での活動」が 71.2%と最も高く、次いで、「スポーツ活動」が 39.2%、「子ども会など青少年団体活動（ボーイスカウト・ガールスカウト等）」が 37.3%となっています。



◆前回調査との比較◆

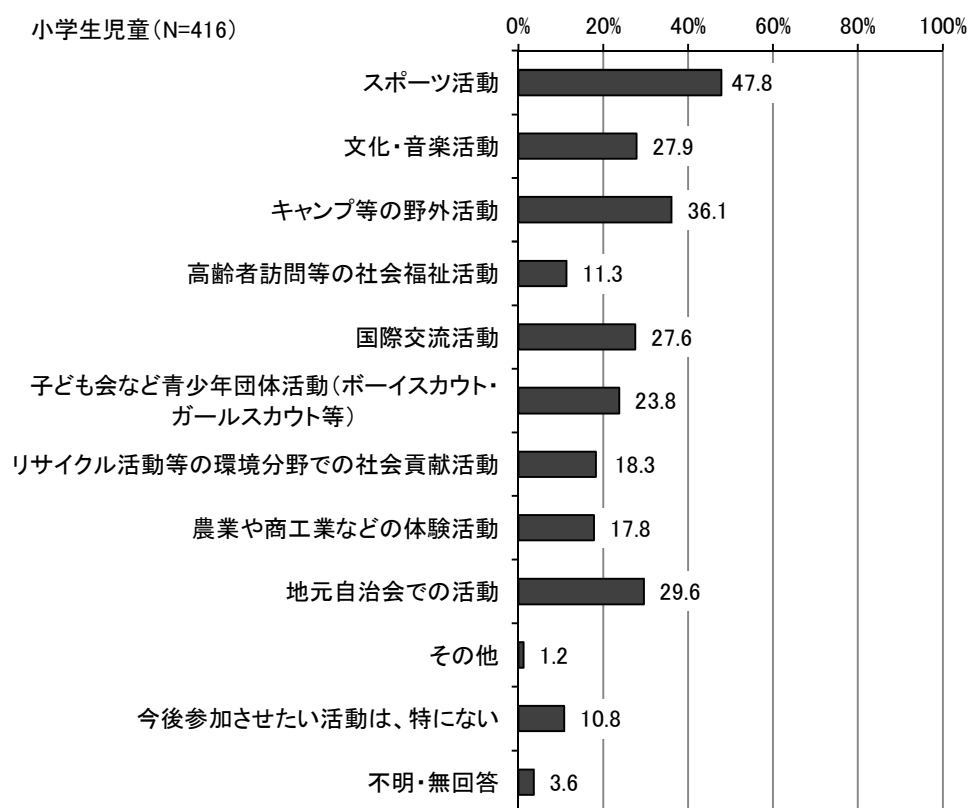
前回調査と比較してみると、「子ども会など青少年団体活動（ボーイスカウト・ガールスカウト等）」で26.0ポイント、「スポーツ活動」で9.3ポイント減少しています。



※1 前回調査は「ホームステイ等の国際交流活動」、※2「地元自治会での活動」は今回調査のみ

（７）今後、参加させたいと思われる活動〈複数回答〉〔小学生児童調査…問 16〕

今後、参加させたいと思われる活動についてみると、「スポーツ活動」が 47.8%と最も高く、次いで、「キャンプ等の野外活動」が 36.1%、「地元自治会での活動」が 29.6%となっています。

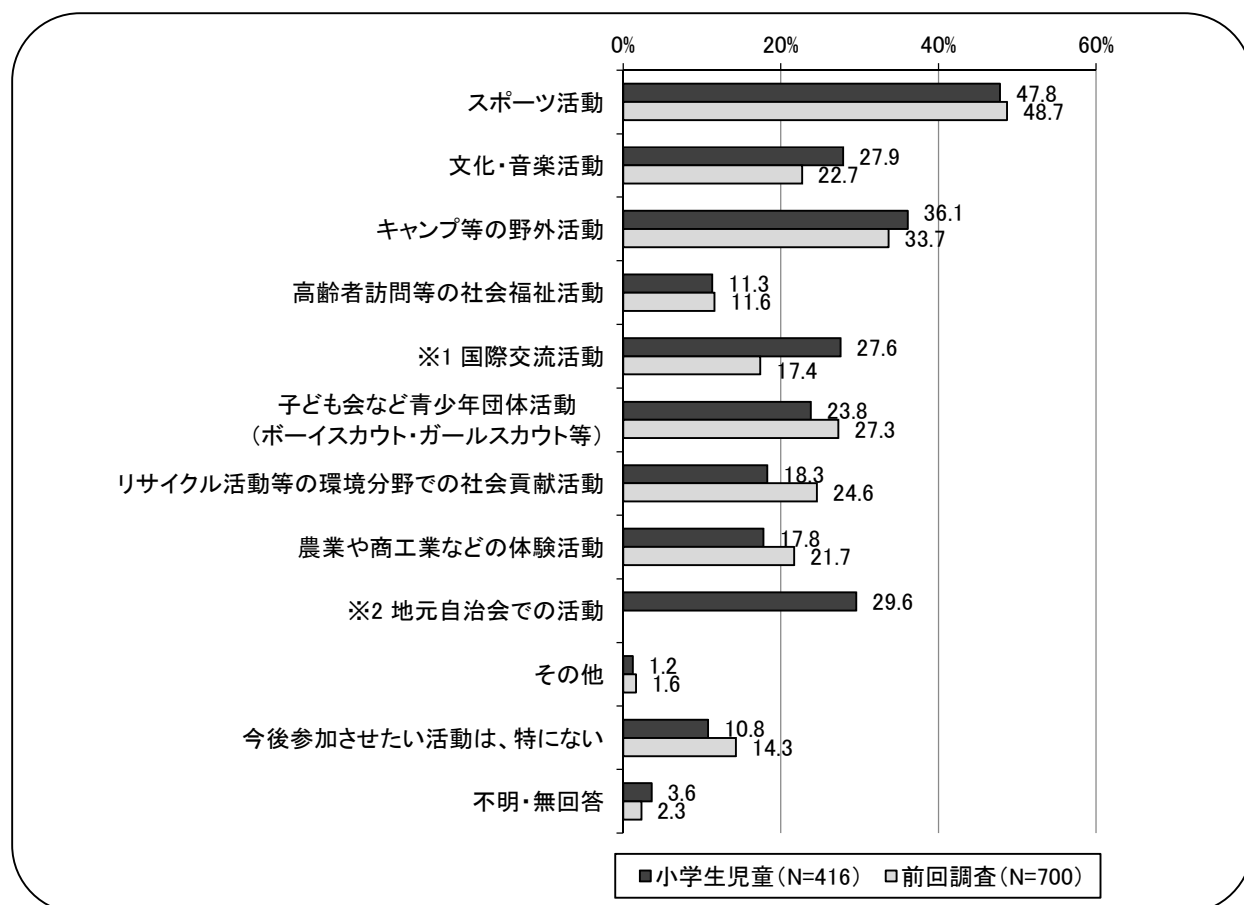


■その他回答

- ・ 子ども教室（チャレンジ）
- ・ 本人の興味があるもの
- ・ 子どもがやってみたいと思う事をやらせたいです
- ・ 登山
- ・ 参加させたいけどなかなか出来ない

◆前回調査との比較◆

前回調査と比較してみると、「国際交流活動」で 10.2 ポイント増加しています。また、「リサイクル活動等の環境分野での社会貢献活動」で 6.3 ポイント減少しています。

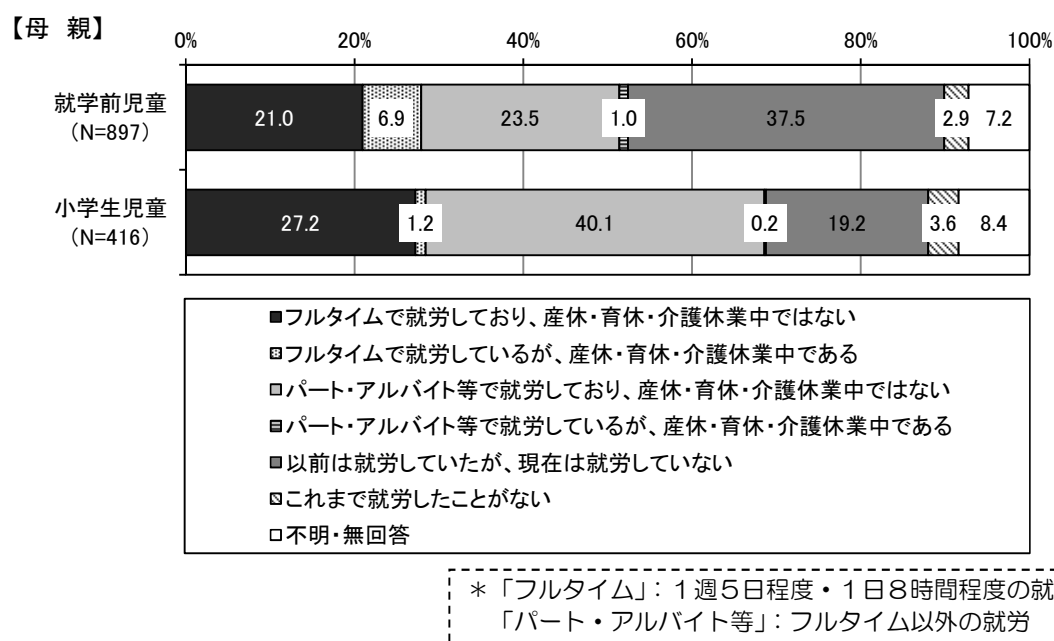
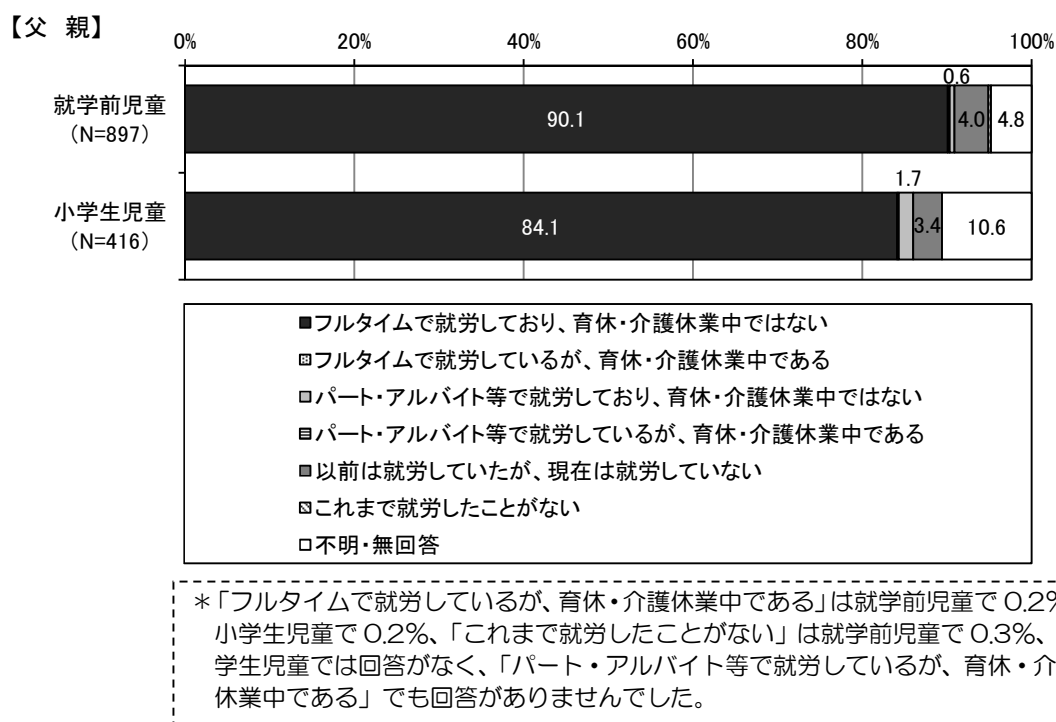


※1 前回調査は「ホームステイ等の国際交流活動」、※2「地元自治会での活動」は今回調査のみ

3 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 12(1)(2)・小学生児童調査…問 18(1)(2)〕

保護者の就労状況についてみると、父親では、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が就学前児童で 90.1%、小学生児童で 84.1%と最も高くなっています。母親では、就学前児童で「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 37.5%、小学生児童で「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 40.1%と最も高くなっています。

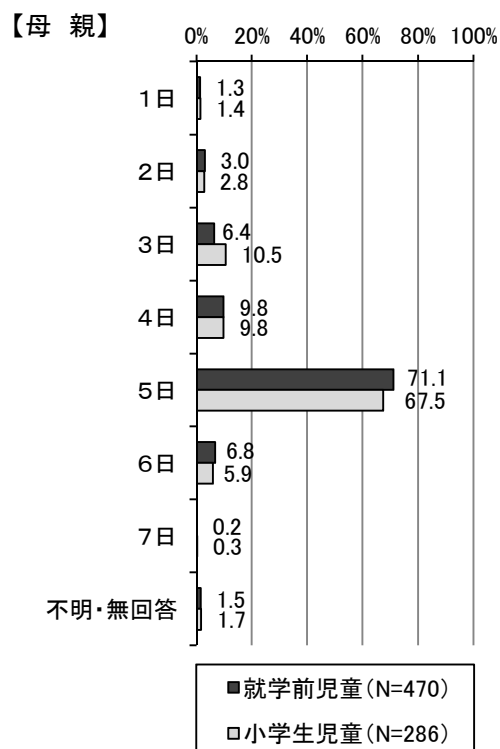
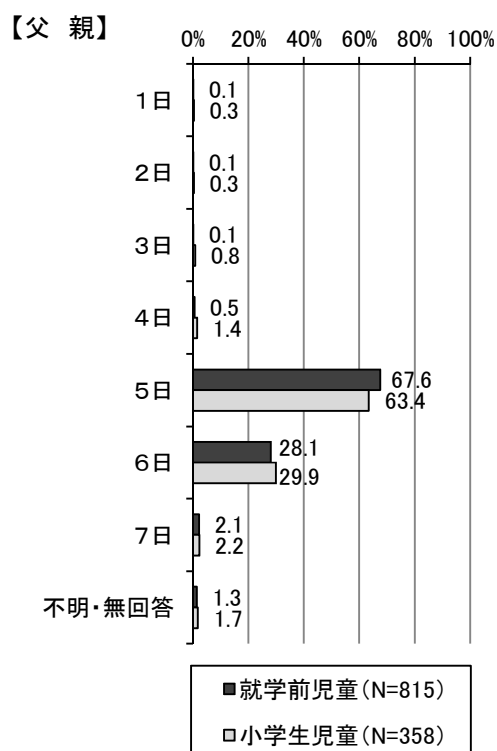


●就労している保護者の状況

就労している保護者の状況についてみると、1週当たりの就労日数では、就学前児童、小学生児童の父親、母親ともに「5日」の割合が最も高く、特に就学前児童の母親では7割を超えています。

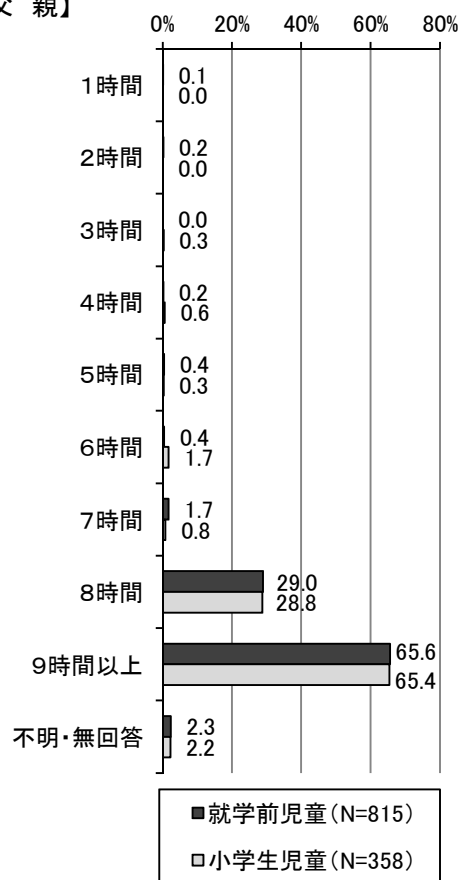
1日当たりの就労時間では、就学前児童、小学生児童ともに父親では「9時間以上」、母親では「8時間」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

① 1週当たりの就労日数〈数量回答〉

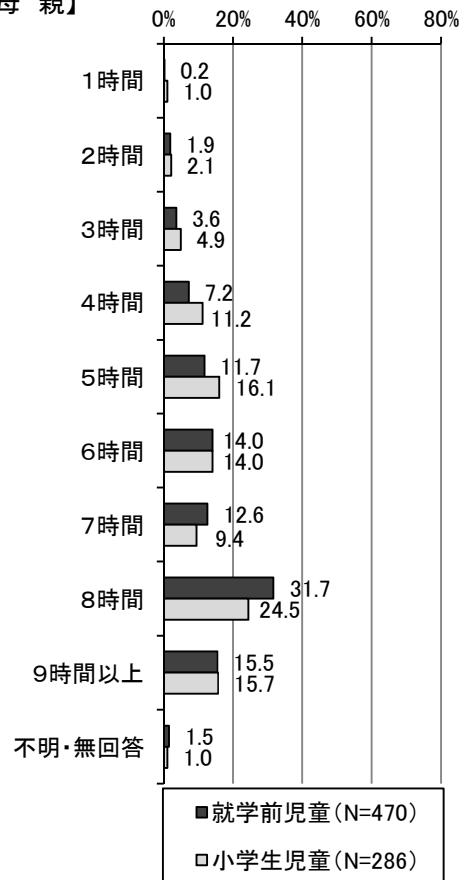


② 1日当たりの就労時間〈数量回答〉

【父 親】



【母 親】

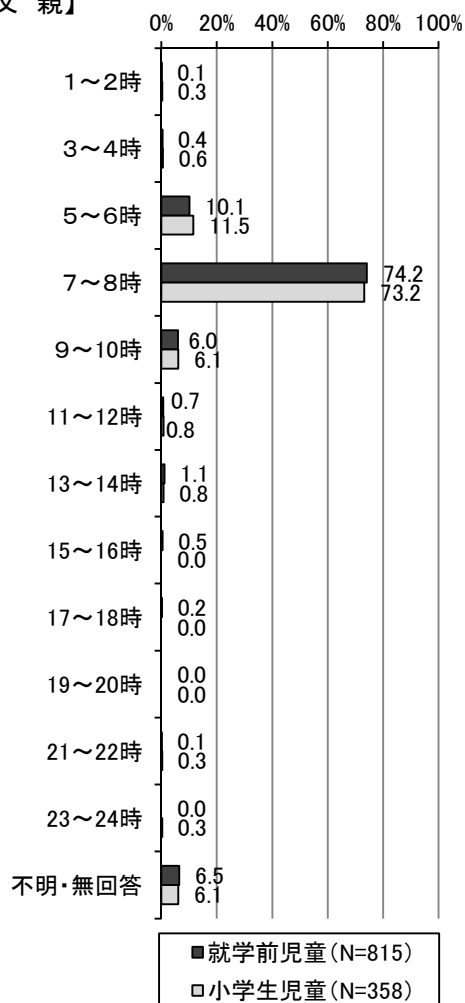


出発時間では、就学前児童、小学生児童の父親、母親ともに「7～8時」の割合が最も高くなっており、次いで父親では就学前児童、小学生児童ともに「5～6時」となっています。母親では就学前児童、小学生児童ともに「9～10時」となっています。

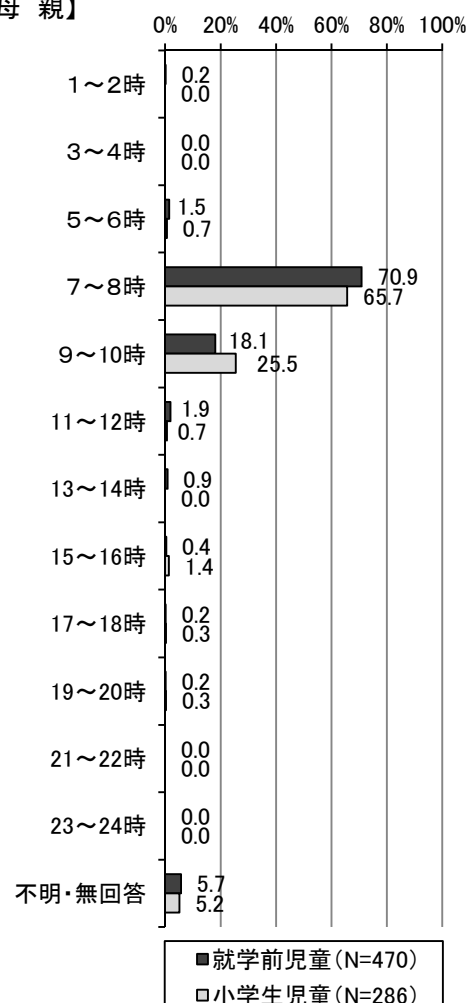
帰宅時間では、就学前児童、小学生児童ともに父親では「19～20時」が最も高くなっており、次いで「21時～22時」となっています。母親では「17～18時」が最も高く、次いで就学前児童では「19時～20時」、小学生児童では「15時～16時」となっています。

③出発時間〈数量回答〉

【父親】

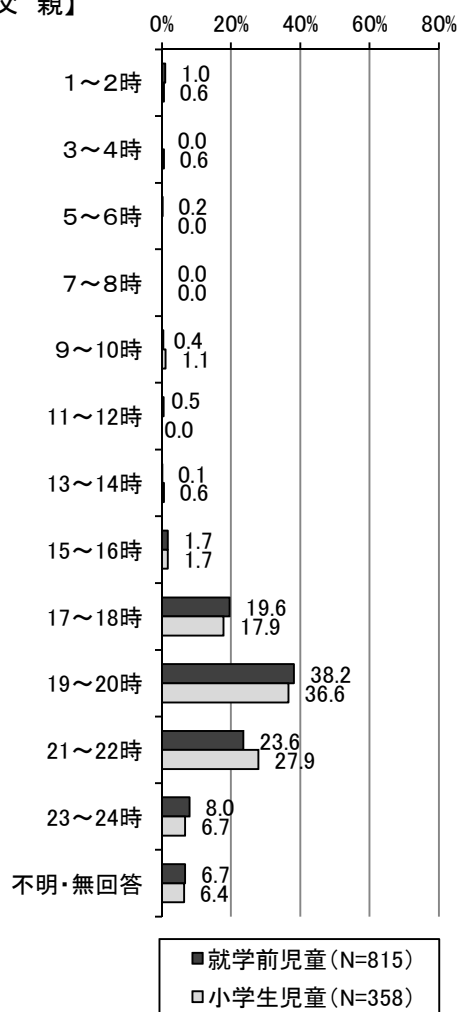


【母親】

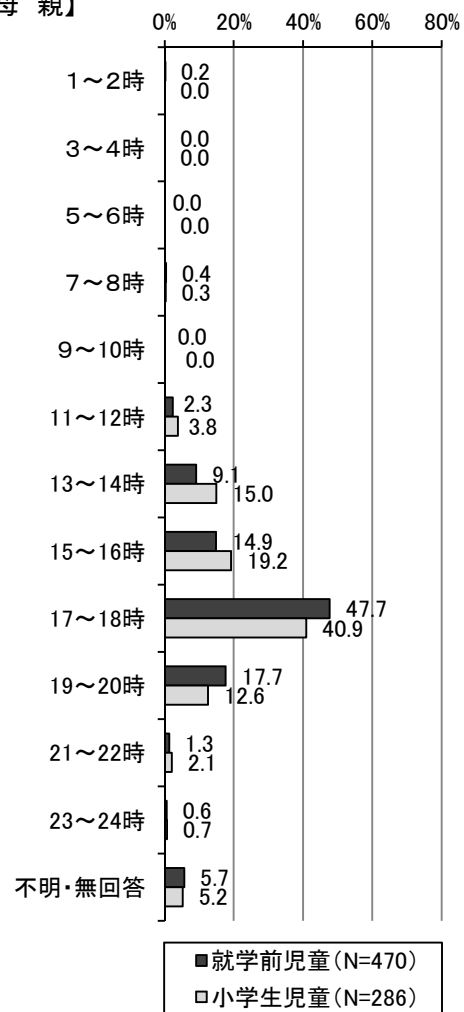


④帰宅時間〈数量回答〉

【父 親】



【母 親】



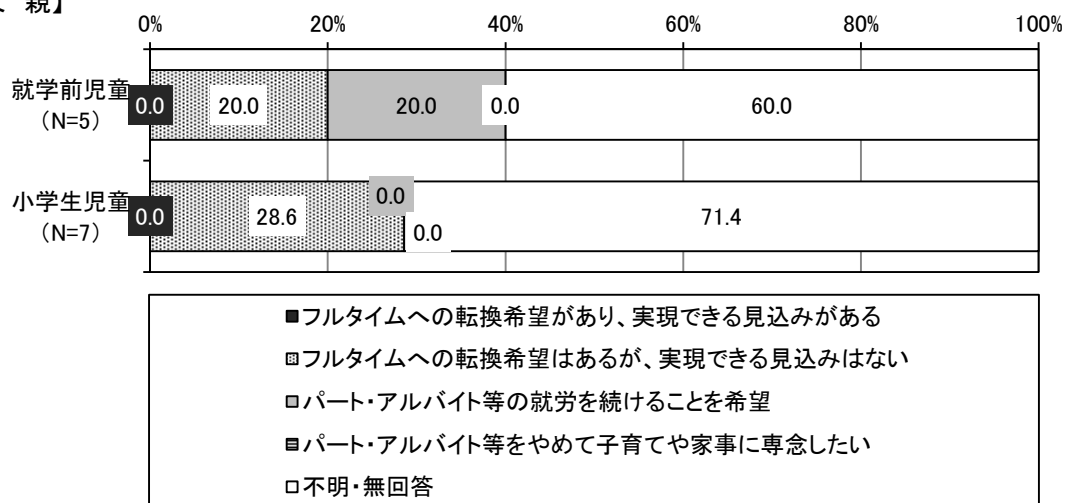
(1) または (2) で「パート・アルバイト等で就労しており、(産休)・育休・介護休業中ではない」または「パート・アルバイト等で就労しているが、(産休)・育休・介護休業中である」を選んだ方

(2) パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望〈単数回答〉

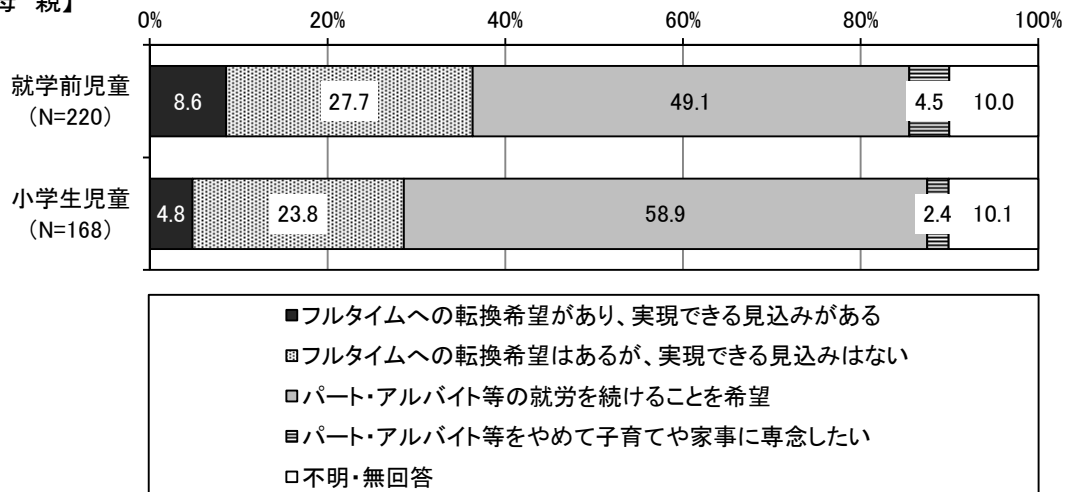
〔就学前児童調査…問 13・小学生児童調査…問 19〕

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望についてみると、父親では「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が就学前児童で 20.0%、小学生児童で 28.6%、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が就学前児童で 49.1%、小学生児童で 58.9%と最も高くなっています。

【父 親】



【母 親】



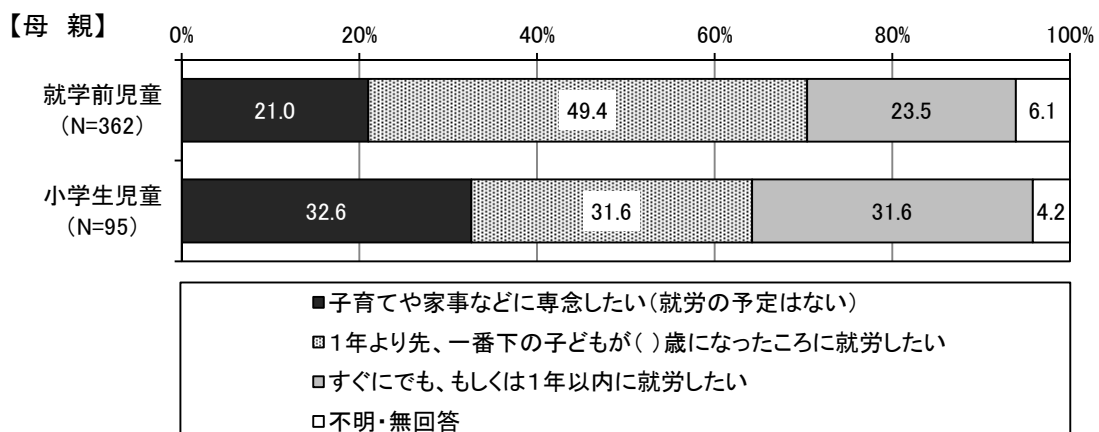
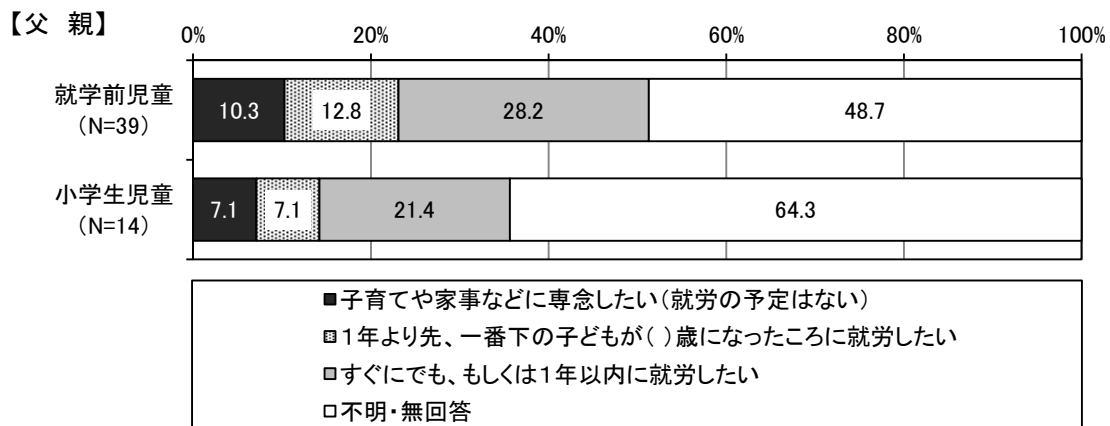
(1) または (2) で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」を選んだ方

(3) 就労希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 14・小学生児童調査…問 20〕

就労希望についてみると、父親では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が就学前児童で28.2%、小学生児童で21.4%と最も高くなっています。母親では就学前児童で「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が49.4%で最も高くなっています。小学生児童で「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が32.6%と最も高くなっています。しかし、母親において『就労したい』(「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の合計)意向がある方は就学前児童で72.9%、小学生児童で63.2%となっています。

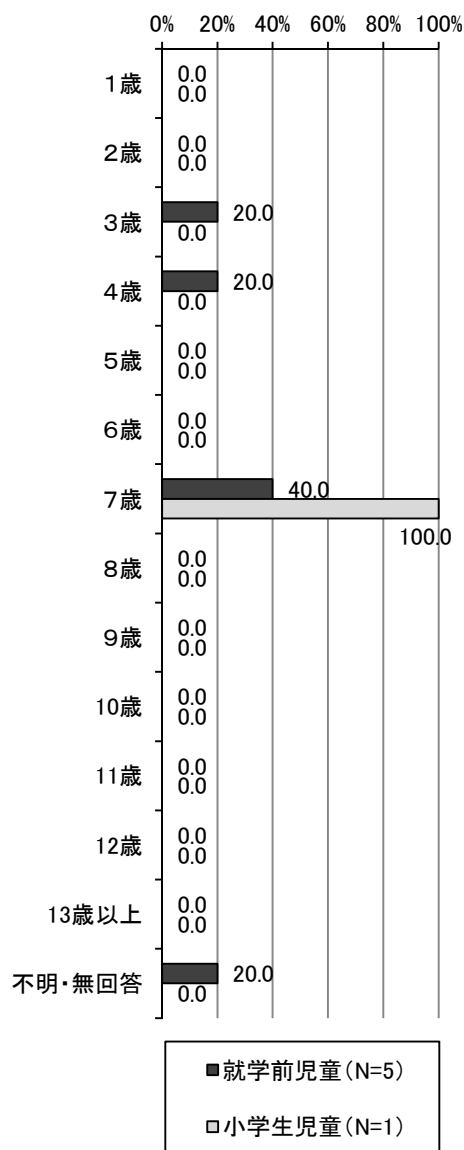
また、一番下の子どもが何歳になれば就労したいかでは、就学前児童、小学生児童ともに父親では「7歳」の割合が最も高く、母親では就学前児童で「3歳」が26.8%、小学生児童で「7歳」が43.3%、と最も高くなっています。



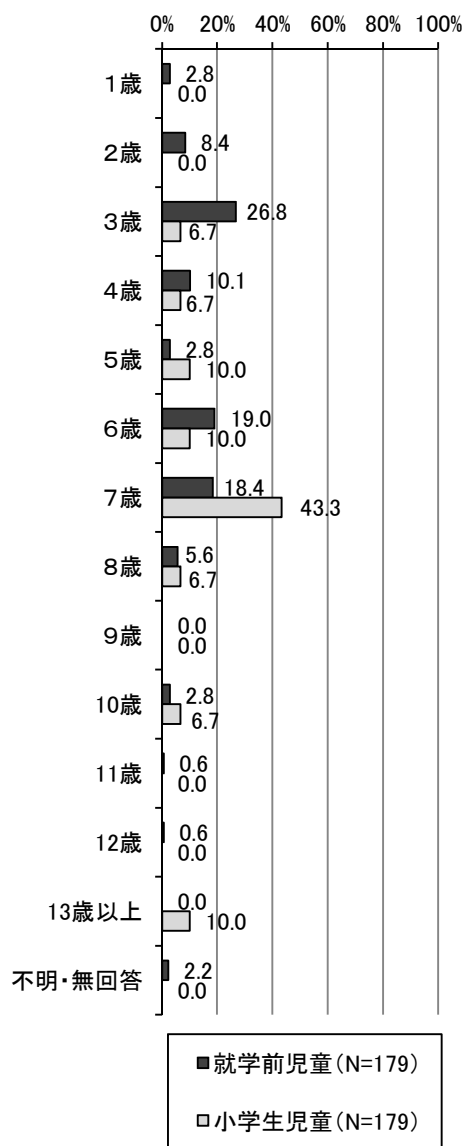
①一番下の子どもが何歳になれば就労したいか〈数量回答〉

《「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」を選んだ方》

【父 親】



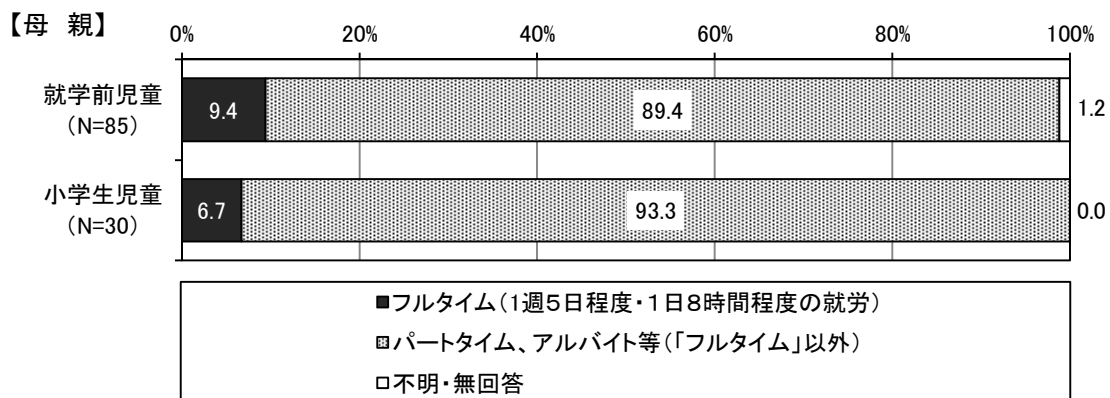
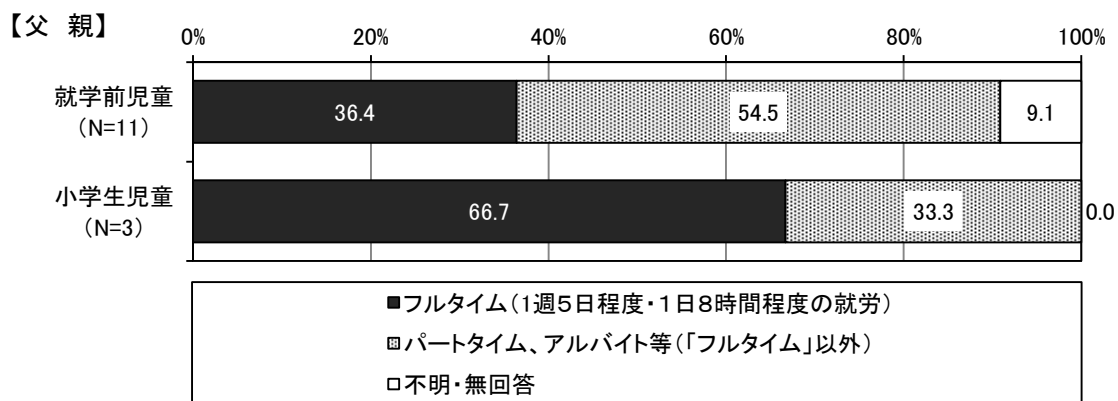
【母 親】



『すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい』方の希望する就労形態については、父親では就学前児童で「パートタイム、アルバイト等」が54.5%、小学生児童で「フルタイム」が66.7%、母親では「パートタイム、アルバイト等」が就学前児童で89.4%、小学生児童で93.3%と最も高くなっています。

また、パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）を選んだ方の希望する1週当たりの就労日数については、父親では就学前児童が「3日」、「4日」、「5日」、小学生児童で「5日」、母親では就学前児童で「3日」、「4日」、小学生児童で「3日」の割合がそれぞれ最も高くなっています。希望する1日当たりの就労時間では、父親では就学前児童、小学生児童ともに「4時間」、母親では就学前児童、小学生児童ともに「5時間」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

②希望する就労形態〈単数回答〉《「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方》

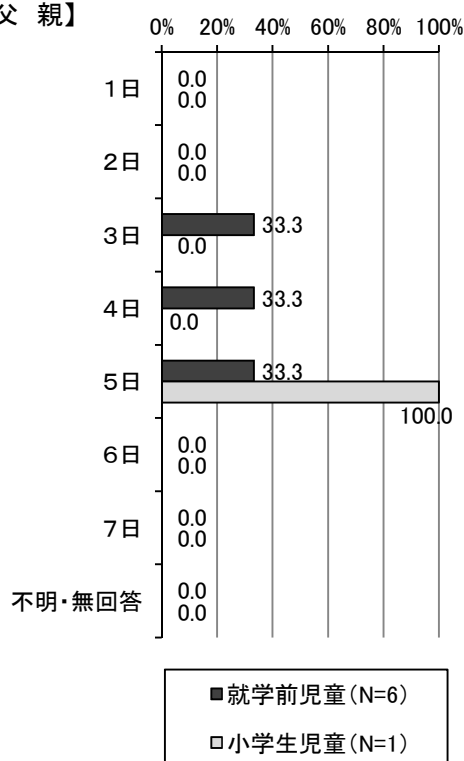


③パートタイム、アルバイト等で希望する就労形態〈数量回答〉

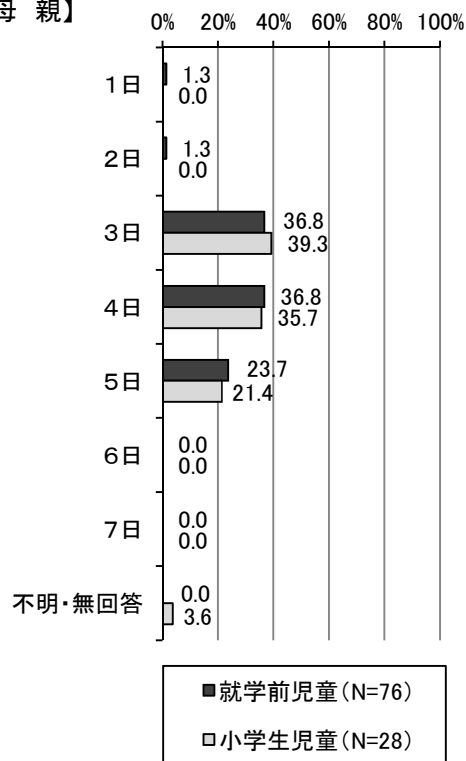
《②で「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」を選んだ方》

■希望する1週当たりの就労日数

【父親】

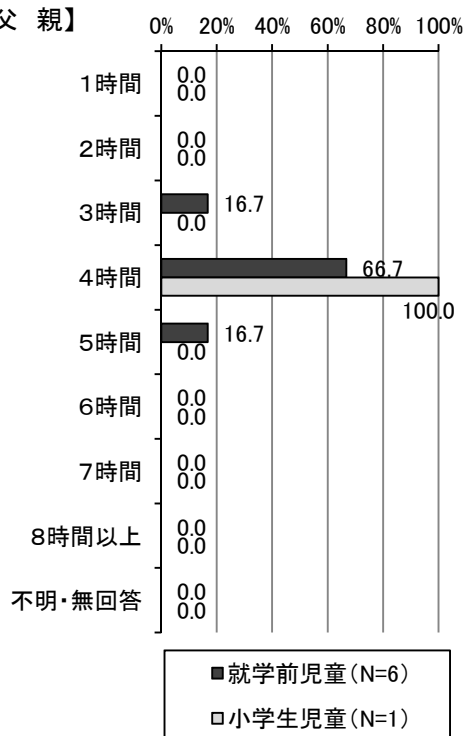


【母親】

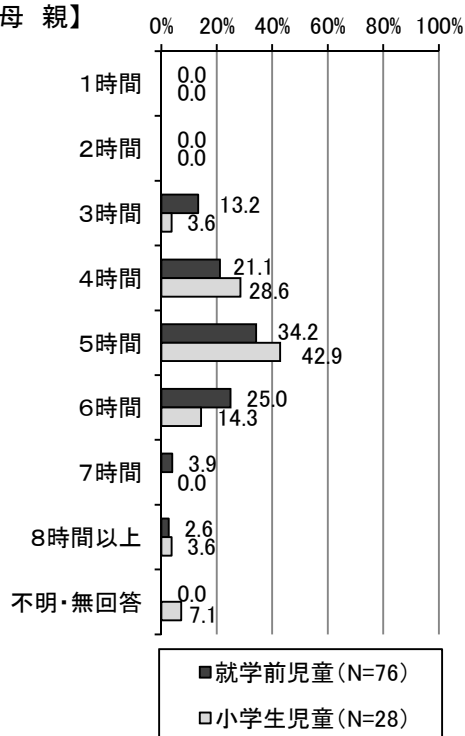


■希望する1日当たりの就労時間

【父親】



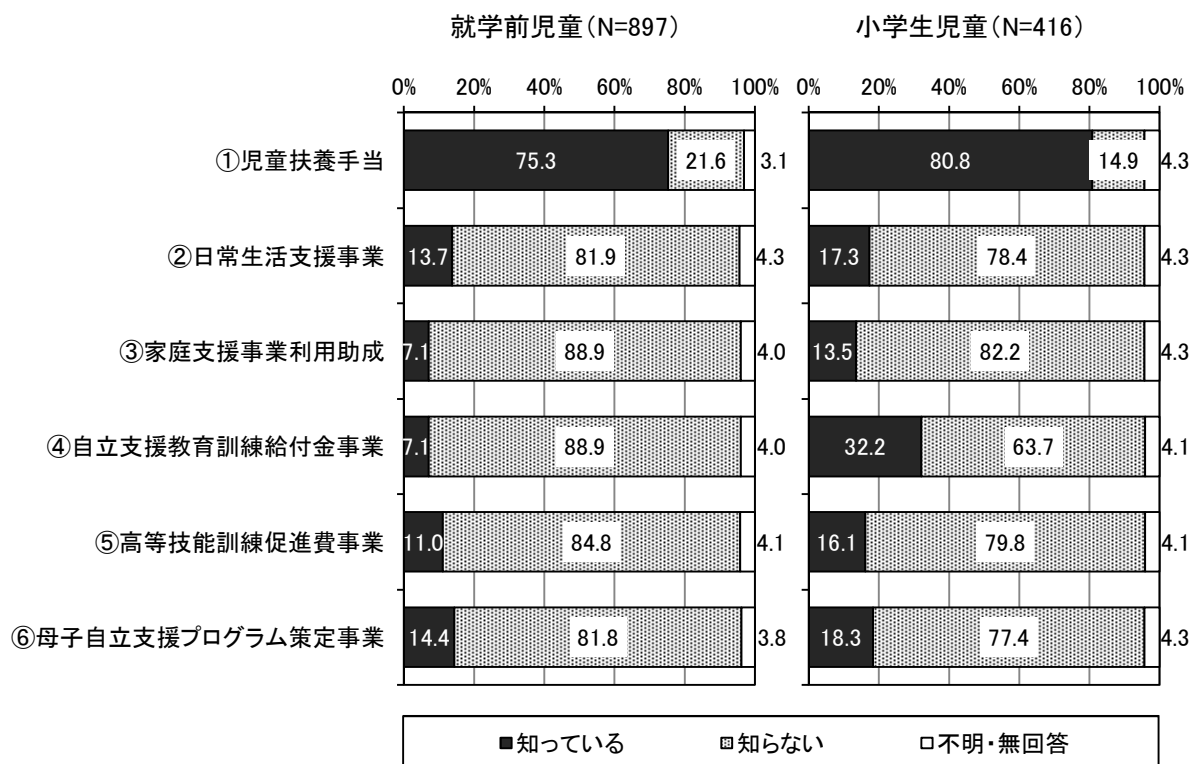
【母親】



(4) 彦根市のひとり親家庭のための制度やサービスの認知度〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 15・小学生児童調査…問 21〕

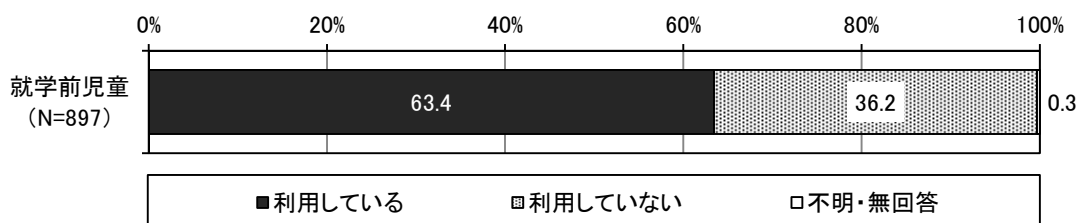
ひとり親家庭のための制度やサービスの認知度についてみると、就学前児童、小学生児童ともに『①児童扶養手当』を「知っている」が就学前児童で 75.3%、小学生児童で 80.8%と最も高く、次いで、小学生児童では『④自立支援教育訓練給付金事業』が 32.2%で高くなっています。



4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）

（１）現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 16〕

現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無についてみると、「利用している」が 63.4%、「利用していない」が 36.2%となっています。

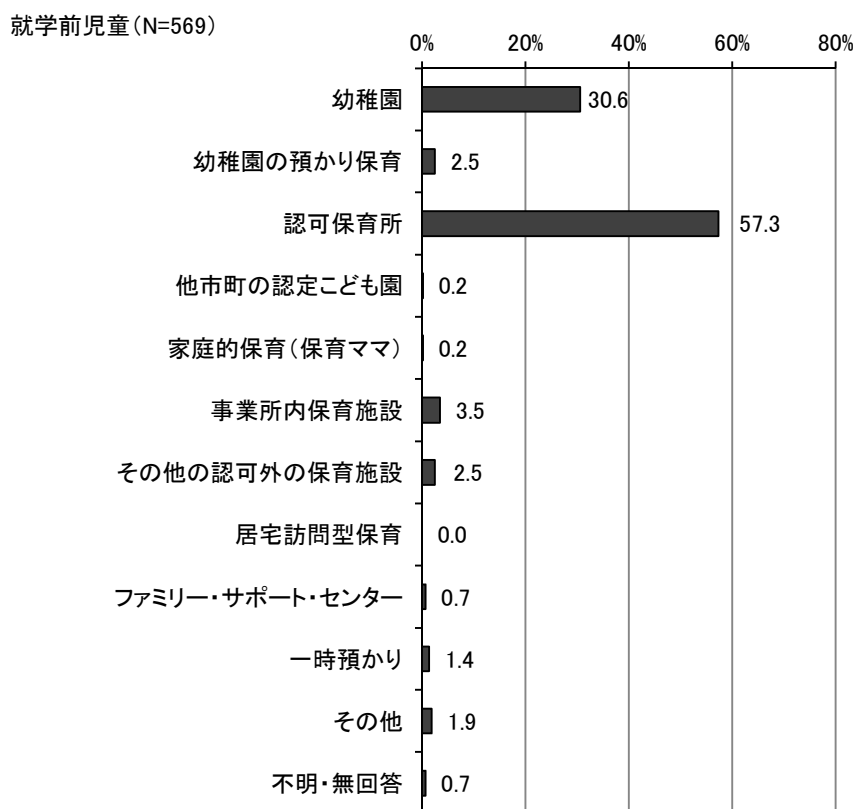


*ここでの「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指す。
具体的には、幼稚園や保育所など、（１）－１に示す事業が含まれる。

（１）で「利用している」を選んだ方

（１）－１ 平日に利用している教育・保育事業〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 16－１〕

平日に利用している教育・保育事業についてみると、「認可保育所」が 57.3%と最も高く、次いで「幼稚園」が 30.6%、「事業所内保育施設」が 3.5%となっています。



*「認定こども園」：現在、彦根市では実施していません。

問 16-1 × 地区別

地区別でみると、[金城] では「幼稚園」、[金城] 以外の地区では「認可保育所」の割合が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園の 預かり 保育	認可 保育所	他市町の 認定 こども園	家庭的保 育(保育 ママ)	事業所内 保育施設	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問 型保育	ファミ リー・サ ポート・ センター	一時 預かり	その他	不明・ 無回答
合計	569 100.0	174 30.6	14 2.5	326 57.3	1 0.2	1 0.2	20 3.5	14 2.5	0 0.0	4 0.7	8 1.4	11 1.9	4 0.7
城東	24 100.0	6 25.0	0 0.0	15 62.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2	0 0.0	1 4.2	0 0.0	1 4.2	1 4.2
城西	44 100.0	11 25.0	3 6.8	28 63.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.3	0 0.0	2 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
城南	80 100.0	29 36.3	1 1.3	43 53.8	0 0.0	0 0.0	4 5.0	3 3.8	0 0.0	0 0.0	1 1.3	1 1.3	0 0.0
平田	13 100.0	2 15.4	0 0.0	9 69.2	0 0.0	0 0.0	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
城北	30 100.0	10 33.3	1 3.3	16 53.3	1 3.3	0 0.0	1 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.3	1 3.3	0 0.0
佐和山	55 100.0	18 32.7	2 3.6	25 45.5	0 0.0	0 0.0	3 5.5	2 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 7.3	1 1.8
旭森	68 100.0	20 29.4	0 0.0	43 63.2	0 0.0	0 0.0	2 2.9	1 1.5	0 0.0	0 0.0	1 1.5	1 1.5	0 0.0
城陽	21 100.0	3 14.3	1 4.8	16 76.2	0 0.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
若葉	22 100.0	7 31.8	1 4.5	12 54.5	0 0.0	0 0.0	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5	0 0.0
金城	49 100.0	25 51.0	2 4.1	20 40.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0
鳥居本	6 100.0	0 0.0	1 16.7	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0
河瀬	33 100.0	9 27.3	0 0.0	21 63.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.1	0 0.0	0 0.0	1 3.0	0 0.0	0 0.0
亀山	20 100.0	5 25.0	0 0.0	13 65.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	1 5.0
高宮	36 100.0	10 27.8	1 2.8	18 50.0	0 0.0	1 2.8	4 11.1	1 2.8	0 0.0	0 0.0	2 5.6	0 0.0	0 0.0
稲枝東	41 100.0	16 39.0	0 0.0	22 53.7	0 0.0	0 0.0	1 2.4	1 2.4	0 0.0	1 2.4	1 2.4	1 2.4	0 0.0
稲枝西	10 100.0	1 10.0	0 0.0	9 90.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
稲枝北	11 100.0	0 0.0	1 9.1	10 90.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
わからない	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問 16-1 × 年齢別

年齢別でみると、すべての年齢で「認可保育所」の割合が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園の 預かり保育	認可保育所	他市町の 認定こども園	家庭的保育 (保育ママ)	事業所内 保育施設
合計	569 100.0	174 30.6	14 2.5	326 57.3	1 0.2	1 0.2	20 3.5
0歳	5 100.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0
1歳	46 100.0	0 0.0	0 0.0	29 63.0	0 0.0	1 2.2	8 17.4
2歳	64 100.0	1 1.6	0 0.0	44 68.8	0 0.0	0 0.0	4 6.3
3歳	95 100.0	26 27.4	1 1.1	58 61.1	0 0.0	0 0.0	6 6.3
4歳	149 100.0	67 45.0	5 3.4	75 50.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5歳	129 100.0	56 43.4	6 4.7	63 48.8	1 0.8	0 0.0	0 0.0
6歳	69 100.0	20 29.0	2 2.9	47 68.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
上段:度数 下段:%	合計	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問型 保育	ファミリー・ サポート・ センター	一時預かり	その他	不明・無回答
合計	569 100.0	14 2.5	0 0.0	4 0.7	8 1.4	11 1.9	4 0.7
0歳	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
1歳	46 100.0	4 8.7	0 0.0	1 2.2	1 2.2	3 6.5	0 0.0
2歳	64 100.0	6 9.4	0 0.0	1 1.6	4 6.3	6 9.4	0 0.0
3歳	95 100.0	2 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.1	0 0.0
4歳	149 100.0	1 0.7	0 0.0	0 0.0	1 0.7	0 0.0	1 0.7
5歳	129 100.0	1 0.8	0 0.0	1 0.8	1 0.8	0 0.0	3 2.3
6歳	69 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.4	0 0.0	0 0.0

(1)で「利用している」を選んだ方

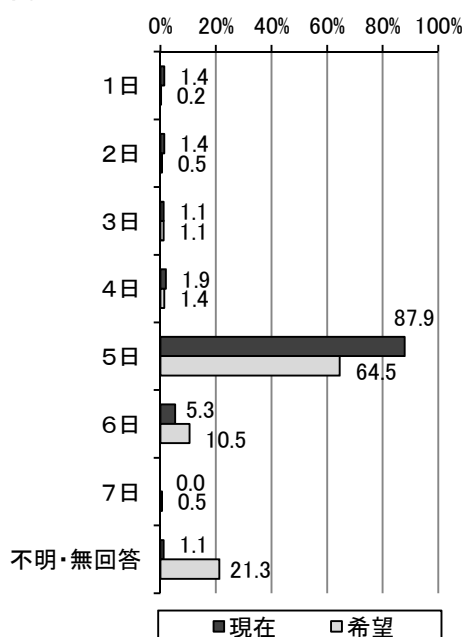
(1)－2 平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望

〈数量回答〉〔就学前児童調査…問 16－2〕

平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望についてみると、1週あたりの利用日数では、現在、希望ともに「5日」が最も高く、それぞれ87.9%、64.5%となっています。また、1日あたりの利用時間では、現在で「5時間」、希望で「8時間」が最も高く、それぞれ25.0%、19.5%となっています。

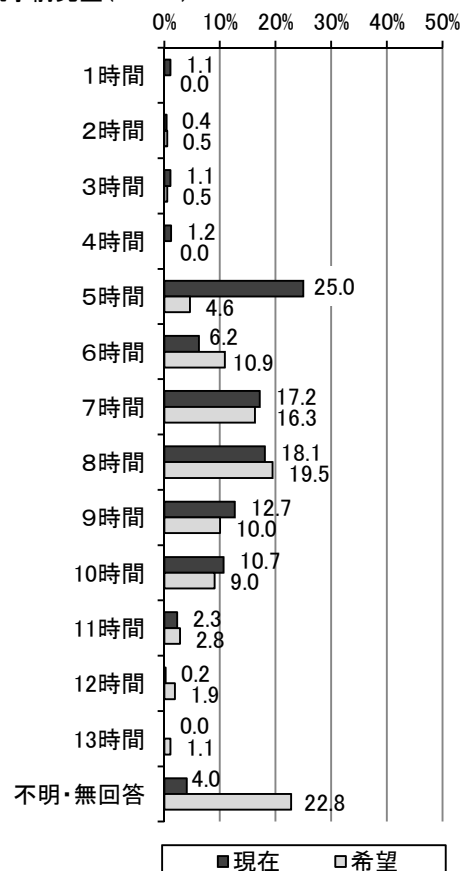
① 1週あたりの利用日数〈数量回答〉

就学前児童(N=569)



② 1日当たりの利用時間〈数量回答〉

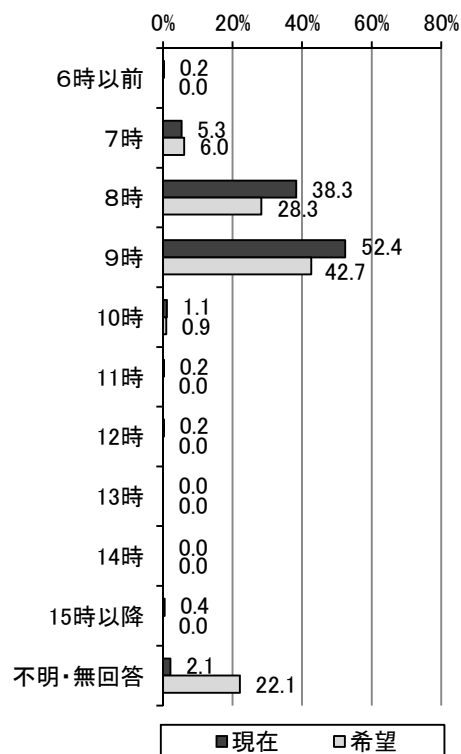
就学前児童(N=569)



利用開始時間では、現在、希望ともに「9時～」が最も高く、それぞれ52.4%、42.7%となっています。また、終了時間では、現在で「～14時」、希望で「～16時」が最も高く、それぞれ29.3%、23.7%となっています。

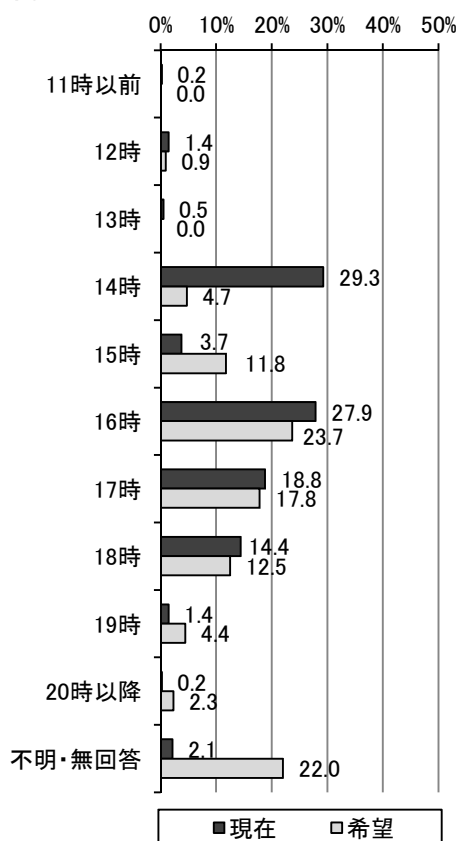
③利用開始時間〈数量回答〉

就学前児童(N=569)



④利用終了時間〈数量回答〉

就学前児童(N=569)

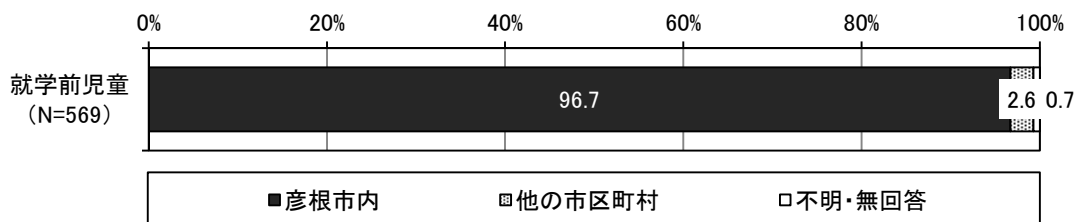


(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 16－3〕

平日、利用している教育・保育事業の実施場所についてみると、「彦根市内」が96.7%となっています。



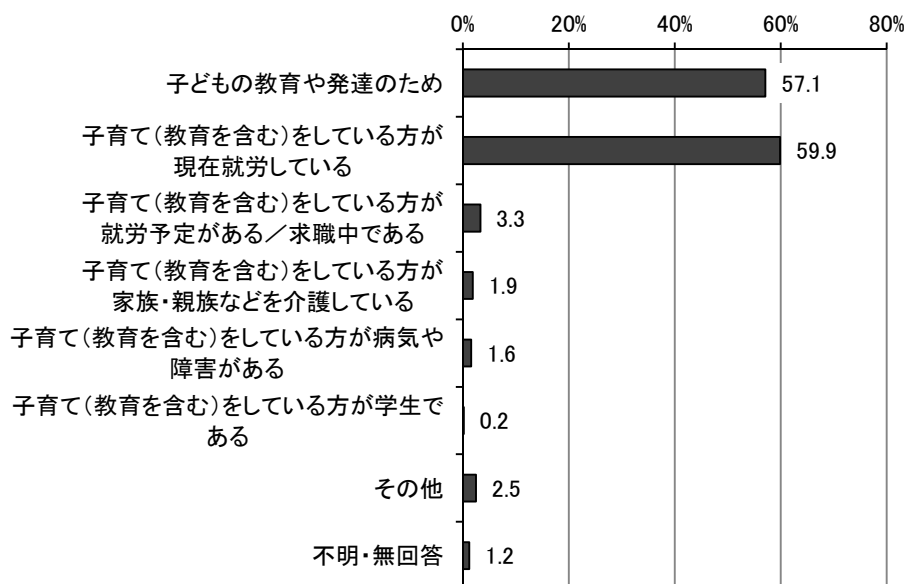
(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－4 平日、教育・保育事業を利用している主な理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 16－4〕

平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてみると、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が59.9%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が57.1%となっています。

就学前児童 (N=569)



問 16-4 × 平日に利用している教育・保育事業別

平日に利用している教育・保育事業別でみると、〔幼稚園〕〔幼稚園の預かり保育〕〔ファミリー・サポート・センター〕〔その他〕では「子どもの教育や発達のため」の割合が最も高く、〔認可保育所〕〔事業所内保育施設〕〔その他の認可外の保育施設〕〔一時預かり〕では「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」の割合が最も高くなっています。

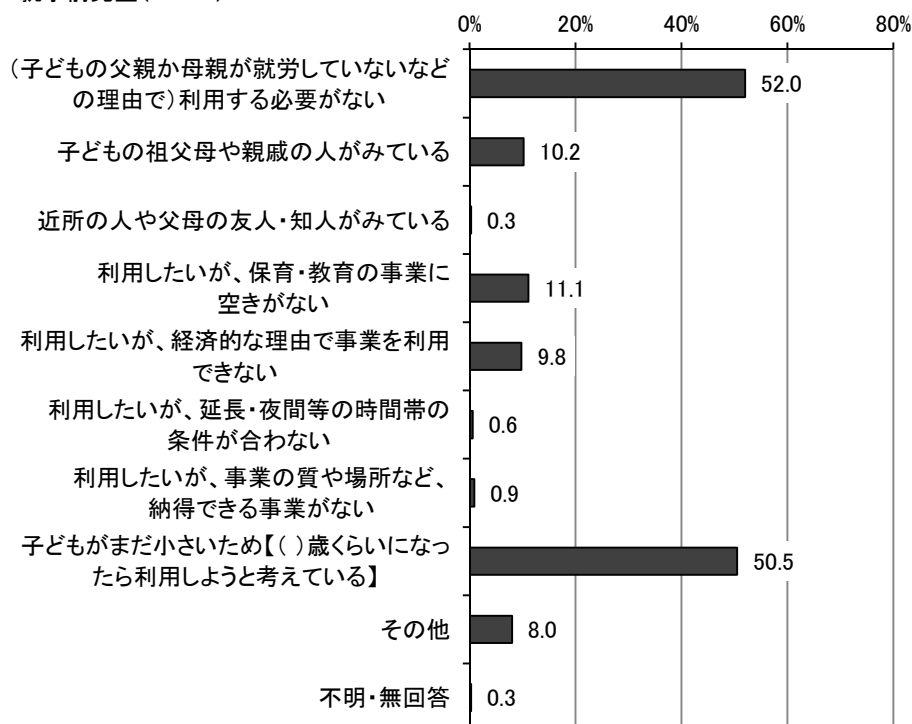
上段：度数 下段：%	合計	子どもの教育 や発達のため	子育て（教育 を含む）を している方が 現在就労して いる	子育て（教育 を含む）を している方が 就労予定があ る／求職中で ある	子育て（教育 を含む）を している方が 家族・親族な どを介護して いる	子育て（教育 を含む）を している方が 病気や障害が ある	子育て（教育 を含む）を している方が 学生である	その他	不明・無回答
合計	569 100.0	325 57.1	341 59.9	19 3.3	11 1.9	9 1.6	1 0.2	14 2.5	7 1.2
幼稚園	174 100.0	168 96.6	11 6.3	2 1.1	1 0.6	0 0.0	0 0.0	2 1.1	3 1.7
幼稚園の預かり保育	14 100.0	12 85.7	4 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3
認可保育所	326 100.0	124 38.0	290 89.0	16 4.9	7 2.1	7 2.1	1 0.3	5 1.5	2 0.6
他市町の認定こども園	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
家庭的保育 （保育ママ）	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
事業所内保育施設	20 100.0	4 20.0	18 90.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0	0 0.0
その他の認可外の 保育施設	14 100.0	5 35.7	8 57.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 21.4	1 7.1
居宅訪問型保育	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ファミリー・サポ ート・センター	4 100.0	3 75.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
一時預かり	8 100.0	3 37.5	4 50.0	0 0.0	2 25.0	2 25.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0
その他	11 100.0	8 72.7	5 45.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

（１）で「利用していない」を選んだ方

（１）－５ 利用していない理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 16－5〕

利用していない理由についてみると、「（子どもの父親か母親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない」が 52.0%で最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため【（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている】」が 50.5%となっています。また、【（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている】かについて、利用しようとしている年齢では「3歳」が 56.7%と最も高くなっています。

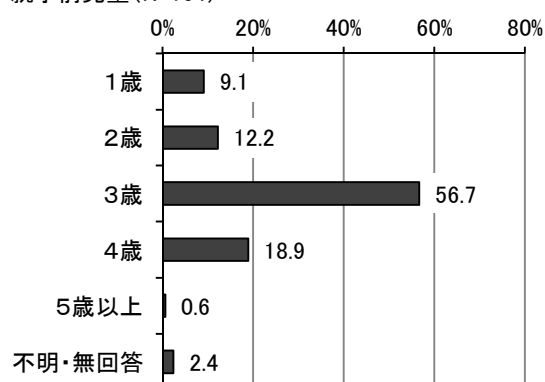
就学前児童（N=325）



◎利用したい時の子どもの年齢〈数量回答〉

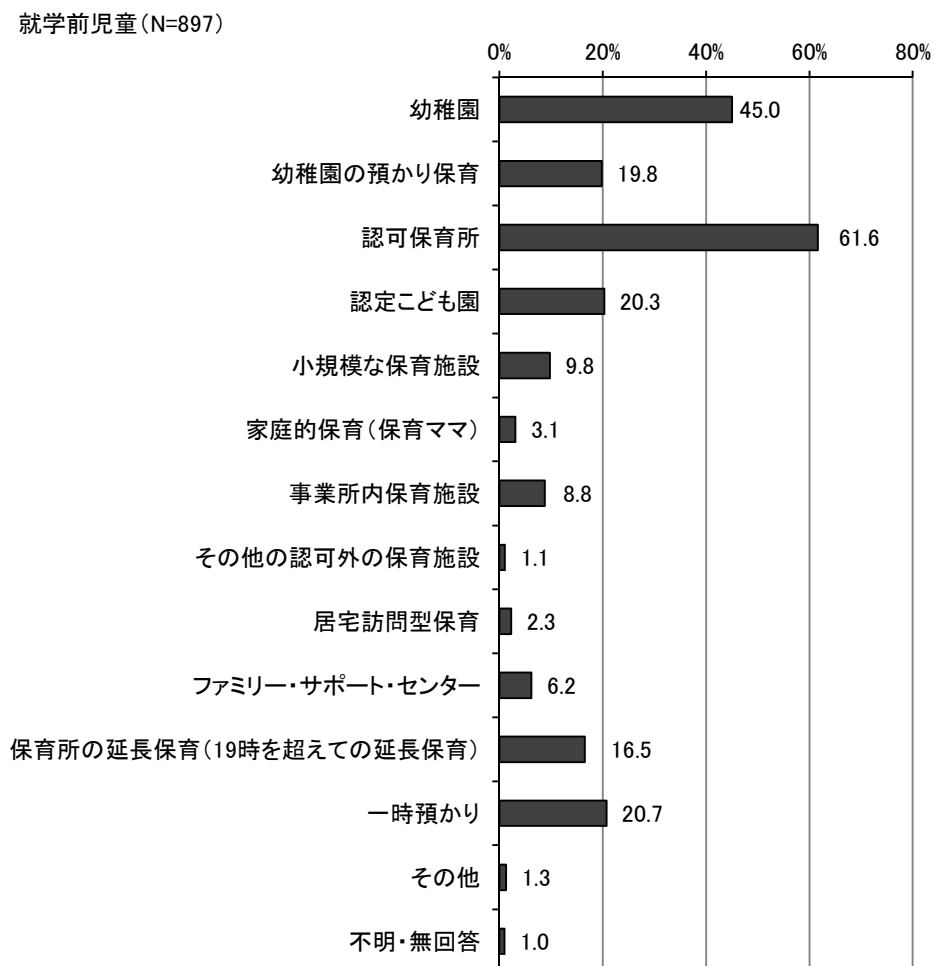
《「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている」を選んだ方》

就学前児童（N=164）



**(2) 現在の利用の有無にかかわらず、今後、平日の教育・保育事業として「定期的に」
利用したいと考える事業〈複数回答〉**〔就学前児童調査…問 17〕

平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業でみると、「認可保育所」が61.6%と最も高く、次いで「幼稚園」が45.0%、「一時預かり」が20.7%となっています。



問 17 × 地区別

地区別でみると、〔城北〕〔稲枝東〕を除くすべての地区で「認可保育所」の割合が最も高くなっています。

上段：度数 下段：%	合計	幼稚園	幼稚園の 預かり 保育	認可 保育所	認定 こども園	小規模な 保育施設	家庭的 保育 (保育マ マ)	事業所内 保育施設	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問 型保育	ファミ リー・ サポー ト・ センタ―	保育所の 延長保育 (19時を 超えての 延長保 育)	一時 預かり	その他	不明・ 無回答
合計	897 100.0	404 45.0	178 19.8	553 61.6	182 20.3	88 9.8	28 3.1	79 8.8	10 1.1	21 2.3	56 6.2	148 16.5	186 20.7	12 1.3	9 1.0
城東	39 100.0	15 38.5	9 23.1	28 71.8	8 20.5	5 12.8	1 2.6	3 7.7	0 0.0	1 2.6	2 5.1	11 28.2	7 17.9	0 0.0	0 0.0
城西	58 100.0	22 37.9	10 17.2	35 60.3	8 13.8	8 13.8	4 6.9	5 8.6	0 0.0	1 1.7	3 5.2	11 19.0	12 20.7	1 1.7	1 1.7
城南	120 100.0	53 44.2	22 18.3	70 58.3	23 19.2	8 6.7	2 1.7	12 10.0	2 1.7	2 1.7	8 6.7	19 15.8	23 19.2	4 3.3	1 0.8
平田	25 100.0	12 48.0	5 20.0	16 64.0	4 16.0	2 8.0	1 4.0	2 8.0	0 0.0	1 4.0	1 4.0	2 8.0	5 20.0	0 0.0	0 0.0
城北	49 100.0	27 55.1	15 30.6	25 51.0	17 34.7	6 12.2	2 4.1	5 10.2	1 2.0	3 6.1	5 10.2	7 14.3	9 18.4	1 2.0	0 0.0
佐和山	86 100.0	47 54.7	16 18.6	49 57.0	18 20.9	8 9.3	2 2.3	6 7.0	3 3.5	0 0.0	7 8.1	9 10.5	20 23.3	0 0.0	1 1.2
旭森	105 100.0	43 41.0	17 16.2	71 67.6	23 21.9	8 7.6	1 1.0	11 10.5	0 0.0	1 1.0	5 4.8	15 14.3	21 20.0	3 2.9	2 1.9
城陽	31 100.0	10 32.3	7 22.6	24 77.4	4 12.9	2 6.5	0 0.0	2 6.5	0 0.0	0 0.0	2 6.5	10 32.3	5 16.1	0 0.0	0 0.0
若葉	31 100.0	12 38.7	8 25.8	18 58.1	4 12.9	2 6.5	0 0.0	2 6.5	0 0.0	0 0.0	1 3.2	6 19.4	10 32.3	0 0.0	0 0.0
金城	81 100.0	43 53.1	21 25.9	51 63.0	17 21.0	9 11.1	2 2.5	9 11.1	0 0.0	4 4.9	6 7.4	8 9.9	20 24.7	1 1.2	0 0.0
鳥居本	9 100.0	4 44.4	2 22.2	6 66.7	2 22.2	1 11.1	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0	2 22.2	4 44.4	3 33.3	0 0.0	0 0.0
河瀬	63 100.0	23 36.5	8 12.7	44 69.8	14 22.2	9 14.3	6 9.5	7 11.1	1 1.6	1 1.6	5 7.9	15 23.8	20 31.7	1 1.6	1 1.6
亀山	25 100.0	8 32.0	6 24.0	16 64.0	7 28.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 20.0	4 16.0	0 0.0	0 0.0
高宮	74 100.0	40 54.1	15 20.3	42 56.8	18 24.3	8 10.8	5 6.8	7 9.5	1 1.4	4 5.4	3 4.1	12 16.2	9 12.2	1 1.4	2 2.7
稲枝東	58 100.0	30 51.7	13 22.4	30 51.7	8 13.8	10 17.2	1 1.7	4 6.9	1 1.7	1 1.7	4 6.9	10 17.2	10 17.2	0 0.0	0 0.0
稲枝西	17 100.0	5 29.4	2 11.8	10 58.8	1 5.9	1 5.9	1 5.9	0 0.0	0 0.0	1 5.9	1 5.9	1 5.9	3 17.6	0 0.0	1 5.9
稲枝北	16 100.0	6 37.5	2 12.5	13 81.3	5 31.3	0 0.0	0 0.0	2 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 18.8	3 18.8	0 0.0	0 0.0
わからない	5 100.0	2 40.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0

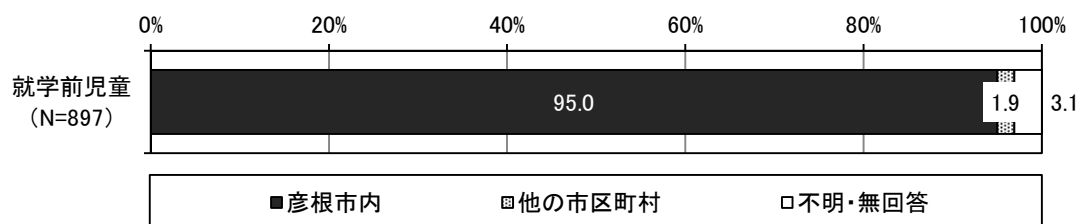
問 17 × 年齢別

年齢別でみると、すべての年齢で「認可保育所」の割合が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園の 預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な 保育施設	家庭的保育 (保育ママ)	事業所内 保育施設
合計	897 100.0	404 45.0	178 19.8	553 61.6	182 20.3	88 9.8	28 3.1	79 8.8
0 歳	87 100.0	43 49.4	10 11.5	57 65.5	17 19.5	11 12.6	5 5.7	9 10.3
1 歳	143 100.0	65 45.5	26 18.2	94 65.7	45 31.5	31 21.7	4 2.8	30 21.0
2 歳	152 100.0	68 44.7	29 19.1	102 67.1	40 26.3	24 15.8	7 4.6	13 8.6
3 歳	141 100.0	61 43.3	33 23.4	92 65.2	27 19.1	10 7.1	4 2.8	10 7.1
4 歳	155 100.0	69 44.5	34 21.9	86 55.5	21 13.5	6 3.9	3 1.9	8 5.2
5 歳	132 100.0	63 47.7	28 21.2	71 53.8	19 14.4	4 3.0	4 3.0	6 4.5
6 歳	69 100.0	28 40.6	14 20.3	41 59.4	11 15.9	0 0.0	1 1.4	2 2.9
上段:度数 下段:%	合計	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問型 保育	ファミリー・ サポート・ センター	保育所の延長 保育(19時を 超えての延長 保育)	一時預かり	その他	不明・無回答
合計	897 100.0	10 1.1	21 2.3	56 6.2	148 16.5	186 20.7	12 1.3	9 1.0
0 歳	87 100.0	0 0.0	2 2.3	6 6.9	15 17.2	19 21.8	2 2.3	1 1.1
1 歳	143 100.0	5 3.5	5 3.5	11 7.7	33 23.1	34 23.8	4 2.8	4 2.8
2 歳	152 100.0	4 2.6	2 1.3	10 6.6	24 15.8	44 28.9	1 0.7	1 0.7
3 歳	141 100.0	1 0.7	3 2.1	5 3.5	21 14.9	24 17.0	1 0.7	0 0.0
4 歳	155 100.0	0 0.0	6 3.9	10 6.5	23 14.8	31 20.0	2 1.3	0 0.0
5 歳	132 100.0	0 0.0	1 0.8	6 4.5	19 14.4	19 14.4	1 0.8	1 0.8
6 歳	69 100.0	0 0.0	2 2.9	6 8.7	10 14.5	12 17.4	1 1.4	2 2.9

（２）－１ 教育・保育事業を利用したい場所〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 17-1〕

教育・保育事業を利用したい場所についてみると、「彦根市内」が95.0%となっています。



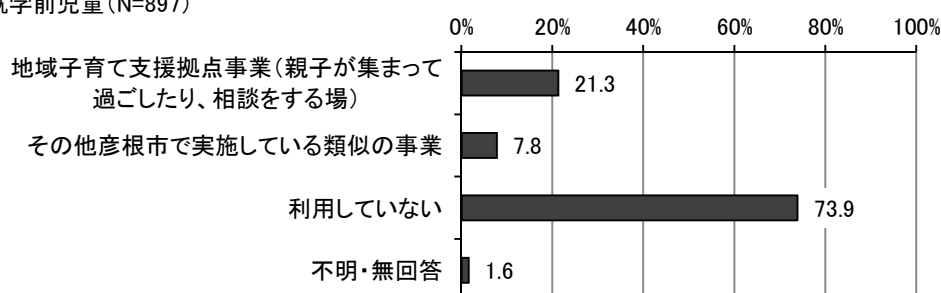
5 地域の子育て支援事業の利用状況について

（１）現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 18〕

地域子育て支援拠点事業の利用状況についてみると、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」が 21.3%、「その他彦根市で実施している類似の事業」が 7.8%となっています。一方、「利用していない」は 73.9%となっています。

また、1 週当たりの利用回数では、『地域子育て支援拠点事業』、『その他彦根市で実施している類似の事業』ともに「1 回」の割合が高くなっています。1 ヶ月当たりの利用回数でも、『地域子育て支援拠点事業』、『その他、彦根市で実施している類似の事業』で「1 回」の割合が高くなっています。

就学前児童 (N=897)

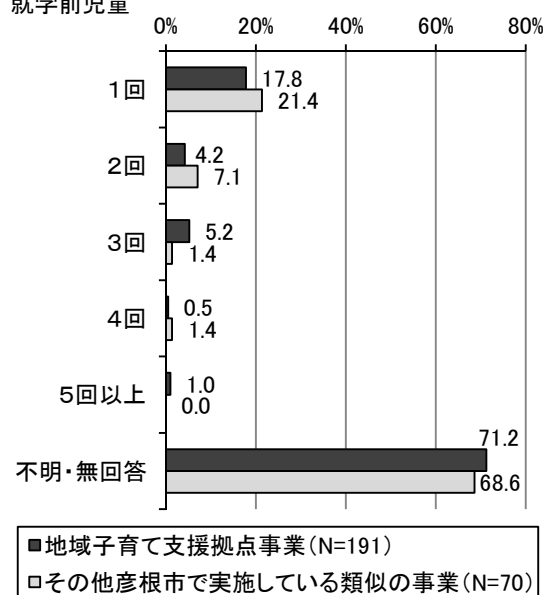


◎ 1 週当たりもしくは 1 ヶ月当たりの利用回数〈数量回答〉

《「地域子育て支援拠点事業」「その他、彦根市で実施している類似の事業」を選んだ方》

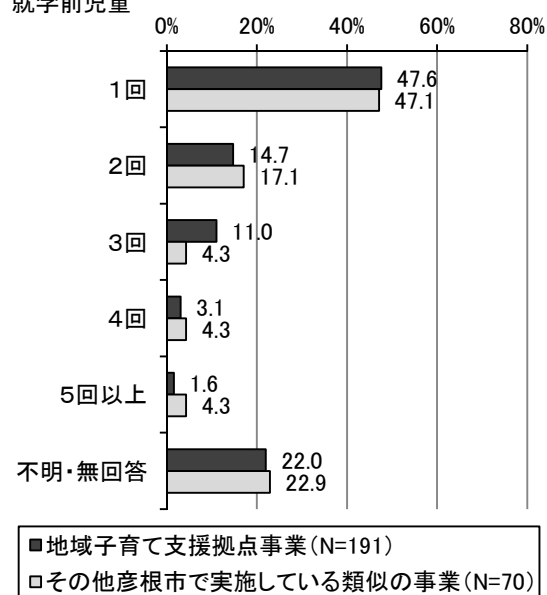
■ 1 週当たりの利用回数

就学前児童



■ 1 ヶ月当たりの利用回数

就学前児童

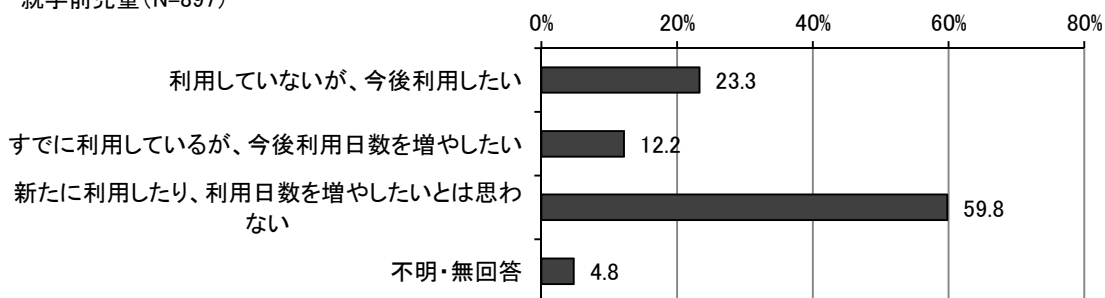


（２）地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 19〕

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向についてみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が59.8%と最も高くなっています。

また、1週当たりの利用希望回数では、『利用していないが、今後利用したい』、『すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい』とともに「1回」の割合が最も高くなっています。1ヶ月当たりの利用希望回数では、『利用していないが、今後利用したい』で「1回」、『すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい』で「2回」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

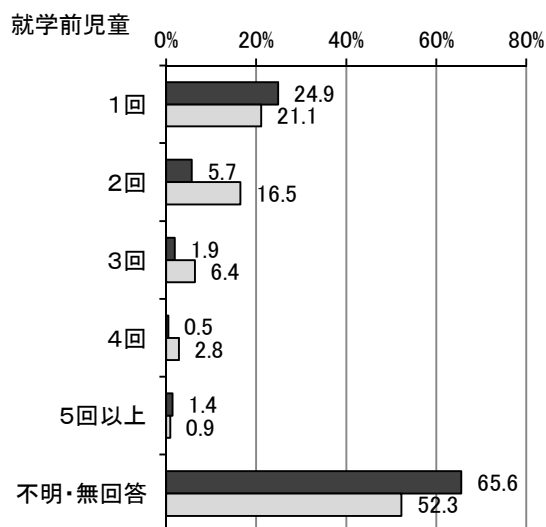
就学前児童(N=897)



◎ 1週当たりもしくは1ヶ月当たりの利用希望回数〈数量回答〉

《「利用していないが、今後利用したい」、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選んだ方》

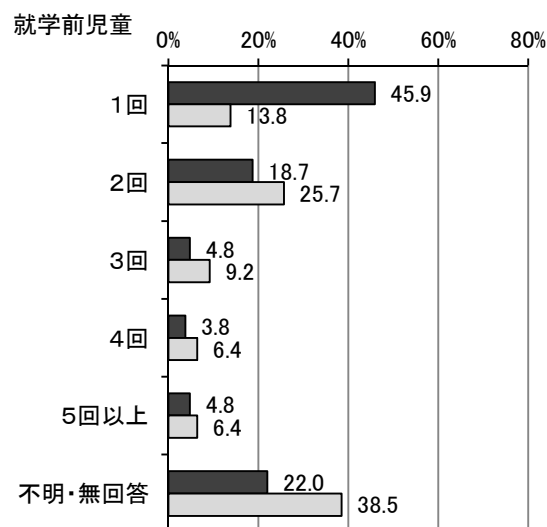
■ 1週当たりの利用希望回数



■ 利用していないが、今後利用したい(N=209)

□すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい(N=109)

■ 1ヶ月当たりの利用希望回数



■ 利用していないが、今後利用したい(N=209)

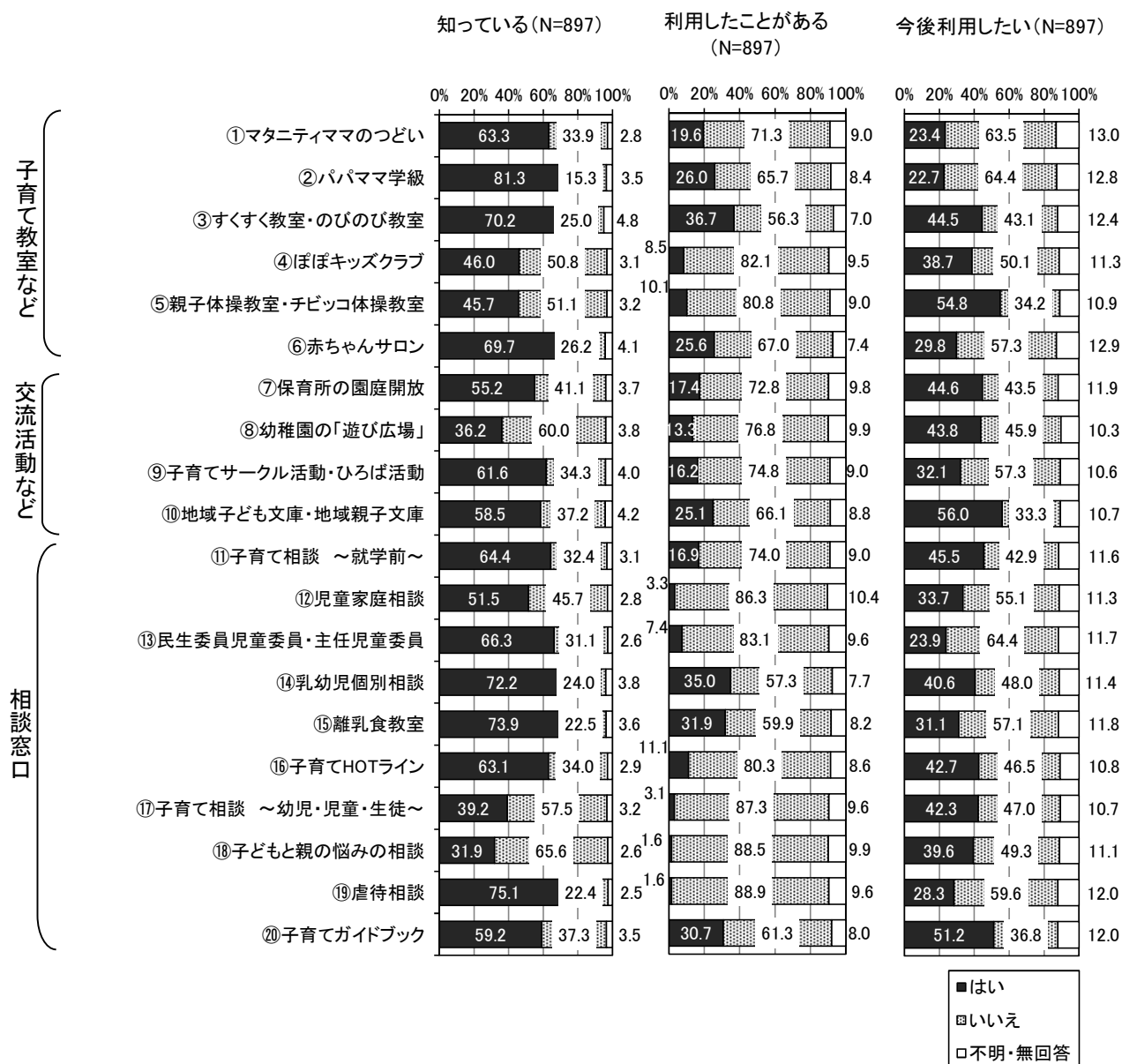
□すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい(N=109)

（３）子育て支援サービスの認知度、利用度、利用希望〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 20〕

子育て支援サービスの認知度、利用度、利用希望についてみると、認知度【知っている】では、「はい」で『パパママ学級』が81.3%、『虐待相談』が75.1%、『離乳食教室』が73.9%となっています。

利用度【利用したことがある】では、「はい」で『すくすく教室・のびのび教室』36.7%、『乳幼児個別相談』が35.0%、『離乳食教室』が31.9%となっています。

利用希望【今後利用したい】では、「はい」で『地域子ども文庫・地域親子文庫』が56.0%、『親子体操教室・チビッコ体操教室』が54.8%、『子育てガイドブック』が51.2%となっています。



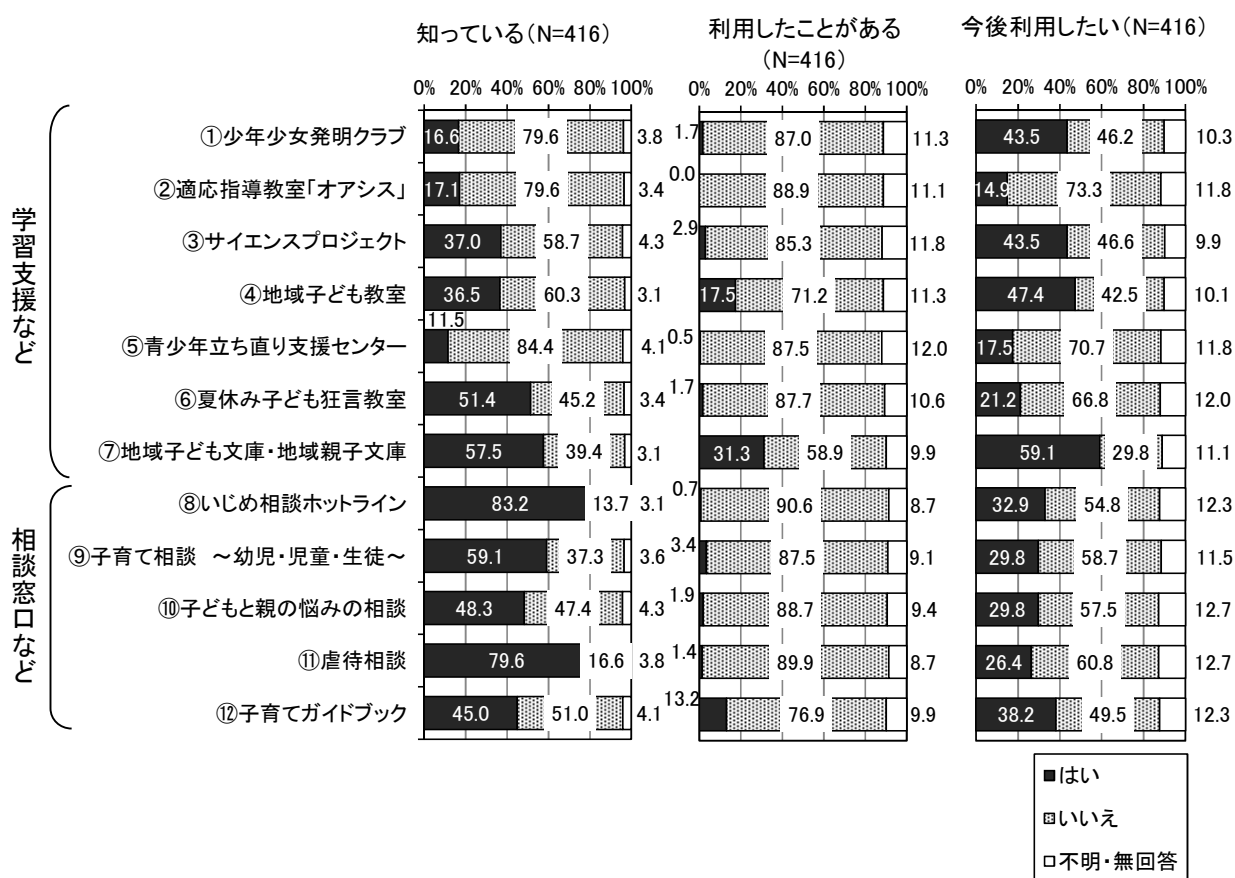
(4) 学習支援・子育て支援サービスの認知度、利用度、利用希望〈単数回答〉

〔小学生児童調査…問 24〕

学習支援・子育て支援サービスの認知度、利用度、利用希望についてみると、認知度【知っている】では、「はい」で『いじめ相談ホットライン』が83.2%、『虐待相談』79.6%、『子育て相談 ～幼児・児童・生徒～』が59.1%となっています。

利用度【利用したことがある】では、「はい」で『地域子ども文庫・地域親子文庫』が31.3%となっています。

利用希望【今後利用したい】では、「はい」で『地域子ども文庫・地域親子文庫』が59.1%、『地域子ども教室』が47.4%、『少年少女発明クラブ』『サイエンスプロジェクト』が43.5%となっています。



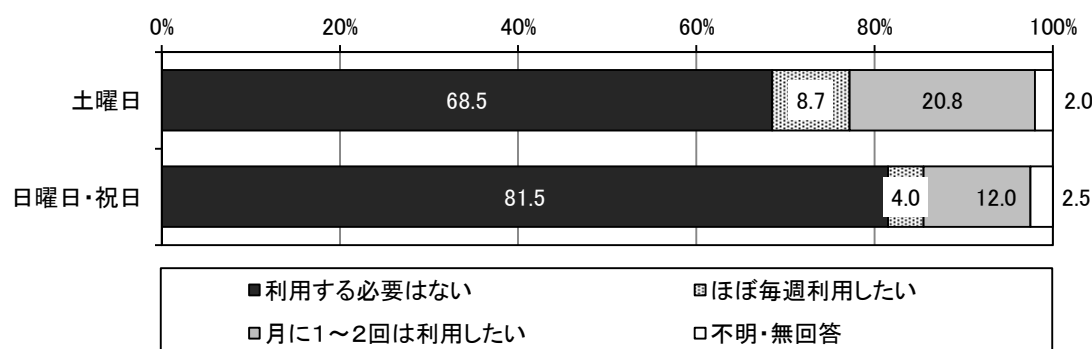
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について（就学前児童）

（１）土曜日と日曜日・祝日の、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除く）〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 21〕

土曜日と日曜日・祝日の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてみると、利用希望では、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」が最も高く、それぞれ 68.5%、81.5%となっています。一方、『利用したい』（「ほぼ毎週利用したい」と「月に 1～2 回は利用したい」の合計）意向がある方は土曜日で 29.5%、日曜・祝日で 16.0%となっています。

利用開始時間では、土曜日、日曜日・祝日ともに「9 時～」が最も高く、それぞれ 48.7%、38.9%となっています。また、終了時間では、土曜日で「17 時」、日曜日・祝日で「18 時」が最も高く、それぞれ 27.5%、30.6%となっています。

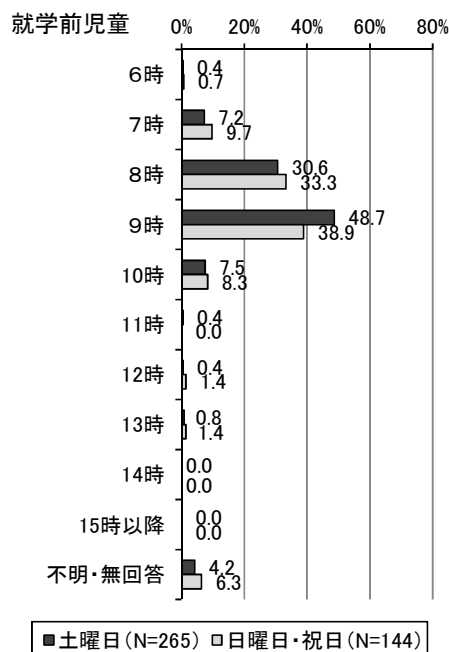
就学前児童（N=897）



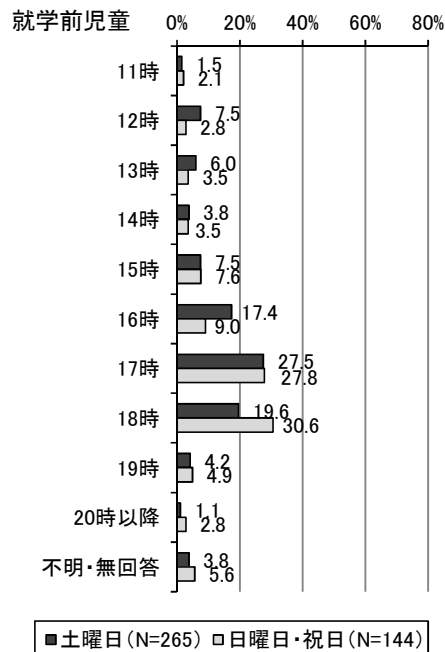
*「教育・保育事業」とは、保育所、幼稚園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

◎希望する利用時間帯〈数量回答〉《「ほぼ毎週利用したい」「月に 1～2 回は利用したい」を選んだ方》

■ 開始時間



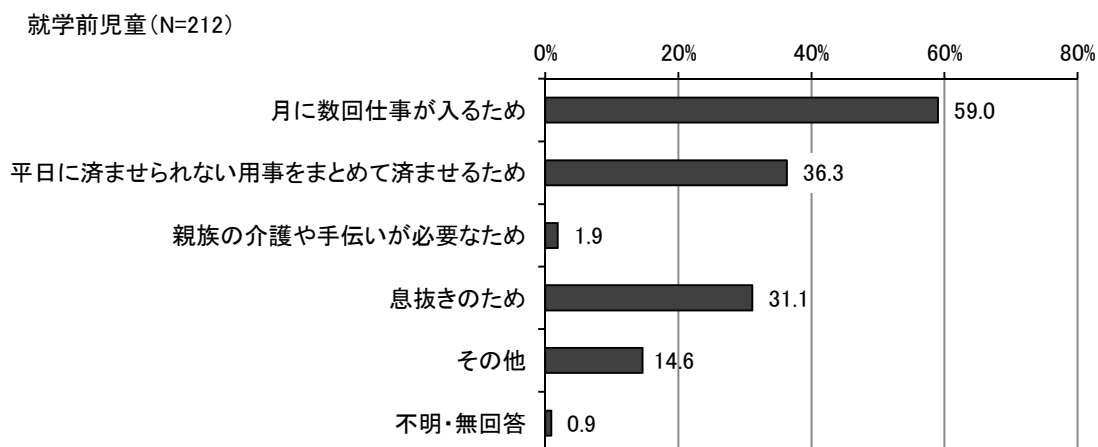
■ 終了時間



(1) で「月に1～2回は利用したい」を選んだ方

(1)－1 毎週ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 21－1〕

毎週ではなく、たまに利用したい方の理由についてみると、「月に数回仕事が入るため」が59.0%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が36.3%、「息抜きのため」が31.1%となっています。



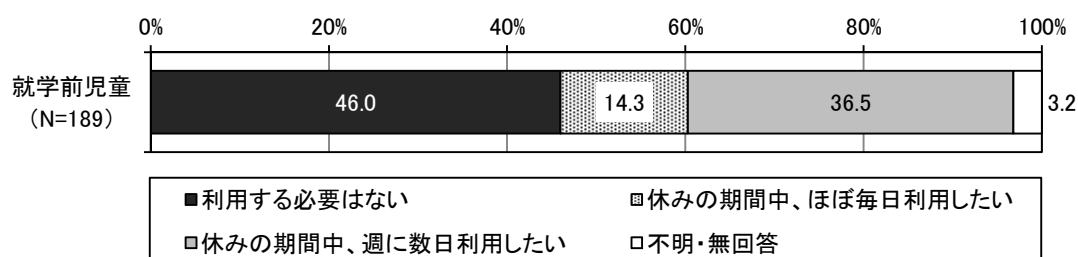
「幼稚園」を利用されている方

（２）夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 22〕

夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望についてみると、利用希望では、「利用する必要はない」が46.0%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が36.5%となっています。一方、『利用したい』（「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と「休みの期間中、週に数日利用したい」の合計）意向がある方は50.8%となっています。

利用開始時間では、「9時」が83.3%と最も高くなっています。また、終了時間では、「15時」が32.3%と最も高く、次いで「14時」が29.2%となっています。

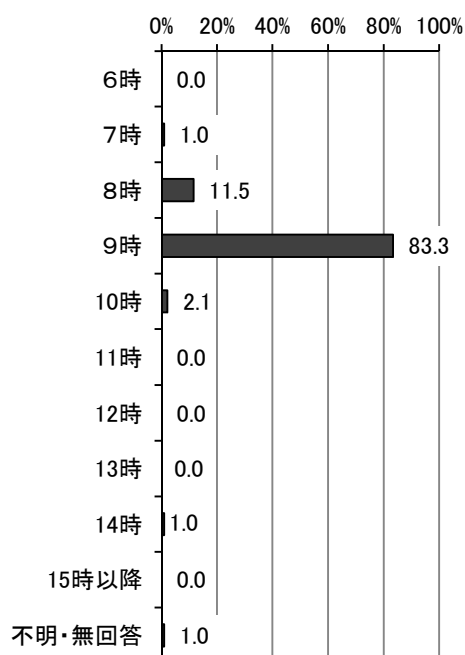


◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方》

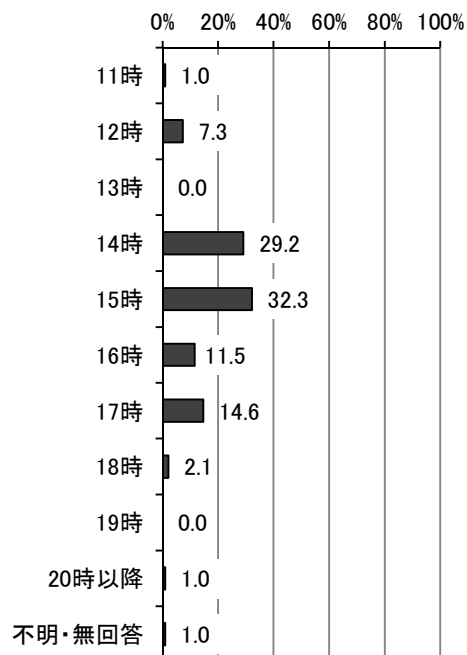
■開始時間

就学前児童 (N=96)



■終了時間

就学前児童 (N=96)

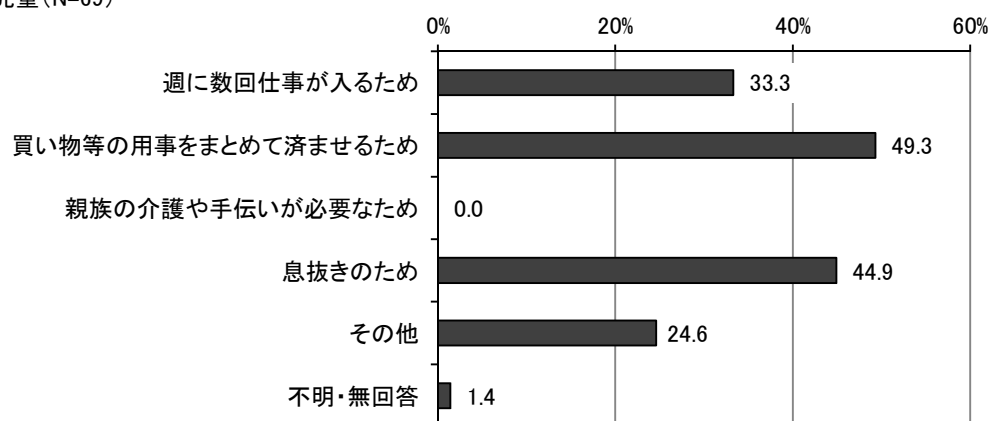


(2)で「休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方

(2)－1 毎日ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 22－1〕

毎日ではなく、たまに利用したい理由についてみると、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 49.3%と最も高く、次いで「息抜きのため」が 44.9%、「週に数回仕事が入るため」が 33.3%となっています。

就学前児童 (N=69)

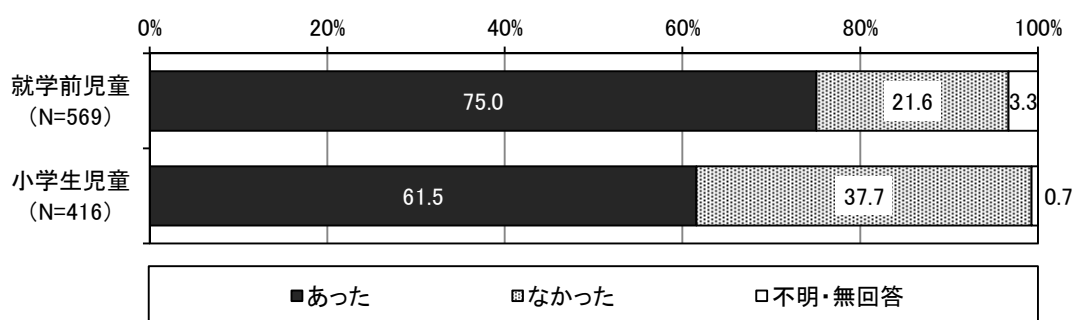


7 病気の際の対応について

就学前児童調査で、平日、幼稚園や保育園などの定期的な教育・保育事業の利用状況で「利用している」を選ばれた方

(1) この1年間に、子どもが病気やケガで通常の利用ができなくなったことの有無〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 23・小学生児童調査…問 22〕

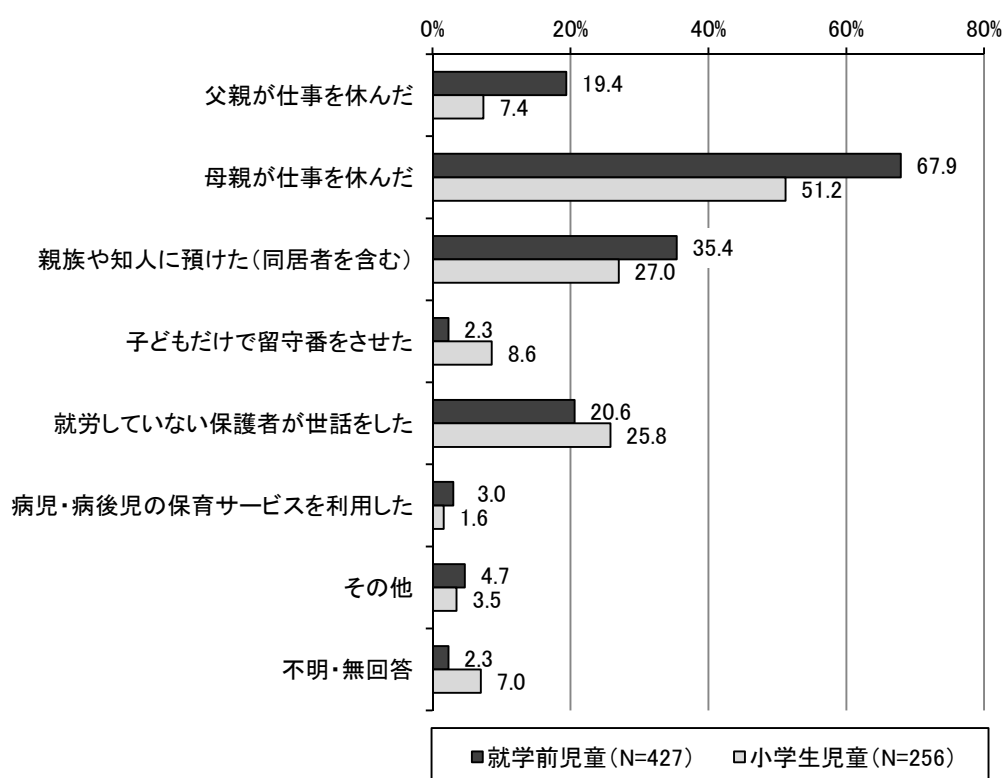
病気やケガで通常の利用ができなくなったことの有無についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「あった」がそれぞれ 75.0%、61.5%と高く、小学生児童より就学前児童の方が「あった」が高くなっています。



(1) - 1 子どもが病気やけがで普段利用している施設や事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 23-1・小学生児童調査…問 22-1〕

子どもが病気やけがで普段利用している施設や事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「母親が仕事を休んだ」がそれぞれ67.9%、51.2%と最も高く、次いで「親族や知人に預けた（同居者を含む）」がそれぞれ35.4%、27.0%となっています。

また、子どもが病気やケガの際の各対処日数については、就学前児童で「母親が仕事を休んだ」、「親族や知人に預けた（同居者を含む）」、「就労していない保護者が世話をした」では『10日以上』の割合がそれぞれ高く、小学生児童で「母親が仕事を休んだ」、「親族や知人に預けた（同居者を含む）」では『2日』の割合がそれぞれ高くなっています。



◎子どもが病気やケガの際の各対処日数〈数量回答〉

【就学前児童】 対応日数	父親が 仕事を休んだ N=83		母親が 仕事を休んだ N=290		親族や知人に 預けた(同居者 を含む) N=151		子どもだけで 留守番を させた N=10		就労していない 保護者が 世話をした N=88		病児・病後児 の保育サービ スを利用した N=13		その他 N=20	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	26	31.3	35	12.1	26	17.2	4	40.0	12	13.6	4	30.8	1	5.0
2日	19	22.9	40	13.8	27	17.9	2	20.0	9	10.2	0	0.0	2	10.0
3日	15	18.1	35	12.1	20	13.2	2	20.0	11	12.5	3	23.1	5	25.0
4日	1	1.2	11	3.8	10	6.6	0	0.0	4	4.5	2	15.4	1	5.0
5日	11	13.3	44	15.2	21	13.9	1	10.0	13	14.8	0	0.0	1	5.0
6日	2	2.4	9	3.1	1	0.7	0	0.0	4	4.5	0	0.0	0	0.0
7日	1	1.2	14	4.8	4	2.6	1	10.0	3	3.4	0	0.0	1	5.0
8日	1	1.2	4	1.4	3	2.0	0	0.0	2	2.3	0	0.0	1	5.0
9日	0	0.0	1	0.3	0	0.0	0	0.0	1	1.1	0	0.0	1	5.0
10日以上	4	4.8	83	28.6	29	19.2	0	0.0	22	25.0	4	30.8	4	20.0
不明・無回答	3	3.6	14	4.8	10	6.6	0	0.0	7	8.0	0	0.0	3	15.0

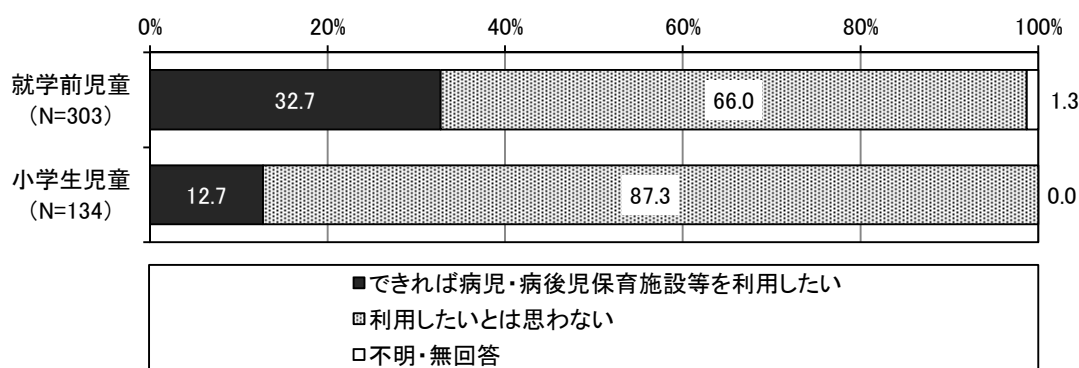
【小学生児童】 対応日数	父親が 仕事を休んだ N=19		母親が 仕事を休んだ N=131		親族や知人に 預けた(同居者 を含む) N=69		子どもだけで 留守番を させた N=22		就労していない 保護者が 世話をした N=66		病児・病後児 の保育サービ スを利用した N=4		その他 N=9	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	8	42.1	32	24.4	18	26.1	13	59.1	11	16.7	1	25.0	1	11.1
2日	8	42.1	40	30.5	24	34.8	4	18.2	11	16.7	2	50.0	2	22.2
3日	1	5.3	19	14.5	15	21.7	3	13.6	9	13.6	1	25.0	1	11.1
4日	0	0.0	2	1.5	1	1.4	0	0.0	7	10.6	0	0.0	0	0.0
5日	1	5.3	17	13.0	5	7.2	1	4.5	7	10.6	0	0.0	1	11.1
6日	0	0.0	1	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	5	3.8	3	4.3	0	0.0	7	10.6	0	0.0	1	11.1
8日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	0	0.0	11	8.4	1	1.4	0	0.0	7	10.6	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	1	5.3	4	3.1	2	2.9	1	4.5	7	10.6	0	0.0	3	33.3

(1) - 1で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選ばれた方

(1) - 2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 23-2・小学生児童調査…問 22-2〕

父親または母親が休んだ方で「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたかについてみると、就学前児童、小学生児童ともに「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」がそれぞれ 32.7%、12.7%、「利用したいとは思わない」がそれぞれ 66.0%、87.3%となっています。

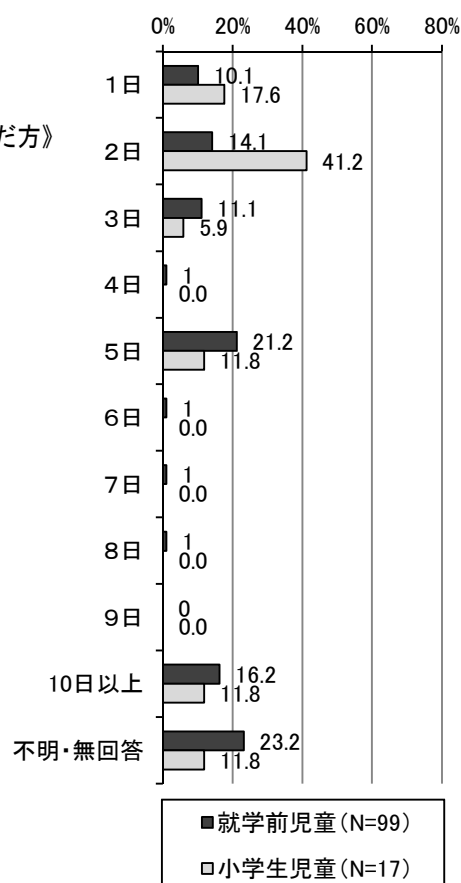
また、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい日数については、就学前児童で「5日」、小学生児童で「2日」がそれぞれ最も高くなっています。



*彦根市では、戸賀町（藤野こどもクリニック内）で実施しています。「病児保育室こあら」保育時間 8：30～18：00（木・土は 8：30～12：30）

◎病児・病後児保育施設等を利用したい方の
日数〈数量回答〉

《「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方》

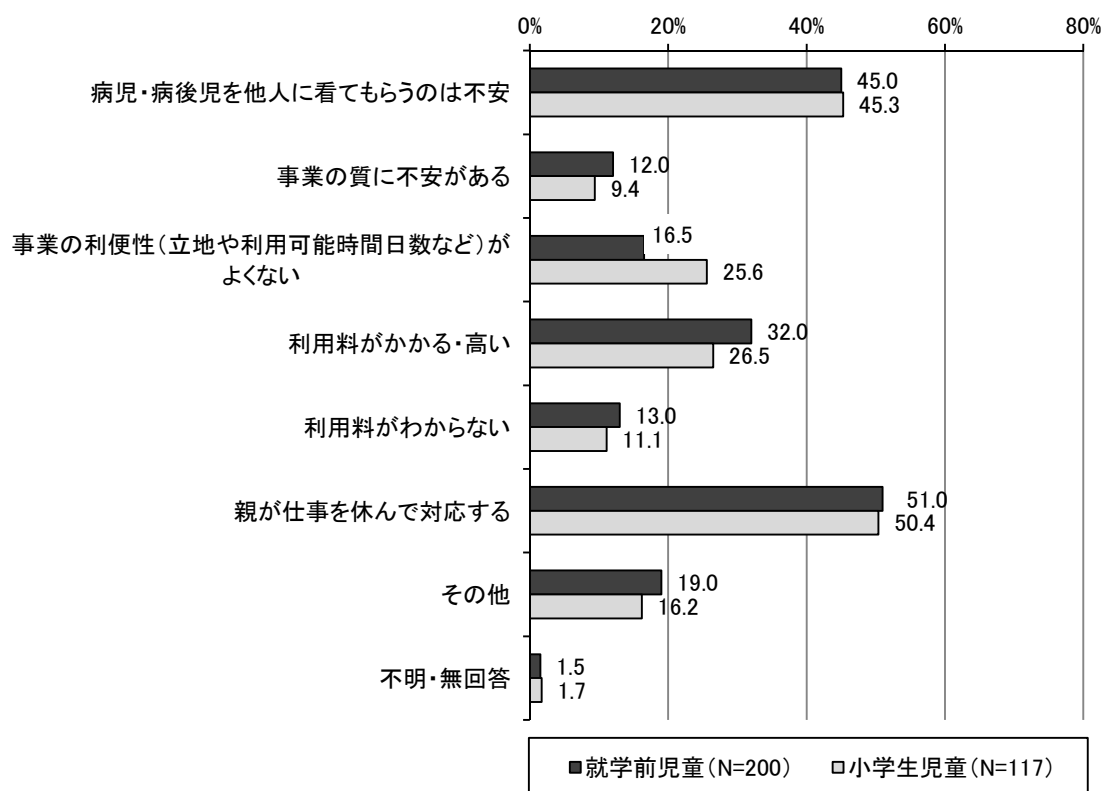


(1) - 2で「利用したいと思わない」を選ばれた方

(1) - 3 利用したいと思わない理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 23-3・小学生児童調査…問 22-3〕

利用したいと思わない理由についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「親が仕事を休んで対応する」がそれぞれ51.0%、50.4%、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」がそれぞれ45.0%、45.3%となっています。

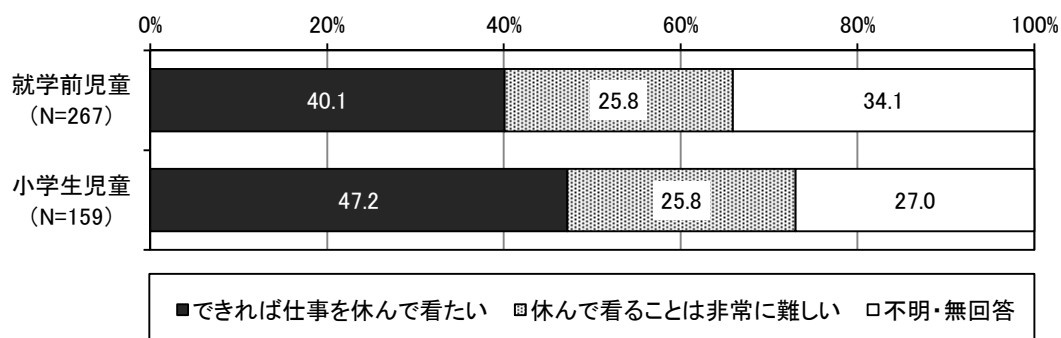


(1)－1で「親族や知人に預けた（同居者を含む）」または「その他」を選ばれた方

(1)－4 その際「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われまし
たか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 23-4・小学生児童調査…問 22-4〕

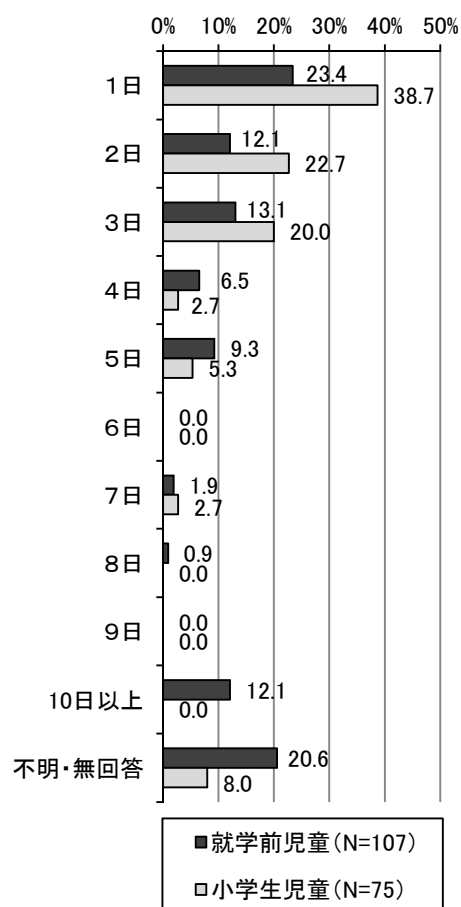
「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたかについてみると、就学前児童、小学生児童ともに「できれば仕事を休んで看たい」がそれぞれ 40.1%、47.2%と最も高くなっています。

また、できれば仕事を休んで看たい日数については、就学前児童、小学生児童ともに「1日」がそれぞれ 23.4%、38.7%と最も高くなっています。



◎仕事を休んで看たい日数〈数量回答〉

《「できれば仕事を休んで看たい」を選んだ方》

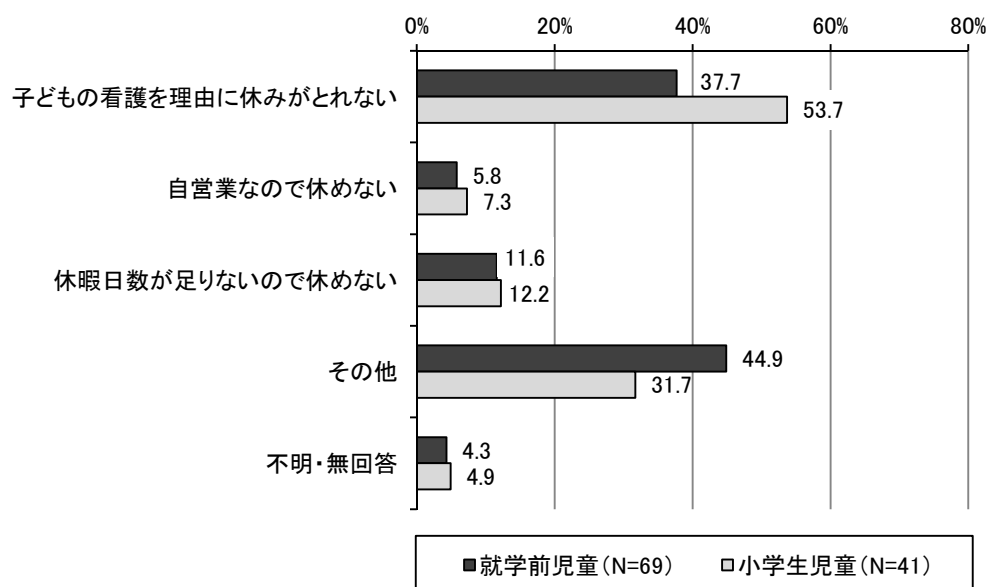


(1) - 4で「休んで看することは非常に難しい」を選ばれた方

(1) - 5 休んで看することは非常に難しいと思われる理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…

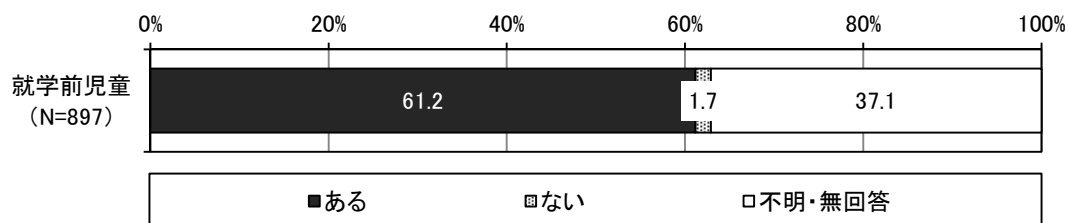
問 23-5・小学生児童調査…問 22-5〕

休んで看することは非常に難しいと思われる理由についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「子どもの看護を理由に休みがとれない」がそれぞれ37.7%、53.7%と最も高くなっています。



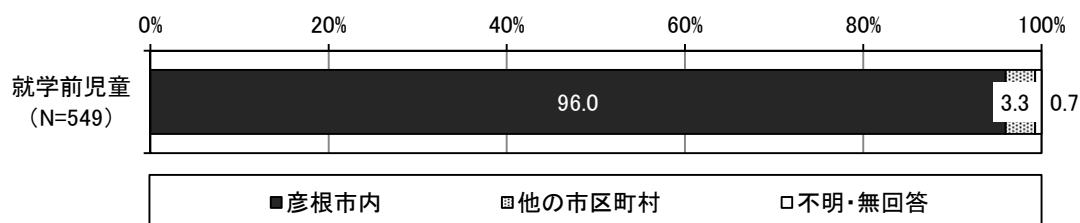
（２）病気やけがをした場合の、かかりつけ医の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 24〕

病気やけがをした場合の、かかりつけ医の有無についてみると、「ある」が61.2%、「ない」が1.7%となっています。



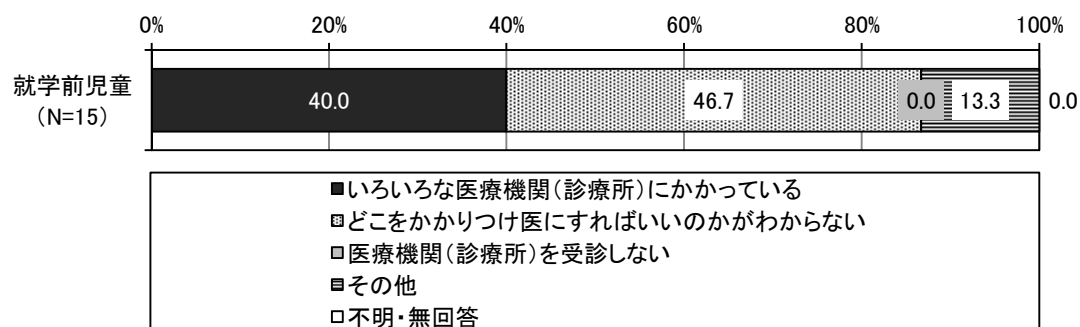
（２）－１ かかりつけ医の所在地〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 24-1〕

かかりつけ医の所在地についてみると、「彦根市内」が96.0%となっています。



（２）－２ かかりつけ医のいない理由〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 24-2〕

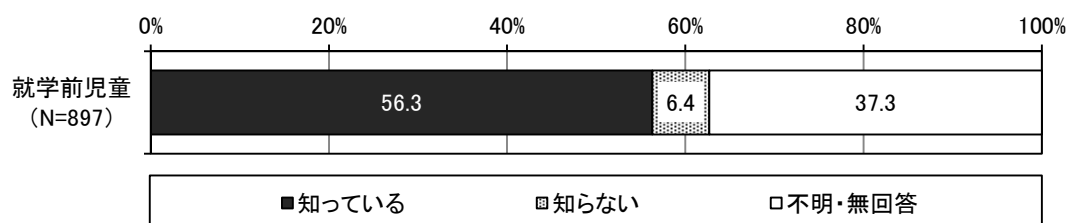
かかりつけ医のいない理由についてみると、「どこをかかりつけ医にすればいいのかわからない」が46.7%と最も高く、次いで「いろいろな医療機関（診療所）にかかっている」が40.0%となっています。



（３）夜間・休日の小児救急電話相談（＃８０００）の認知度〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 25〕

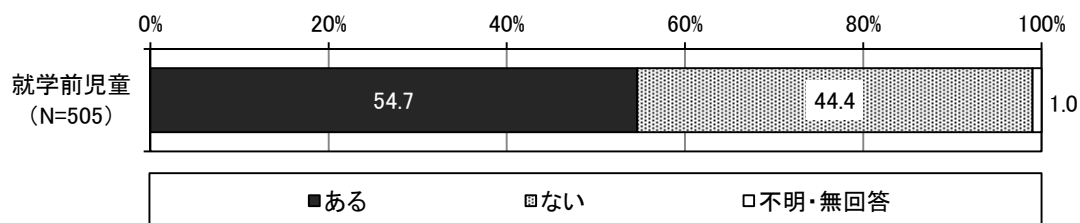
夜間・休日の小児救急電話相談（＃８０００）の認知度についてみると、「知っている」が 56.3%、「知らない」が 6.4%となっています。



（３）－１ 小児救急電話相談（＃８０００）を利用の有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 25-1〕

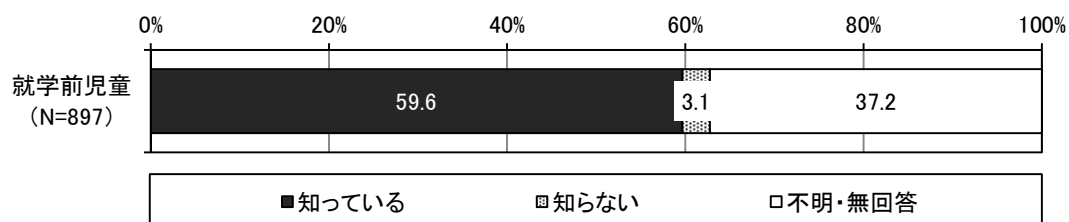
小児救急電話相談（＃８０００）を利用の有無についてみると、「ある」が 54.7%、「ない」が 44.4%となっています。



（４）日曜・祝日・年末年始に開設している彦根休日急病診療所の認知度〈単数回答〉

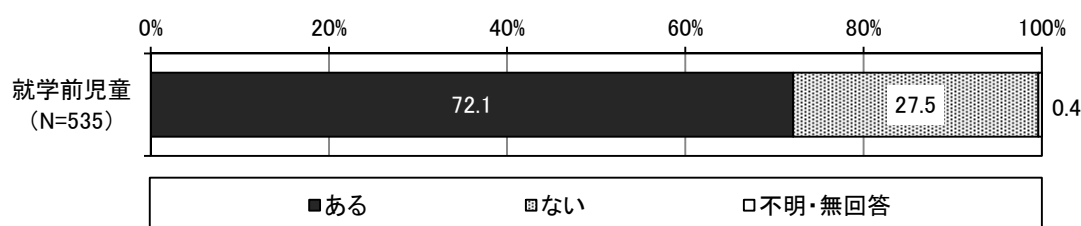
〔就学前児童調査…問 26〕

日曜・祝日・年末年始に開設している彦根休日急病診療所の認知度についてみると、「知っている」が59.6%、「知らない」が3.1%となっています。



（４）－１ 彦根休日急病診療所を利用の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 26-1〕

彦根休日急病診療所を利用の有無についてみると、「ある」が72.1%、「ない」が27.5%となっています。



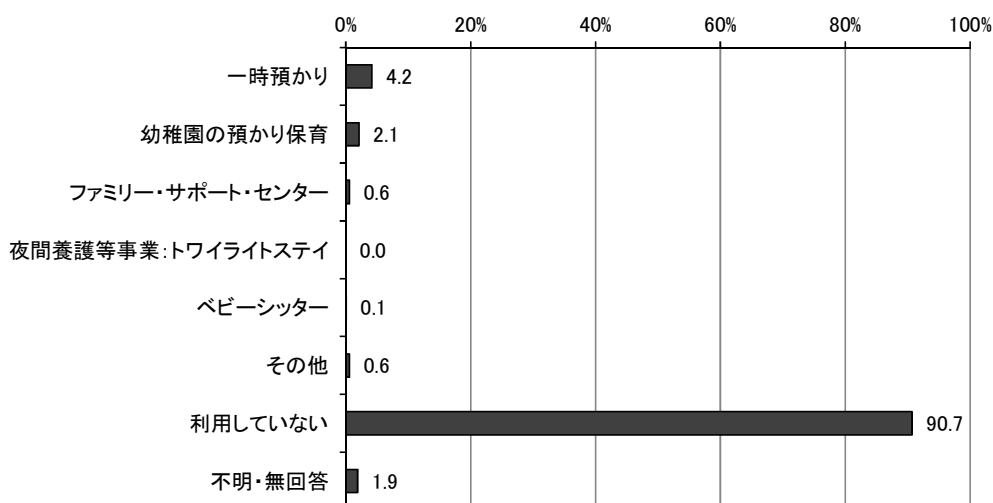
8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

（１）リフレッシュ、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業〈複数回答〉〔就学前児童用調査票…問 27〕

不定期に利用している事業についてみると、「一時預かり」が 4.2%、「幼稚園の預かり保育」が 2.1%となっています。また、「利用していない」が 90.7%となっています。

利用している事業の１年間の利用日数では、「一時預かり」で『１日』が 21.1%、〔幼稚園の預かり保育〕で『７日』、『１０～１９日』がそれぞれ 21.1%となっています。

就学前児童 (N=897)



◎ １年間の利用日数 〈数量回答〉

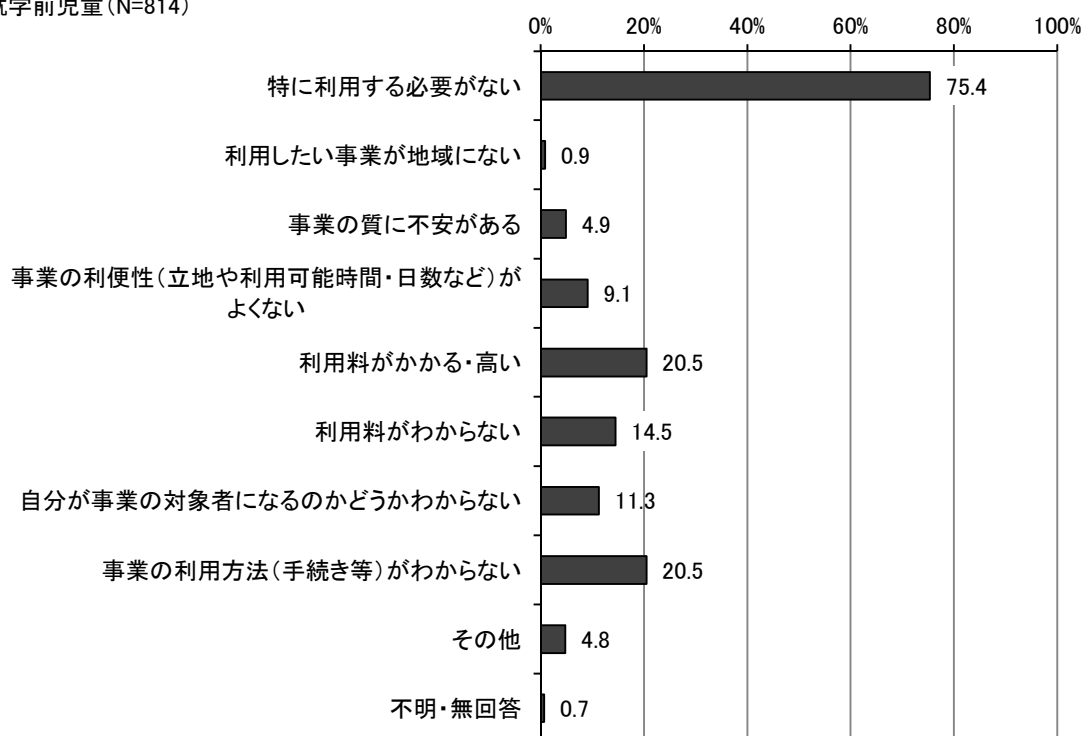
【就学前児童】 利用日数	一時預かり N=38		幼稚園の 預かり保育 N=19		ファミリー・ サポート・ センター N=5		夜間養護等 事業・トワイ ライトステイ N=0		ベビーシッター N=1		その他 N=5	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	8	21.1	1	5.3	0	0.0	0	0.0	1	100.0	2	40.0
2日	6	15.8	3	15.8	2	40.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3日	2	5.3	2	10.5	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4日	3	7.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5日	2	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6日	1	2.6	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	2	5.3	4	21.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	5	13.2	4	21.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	40.0
20～29日	3	7.9	1	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
30～39日	2	5.3	2	10.5	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
40～49日	0	0.0	1	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
50日以上	2	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0
不明・無回答	2	5.3	1	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(1) で「利用していない」を選ばれた方

(1)－1 現在利用していない理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 27－1〕

現在利用していない理由についてみると、「特に利用する必要がない」が 75.4%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」がそれぞれ 20.5%となっています。

就学前児童 (N=814)

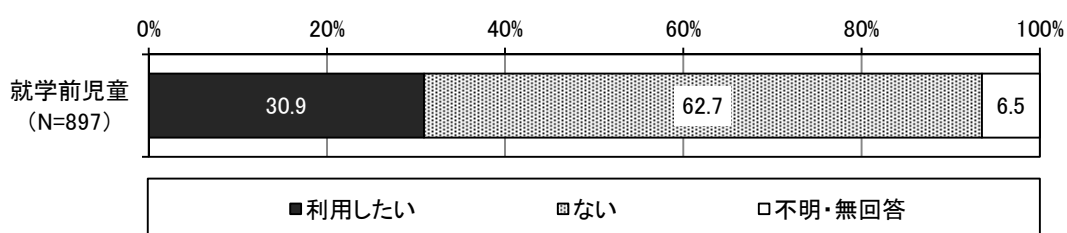


（２）リフレッシュ、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があるか利用希望の有無〈単数回答〉〔就学前児童用調査票…問 28〕

不定期の就労等の目的で不定期に利用したい事業の利用希望の有無についてみると、「利用したい」が 30.9%、「ない」が 62.7%となっています。また、利用したい年間日数では「10～19 日」が 38.3%と最も高くなっています。

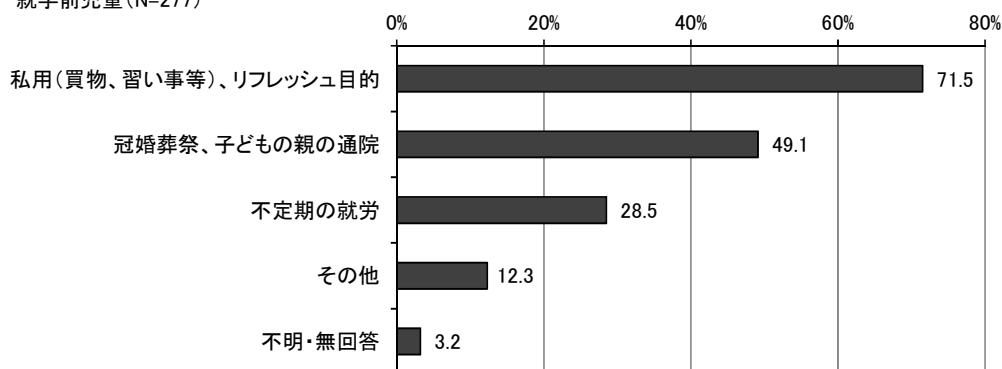
利用したい目的の内容についてみると、[私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的] が 71.5%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、子どもや親の通院」が 49.1%となっています。

目的別の内訳の日数では、「冠婚葬祭、子どもや親の通院」を除く全ての項目で「10～19 日」が最も高くなっています。



◎利用したい目的別の内容〈複数回答〉

就学前児童 (N=277)



◎利用したい年間日数、目的別の内訳の日数〈数量回答〉

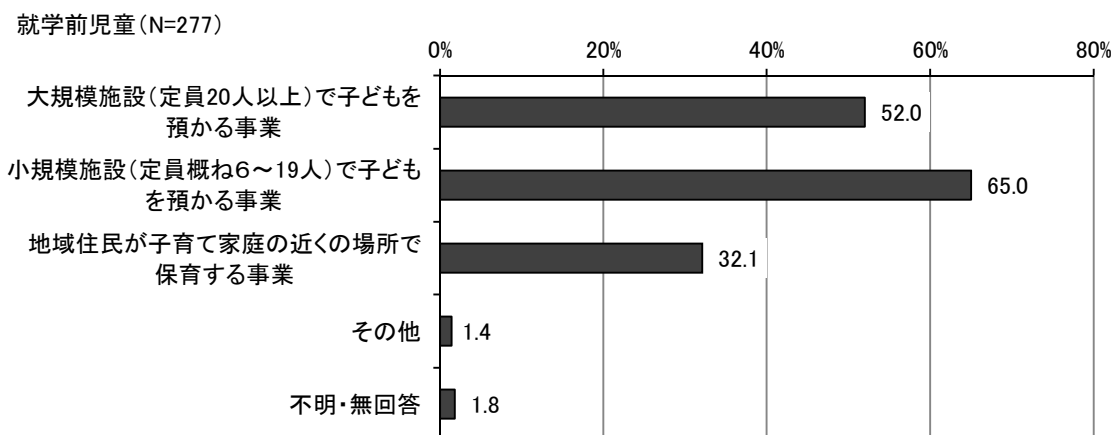
【就学前児童】 年間あたりの 利用日数	年間日数 N=277		私用（買物、習い事 等）、リフレッシュ目的 N=198		冠婚葬祭、子どもの 親の通院 N=136		不定期の就労 N=79		その他 N=34	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	5	1.8	12	6.1	11	8.1	2	2.5	3	8.8
2日	7	2.5	17	8.6	37	27.2	10	12.7	1	2.9
3日	12	4.3	23	11.6	14	10.3	8	10.1	6	17.6
4日	3	1.1	4	2.0	7	5.1	3	3.8	2	5.9
5日	29	10.5	18	9.1	18	13.2	10	12.7	1	2.9
6日	14	5.1	16	8.1	9	6.6	0	0.0	4	11.8
7日	4	1.4	2	1.0	3	2.2	2	2.5	0	0.0
8日	4	1.4	3	1.5	2	1.5	1	1.3	3	8.8
9日	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	106	38.3	63	31.8	20	14.7	20	25.3	7	20.6
20～29日	37	13.4	19	9.6	7	5.1	6	7.6	2	5.9
30～39日	16	5.8	5	2.5	5	3.7	2	2.5	2	5.9
40～49日	10	3.6	7	3.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
50日以上	26	9.4	6	3.0	1	0.7	14	17.7	1	2.9
不明・無回答	3	1.1	3	1.5	2	1.5	1	1.3	2	5.9

（２）で「利用したい」を選ばれた方

（２）－１ （２）の目的でお子さんを預ける場合の望ましい事業形態〈複数回答〉

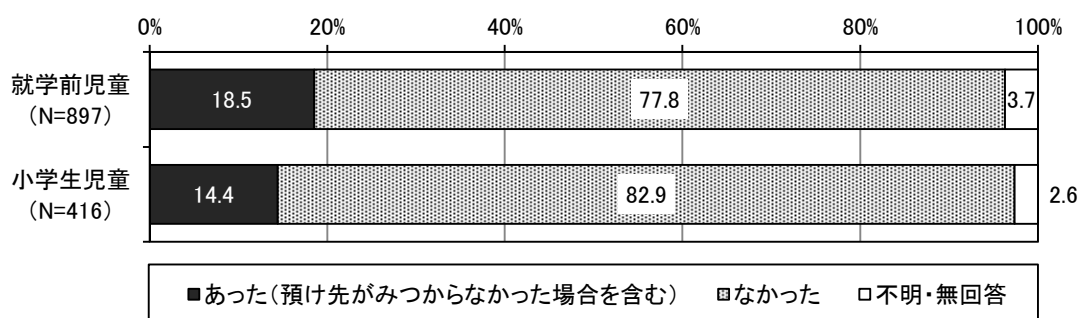
〔就学前児童調査…問 28－1〕

利用したい方の子どもを預ける場合の望ましい事業形態についてみると、「小規模施設（定員概ね 6～19 人）で子どもを預かる事業」が 65.0%と最も高く、次いで「大規模施設（定員 20 人以上）で子どもを預かる事業」が 52.0%となっています。



（３）この１年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊りがけで預けなければならないことはありましたか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 29・小学生児童調査…問 23〕

お子さんを泊りがけで預けなければならなかったかでは、就学前児童、小学生児童ともに「あった」がそれぞれ 18.5%、14.4%、「なかった」がそれぞれ 77.8%、82.9%となっています。



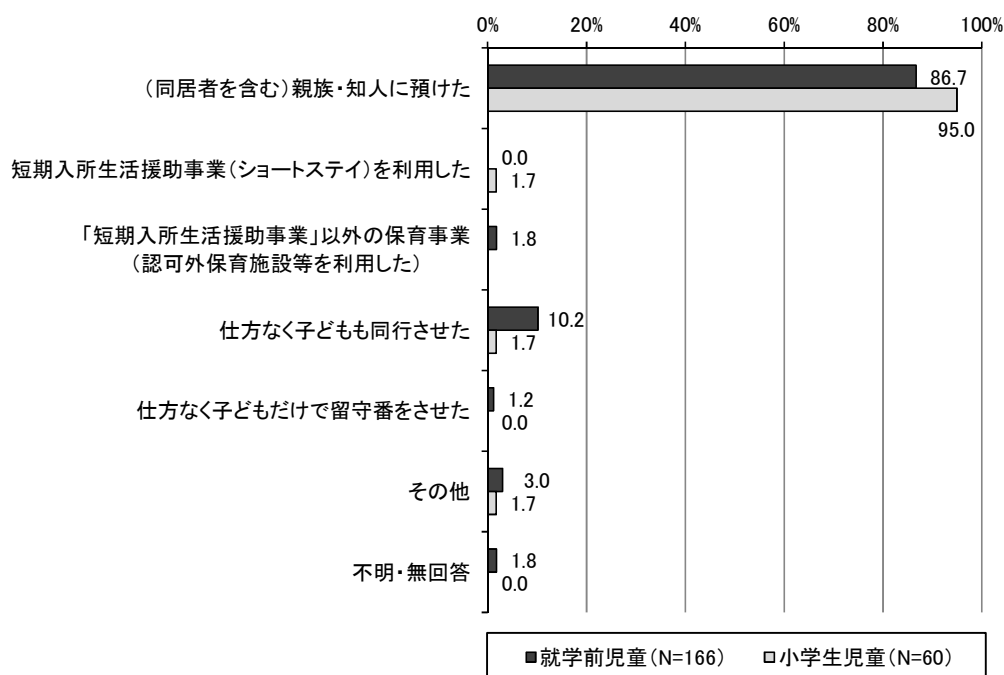
(3)で「あった」を選ばれた方

(3)－1 この1年間の対処方法〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 29-1・小学生児童調査…問 23-1〕

1年間の対処方法についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「(同居者を含む)親族・知人に預けた」がそれぞれ86.7%、95.0%と最も高くなっています。

対処方法の日数では、就学前児童、小学生児童ともに「(同居者を含む)親族・知人に預けた」で「1日」がそれぞれ36.8%、45.6%と高くなっています。



* 『「短期入所生活援助事業」以外の保育事業(認可外保育施設等を利用した)』の項目は就学前児童のみ

◎対処方法の日数〈数量回答〉《「あった」を選んだ方》

【就学前児童】 対処日数	(同居者を含む) 親族・知人に 預けた		短期入所生活 援助事業 (ショートステイ) を利用した		「短期入所生活 援助事業」以外 の保育事業 (認可外保育施 設等を利用した)		仕方なく子ども も同行させた		仕方なく 子どもだけで 留守番をさせた		その他	
	N=144		N=0		N=3		N=17		N=2		N=5	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	53	36.8	0	0.0	1	33.3	7	41.2	0	0.0	2	40.0
2日	29	20.1	0	0.0	0	0.0	4	23.5	0	0.0	1	20.0
3日	13	9.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0
4日	5	3.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0
5日	9	6.3	0	0.0	0	0.0	1	5.9	0	0.0	1	20.0
6日	5	3.5	0	0.0	0	0.0	1	5.9	0	0.0	0	0.0
7日	4	2.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8日	1	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	15	10.4	0	0.0	0	0.0	1	5.9	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	10	6.9	0	0.0	2	66.7	3	17.6	0	0.0	1	20.0

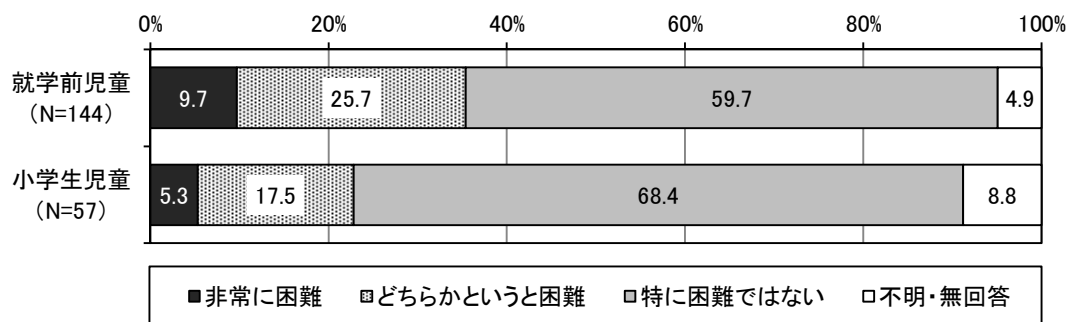
【小学生児童】 対処日数	(同居者を含む) 親族・知人に 預けた N=57		短期入所生活 援助事業 (ショートステイ) を利用した N=1		仕方なく子どもも 同行させた N=1		仕方なく 子どもだけで 留守番をさせた N=0		その他 N=1	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	26	45.6	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0
2日	11	19.3	1.0	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3日	6	10.5	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0
4日	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5日	4	7.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6日	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	1	1.8	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8日	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	6	10.5	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	3	5.3	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(3) で「あった」を選ばれた方

(3) - 2 親族・知人に預けた場合の困難度〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 29-2・小学生児童調査…問 23-2〕

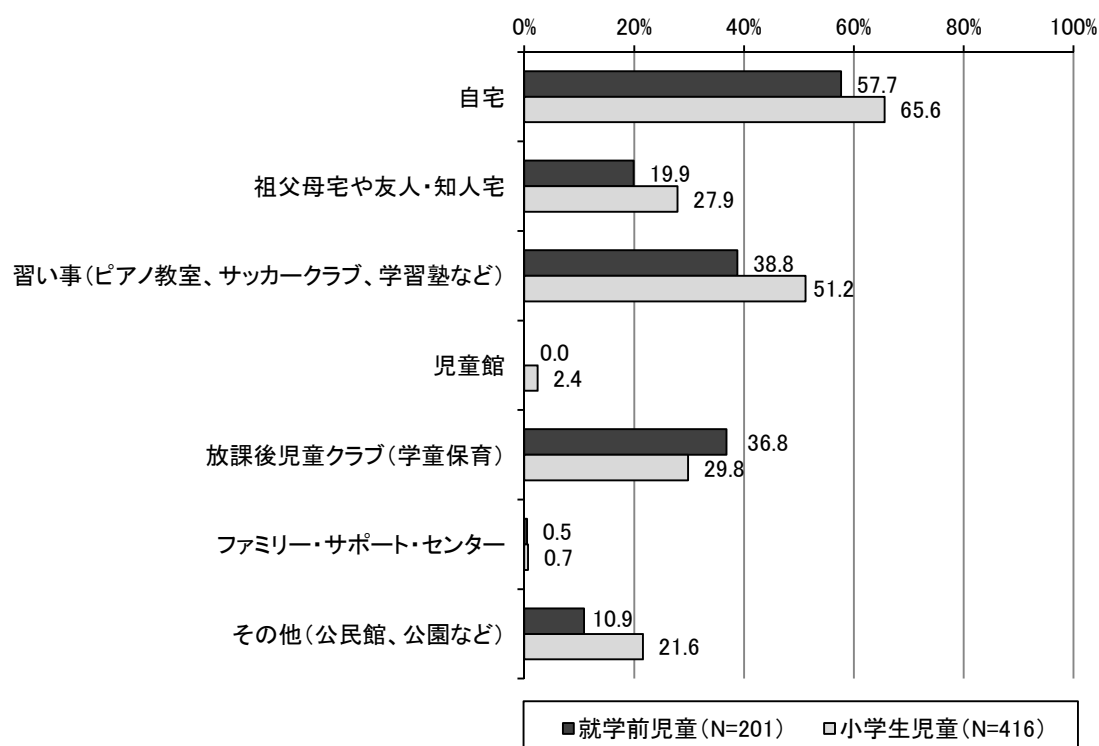
親族・知人に預けた場合の困難度についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「特に困難ではない」がそれぞれ 59.7%、68.4%と最も高くなっています。一方、小学生児童より就学前児童の方が『困難』（「非常に困難」「どちらかというと困難」の合計）が高くなっています。



9 放課後の過ごし方について

(1) 小学生児童(1～3年生)で希望する放課後(平日の小学校終了後)の過ごし方 〈複数回答〉〔就学前児童調査…問30・小学生児童調査…問7〕

小学生児童における希望する放課後の過ごし方についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「自宅」が最も高く、それぞれ57.7%、65.6%となっており、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」がそれぞれ38.8%、51.2%、「放課後児童クラブ(学童保育)」がそれぞれ36.8%、29.8%となっています。



● 1 週当たりの利用したい日数〈小学生児童（１～３年生）〉

１週当たりの利用日数についてみると、就学前児童では「放課後児童クラブ〔学童保育〕」、「自宅」で『５日』が最も高くなっています。小学生児童では「自宅」、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」で『５日』が最も高くなっています。「祖父母や友人・知人宅」は就学前児童、小学生児童で『１日』が最も高くなっています。

また、放課後児童クラブを利用している時間では、就学前児童、小学生児童ともに「１８時（まで）」が最も高くなっています。

① １週当たりの利用日数〈数量回答〉

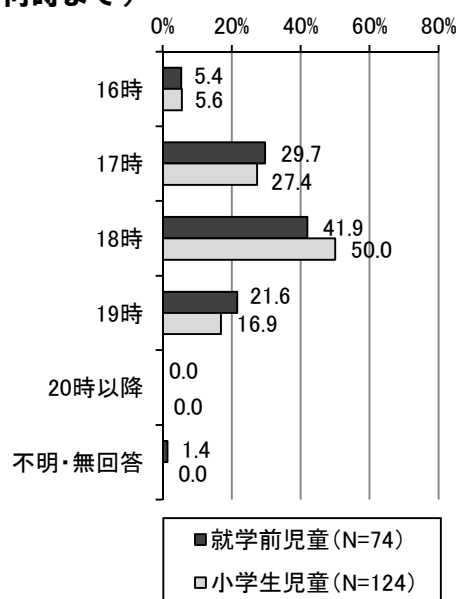
１週当たりの 利用したい 日数 【就学前児童】	自宅 N=116		祖父母や 友人・知人宅 N=40		習い事 (ピアノ教室、 サッカークラ ブ、学習塾 など) N=78		児童館 N=0		放課後児童 クラブ 〔学童保育〕 N=74		ファミリー・ サポート・ センター N=1		その他 (公民館、 公園など) N=22	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
１日	7	6.0	16	40.0	20	25.6	0	0.0	3	4.1	0	0.0	9	40.9
２日	16	13.8	10	25.0	42	53.8	0	0.0	1	1.4	0	0.0	6	27.3
３日	18	15.5	0	0.0	12	15.4	0	0.0	6	8.1	0	0.0	1	4.5
４日	12	10.3	1	2.5	1	1.3	0	0.0	9	12.2	1	100.0	0	0.0
５日	47	40.5	6	15.0	1	1.3	0	0.0	52	70.3	0	0.0	3	13.6
６日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	2.7	0	0.0	0	0.0
７日	3	2.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	13	11.2	7	17.5	2	2.6	0	0.0	1	1.4	0	0.0	3	13.6

１週当たりの 利用したい 日数 【小学生児童】	自宅 N=273		祖父母や 友人・知人宅 N=116		習い事 (ピアノ教室、 サッカークラ ブ、学習塾 など) N=213		児童館 N=10		放課後児童 クラブ 〔学童保育〕 N=124		ファミリー・ サポート・ センター N=3		その他 (公民館、 公園など) N=90	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
１日	33	12.1	58	50.0	74	34.7	5	50.0	2	1.6	1	33.3	29	32.2
２日	59	21.6	39	33.6	92	43.2	2	20.0	12	9.7	1	33.3	29	32.2
３日	47	17.2	9	7.8	38	17.8	3	30.0	16	12.9	1	33.3	18	20.0
４日	25	9.2	2	1.7	4	1.9	0	0.0	15	12.1	0	0.0	4	4.4
５日	85	31.1	7	6.0	4	1.9	0	0.0	74	59.7	0	0.0	7	7.8
６日	2	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.6	0	0.0	0	0.0
７日	12	4.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	10	3.7	1	0.9	1	0.5	0	0.0	3	2.4	0	0.0	3	3.3

② 「放課後児童クラブ」の利用時間（下校時から何時まで）

〈数量回答〉

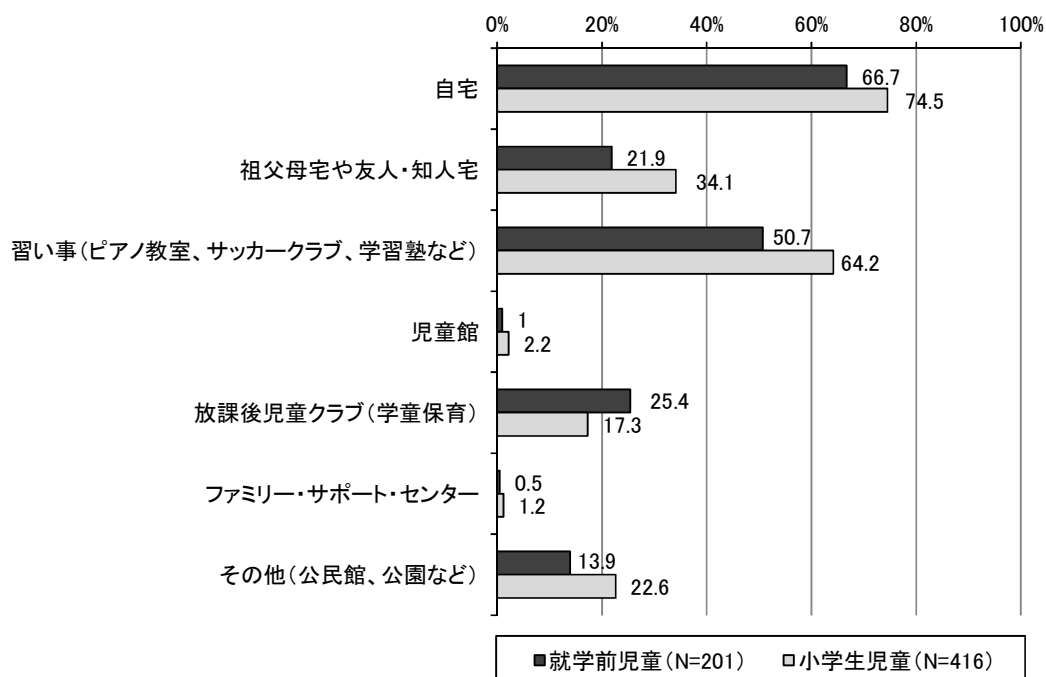
《「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方》



（２）小学校高学年（４～６年生）で希望する放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 31・小学生児童調査…問8〕

小学校高学年における希望する放課後の過ごし方についてみると、就学前児童では「自宅」が66.7%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が50.7%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が25.4%となっています。

小学生児童では、「自宅」が74.5%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が64.2%、「祖父母宅や友人・知人宅」が34.1%となっています。



● 1 週当たりの利用したい日数〈小学校高学年（４～６年生）〉

１週当たりの利用日数についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「自宅」、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」で『５日』が最も高くなっています。

また、放課後児童クラブを利用したい時間では、就学前児童、小学生児童ともに「１８時（まで）」が最も高くなっています。

① １週当たりの利用日数〈数量回答〉

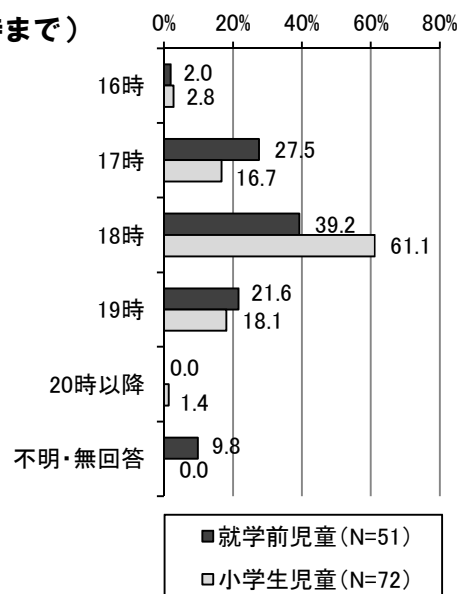
１週当たりの 利用したい 日数 【就学前児童】	自宅 N=134		祖父母や 友人・知人宅 N=44		習い事 (ピアノ教室、 サッカークラ ブ、学習塾 など) N=102		児童館 N=2		放課後児童 クラブ 〔学童保育〕 N=51		ファミリー・ サポート・ センター N=1		その他 (公民館、 公園など) N=28	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
１日	9	6.7	18	40.9	26	25.5	0	0.0	2	3.9	0	0.0	6	21.4
２日	19	14.2	9	20.5	41	40.2	0	0.0	2	3.9	0	0.0	7	25.0
３日	21	15.7	3	6.8	22	21.6	0	0.0	3	5.9	0	0.0	5	17.9
４日	11	8.2	1	2.3	1	1.0	0	0.0	7	13.7	0	0.0	0	0.0
５日	53	39.6	5	11.4	3	2.9	1	50.0	31	60.8	0	0.0	6	21.4
６日	1	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	3.9	1	100.0	0	0.0
７日	2	1.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	18	13.4	8	18.2	9	8.8	1	50.0	4	7.8	0	0.0	4	14.3

１週当たりの 利用したい 日数 【小学生児童】	自宅 N=310		祖父母や 友人・知人宅 N=142		習い事 (ピアノ教室、 サッカークラ ブ、学習塾 など) N=267		児童館 N=9		放課後児童 クラブ 〔学童保育〕 N=72		ファミリー・ サポート・ センター N=5		その他 (公民館、 公園など) N=94	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
１日	44	14.2	69	48.6	64	24.0	2	22.2	3	4.2	2	40.0	36	38.3
２日	71	22.9	46	32.4	121	45.3	4	44.4	11	15.3	2	40.0	33	35.1
３日	53	17.1	7	4.9	64	24.0	1	11.1	8	11.1	0	0.0	15	16.0
４日	29	9.4	5	3.5	11	4.1	1	11.1	10	13.9	0	0.0	3	3.2
５日	86	27.7	12	8.5	4	1.5	1	11.1	37	51.4	1	20.0	6	6.4
６日	2	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.4	0	0.0	0	0.0
７日	10	3.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	15	4.8	3	2.1	3	1.1	0	0.0	2	2.8	0	0.0	1	1.1

② 「放課後児童クラブ」の利用時間（下校時から何時まで）

〈数量回答〉

《「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方》



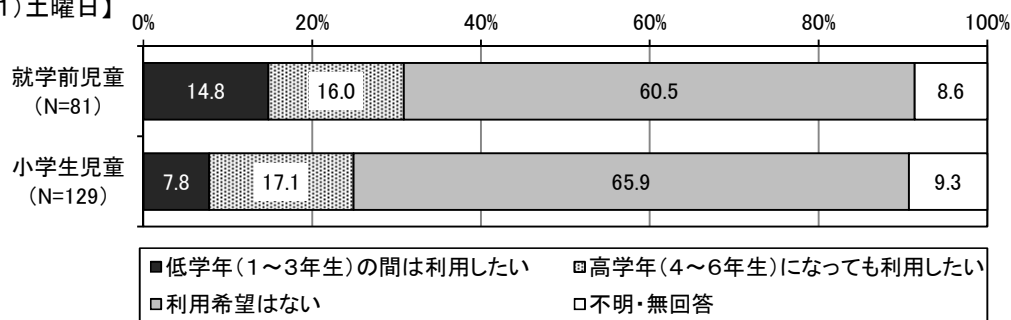
（３）土曜日や日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 32(1)(2)・小学生児童調査…問9(1)(2)〕

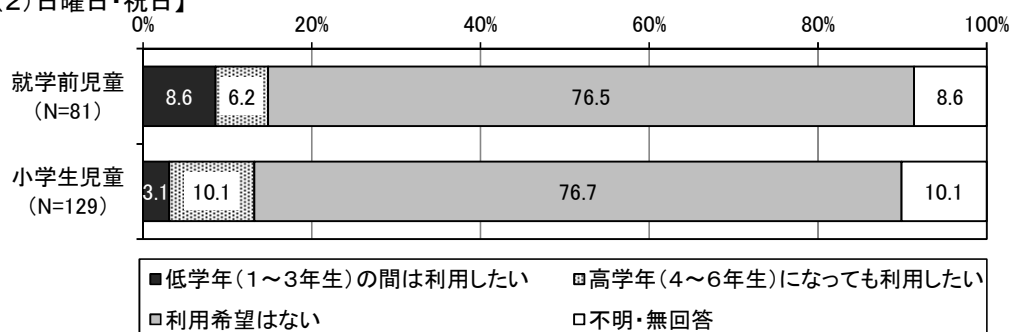
土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望についてみると、就学前児童、小学生児童ともに、土曜日、日曜日・祝日それぞれ「利用希望はない」が最も高くなっています。また、就学前児童、小学生児童ともに、日曜日・祝日より土曜日の方が、利用希望が高くなっています。

利用開始時間では、土曜日、日曜日・祝日ともに、就学前児童で「９時～」、小学生児童で「８時～」が最も高くなっています。また、終了時間では、就学前児童、小学生児童ともに、土曜日、日曜日・祝日それぞれ「１８時（まで）」が最も高くなっています。

【(1)土曜日】

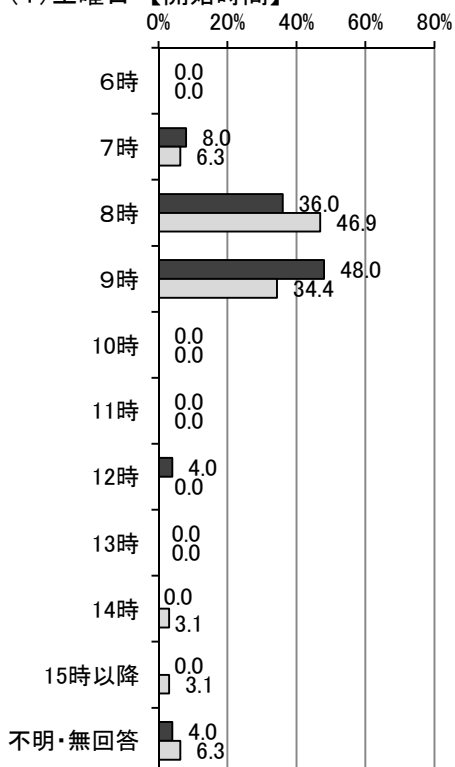


【(2)日曜日・祝日】

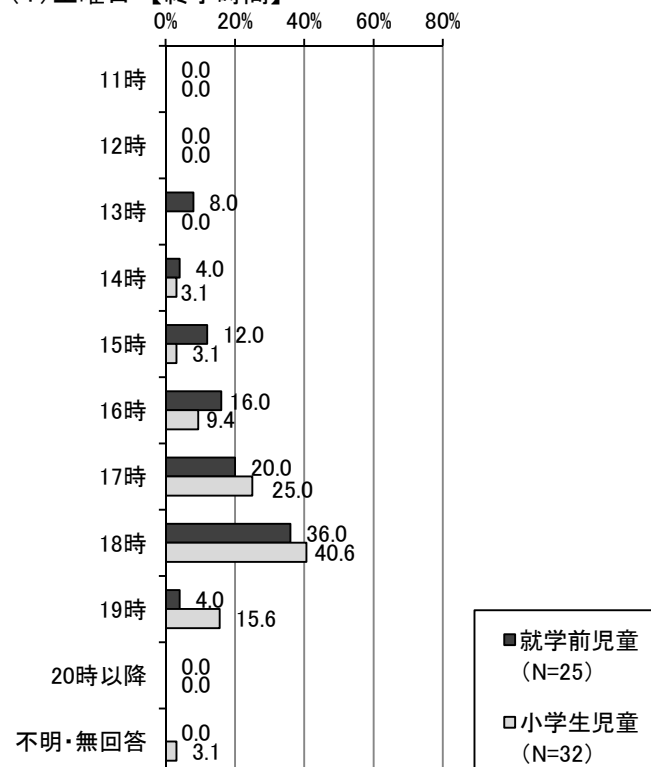


希望する利用時間帯〈数量回答〉

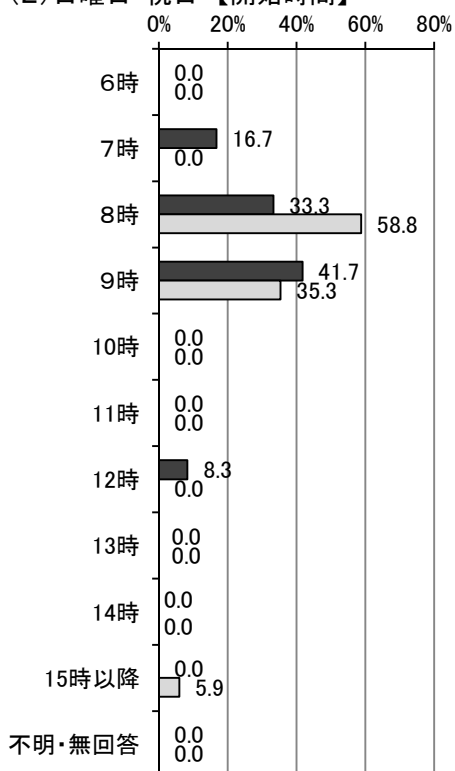
(1) 土曜日【開始時間】



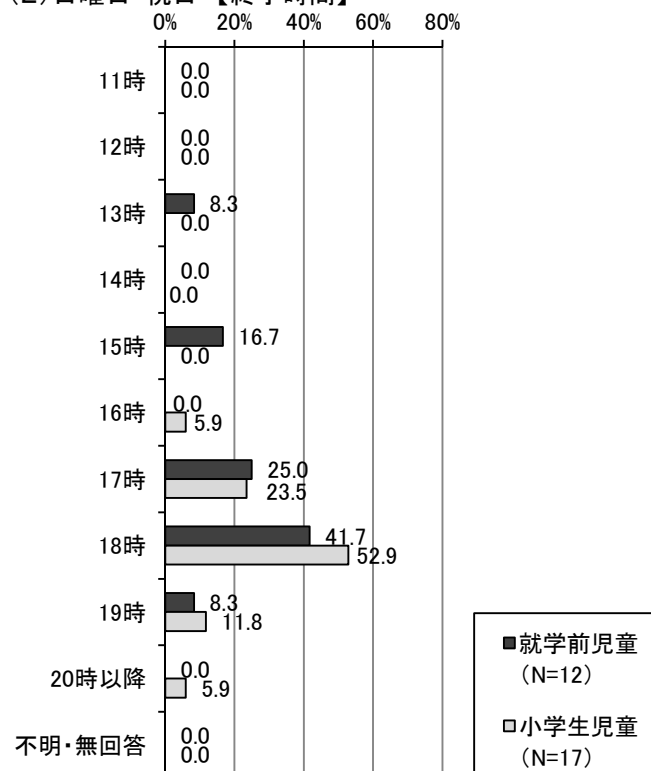
(1) 土曜日【終了時間】



(2) 日曜日・祝日【開始時間】



(2) 日曜日・祝日【終了時間】



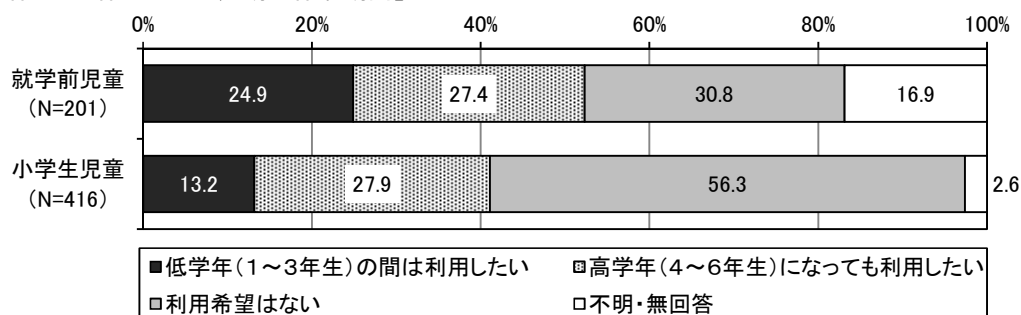
(4) 夏休み・冬休み等の長期の休暇期間の放課後児童クラブの利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 33・小学生児童調査…問 10〕

夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望についてみると、就学前児童、小学生児童ともに、「利用希望はない」が最も高く、次いで「高学年（４～６年生）になっても利用したい」となっています。一方、『利用したい』（「低学年（１～３年生）の間は利用したい」と「高学年（４～６年生）になっても利用したい」の合計）意向がある方は就学前児童で 52.3%、小学生児童で 41.1%となっています。

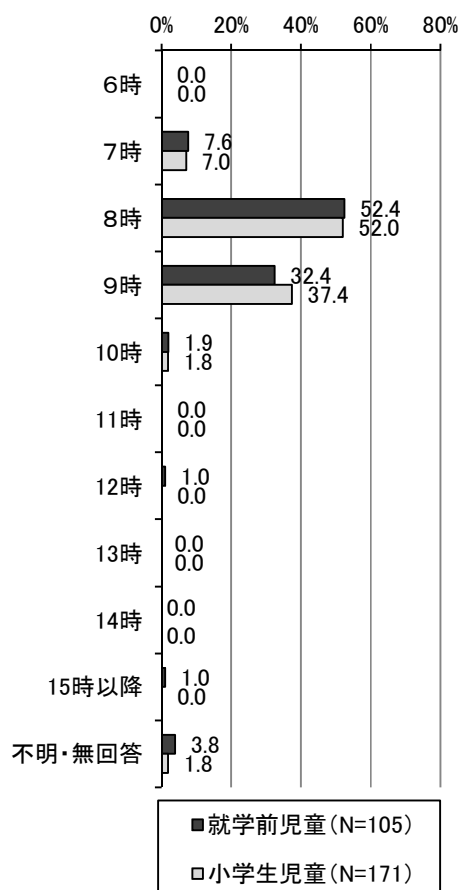
利用開始時間では、就学前児童、小学生児童ともに、「８時～」が最も高くなっています。また、終了時間では、就学前児童、小学生児童ともに、「１８時（まで）」が最も高くなっています。

【夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間】

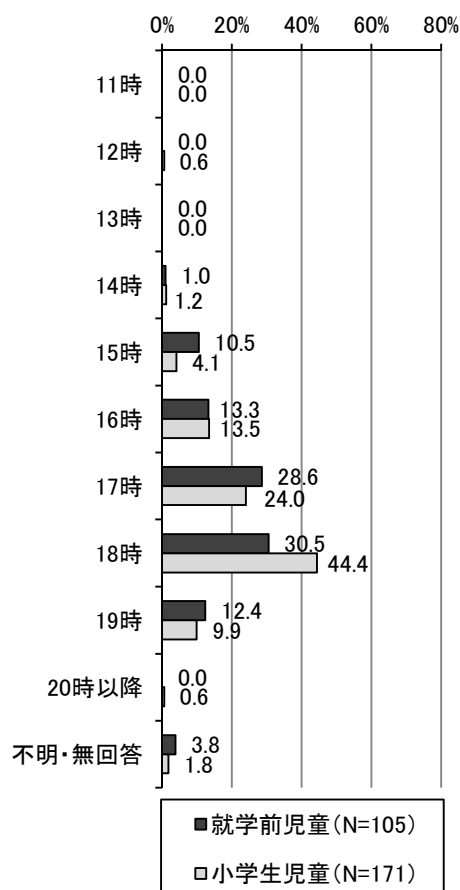


希望する利用時間帯〈数量回答〉

【夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間 開始時間】



【夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間 終了時間】

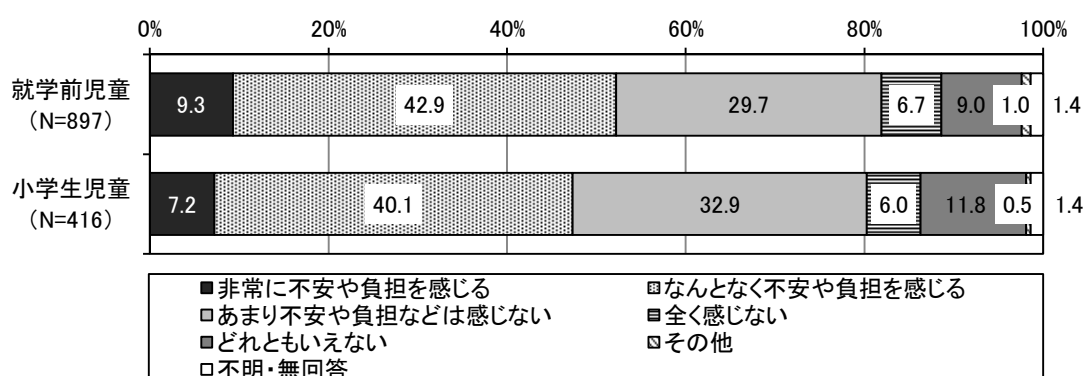


10 子育て観やサービスの満足度などについて

(1) 子育てに関して不安や負担に感じること〈単数回答〉

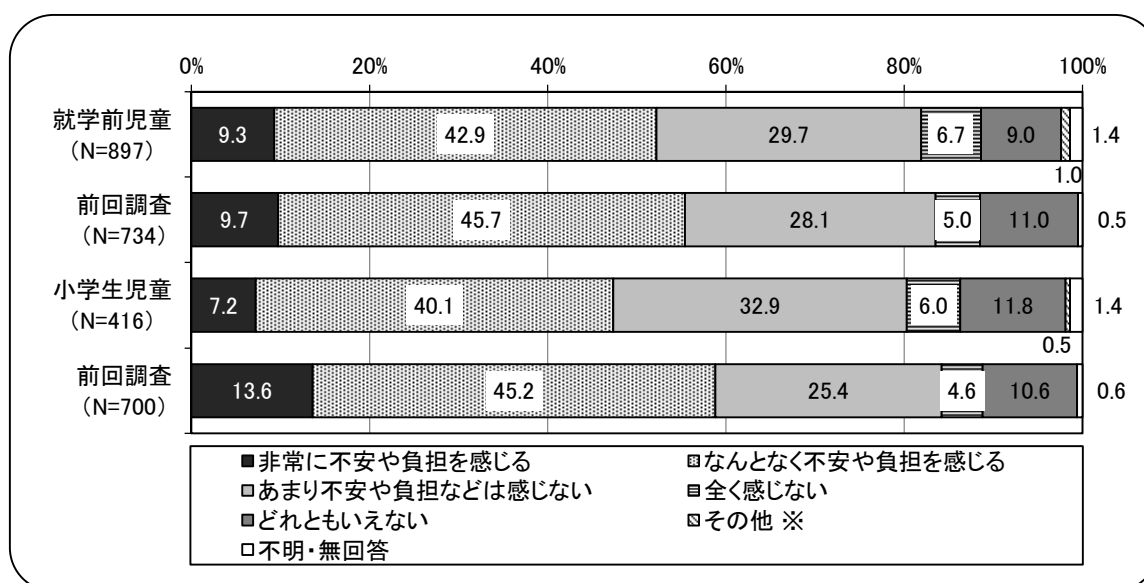
〔就学前児童調査…問 34・小学生児童調査…問 25〕

子育てに関して不安や負担についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「なんとなく不安や負担を感じる」がそれぞれ42.9%、40.1%と最も高く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」がそれぞれ29.7%、32.9%となっています。子育てに関して『不安を感じる』（「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」）方は就学前児童で52.2%、小学生児童で47.3%となっています。



◆前回調査との比較◆

前回調査と比較してみると、『不安を感じる』割合が就学前児童で3.2ポイント、小学生児童で11.5ポイント減少し、『不安を感じない』（「あまり不安や負担などは感じない」と「全く感じない」）割合は就学前児童で3.3ポイント、小学生児童で8.9ポイント増加しています。

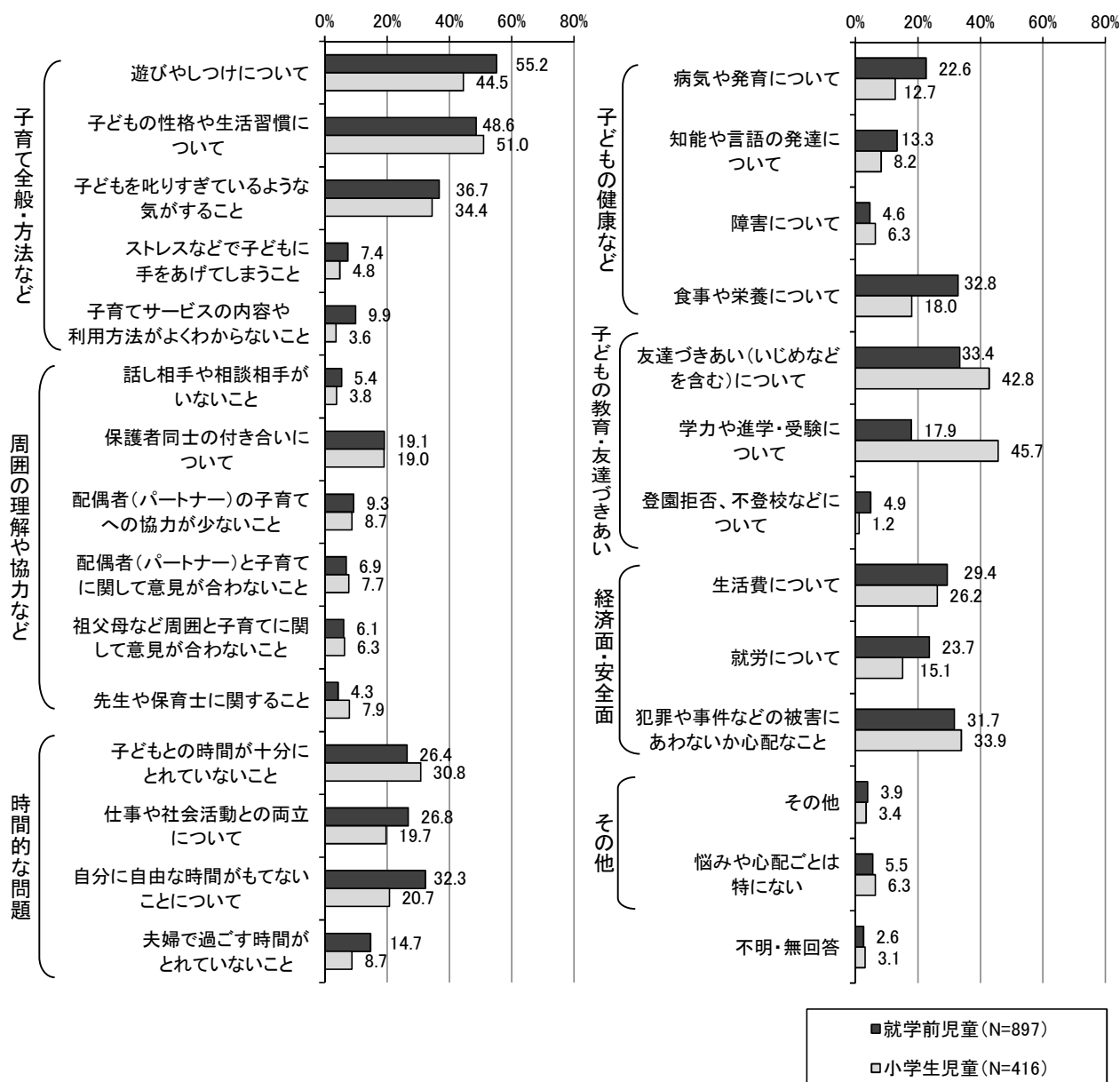


※「その他」は今回調査のみ

(2) 子育てに関する悩みや心配ごと〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 35・小学生児童調査…問 26〕

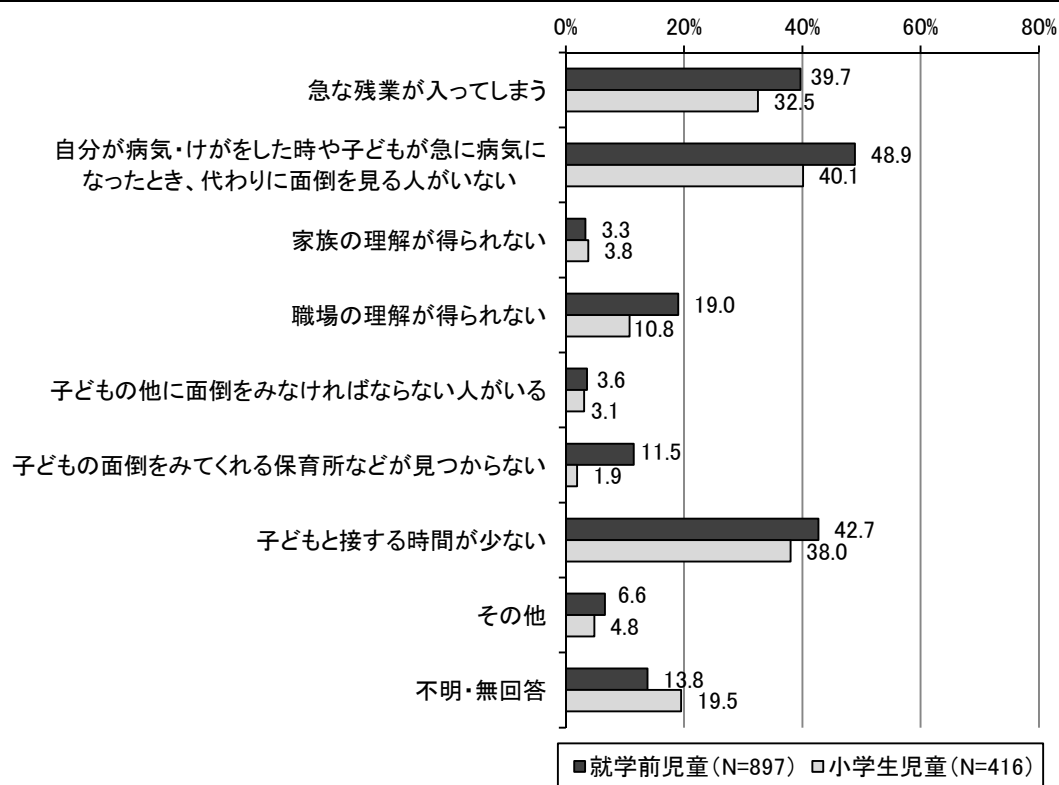
子育てに関する悩みや心配ごとについてみると、就学前児童で「遊びやしつけについて」が55.2%、小学生児童で「子どもの性格や生活習慣について」が51.0%と最も高く、次いで、就学前児童で「子どもの性格や生活習慣について」が48.6%、小学生児童で「学力や進学・受験について」が45.7%となっています。



（３）仕事と子育てを両立させる上で大変だと思われること〈複数回答〉

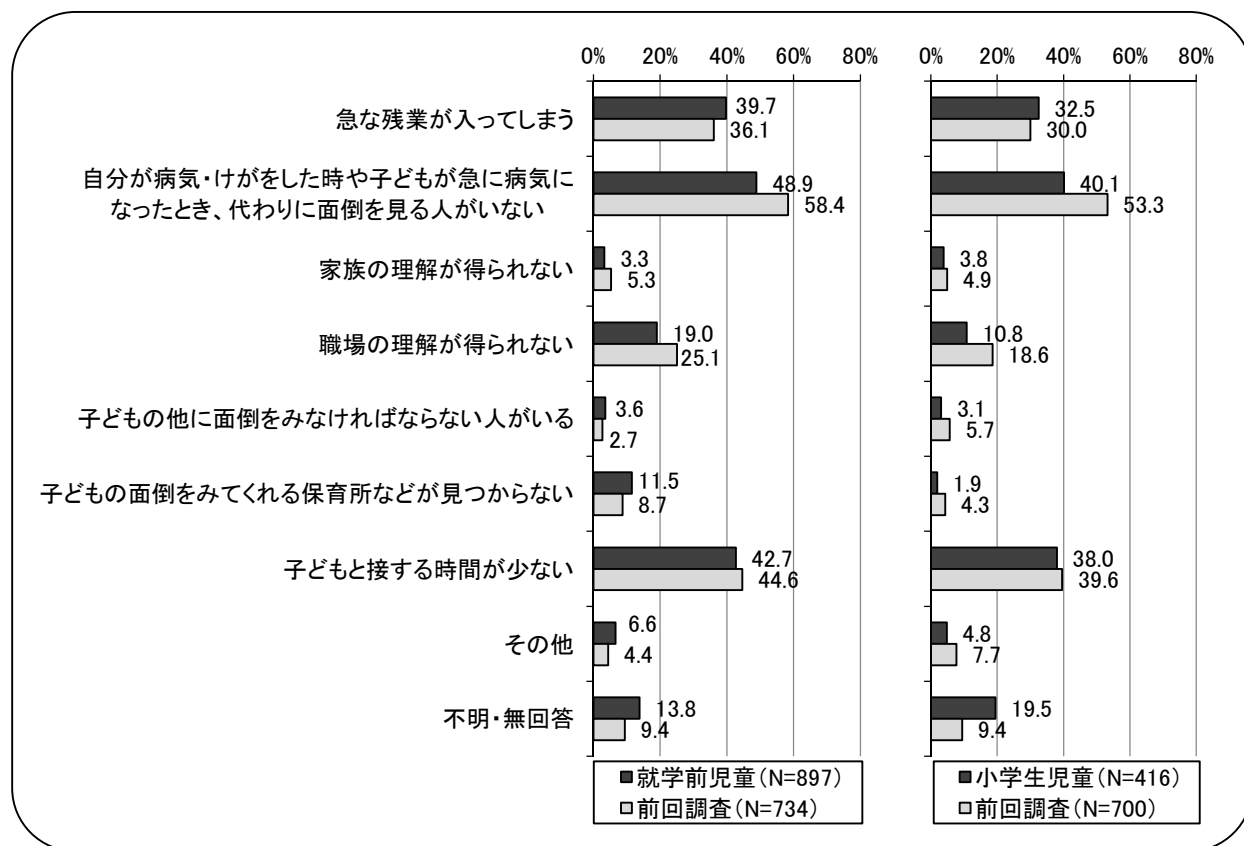
〔就学前児童調査…問 36・小学生児童調査…問 27〕

仕事と子育ての両立についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になったとき、代わりに面倒を見る人がいない」がそれぞれ 48.9%、40.1%と最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ない」がそれぞれ 42.7%、38.0%となっています。



◆前回調査との比較◆

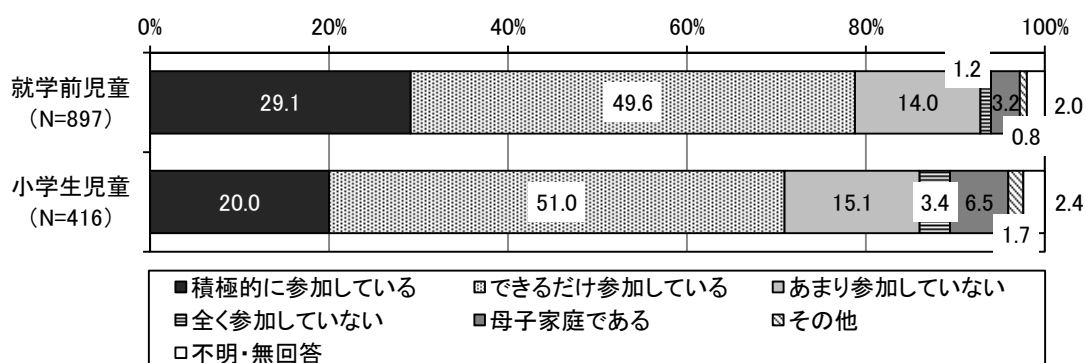
前回調査と比較してみると、「自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になったとき、代わりに面倒を見る人がいない」割合が就学前児童で 9.5 ポイント、小学生児童で 13.2 ポイント、「職場の理解が得られない」割合が就学前児童で 6.1 ポイント、小学生児童で 7.8 ポイント、それぞれ減少しています。



（４）お父さんの子育て参加の有無〈単数回答〉

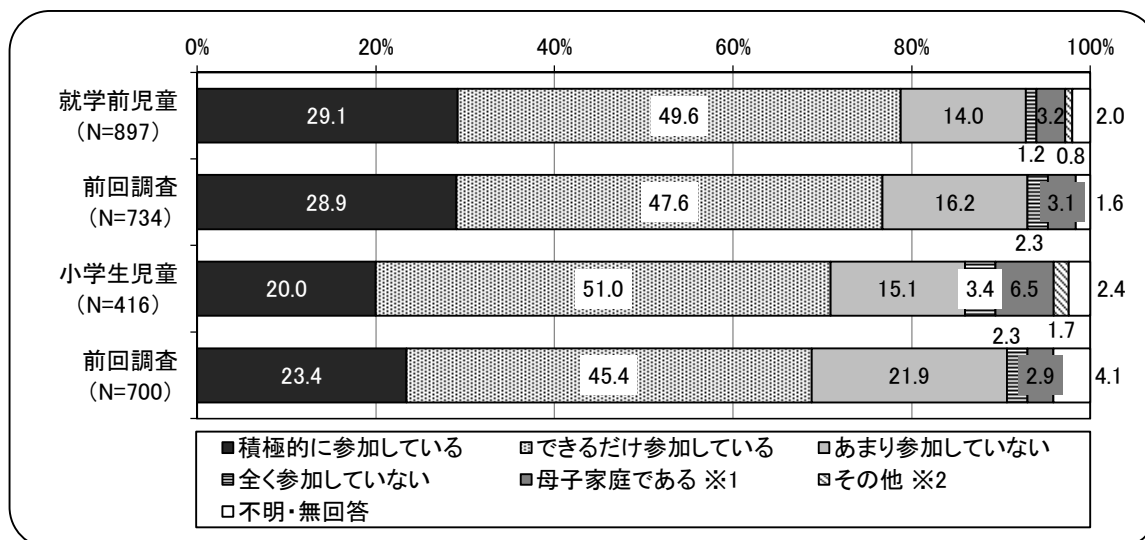
〔就学前児童調査…問 37・小学生児童調査…問 28〕

お父さんの子育て参加の有無についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「できるだけ参加している」が49.6%、51.0%と最も高く、次いで「積極的に参加している」が29.1%、20.0%となっています。また、『参加している』（「積極的に参加している」と「できるだけ参加している」の合計）方は就学前児童で78.7%、小学生児童で71.0%となっています。



◆前回調査との比較◆

前回調査と比較してみると、『参加している』割合が就学前児童、小学生児童ともに 2.2 ポイント増加しています。一方、『参加していない』（「あまり参加していない」と「全く参加していない」）割合が就学前児童で 3.3 ポイント、小学生児童で 5.7 ポイント減少しています。



※1 前回調査は「該当者がいない」、※2「その他」は今回調査のみ

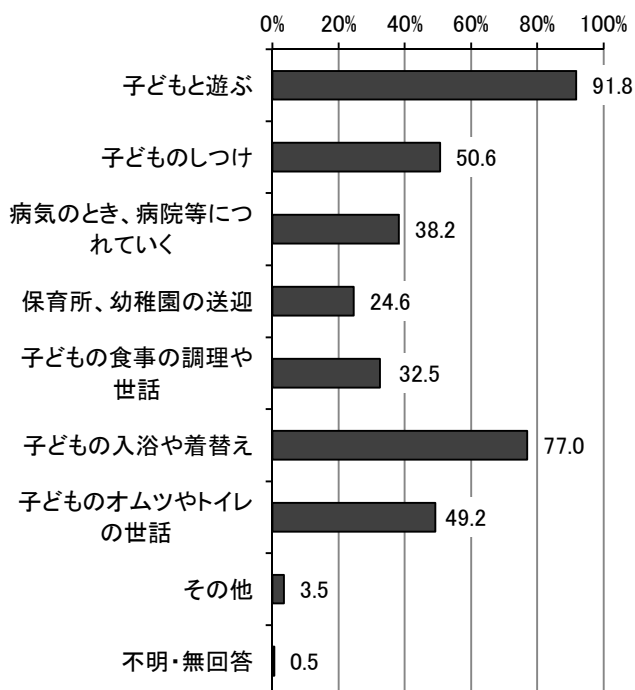
(4)で「積極的に参加している」「できるだけ参加している」「あまり参加していない」のいずれかを選ばれた方

(5) お父さんはどのような子育てに参加されていますか〈複数回答〉

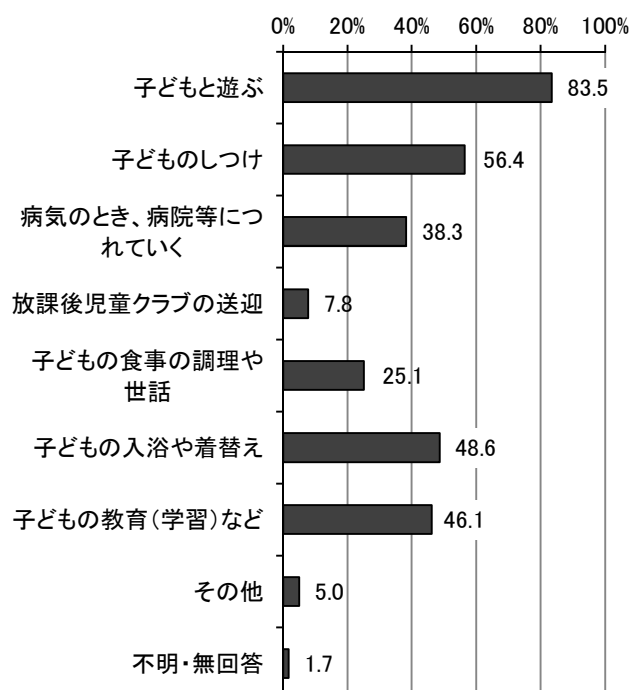
〔就学前児童調査…問 38・小学生児童調査…問 29〕

お父さんはどのような子育てに参加されていますかについてみると、就学前児童、小学生児童ともに「子どもと遊ぶ」が91.8%、83.5%と最も高く、次いで、就学前児童で「子どもの入浴や着替え」が77.0%、「子どものしつけ」が50.6%、小学生児童で「子どものしつけ」が56.4%、「子どもの入浴や着替え」が48.6%となっています。

就学前児童(N=832)



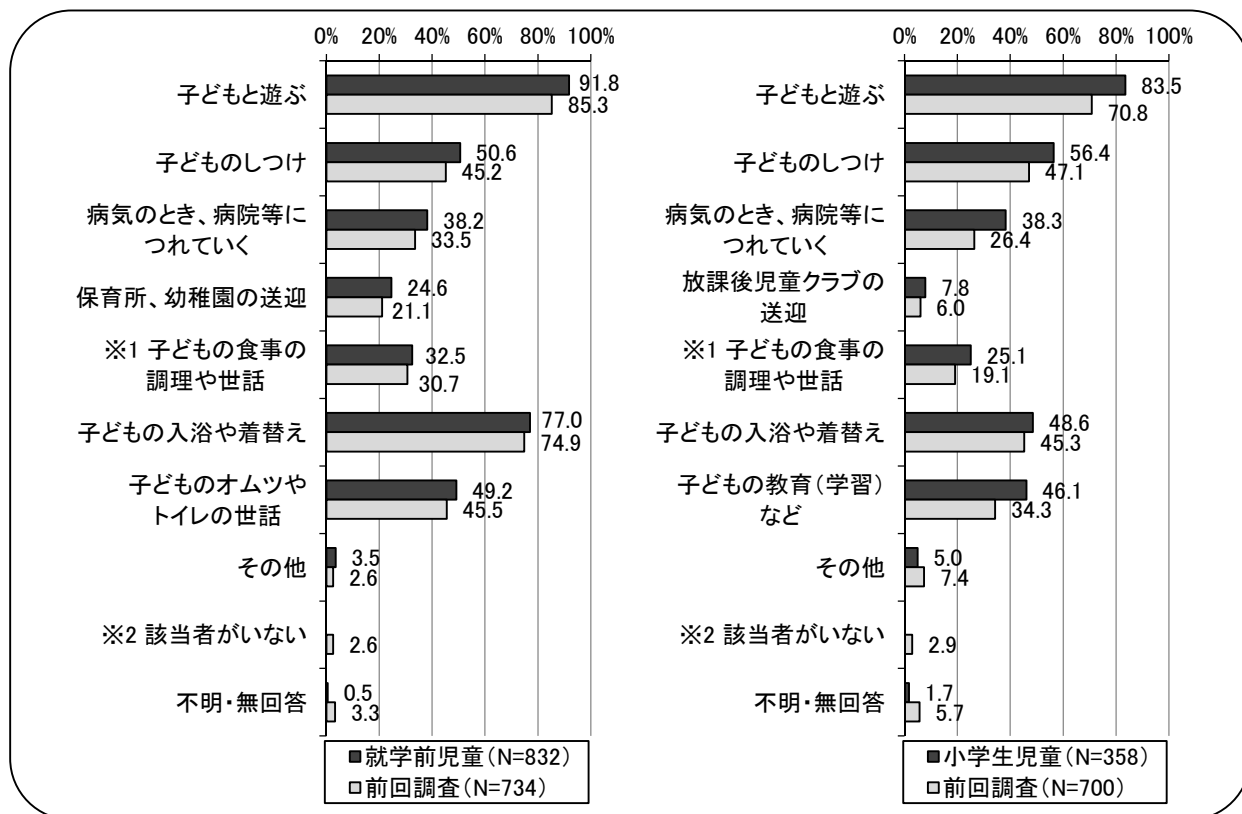
小学生児童(N=358)



◆前回調査との比較◆

前回調査と比較してみると、就学前児童ではすべての項目で割合が増加しています。小学生児童では、「その他」を除くすべての項目で割合が増加しており、特に「子どもと遊ぶ」で 12.7 ポイント、「子どものしつけ」で 9.3 ポイント、「病気のとき、病院等につれていく」で 11.9 ポイント、「子どもの教育（学習）など」で 11.8 ポイント増加しています。

* 前回調査での調査対象は回答者全員



※1 前回調査は「子どもの食事」、※2「該当者がいない」は前回調査のみ

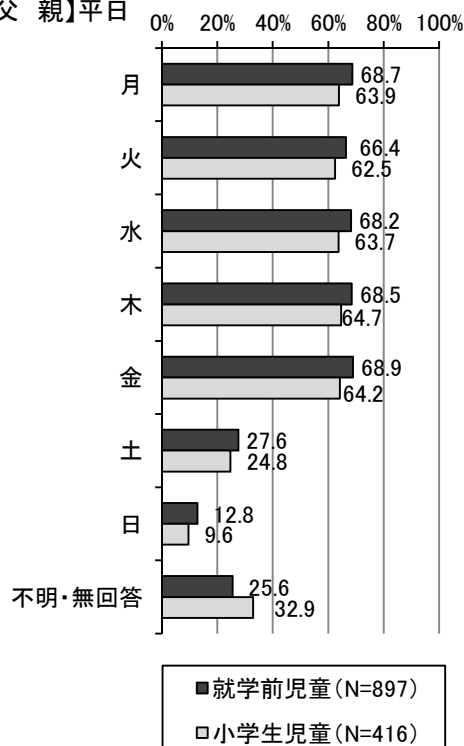
（６）子どもと過ごす時間〈数量回答〉〔就学前児童調査…問 39・小学生児童調査…問 30〕

子どもと過ごす「平日（仕事のある日）」についてみると、『平日』（「月曜日」から「金曜日」の割合の平均）において、【父親】では就学前児童で 68.1%、小学生児童で 63.8%、【母親】では就学前児童で 47.9%、小学生児童で 61.5%となっています。『休日』（「土曜日」「日曜日」の割合の平均）において、【父親】では就学前児童で 20.2%、小学生児童で 17.2%、【母親】では就学前児童で 12.2%、小学生児童で 28.6%となっています。

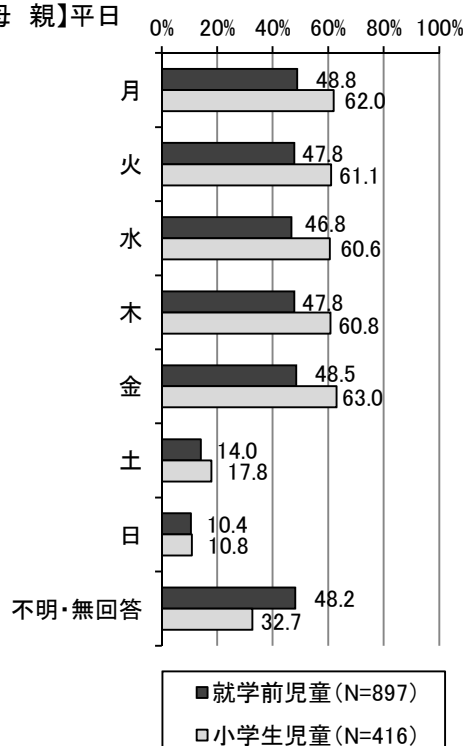
（※「平日」を「月曜日から金曜日」、「休日」を「土曜日」と「日曜日」としています）

① 平日（仕事のある日）【曜日】〈数量回答〉

【父親】平日



【母親】平日

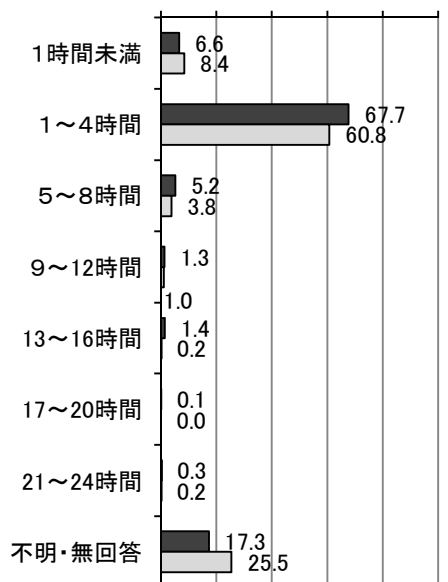


時間では、【父親】で就学前児童、小学生児童ともに「1～4時間」、【母親】で就学前児童、小学生児童ともに「5～8時間」が最も高くなっています。

(※「平日」を「月曜日から金曜日」、「休日」を「土曜日」と「日曜日」としています)

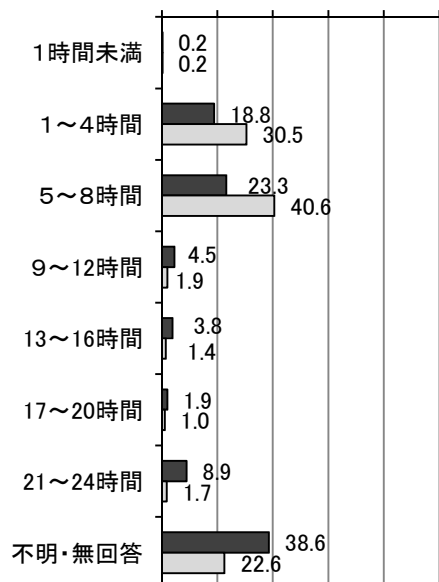
② 平日（仕事のある日）【時間】〈数量回答〉

【父親】平日 0% 20% 40% 60% 80% 100%



■就学前児童 (N=897)
□小学生児童 (N=416)

【母親】平日 0% 20% 40% 60% 80% 100%

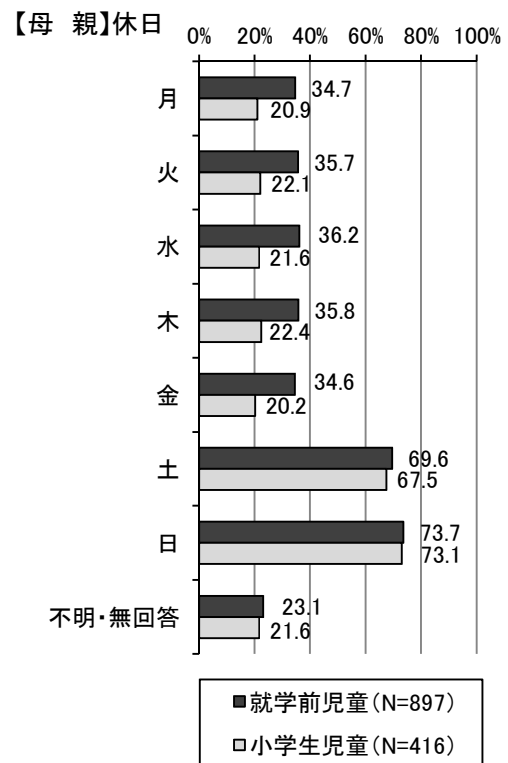
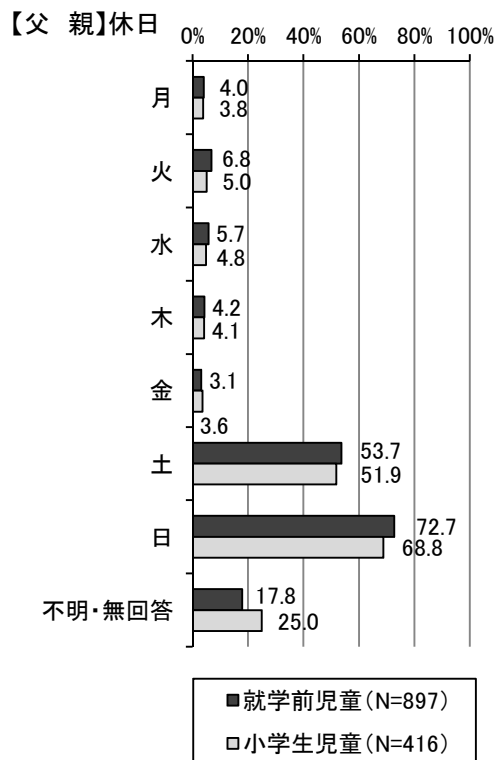


■就学前児童 (N=897)
□小学生児童 (N=416)

子どもと過ごす「休日（仕事の無い日）」についてみると、『休日』（「土曜日」「日曜日」の割合の平均）において、【父親】では就学前児童で 63.2%、小学生児童で 60.3%、【母親】では就学前児童で 71.6%、小学生児童で 70.3%となっています。『平日』（「月曜日」から「金曜日」の割合の平均）において、【父親】では就学前児童で 4.7%、小学生児童で 4.2%、【母親】では就学前児童で 35.4%、小学生児童で 21.4%となっています。

（※「平日」を「月曜日から金曜日」、「休日」を「土曜日」と「日曜日」としています）

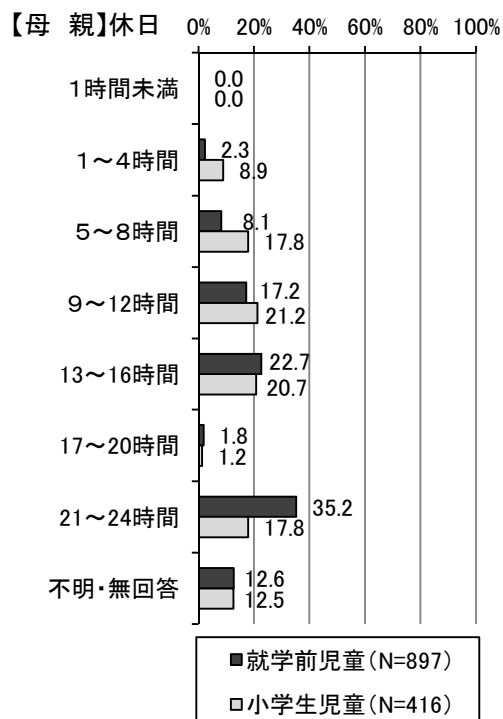
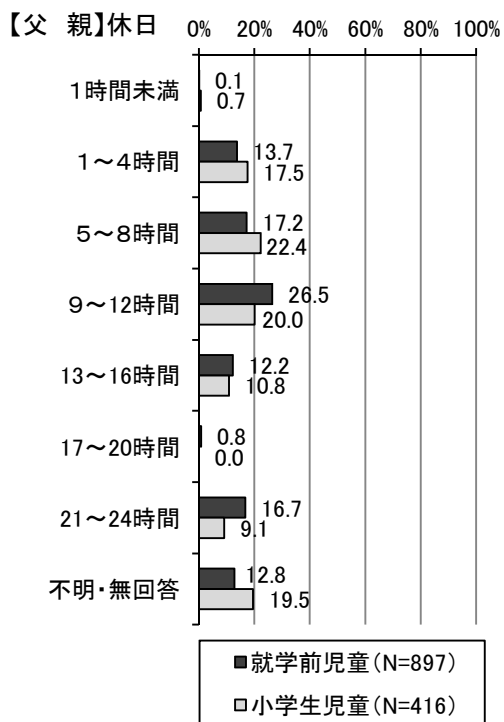
③ 休日（仕事の無い日）【曜日】〈数量回答〉



時間では、【父親】で就学前児童が「9～12 時間」、小学生児童が「5～8時間」、【母親】で就学前児童が「21～24 時間」、小学生児童が「9～12 時間」が最も高くなっています。

(※「平日」を「月曜日から金曜日」、「休日」を「土曜日」と「日曜日」としています)

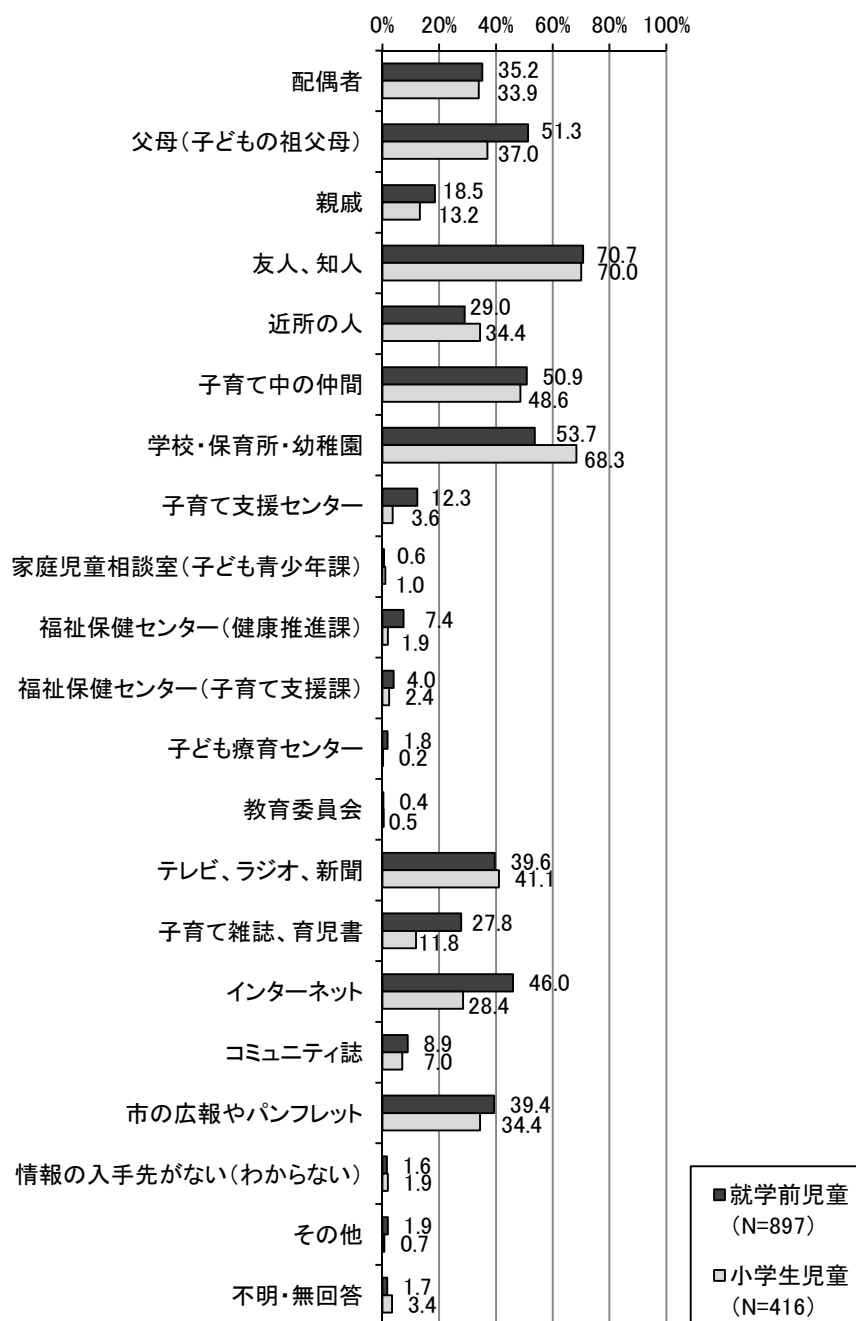
④ 休日（仕事の無い日）【時間】〈数量回答〉



(7) 子育てに関する情報の入手方法〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 40・小学生児童調査…問 31〕

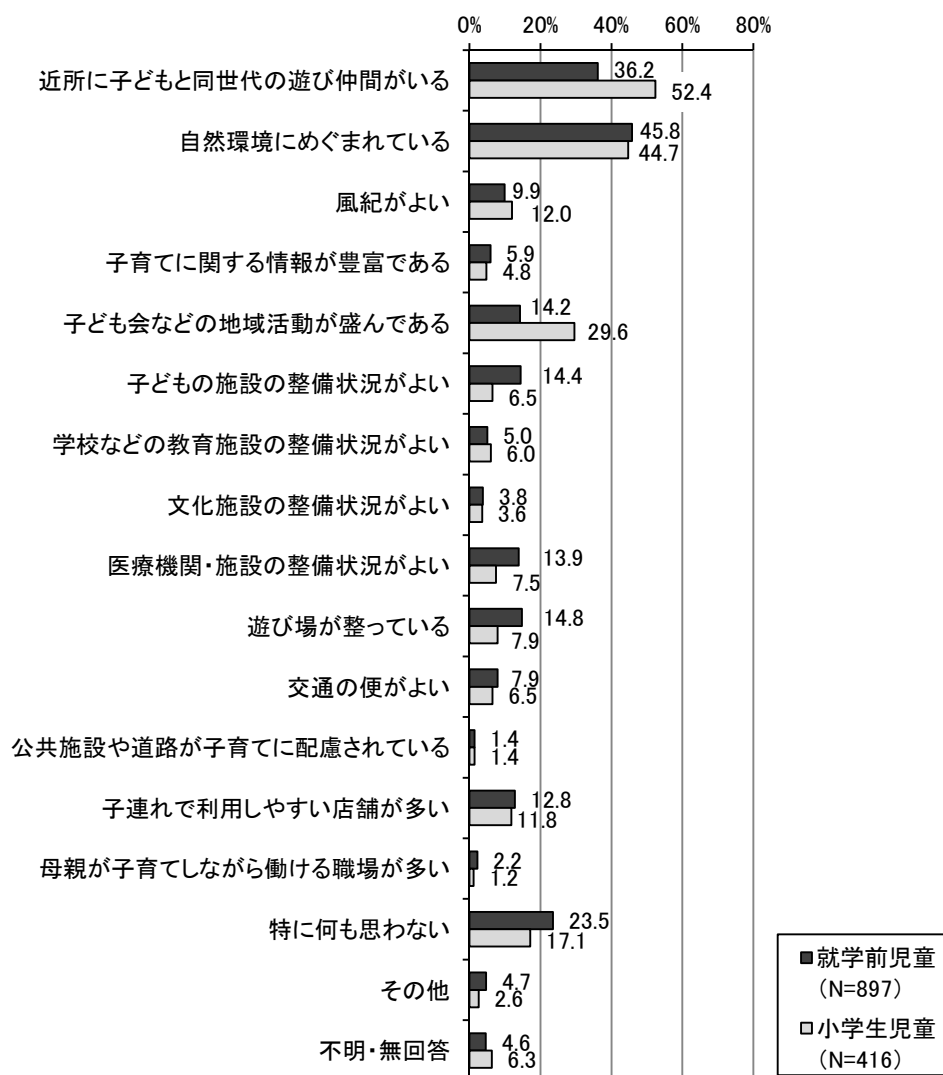
子育てに関する情報の入手方法についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「友人、知人」がそれぞれ 70.7%、70.0%と最も高く、次いで、「学校・保育所・幼稚園」がそれぞれ 53.7%、68.3%となっています。



（８）彦根市の子育て環境〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 41・小学生児童調査…問 32〕

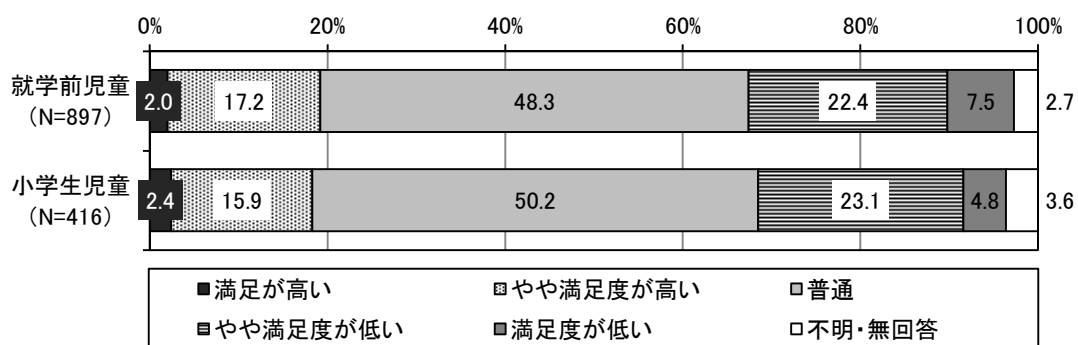
彦根市の子育て環境についてみると、就学前児童では「自然環境にめぐまれている」が 45.8%と最も高く、次いで「近所に子どもと同世代の遊び仲間がいる」が 36.2%となっています。小学生児童では「近所に子どもと同世代の遊び仲間がいる」が 52.4%と最も高く、次いで「自然環境にめぐまれている」が 44.7%となっています。



（９）お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 42・小学生児童調査…問 33〕

お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「普通」がそれぞれ 48.3%、50.2%と最も高く、次いで「やや満足度が低い」がそれぞれ 22.4%、23.1%となっています。『満足』（「満足が高い」と「やや満足度が高い」の合計）は就学前児童で 19.2%、小学生児童で 18.3%となっています。一方、『不満足』（「やや満足度が低い」と「満足度が低い」の合計）は就学前児童で 29.9%、小学生児童で 27.9%となっています。

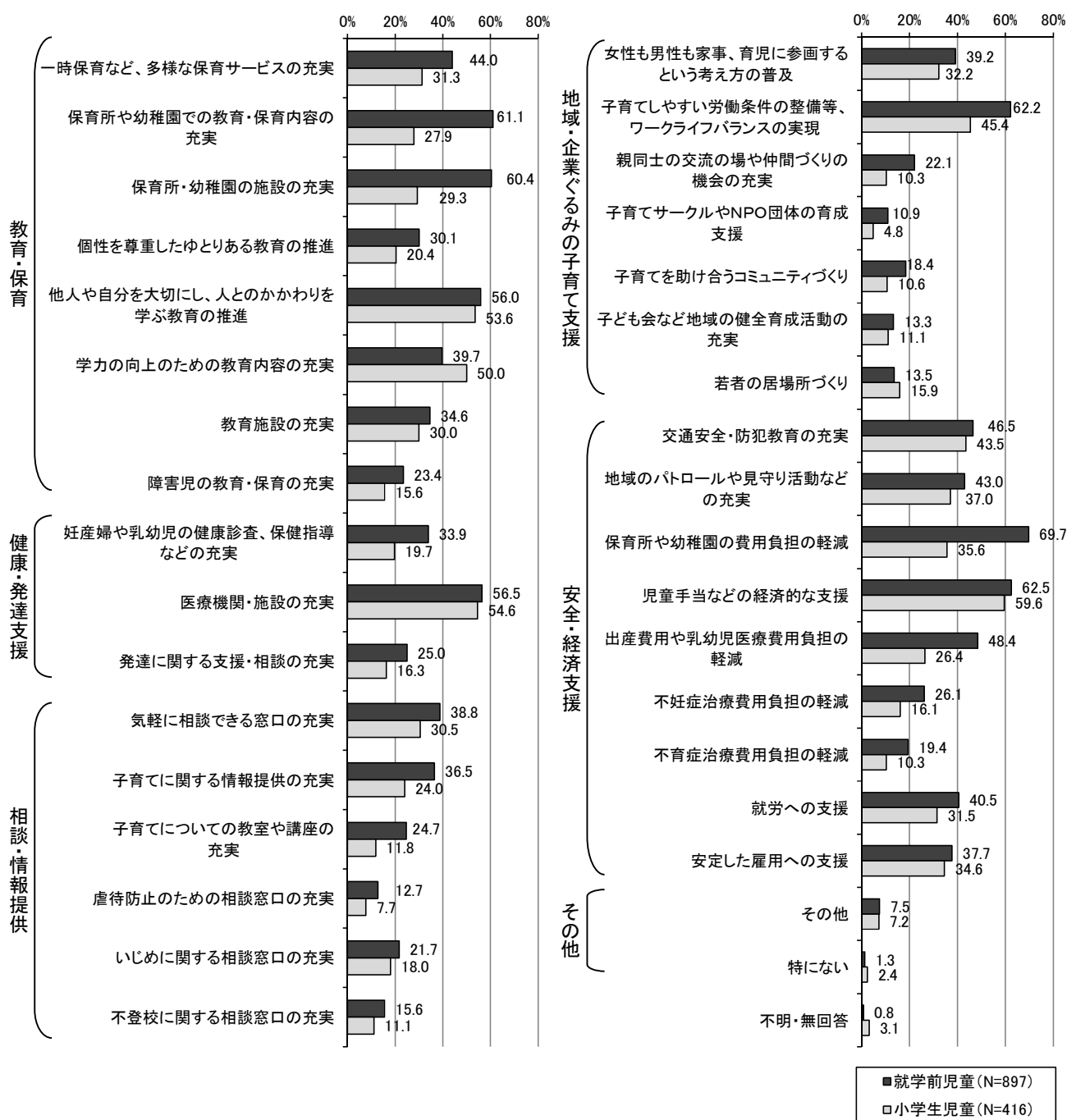


(10) 彦根市のこれからの子育て支援施策で期待すること〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 43・小学生児童調査…問 34〕

彦根市のこれからの子育て支援施策で期待することについてみると、就学前児童では「保育所や幼稚園の費用負担の軽減」が69.7%と最も高く、次いで「児童手当などの経済的な支援」が62.5%、「子育てしやすい労働条件の整備等、ワークライフバランスの実現」が62.2%となっています。

小学生児童では「児童手当などの経済的な支援」が59.6%と最も高く、次いで「医療機関・施設の充実」が54.6%、「他人や自分を大切にし、人とかかわりを学ぶ教育の推進」が53.6%となっています。



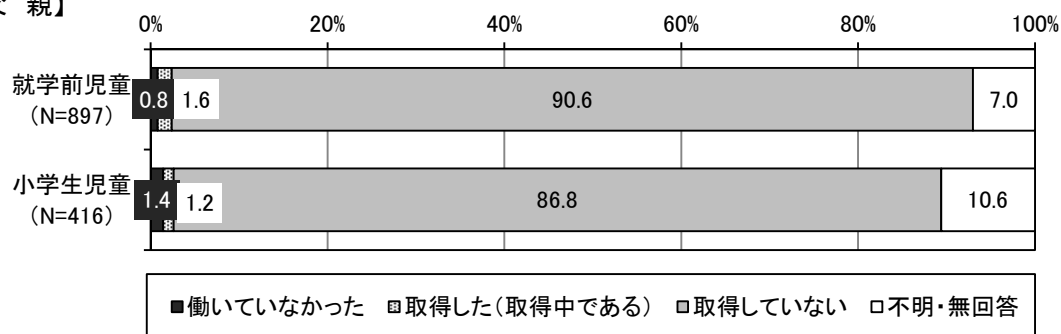
11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 子どもが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか

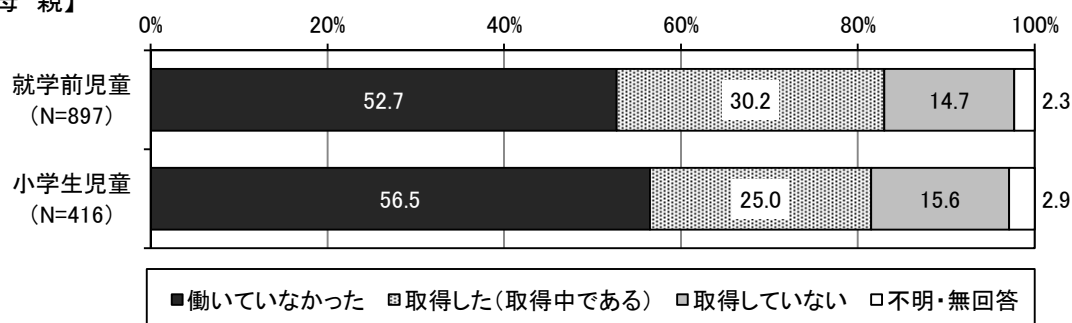
〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 44・小学生児童調査…問 35〕

育児休業の取得の有無についてみると、【父親】では、就学前児童、小学生児童ともに「取得していない」がそれぞれ 90.6%、86.8%となっています。【母親】では、就学前児童、小学生児童ともに「働いていなかった」がそれぞれ 52.7%、56.5%と最も高くなっています。また、【母親】では、就学前児童で「取得した（取得中である）」は 30.2%となっています。

【父親】



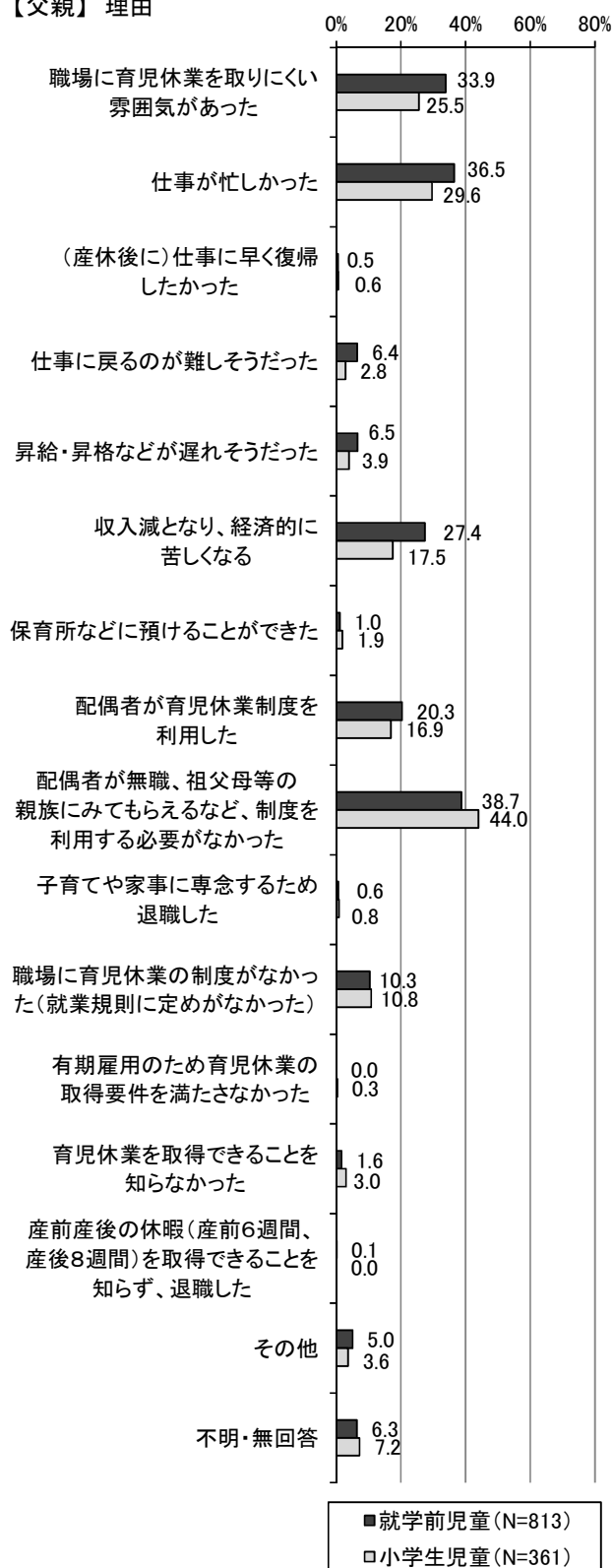
【母親】



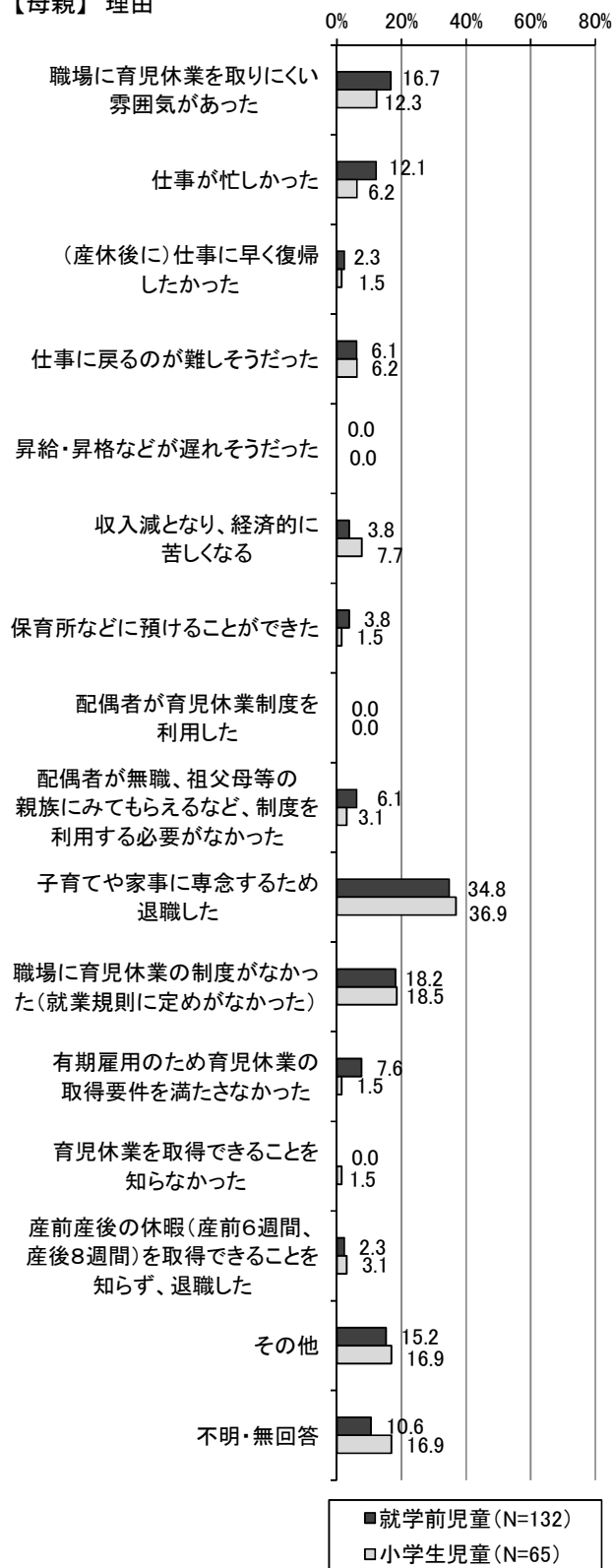
◎取得していない理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 44・小学生児童調査…問 35〕

取得していない理由についてみると、【父親】では、就学前児童、小学生児童ともに「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」、【母親】では、就学前児童、小学生児童ともに「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が最も高くなっています。

【父親】理由

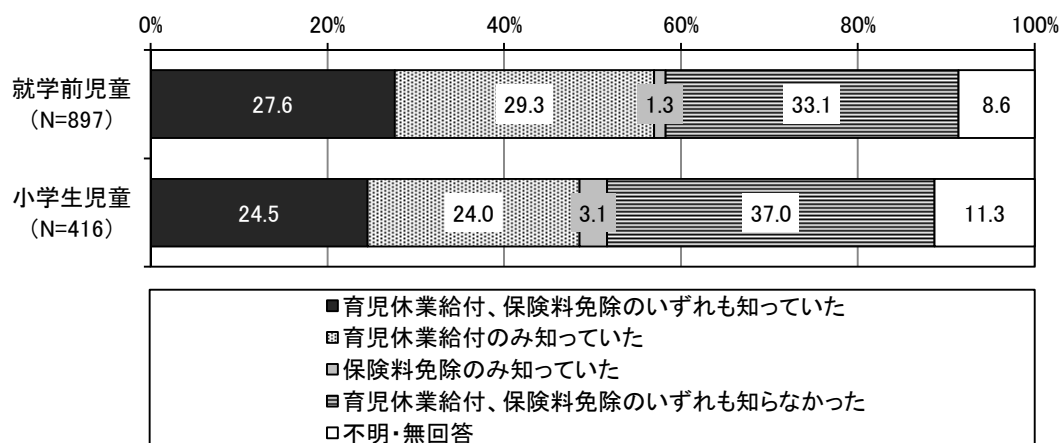


【母親】理由



（１）－１ 特定の要件を満たすと健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みの認知度〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 44-1・小学生児童調査…問 35-1〕

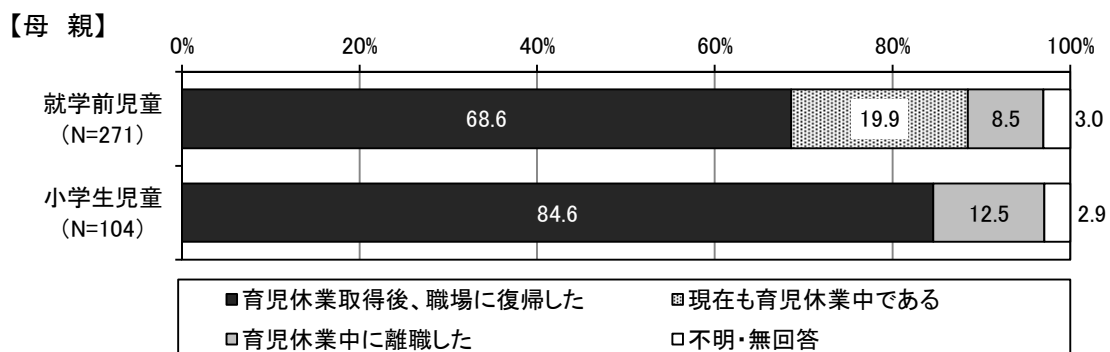
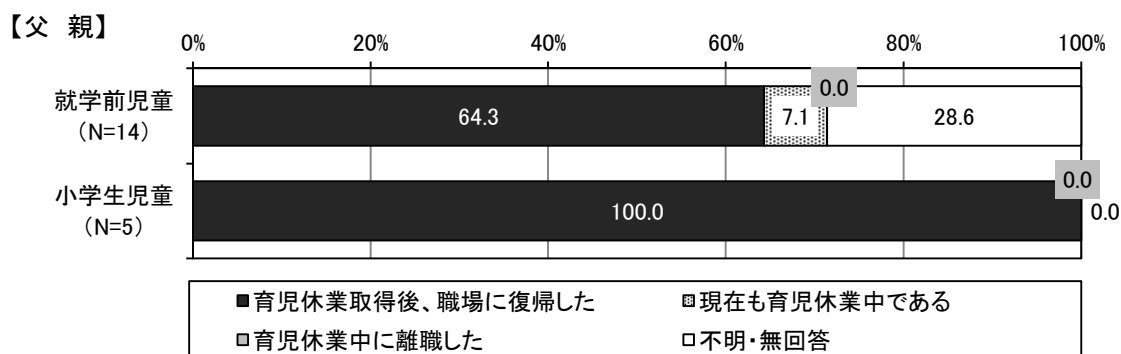
育児休業給付の認知度についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」「育児休業給付のみ知っていた」をあわせた割合は 56.9%、48.5%となっています。



（１）で「取得した（取得中である）」を選ばれた方

（１）－２ 育児休業取得後、職場復帰の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 44-2・小学生児童調査…問 35-2〕

育児休業取得後、職場復帰の有無についてみると、【父親】、【母親】、就学前児童、小学生児童ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も高くなっています。



* 「現在も育児休業中である」の項目は就学前児童のみ。

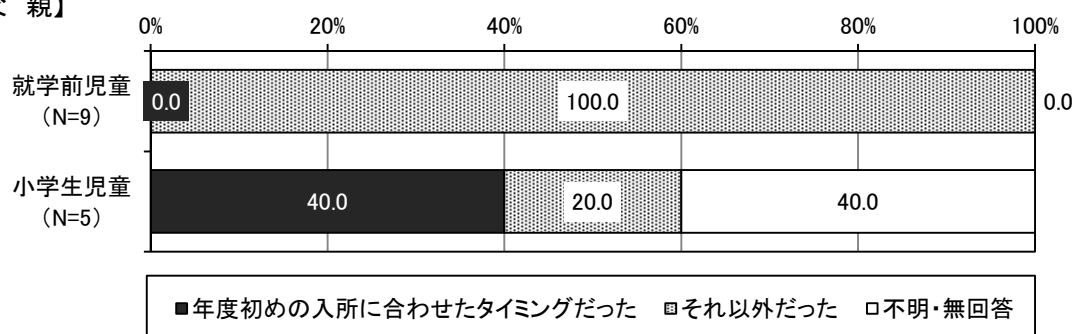
(1) - 2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方

(1) - 3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 44-3・小学生児童調査…問 35-3〕

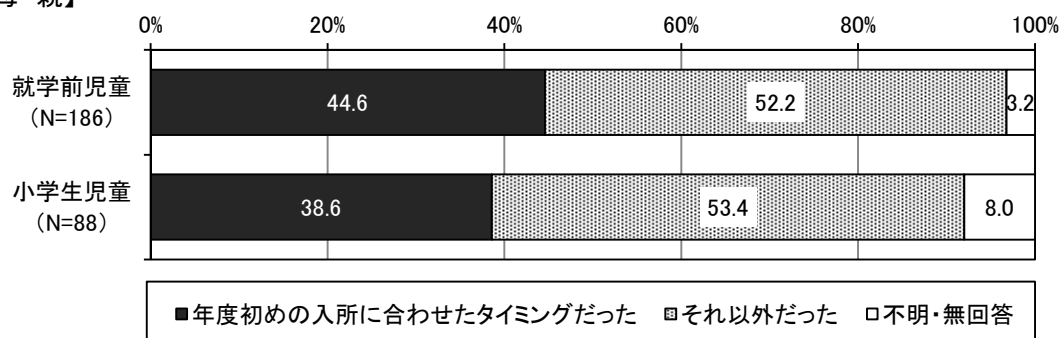
育児休業から職場に復帰したタイミングについてみると、【父親】では、就学前児童では「それ以外だった」が100.0%、小学生児童では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が40.0%、「それ以外だった」が20.0%となっています。

【母親】では、就学前児童では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が44.6%、「それ以外だった」が52.2%となっており、小学生児童では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が38.6%、「それ以外だった」が53.4%となっています。

【父親】



【母親】



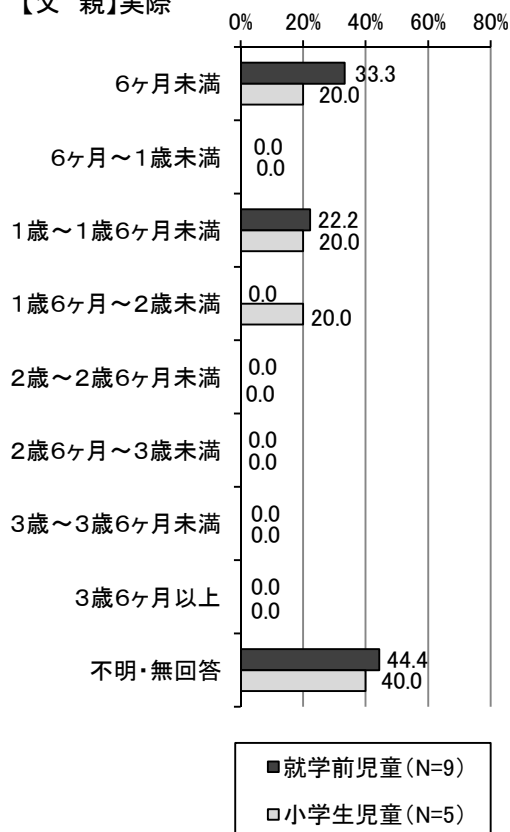
(1)－2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方

(1)－4 実際の取得期間及び希望の取得期間〈数量回答〉〔就学前児童調査…問 44-4・小学生児童調査…問 35-4〕

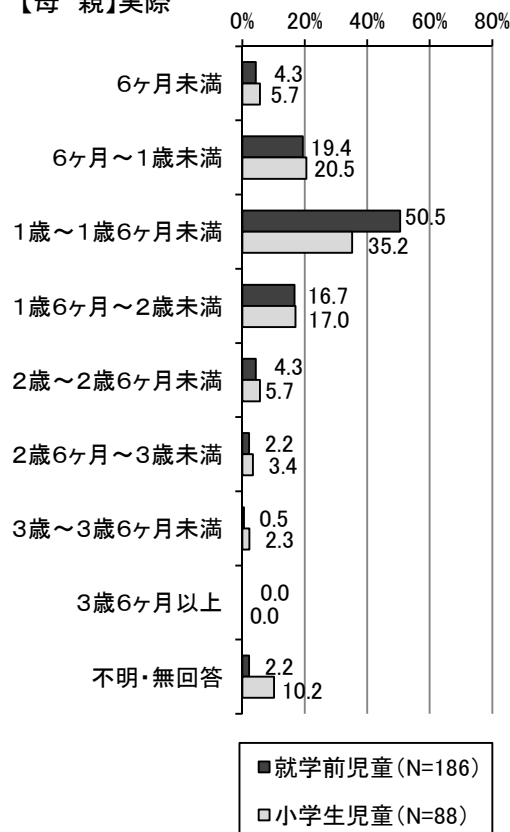
実際の取得期間についてみると、【父親】では、就学前児童で「6か月未満」、小学生児童で「6ヶ月未満」、「1歳～1歳6ヶ月未満」、「1歳6ヶ月～2歳未満」、【母親】では、就学前児童、小学生児童ともに「1歳～1歳6ヶ月未満」が最も高くなっています。

◎実際

【父親】実際

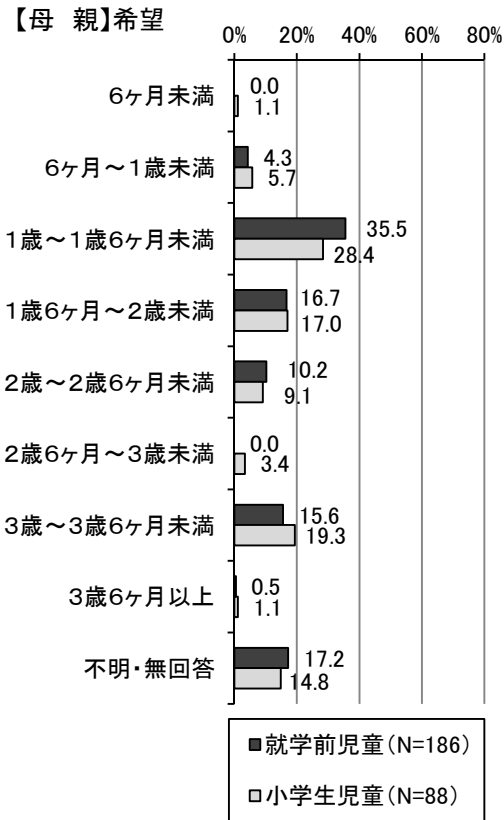
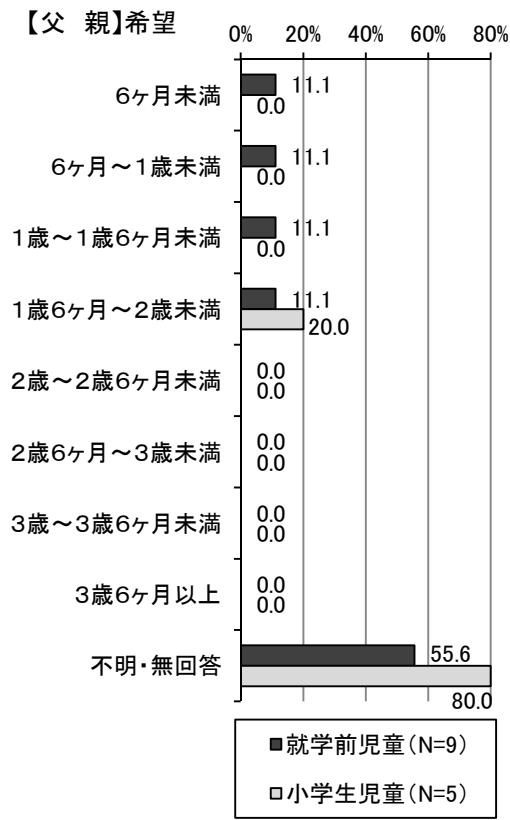


【母親】実際



希望の取得期間についてみると、【父親】では、就学前児童で「6ヶ月未満」、「6ヶ月～1歳未満」、「1歳～1歳6ヶ月未満」、「1歳6ヶ月～2歳未満」、小学生児童で「1歳6ヶ月～2歳未満」、【母親】では、就学前児童、小学生児童ともに「1歳～1歳6ヶ月未満」が最も高くなっています。

◎希望

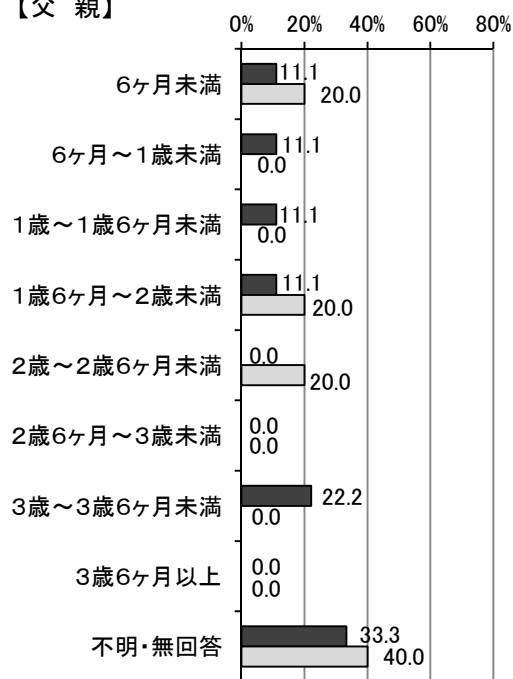


(1) - 2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方

(1) - 5 3歳まで休暇を取得できる制度があれば希望として取りたかった月齢〈数量回答〉〔就学前児童調査…問 44-5・小学生児童調査…問 35-5〕

希望として取りたかった月齢についてみると、【父親】では、就学前児童で「3歳～3歳6ヶ月未満」、小学生児童で「6ヶ月未満」、「1歳6ヶ月～2歳未満」、「2歳～2歳6ヶ月未満」が最も高くなっています。【母親】では、就学前児童、小学生児童ともに「3歳～3歳6ヶ月未満」が最も高くなっています。

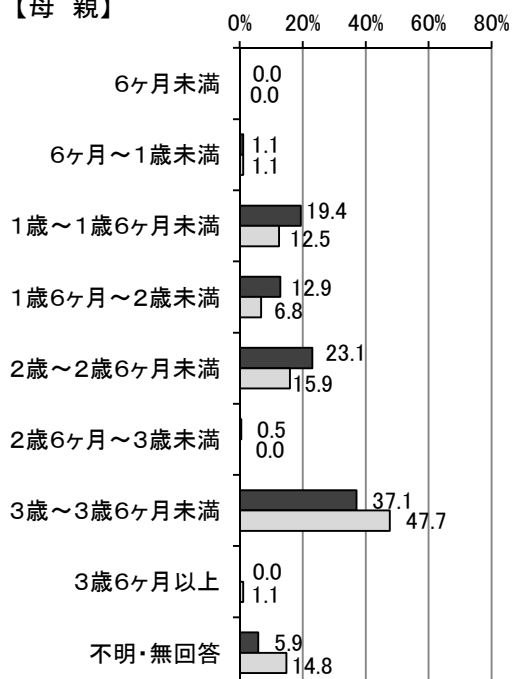
【父親】



■就学前児童 (N=9)

□小学生児童 (N=5)

【母親】



■就学前児童 (N=186)

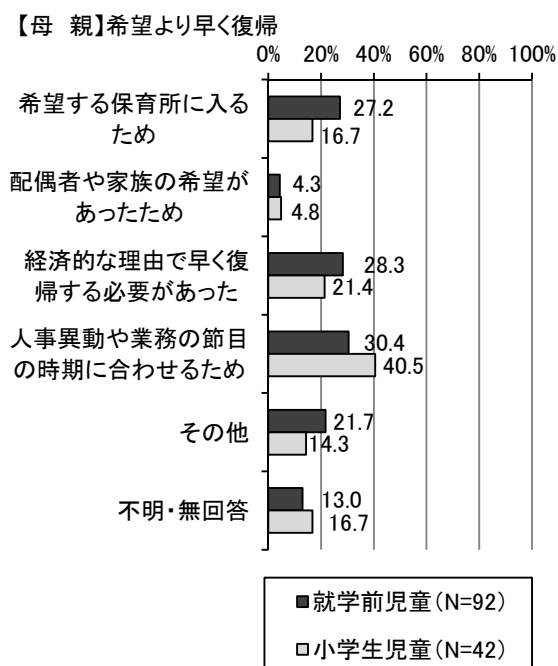
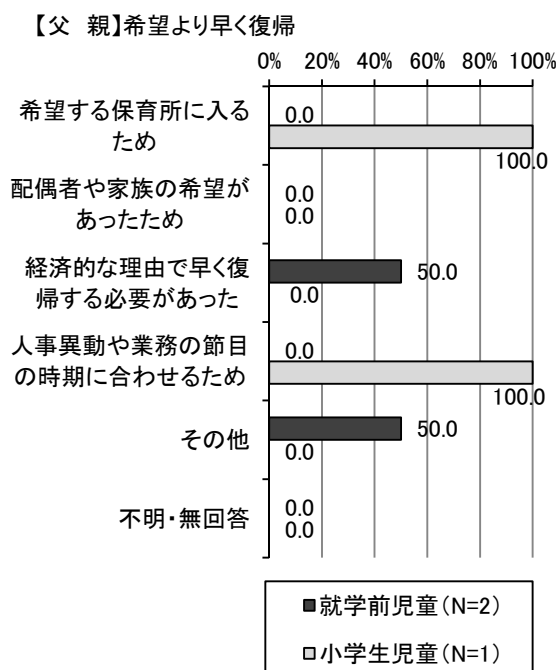
□小学生児童 (N=88)

(1) - 4で実際の復帰と異なる方

(1) - 6 希望の時期に職場復帰しなかった理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 44-6・小学生児童調査…問 35-6〕

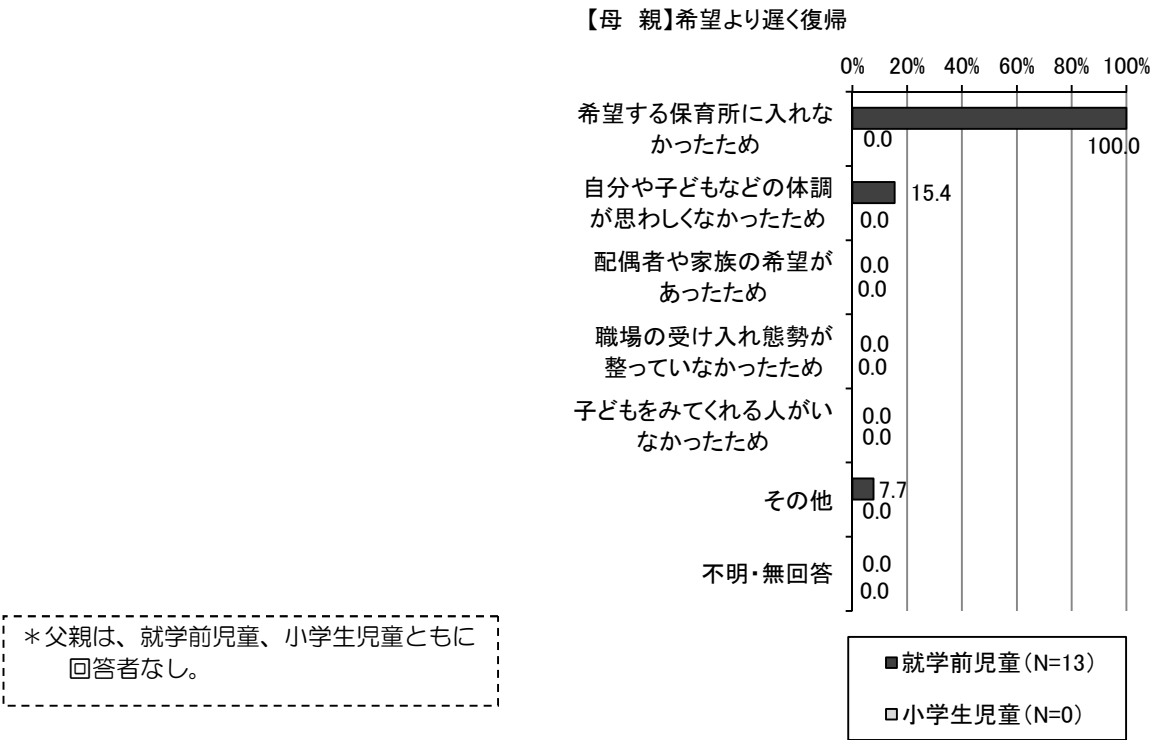
希望の時期に職場復帰しなかった理由で「希望」より早く復帰した方についてみると、【父親】では、就学前児童で「経済的な理由で早く復帰をする必要があった」(50.0%)と答えている方がいました。【母親】では、就学前児童、小学生児童ともに「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」がそれぞれ30.4%、40.5%と最も高くなっています。

① 「希望」より早く復帰した方



希望の時期に職場復帰しなかった理由で「希望」より遅く復帰した方についてみると、【父親】では、就学前児童、小学生児童ともに回答者はありませんでした。一方【母親】では、就学前児童で「希望する保育所に入るため」が 100.0%と最も高く、小学生児童では【父親】同様、回答者はありませんでした。

② 「希望」より遅く復帰した方



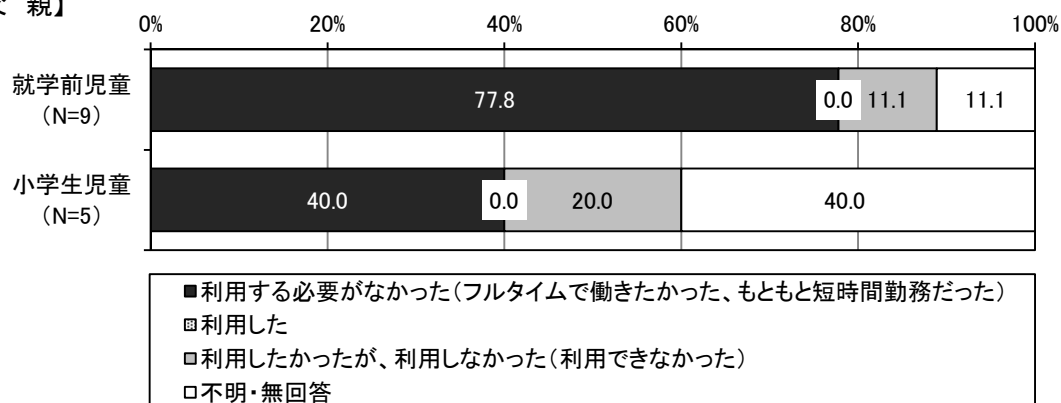
（１）－４で実際の復帰と異なる方

（１）－７ 育児休業からの職場復帰時、短時間勤務制度の利用の有無〈単数回答〉〔就

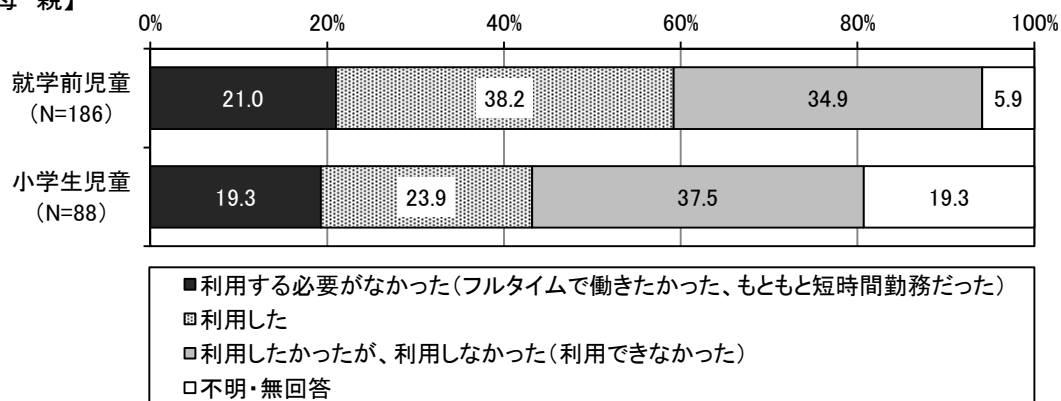
学前児童調査…問 44-7・小学生児童調査…問 35-7〕

育児休業からの職場復帰時、短時間勤務制度の利用の有無についてみると、【父親】では、就学前児童、小学生児童ともに「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が、それぞれ77.8%、40.0%となっています。一方、【母親】では、何らかの理由で『利用したい』（「利用した」と「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の合計）と考えた方は就学前児童で73.1%、小学生児童で61.4%となっています。

【父親】



【母親】

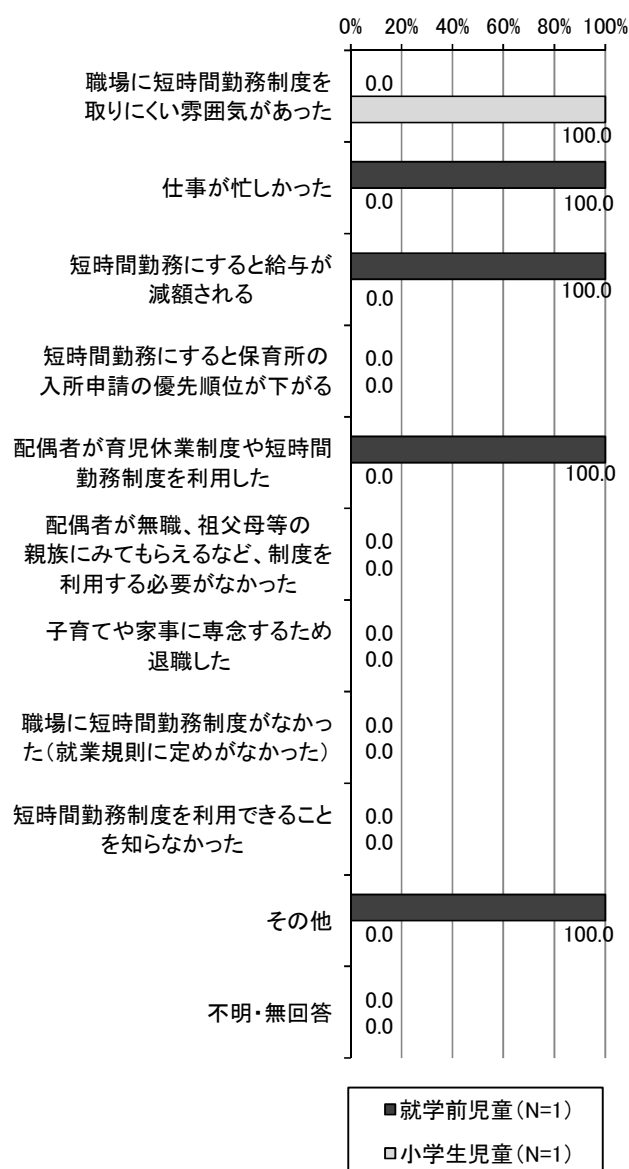


（１）－７で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」を選ばれた方

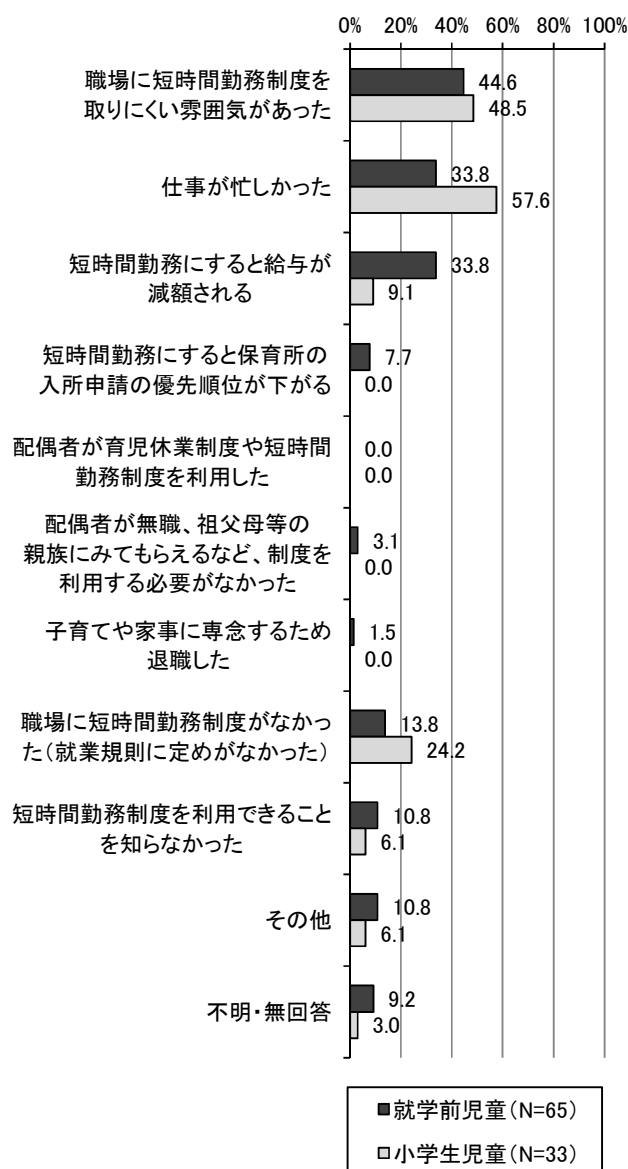
（１）－８ 短時間勤務制度を利用しなかった理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 44-8・小学生児童調査…問 35-8〕

短時間勤務制度を利用しなかった理由についてみると、【父親】では、就学前児童で「仕事が忙しかった」、「短時間勤務にすると給与が減額される」、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」となっています。小学生児童では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」となっています。【母親】では、就学前児童で「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が44.6%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」がともに33.8%となっています。小学生児童では「仕事が忙しかった」が57.6%で最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が48.5%、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が24.2%となっています。

【父親】理由



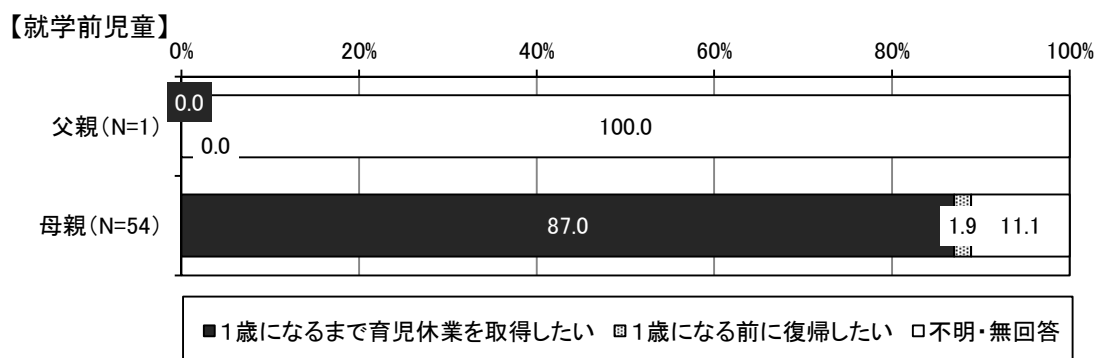
【母親】理由



(1) - 2で「現在も育児休業中である」を選ばれた方

(1) - 9 子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、利用できる事業があっても1歳になる前に復帰しますか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 44-9〕

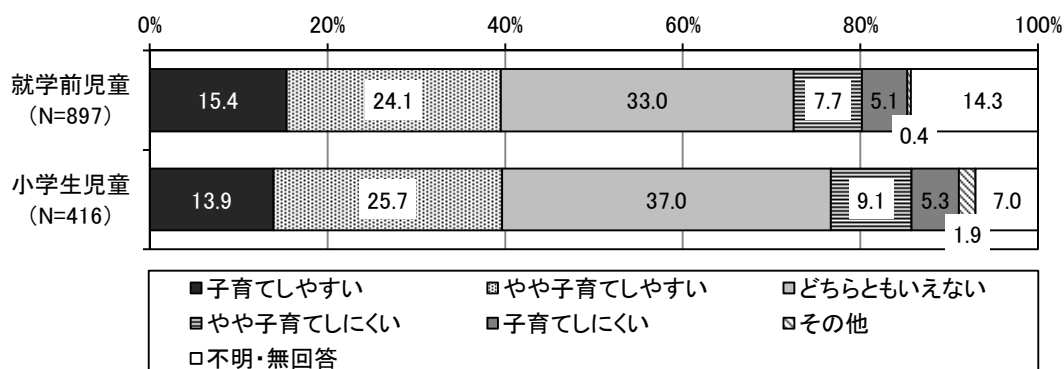
子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、利用できる事業があっても1歳になる前に復帰しますかについてみると、【父親】では、回答者はありませんでした。【母親】では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が87.0%となっています。



(2) 彦根市は子育てしやすいところだと思いますか〈単数回答〉

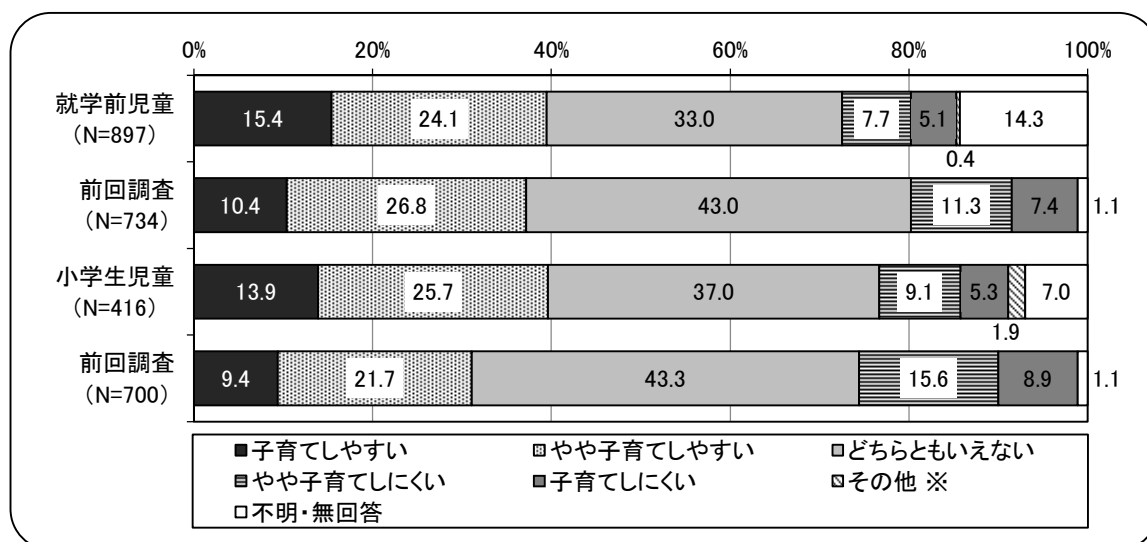
〔就学前児童調査…問 45・小学生児童調査…問 36〕

彦根市は子育てしやすいところだと思いますかについてみると、就学前児童、小学生児童ともに「どちらともいえない」がそれぞれ33.0%、37.0%と最も高く、次いで「やや子育てしやすい」がそれぞれ24.1%、25.7%となっていますが、『子育てしやすい』（「子育てしやすい」と「やや子育てしやすい」）と感じている方は就学前児童で39.5%、小学生児童で39.6%となっており、概ね4割の方が子育てしやすいと感じていることが見受けられます。



◆前回調査との比較◆

前回調査と比較してみると、『子育てしやすい』割合が就学前児童で 2.3 ポイント、小学生児童で 8.5 ポイント増加しています。一方、『子育てしにくい』（「やや子育てしにくい」と「子育てしにくい」）割合は就学前児童で 5.9 ポイント、小学生児童で 10.1 ポイント減少しています。また、「どちらともいえない」割合は就学前児童で 10.0 ポイント、小学生児童で 6.3 ポイント減少しています。



※「その他」は今回調査のみ

12 調査結果のまとめ

（１）お子さんご家族の状況について

- 調査票の回答者については、「母親」が就学前児童で 92.0%、小学生児童で 89.7%となっています。子育てを主に行っている方は、「父母ともに」が就学前児童で 52.0%、小学生児童で 51.4%と最も高く、次いで、「母親」が就学前児童で 46.2%、小学生児童で 44.5%となっており、就学前児童において母親に子育ての負担がかかっていることがうかがえます。

（２）子どもの育ちをめぐる環境について

- 日頃、子どもをみてもらえる状況については、「緊急時もしくは用事の際にはみてもらえる」割合が、親族の場合では就学前児童で 50.7%、小学生児童 59.3%、友人・知人の場合でも就学前児童で 44.7%、小学生児童で 47.8%となっており、比較的子どもをみてもらえる人の存在が多いことがうかがえます。また、子育てをする上で相談できる相手（場所）のいる割合は、就学前児童、小学生児童ともに高く、その相談相手として、「配偶者（夫または妻）」「父母（子どもの祖父母）」「友人・知人」などの割合が上位を占めています。子どもの育ちをめぐる環境において、親族をはじめ、友人・知人、教育・保育施設もふくめた環境を構築する必要があります。

（３）保護者の就労状況について

- 保護者の就労状況については、父親では就学前児童、小学生児童ともに「フルタイム」の割合が最も高く、母親では就学前児童において「以前は就労していたが、現在は就労していない」、小学生児童で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が最も高くなっています。パートタイム・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望では、実現できる見込みに関係なく転換を希望する割合は、就学前児童で 36.3%、小学生児童で 28.6%となっています。一方、パートタイム・アルバイト等の就労を続けることを希望する割合は、就学前児童で 49.1%、小学生児童で 58.9%となっており、フルタイムでの就労よりもパート・アルバイトの希望が高く、子育てをしながら一定の時間内で就労を希望する母親が多いことがうかがえます。

（４）平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）

- 就学前児童で平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」割合は 63.4%となっています。平日に利用している教育・保育事業では、「認可保育所」が 57.3%、「幼稚園」が 30.6%となっており、認可保育所の利用が高い状況となっています。利用している主な理由としては「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が 59.9%、「子どもの教育や発達のため」が 57.1%に回答が集中しています。一方、現在の利用の有無にかかわらず、今後利用したい事業では「認可保育所」が 61.6%、「幼稚園」が 45.0%となっており、平日に利用している教育・保育事業と比較すると、「認可保育所」（「現在」57.3%・「希望」61.6%で+4.3 ポイントの差）、「幼稚園」（「現在」：30.6%・「希望」45.0%で+14.4 ポイントの差）となっており、平日の教育・保育事業と

して、特に「幼稚園」について、現在の利用状況と今後の利用希望で乖離がみられます。その他、「一時預かり」や「認定こども園」「幼稚園の預かり保育」「保育所の延長保育（19 時を超えての延長保育）」の利用希望も高くなっており、教育・保育施設を利用する際に就労状況が大きく影響していることがうかがえます。

（５）地域の子育て支援事業の利用状況について

- 就学前児童における地域子育て支援拠点事業の利用状況については、「利用していない」が 73.9%となっています。また、今後の利用意向についても、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 59.8%となっています。子育て支援サービスの認知度、利用度、利用希望についてみると、認知度【知っている】では、「はい」で『パパママ学級』が 81.3%、利用度【利用したことがある】では、「はい」で『すくすく教室・のびのび教室』36.7%、利用希望【今後利用したい】では、「はい」で『地域子ども文庫・地域親子文庫』が 56.0%で最も高くなっています。一方で、小学生児童における学習支援・子育て支援サービスの認知度、利用度、利用希望についてみると、認知度【知っている】では、「はい」で『いじめ相談ホットライン』が 83.2%、利用度【利用したことがある】では、「はい」で『地域子ども文庫・地域親子文庫』が 31.3%、利用希望【今後利用したい】では、「はい」で『地域子ども文庫・地域親子文庫』が 59.1%で最も高くなっています。

（６）土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について（就学前児童）

- 土曜・休日や長期期間中の定期的な教育・保育事業の利用希望について、土曜日で『利用したい』（ほぼ毎週利用したい 8.7%と「月に 1～2 回は利用したい」20.8%の合計）の割合は 29.5%、日曜日・祝日で 16.0%に対し、夏休み・冬休みなど長期休暇期間中の場合では 50.8%となっています。

（７）病気の際の対応について

- 平日定期的な教育・保育事業を利用している方で、お子さんの病気やケガで通常の利用ができなくなったことが「あった」が就学前児童で 75.0%、小学生児童で 61.5%となっており、その対処方法として「母親が仕事を休んだ」が高くなっている一方で、「病児・病後児の保育サービスを利用した」方は就学前児童で 3.0%、小学生児童で 1.6%と低い結果となっています。保護者のどちらかが休んで対応した方のなかで、病児・病後児のための保育施設を「利用したいとは思わない」方は就学前児童で 66.0%、小学生児童で 87.3%となっており、その理由としては「親が仕事を休んで対応する」が就学前児童で 51.0%、小学生児童で 50.4%と最も高く、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 45.0%、小学生児童で 45.3%となっており、病気の際の対応として親が対応すべきと考えている保護者が多いことがうかがえます。

（８）不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について（就学前児童）

- 「一時預かり」については「利用していない」が 90.7%で群を抜いて高くなっており、理由と

しては「特に利用する必要がない」が75.4%となっている一方で、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」（20.5%）や「利用料がわからない」（14.5%）「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」（11.3%）方もおられ、今後も事業内容の周知等を行う必要があります。

（９）放課後の過ごし方について

- 小学生児童における希望する放課後の過ごし方についてみると、「自宅」が最も高く、就学前児童で 57.7%、小学生児童で 65.6%と最も高くなっており、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（就学前児童で 38.8%、小学生児童で 51.2%）となっており、放課後児童クラブ（学童保育）」（就学前児童で 36.8%、小学生児童で 29.8%）はその次にあがっています。また、小学校高学年における希望する放課後の過ごし方については、就学前児童では「自宅」が66.7%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が50.7%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が25.4%となっている一方で、小学生児童では、「自宅」が74.5%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が64.2%、「祖父母宅や友人・知人宅」が34.1%となっており、「放課後児童クラブ（学童保育）」が17.3%となっています。全体的に放課後の過ごし方については、「自宅」や「習い事」を考えている保護者が多く、特に高学年になるにつれて割合は高くなっており、地域で子育てを育む意識が高い環境であることがうかがえます。

（10）子育て観やサービスの満足度などについて

- 子育てに関して『不安を感じる』（「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」）方は就学前児童で52.2%、小学生児童で47.3%となっています。前回調査と比較してみると、『不安を感じる』割合が就学前児童で3.2ポイント、小学生児童で11.5ポイント減少しています。また、仕事と子育てを両立させる上で大変だと思われることについて前回調査と比較してみると、「自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になったとき、代わりに面倒を見る人がいない」割合が就学前児童で9.5ポイント、小学生児童で13.2ポイント、「職場の理解が得られない」割合が就学前児童で6.1ポイント、小学生児童で7.8ポイント、それぞれ減少しており、前回調査と比べて、子育てしやすい環境づくりが進んでいることがうかがえます。さらに、お父さんの子育て参加の有無では、前回調査と比較してみると、『参加している』割合が就学前児童、小学生児童ともに2.2ポイント増加し、『参加していない』（「あまり参加していない」と「全く参加していない」）割合が就学前児童で3.3ポイント、小学生児童で5.7ポイント減少していることから、父親の子育て参加の意識が高まっていることがうかがえます。

（11）育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

- 育児休業を取得の有無についてみると、【父親】では、就学前児童、小学生児童ともに「取得していない」がそれぞれ90.6%、86.8%となっています。【母親】では、就学前児童、小学生児童ともに「働いていなかった」がそれぞれ52.7%、56.5%と最も高くなっています。また、【母親】では、育児休業を「取得した（取得中である）」は、就学前児童では30.2%、小学生児童では25.0%となっており、それぞれ「取得していない」を上回っています。

若者の意識調査

I. 調査の概要

1 調査の目的

若者を取り巻く環境が複雑化・多様化する中、若者の抱える困難が、「ひきこもり」や「ニート」「自殺」といった生きづらさとなって表れ、深刻な社会問題となっています。

若者は次代を担うかけがえのない存在です。一人ひとりが大切にされ支えられながら、たくましく生きていけるよう、社会全体で見守り、育てていかなければなりません。

本調査は、若者の“自立”について、ともに考え若者が抱える困難な課題や新たなニーズを把握し、今後の子ども・若者施策に反映させていくため、実施しました。

2 調査概要

- 調査地域：彦根市全域
- 調査対象者：彦根市在住の19歳～39歳の市民
彦根市の事業所に勤める19歳～39歳の従業員、市内の大学に通学する学生
- 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出、事業所・大学を通じて配布・回収
- 調査期間：平成26年2月12日（水）～平成26年2月28日（金）
- 調査方法：郵送配布・郵送回収による郵送調査法及び事業所を通じた配布・回収

調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
全体	700	275	39.2%
市民	500	137	27.4%
事業所	200	138	69.0%

3 報告書の見方

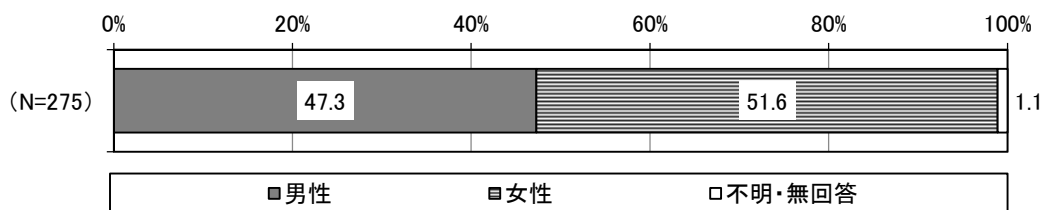
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

Ⅱ. 調査結果 (19 歳～30 歳の市民用調査)

1 回答者について

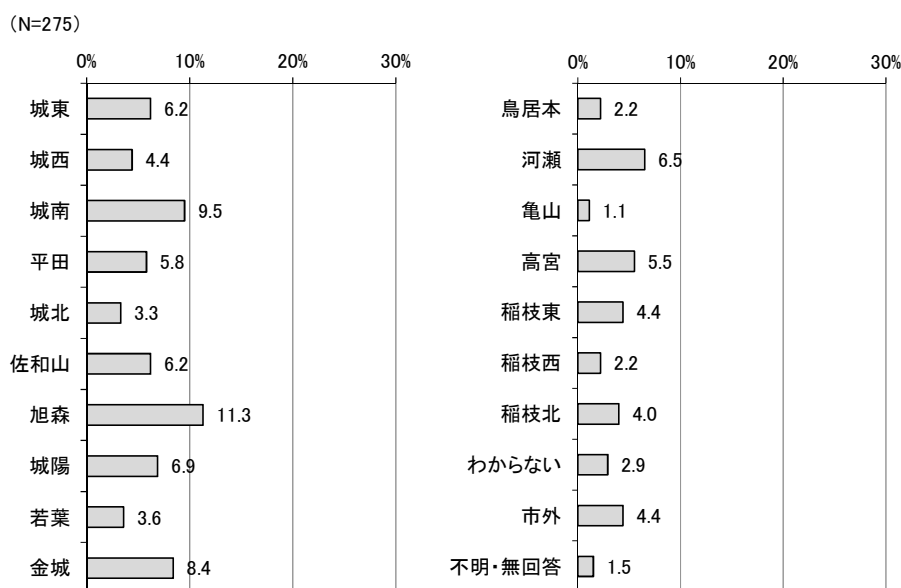
問1 性別はどちらですか。(単数回答)

性別についてみると、「男性」が47.3%、「女性」が51.6%となっています。



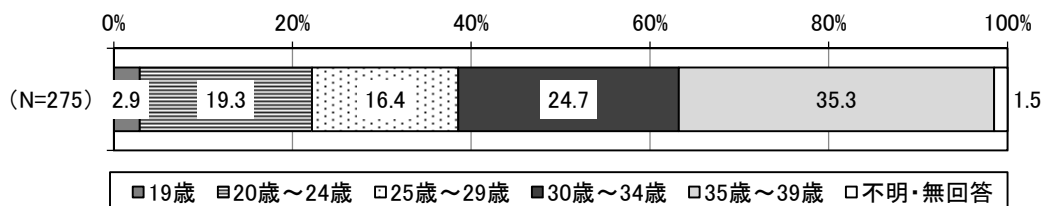
問2 お住まいの小学校区はどちらですか。(単数回答)

居住している小学校区についてみると、以下の通りとなっています。



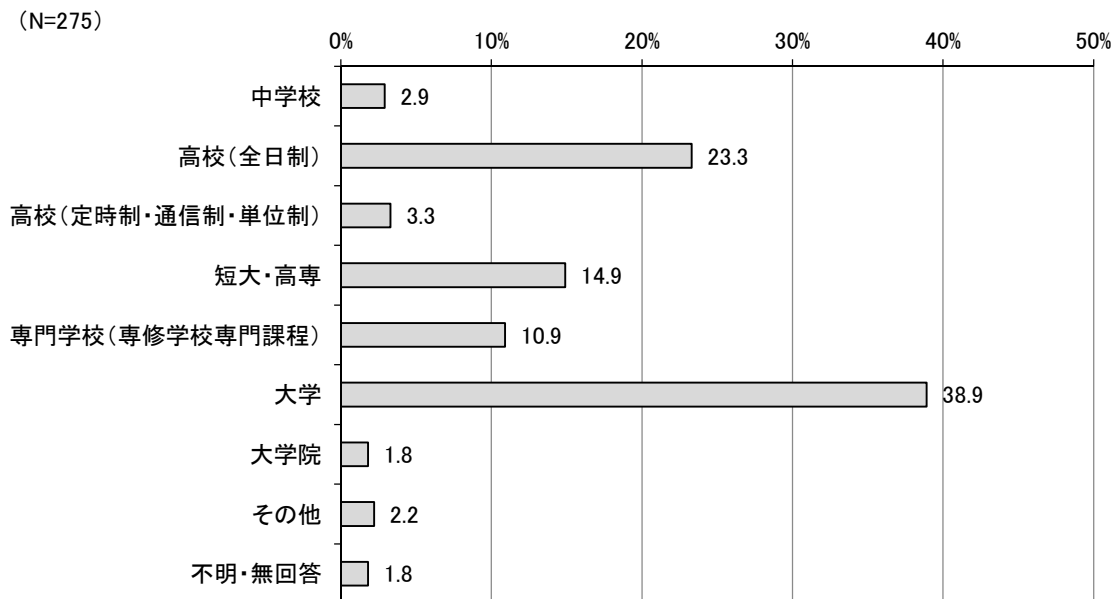
問3 年齢についてうかがいます。(単数回答)

年齢についてみると、「35～39 歳」が35.3%で最も高く、次いで「30～34 歳」が24.7%となっています。



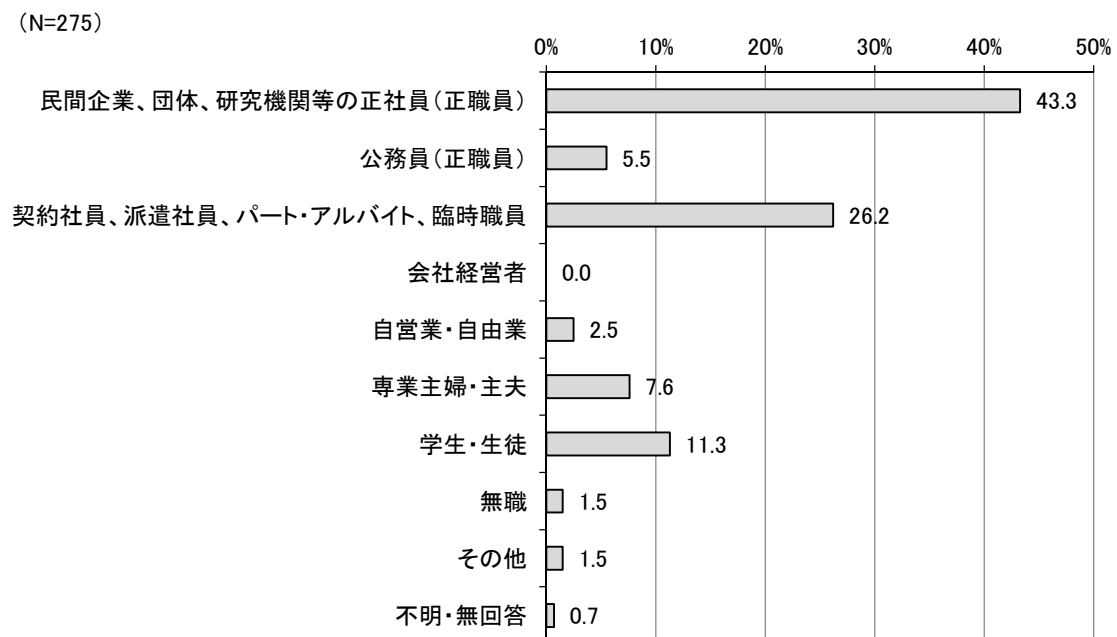
問4 学歴（最終または現在の状況）についてうかがいます。（単数回答）

学歴についてみると、「大学」が 38.9%で最も高く、次いで「高校（全日制）」が 23.3%となっています。



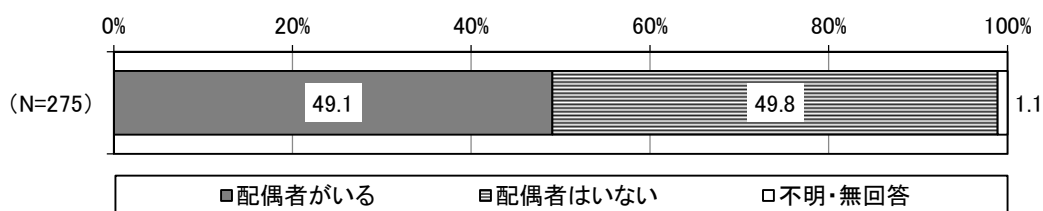
問5 職業についてうかがいます。（単数回答）

職業についてみると、「民間企業、団体、研究機関等の正社員（正職員）」が 43.3%で最も高く、次いで「契約社員、派遣社員、パート・アルバイト、臨時職員」が 26.2%となっています。



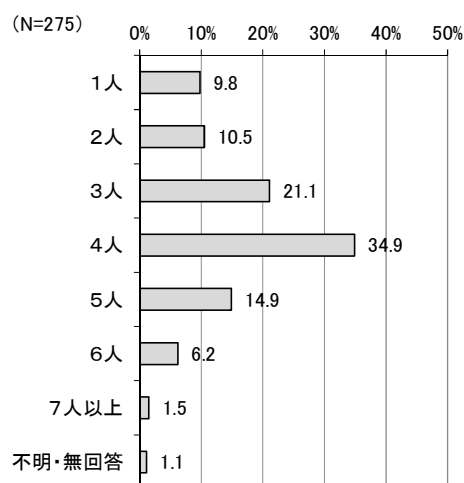
問6 あなたは配偶者がおられますか。(単数回答)

配偶者の有無についてみると、「配偶者がいる」が49.1%、「配偶者はいない」が49.8%となっています。



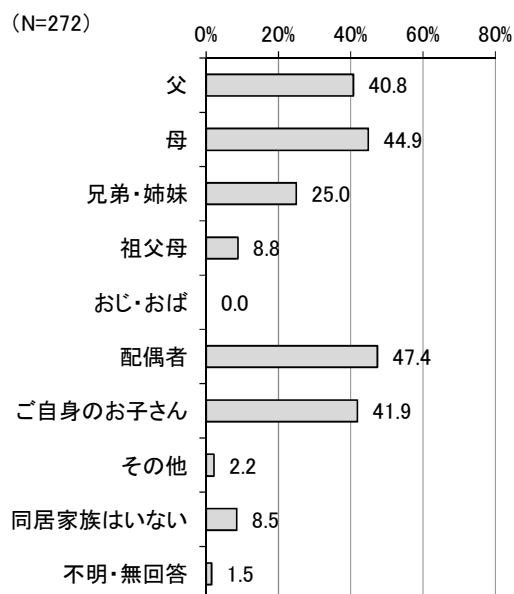
問7 同居している家族はあなたを含めて何人ですか。(数量回答)

同居している家族の人数についてみると、「4人」が34.9%で最も高く、次いで「3人」が21.1%となっています。

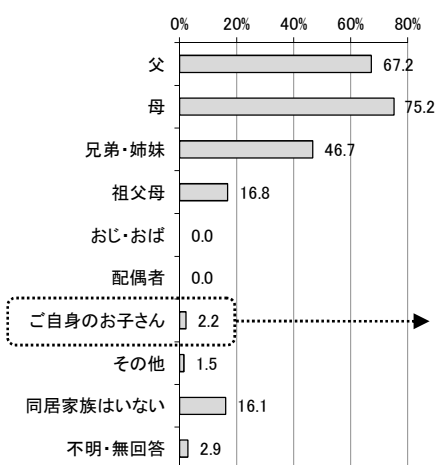


問7-1 同居している家族についてうかがいます。(複数回答)

同居している家族についてみると、「配偶者」が47.4%で最も高く、次いで「母」が44.9%となっています。



問6 × 問7-1

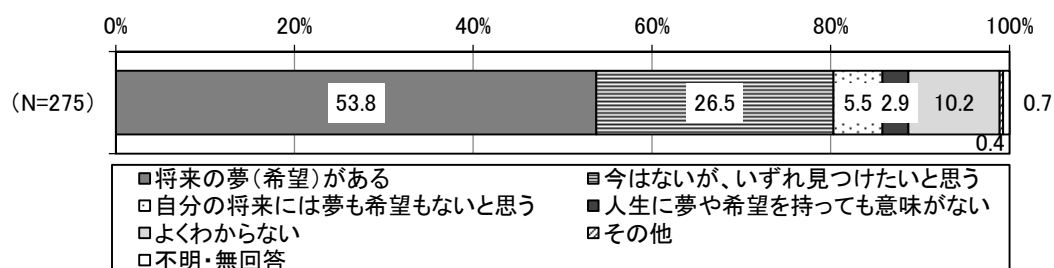


※今回の調査で、「ひとり親家庭」で「子どもがいる方」(問6で「配偶者はいない」を選び、かつ問7-1で「ご自身のお子さん」を選ばれた方)を抽出した結果、該当は3件でした。

2 現代社会の中での回答者の考え方について

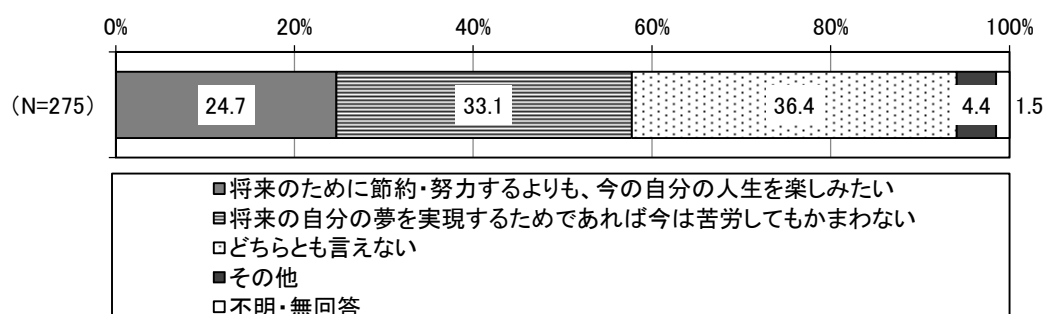
問8 将来の夢や希望がありますか。(単数回答)

将来の夢や希望があるかについてみると、「将来の夢(希望)がある」が53.8%で最も高く、次いで「今はないが、いずれ見つけたいと思う」が26.5%、「よくわからない」が10.2%となっています。一方で、「人生に夢や希望を持っても意味がない」が2.9%となっています。



問9 現在と将来の考えについてどのようにお考えですか。(単数回答)

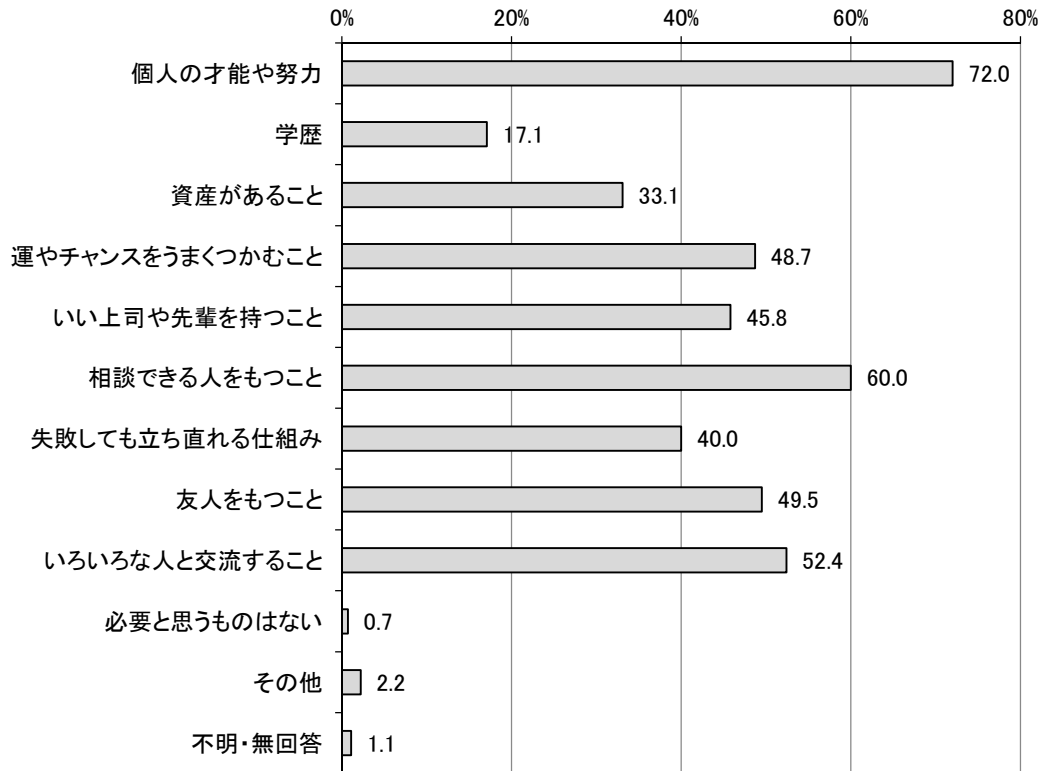
現在と将来の考えについてどう考えるかについてみると、「どちらとも言えない」が36.4%で最も高く、次いで「将来の自分の夢を実現するためであれば今は苦勞してもかまわない」が33.1%、「将来のために節約・努力するよりも、今の自分の人生を楽しみたい」が24.7%となっています。



問 10 社会で生きていくために必要だと思うことは何ですか。（複数回答）

社会で生きていくために必要だと思うことについてみると、「個人の才能や努力」が72.0%で最も高く、次いで「相談できる人をもつこと」が60.0%、「いろいろな人と交流すること」が52.4%となっています。

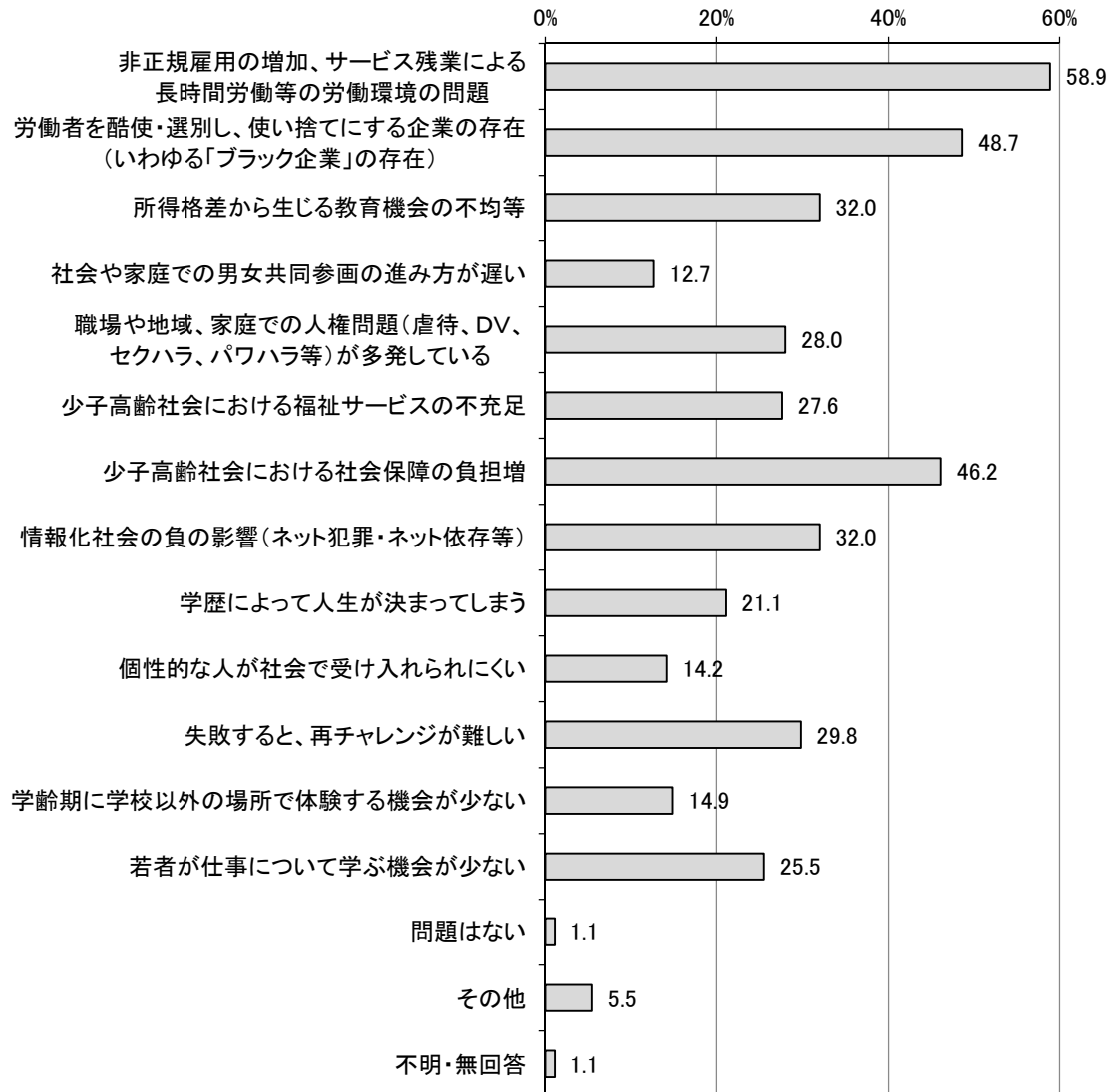
(N=275)



問 11 あなたが考える日本の社会における問題点は何ですか。（複数回答）

日本社会における問題点についてみると、「非正規雇用の増加、サービス残業による長時間労働等の労働環境の問題」が 58.9%で最も高く、次いで「労働者を酷使・選別し、使い捨てにする企業の存在（いわゆる「ブラック企業」の存在）」が 48.7%、「少子高齢社会における社会保障の負担増」が 46.2%となっています。

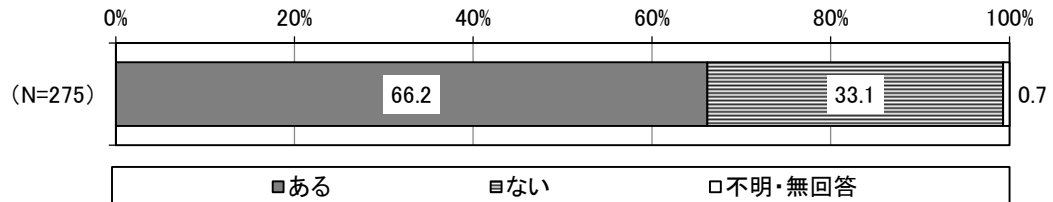
(N=275)



3 回答者の状況について

問 12 現在悩みや心配ごと、困っていることはありますか。(単数回答)

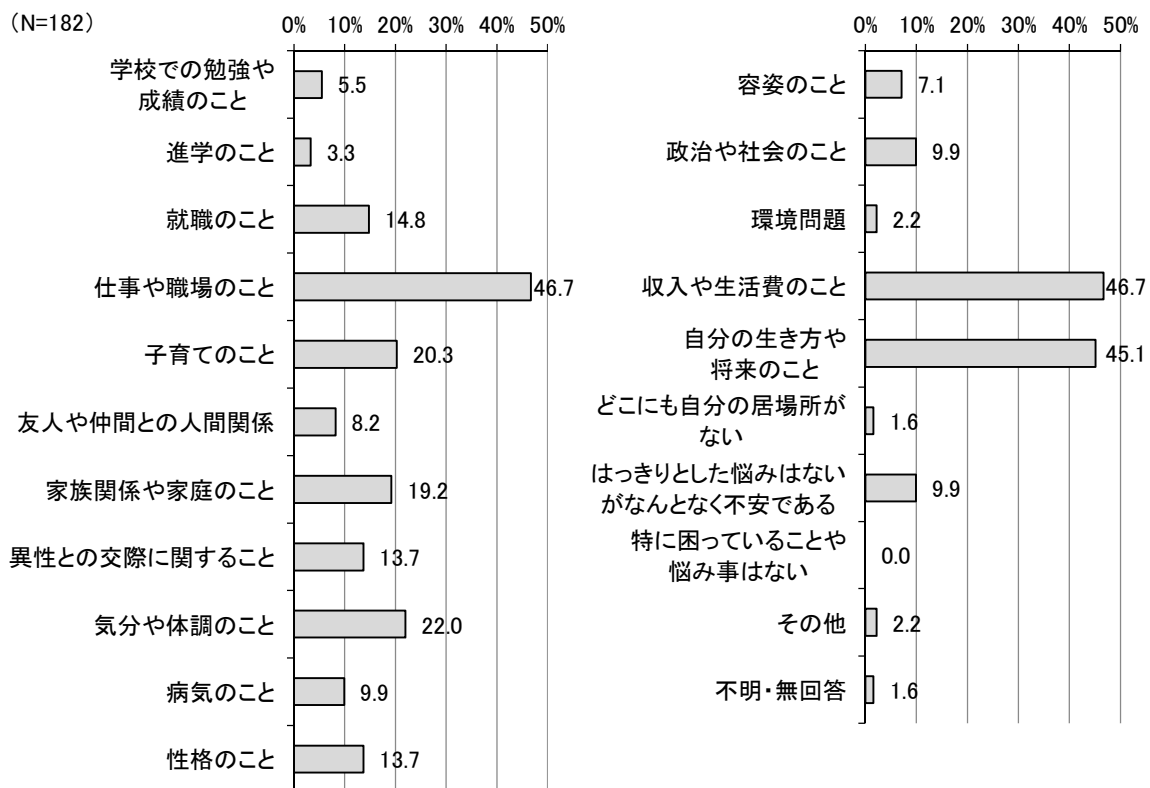
現在悩みや心配ごと、困っていることの有無についてみると、「ある」が66.2%、「ない」が33.1%となっています。



問 12-1 問 12 で「ある」を選んだ方

現在悩みや心配ごと、困っていることはどのような内容ですか。(複数回答)

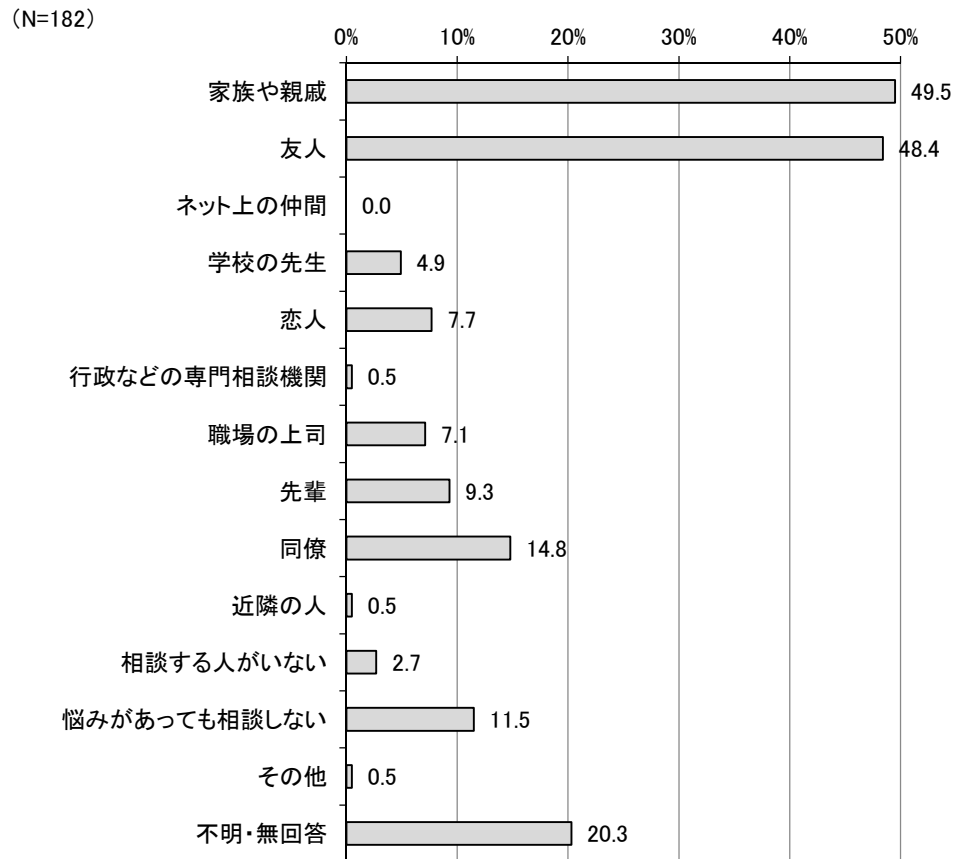
悩みや心配ごと、困ったことの内容についてみると、「仕事や職場のこと」「収入や生活費のこと」がともに46.7%と高く、次いで「自分の生き方や将来のこと」が45.1%、「気分や体調のこと」が22.0%となっています。



問 12-2 問 12 で「ある」を選んだ方

**悩みや心配ごと、困っていることについて、相談する相手は誰ですか。
(複数回答)**

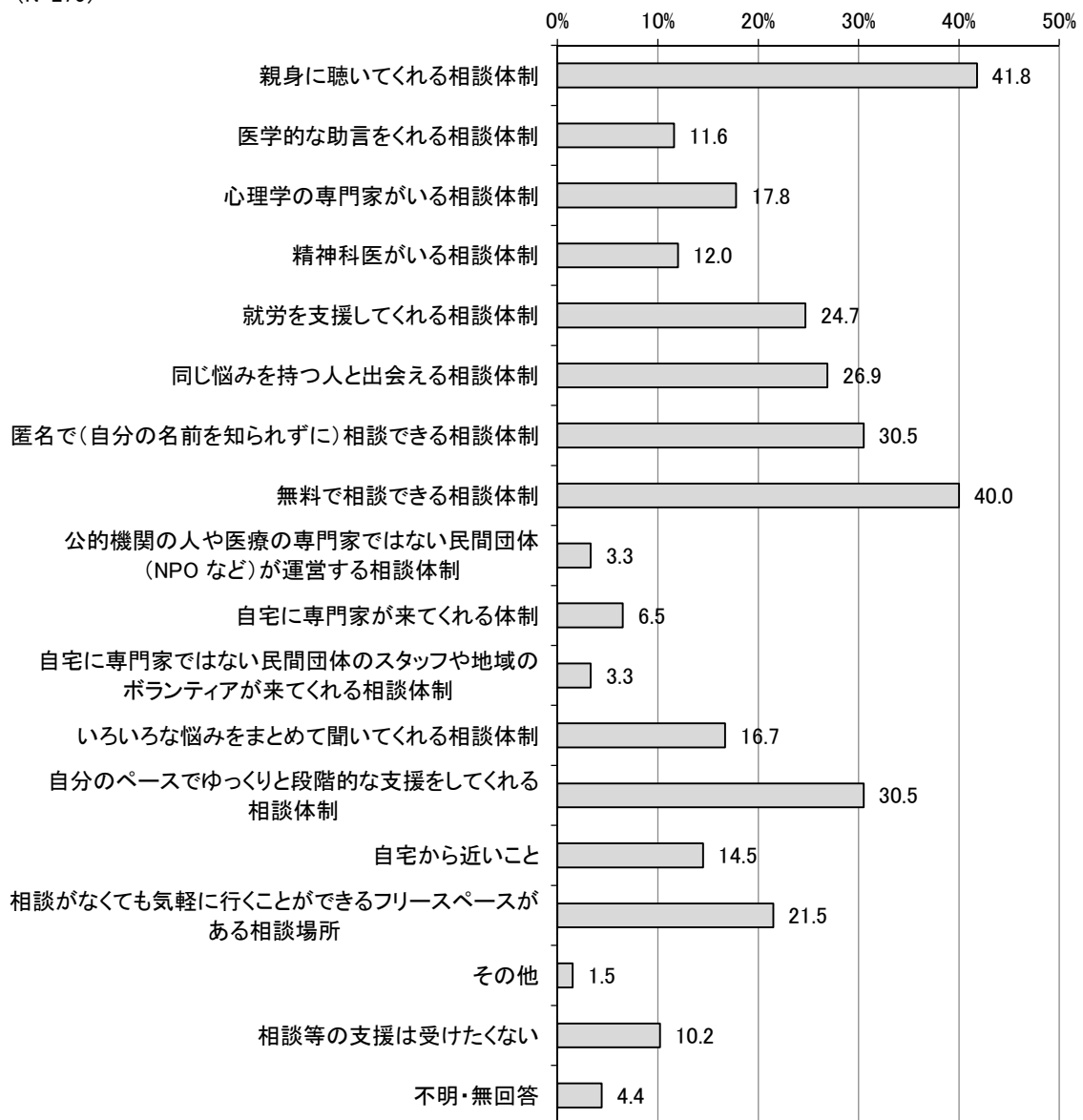
悩みや心配ごとの相談相手についてみると、「家族や親戚」が 49.5%で最も高く、次いで「友人」が 48.4%、「同僚」が 14.8%となっています。



問 13 悩みや心配ごと、困っていることに対応し、若者を支援していくために、あなたはどのような相談体制が必要だと思いますか。（複数回答）

若者を支援していくために必要な相談体制についてみると、「親身に聴いてくれる相談体制」が41.8%で最も高く、次いで「無料で相談できる相談体制」が40.0%、「匿名で（自分の名前を知られずに）相談できる相談体制」「自分のペースでゆっくりと段階的な支援をしてくれる相談体制」がともに30.5%となっています。一方で、「相談等の支援は受けたくない」が10.2%となっています。

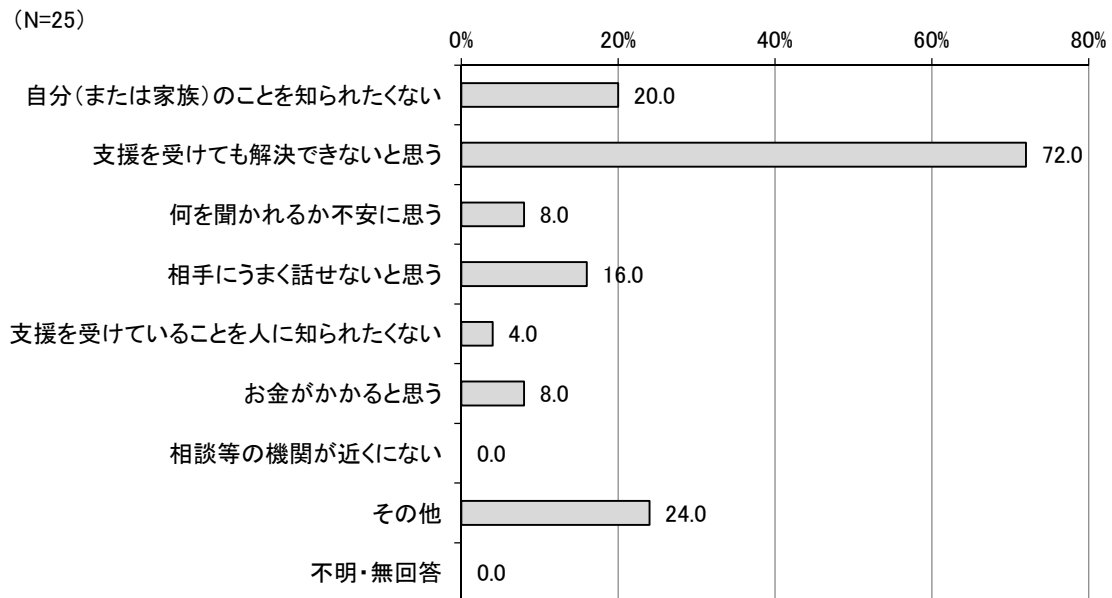
(N=275)



問 13-1 問 13 で「相談等の支援は受けたくない」を選んだ方

あなたが相談等の支援は受けたくないと思う理由は何ですか。（複数回答）

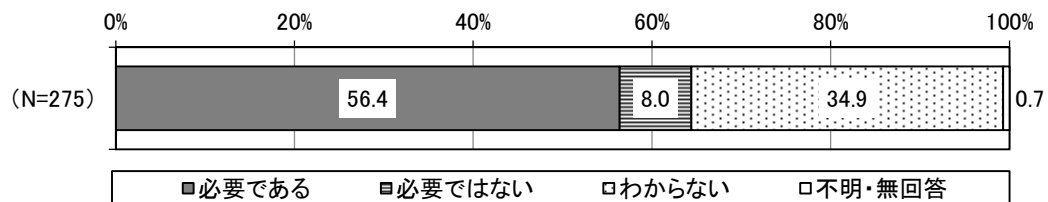
相談等の支援を受けたくないと思う理由についてみると、「支援を受けても解決できないと思う」が72.0%で最も高く、次いで「その他」が24.0%、「自分（または家族）のことを知られたくない」が20.0%となっています。



問 14 若者が抱える課題を解決するために、※「（仮称）彦根市子ども・若者支援センター」は必要だと思いますか。（単数回答）

※若者の相談に対応し関係機関へのつなぎや社会参加への足がかりの機会を提供します。

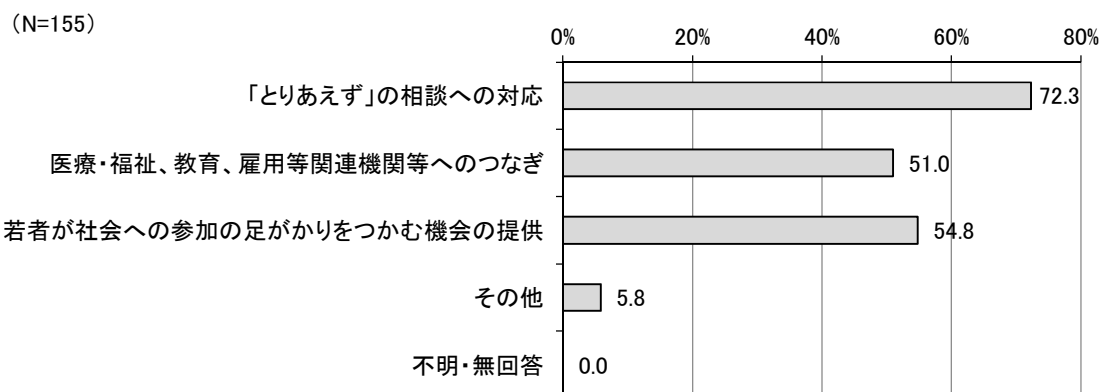
「（仮称）彦根市子ども・若者支援センター」が必要だと思うかについてみると、「必要である」が56.4%で最も高く、次いで「わからない」が34.9%、「必要ではない」が8.0%となっています。



問 14-1 問 14 で「必要である」を選んだ方

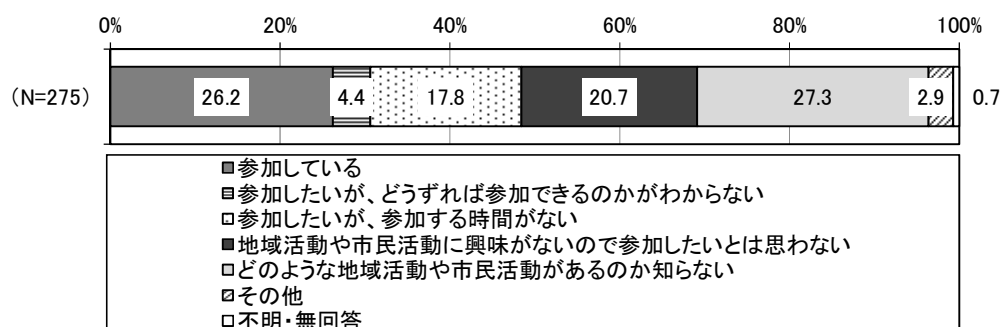
「（仮称）彦根市子ども・若者支援センター」のどのような機能が必要だと思いますか。（複数回答）

「（仮称）彦根市子ども・若者支援センター」に必要だと思う機能についてみると、「とりあえず」の相談への対応」が72.3%で最も高く、次いで「若者が社会への参加の足がかりをつかむ機会の提供」が54.8%、「医療・福祉、教育、雇用等関連機関等へのつなぎ」が51.0%となっています。



問 15 地域や市民活動との関わりについてうかがいます。あなたは、地域活動や市民活動に参加していますか。（単数回答）

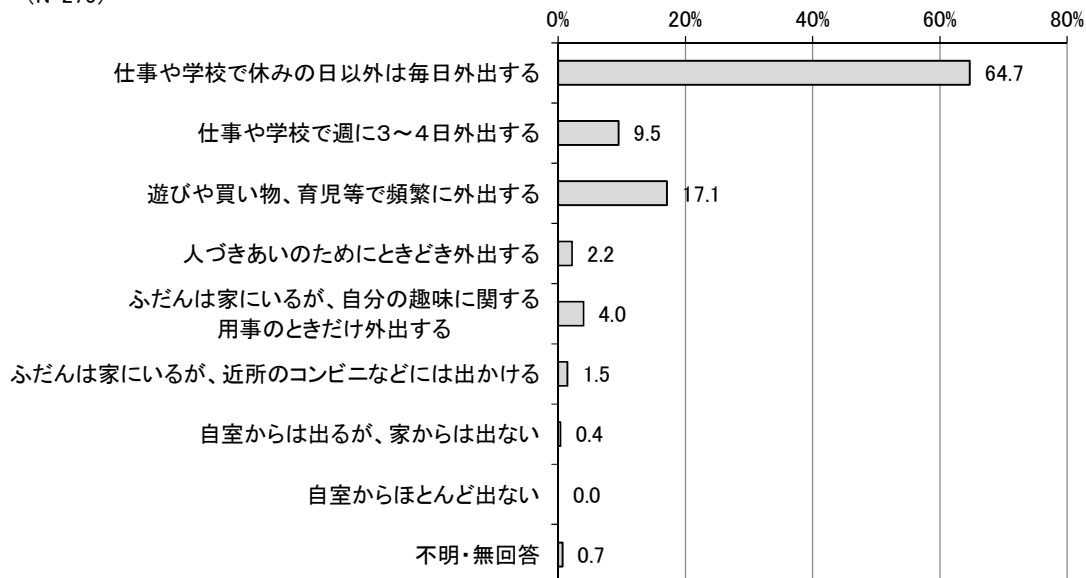
地域活動や市民活動の参加状況についてみると、「どのような地域活動や市民活動があるのか知らない」が27.3%で最も高く、次いで「参加している」が26.2%となっています。一方で、「地域活動や市民活動に興味がないので参加したいとは思わない」が20.7%となっています。



問 16 あなたはふだんどのくらい外出しますか。(単数回答)

ふだんの外出状況についてみると、「仕事や学校で休みの日以外は毎日外出する」が64.7%で最も高く、次いで「遊びや買い物、育児等で頻繁に外出する」が17.1%となっています。また、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」を合わせた割合は5.9%となっています。

(N=275)



問 16 × 性別

性別でみると、[男性][女性]ともに「仕事や学校で休みの日以外は毎日外出する」が最も高く、それぞれ70.0%、59.9%となっており、[男性]が10.1ポイント上回っています。また、「遊びや買い物、育児等で頻繁に外出する」では[男性]9.2%、[女性]24.6%で、[女性]が15.4ポイント上回っています。

上段:度数 下段:%	合計	仕事や学校で 休みの日以外は 毎日外出する	仕事や学校で週に 3~4日外出する	遊びや買い物、 育児等で頻繁に 外出する	人づきあいのために ときどき外出する	ふだんは家にいる が、自分の趣味に 関する用事のときだ け外出する
合計	275 100.0	178 64.7	26 9.5	47 17.1	6 2.2	11 4.0
男性	130 100.0	91 70.0	13 10.0	12 9.2	5 3.8	6 4.6
女性	142 100.0	85 59.9	13 9.2	35 24.6	1 0.7	5 3.5

上段:度数 下段:%	合計	ふだんは家にいる が、近所のコンビニ などには出かける	自室からは出るが、 家からは出ない	自室からほとんど 出ない	不明・無回答
合計	275 100.0	4 1.5	1 0.4	0 0.0	2 0.7
男性	130 100.0	1 0.8	1 0.8	0 0.0	1 0.8
女性	142 100.0	3 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問 16 × 年齢別

年齢別でみると、すべての年齢で「仕事や学校で休みの日以外は毎日外出する」の割合が最も高く、5割以上となっています。また、[30～34 歳] では「遊びや買い物、育児等で頻繁に外出する」が32.4%となっています。

上段:度数 下段:%	合計	仕事や学校で 休みの日以外は 毎日外出する	仕事や学校で週に 3～4日外出する	遊びや買い物、 育児等で頻繁に 外出する	人づきあいのために ときどき外出する	ふだんは家にいる が、自分の趣味に 関する用事のときだ け外出する
合計	275 100.0	178 64.7	26 9.5	47 17.1	6 2.2	11 4.0
19歳	8 100.0	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20歳～24歳	53 100.0	31 58.5	10 18.9	6 11.3	1 1.9	4 7.5
25歳～29歳	45 100.0	28 62.2	6 13.3	4 8.9	3 6.7	2 4.4
30歳～34歳	68 100.0	38 55.9	2 2.9	22 32.4	2 2.9	2 2.9
35歳～39歳	97 100.0	70 72.2	8 8.2	15 15.5	0 0.0	3 3.1

上段:度数 下段:%	合計	ふだんは家にいる が、近所のコンビニ などには出かける	自室からは出るが、 家からは出ない	自室からほとんど 出ない	不明・無回答
合計	275 100.0	4 1.5	1 0.4	0 0.0	2 0.7
19歳	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20歳～24歳	53 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9
25歳～29歳	45 100.0	2 4.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
30歳～34歳	68 100.0	1 1.5	1 1.5	0 0.0	0 0.0
35歳～39歳	97 100.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問 16 × 職業別

職業別でみると、[専業主婦・主夫]では「遊びや買い物、育児等で頻繁に外出する」の割合が最も高く、81.0%となっています。

上段:度数 下段:%	合計	仕事や学校で 休みの日以外は 毎日外出する	仕事や学校で週に 3～4日外出する	遊びや買い物、 育児等で頻繁に 外出する	人づきあいのために ときどき外出する	ふだんは家にいる が、自分の趣味に 関する用事のときだ け外出する
合計	275 100.0	178 64.7	26 9.5	47 17.1	6 2.2	11 4.0
民間企業、団体、研究機関 等の正社員(正職員)	119 100.0	93 78.2	10 8.4	10 8.4	3 2.5	2 1.7
公務員(正職員)	15 100.0	12 80.0	0 0.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0
契約社員、派遣社員、パート・ アルバイト、臨時職員	72 100.0	47 65.3	8 11.1	13 18.1	0 0.0	3 4.2
会社経営者	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
自営業・自由業	7 100.0	4 57.1	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0
専業主婦・主夫	21 100.0	1 4.8	0 0.0	17 81.0	0 0.0	2 9.5
学生・生徒	31 100.0	18 58.1	7 22.6	2 6.5	1 3.2	3 9.7
無職	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0
その他	4 100.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0

上段:度数 下段:%	合計	ふだんは家にいる が、近所のコンビニ などには出かける	自室からは出るが、 家からは出ない	自室からほとんど 出ない	不明・無回答
合計	275 100.0	4 1.5	1 0.4	0 0.0	2 0.7
民間企業、団体、研究機関 等の正社員(正職員)	119 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.8
公務員(正職員)	15 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
契約社員、派遣社員、パート・ アルバイト、臨時職員	72 100.0	1 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
会社経営者	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
自営業・自由業	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
専業主婦・主夫	21 100.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
学生・生徒	31 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無職	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
その他	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問 16-1 問 16 で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」のいずれかを選んだ方
あなたが現在の状態になってどのくらい経ちますか。（単数回答）

現在の状態になってどのくらい経つかについてみると、「6か月未満」「7年以上」がともに 25.0%（4件）となっています。

(N=16)	件数	%
6か月未満	4	25.0
6か月～1年	2	12.5
1年～3年	1	6.3
3年～5年	1	6.3
5年～7年	1	6.3
7年以上	4	25.0
わからない	3	18.8
不明・無回答	0	0.0

問 16-2 問 16 で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」のいずれかを選んだ方

あなたが現在の状態になったきっかけは何ですか。記号がついている設問を答えた方は該当する記号もお答えください。（複数回答）

現在の状態になったきっかけについてみると、「人間関係がうまくいかなかった」「病気」「その他」がともに 18.8%（3件）となっています。また、「特に理由はない」が 25.0%（4件）となっています。

『不登校』を選んだ方の時期についてみると、「小学校」が1件となっています。また、『人間関係がうまくいかなかった』を選んだ方の対象については、「友人」が2件、「家族」が1件となっています。

(N=16)	件数	%
不登校	1	6.3
中退	0	0.0
受験に失敗した	0	0.0
就職活動がうまくいかなかった	0	0.0
職場になじめなかった	0	0.0
人間関係がうまくいかなかった	3	18.8
病気	3	18.8
その他	3	18.8
特に理由はない	4	25.0
わからない	2	12.5
不明・無回答	4	25.0

◎「不登校」「中退」「受験に失敗した」「人間関係がうまくいかなかった」を選んだ方の内訳

不登校(N=1)	件数	%
小学校	1	100.0
中学校	0	0.0
高校	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

人間関係がうまくいかなかった(N=3)	件数	%
友人	2	66.7
職場の上司・同僚	0	0.0
家族	1	33.3
先生	0	0.0
その他の人	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

※「中退」「受験に失敗した」は、回答がありませんでした。

問 16-3 問 16 で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」のいずれかを選んだ方

現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。（単数回答）

現在の状態について関係機関に相談したいと思うかについてみると、「思わない」が 56.3%（9 件）、「非常に思う」「思う」「少し思う」がともに 6.3%（1 件）となっています。

(N=16)	件数	%
非常に思う	1	6.3
思う	1	6.3
少し思う	1	6.3
思わない	9	56.3
わからない	0	0.0
不明・無回答	4	25.0

問 16-4 問 16 で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」のいずれかを選んだ方

現在の状態について、関係機関に相談したことがありますか。または現在相談していますか。（単数回答）

現在の状態について、関係機関への相談の有無についてみると、「ない」が 68.8%（11 件）、「ある」が 6.3%（1 件）となっています。

(N=16)	件数	%
ある	1	6.3
ない	11	68.8
不明・無回答	4	25.0

問 16-5 問 16-4 で「ある」を選んだ方

どのような機関に相談しましたか。（複数回答）

相談したことの機関についてみると、以下の通りとなっています。

回答者 1 件：福祉保健センター（福祉事務所）… 1 件、病院・診療所… 1 件

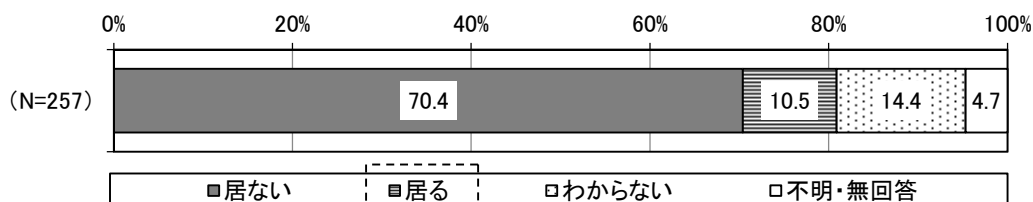
問 16-6 問 16 で「仕事や学校で休みの日以外は毎日外出する」「仕事や学校で週に3～4日外出する」「遊びや買い物、育児等で頻繁に外出する」「人づきあいのためにときどき外出する」のいずれかを選んだ方

あなたの家族や親しい友人等で、以下のような状況の方はおられますか。おられる場合は該当する番号もお答えください。（単数回答）

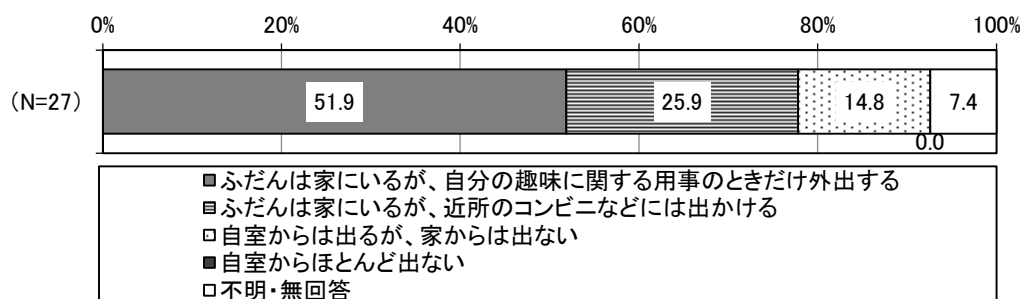
家族や親しい友人等に以下のような状況の方がいるかについてみると、「居ない」が70.4%で最も高く、次いで「わからない」が14.4%、「居る」が10.5%となっています。

また、居ると回答した方の家族や友人の現在の状況については、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」が51.9%で最も高く、次いで「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が25.9%となっています。

【状況】「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」
「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」
「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」



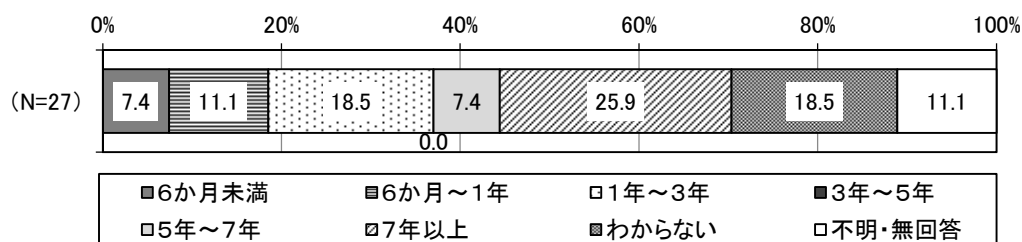
◎「居る」と回答した方の現在の状況



問 16-7 問 16-6 で「居る」を選んだ方

家族や友人等が現在の状態になってどのくらい経ちますか。（単数回答）

家族や友人等が現在の状態になってどのくらい経つかについてみると、「7年以上」が25.9%と最も高く、次いで、「1年～3年」「わからない」がともに18.5%となっています。

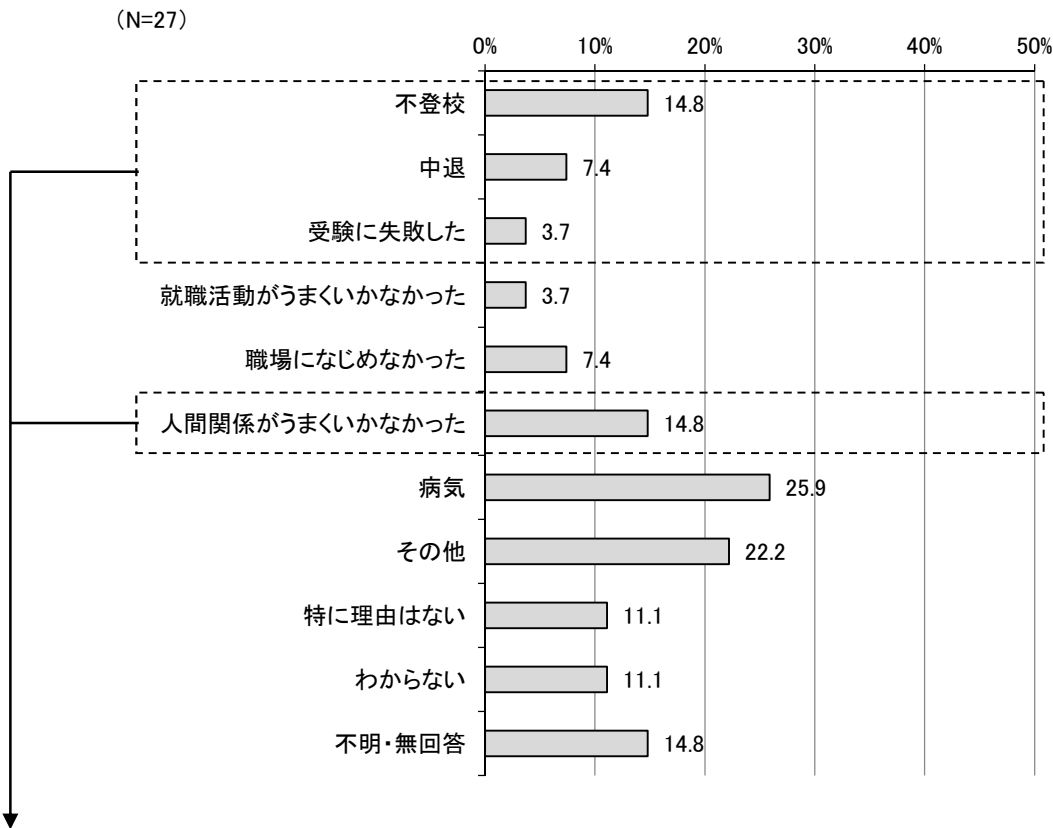


問 16-8 問 16-6 で「居る」を選んだ方

家族や友人等が現在の状態になったきっかけは何だと思われますか。記号がついている設問を答えた方は該当する記号もお答えください。（複数回答）

家族や友人等が現在の状態になったきっかけについてみると、「病気」が 25.9%で最も高く、次いで「その他」が 22.2%となっています。

『不登校』を選んだ方の時期についてみると、「小学校」が 1 件、「中学校」「高校」がともに 2 件となっています。また、『中退』『受験に失敗した』を選んだ方の時期では、「高校」がそれぞれ 2 件、1 件となっています。『人間関係がうまくいかなかった』を選んだ方の対象については、「職場の上司・同僚」「家族」がともに 1 件となっています。



◎「不登校」「中退」「受験に失敗した」「人間関係がうまくいかなかった」を選んだ方の内訳

不登校 (N=4)	件数	%
小学校	1	25.0
中学校	2	50.0
高校	2	50.0
不明・無回答	0	0.0

受験に失敗した (N=1)	件数	%
高校	1	100.0
大学・短大・高専・専門学校	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

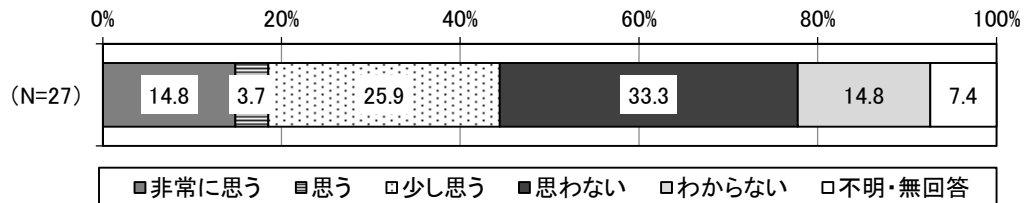
中退 (N=2)	件数	%
高校	2	100.0
大学・短大・高専・専門学校	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

人間関係がうまくいかなかった (N=4)	件数	%
友人	0	0.0
職場の上司・同僚	1	25.0
家族	1	25.0
先生	0	0.0
その他の人	0	0.0
不明・無回答	3	75.0

問 16-9 問 16-6 で「居る」を選んだ方

**家族や友人等の現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。
(単数回答)**

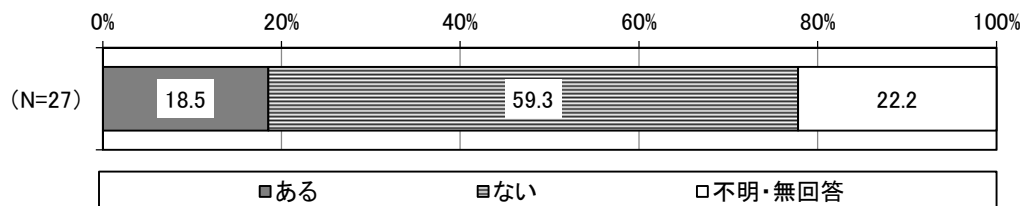
家族や友人等の現在の状態について、関係機関に相談したいと思うかについてみると、「思わない」が 33.3%で最も高く、次いで「少し思う」が 25.9%となっています。



問 16-10 問 16-6 で「居る」を選んだ方

**家族や友人等の現在の状態について、関係機関に相談したことがありますか。
または現在相談していますか。(単数回答)**

家族や友人等の現在の状態について、関係機関に相談した事の有無についてみると、「ない」が 59.3%、「ある」が 18.5%となっています。



問 16-11 問 16-10 で「ある」を選んだ方

どのような機関に相談しましたか。(複数回答)

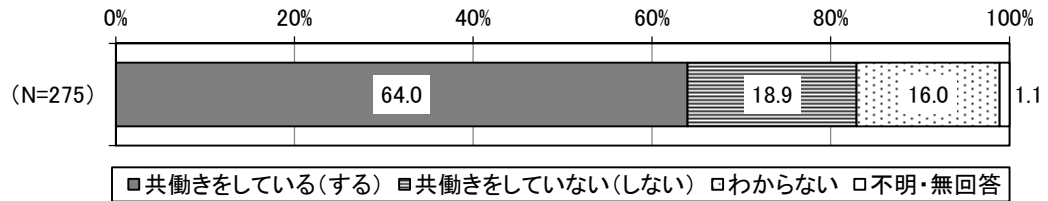
相談した関係機関についてみると、以下の通りとなっています。

- 回答者 5 件：学校・スクールカウンセラー…1 件
病院・診療所…3 件
その他の施設・機関…1 件
不明・無回答…1 件

4 仕事と家庭、子育てについて

問 17 あなたは現在共働きをしていますか。結婚していない方は、結婚したら共働きをしますか。（単数回答）

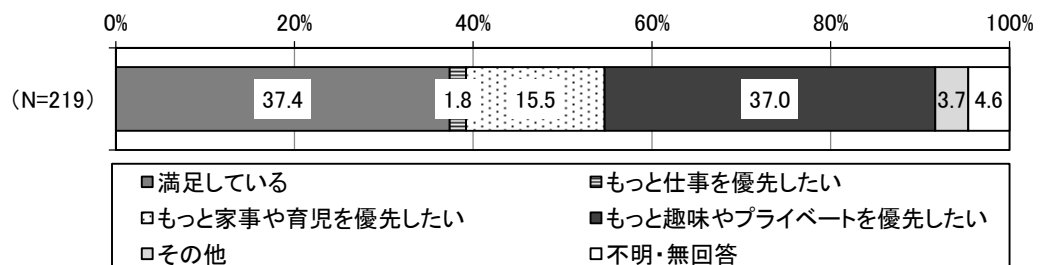
現在共働きをしている（未婚者は、結婚したら共働きをする）かについてみると、「共働きをしている（する）」が64.0%で最も高く、次いで「共働きをしていない（しない）」が18.9%、「わからない」が16.0%となっています。



問 17-1 現在働いている方

現在の仕事と家庭のバランス（優先度）には満足していますか。（単数回答）

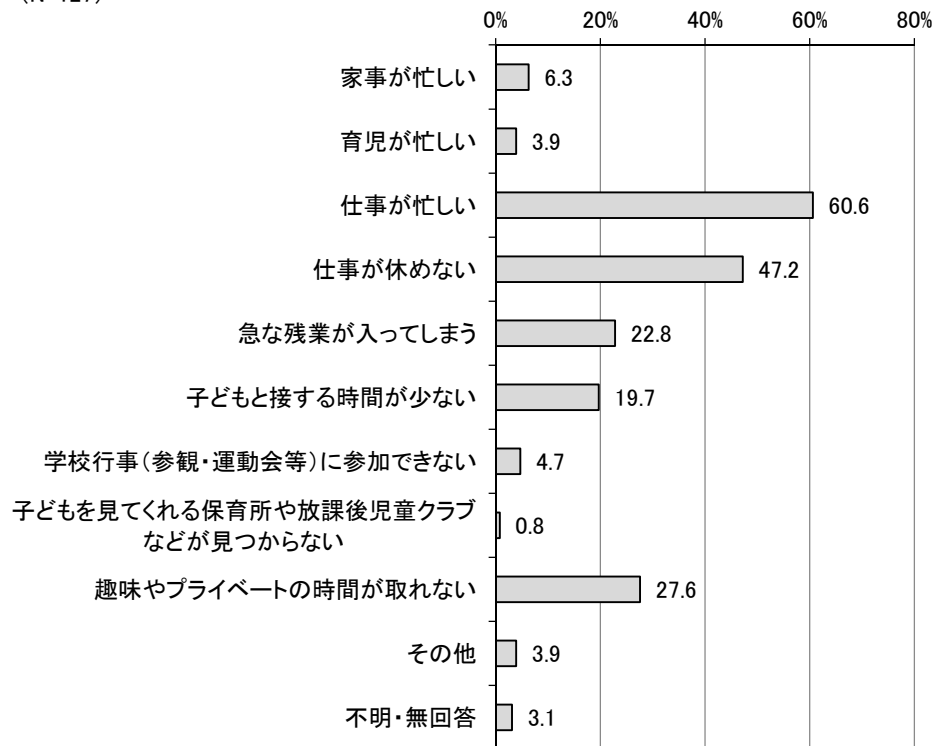
現在の仕事と家庭のバランス（優先度）についてみると、「満足している」が37.4%で最も高く、次いで「もっと趣味やプライベートを優先したい」が37.0%、「もっと家事や育児を優先したい」が15.5%となっています。



問 17-2 問 17-1で「もっと仕事を優先したい」「もっと家事や育児を優先したい」「もっと趣味やプライベートを優先したい」「その他」のいずれかを選んだ方
現在の仕事と家庭のバランス（優先度）を崩す原因は何ですか。（複数回答）

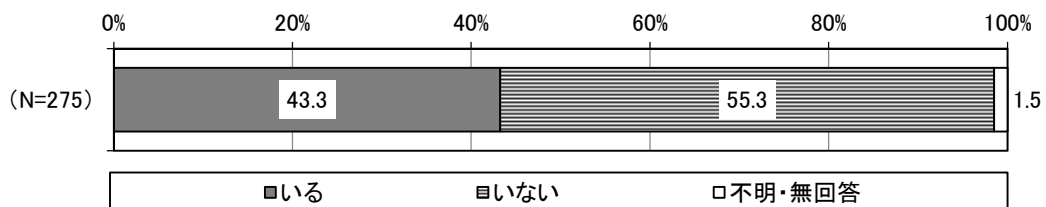
現在の仕事と家庭のバランス（優先度）を崩す原因についてみると、「仕事が忙しい」が60.6%で最も高く、次いで「仕事が休めない」が47.2%、「趣味やプライベートの時間が取れない」が27.6%となっています。

(N=127)



問 18 あなたは子どもがいますか。（単数回答）

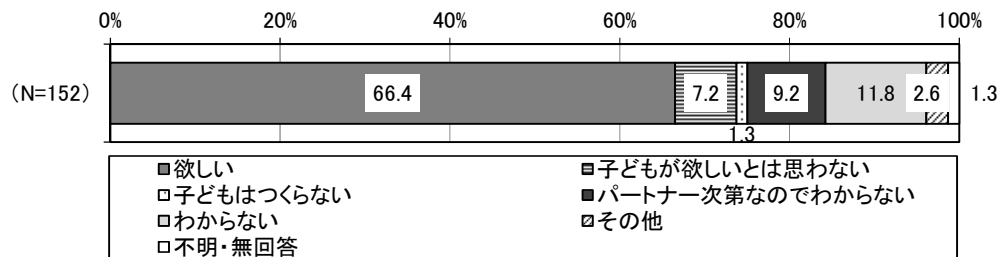
子どもの有無についてみると、「いない」が55.3%、「いる」が43.3%となっています。



問 18-1 問 18 で「いない」を選んだ方

将来、子どもは欲しいですか（単数回答）

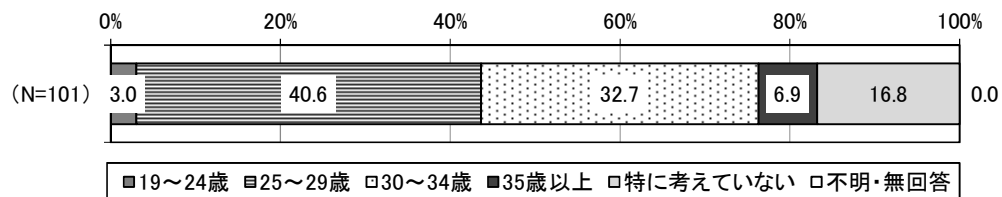
子どもがいない方で、将来、子どもは欲しいかについてみると、「欲しい」が 66.4%で最も高く、次いで「わからない」が 11.8%、「パートナー次第なのでわからない」が 9.2%となっています。



問 18-2 問 18-1 で「欲しい」を選んだ方

あなたは何歳くらいのときに子どもが欲しいと思いますか（単数回答）

子どもが欲しい方で、何歳くらいで子どもが欲しいと思うかについてみると、「25～29 歳」が 40.6%で最も高く、次いで「30～34 歳」が 32.7%、「特に考えていない」が 16.8%となっています。



問 18-3 問 18 で「子どもが欲しいとは思わない」「子どもはつくらない」のいずれかを選んだ方 子どもが欲しいとは思わない理由は何ですか。（複数回答）

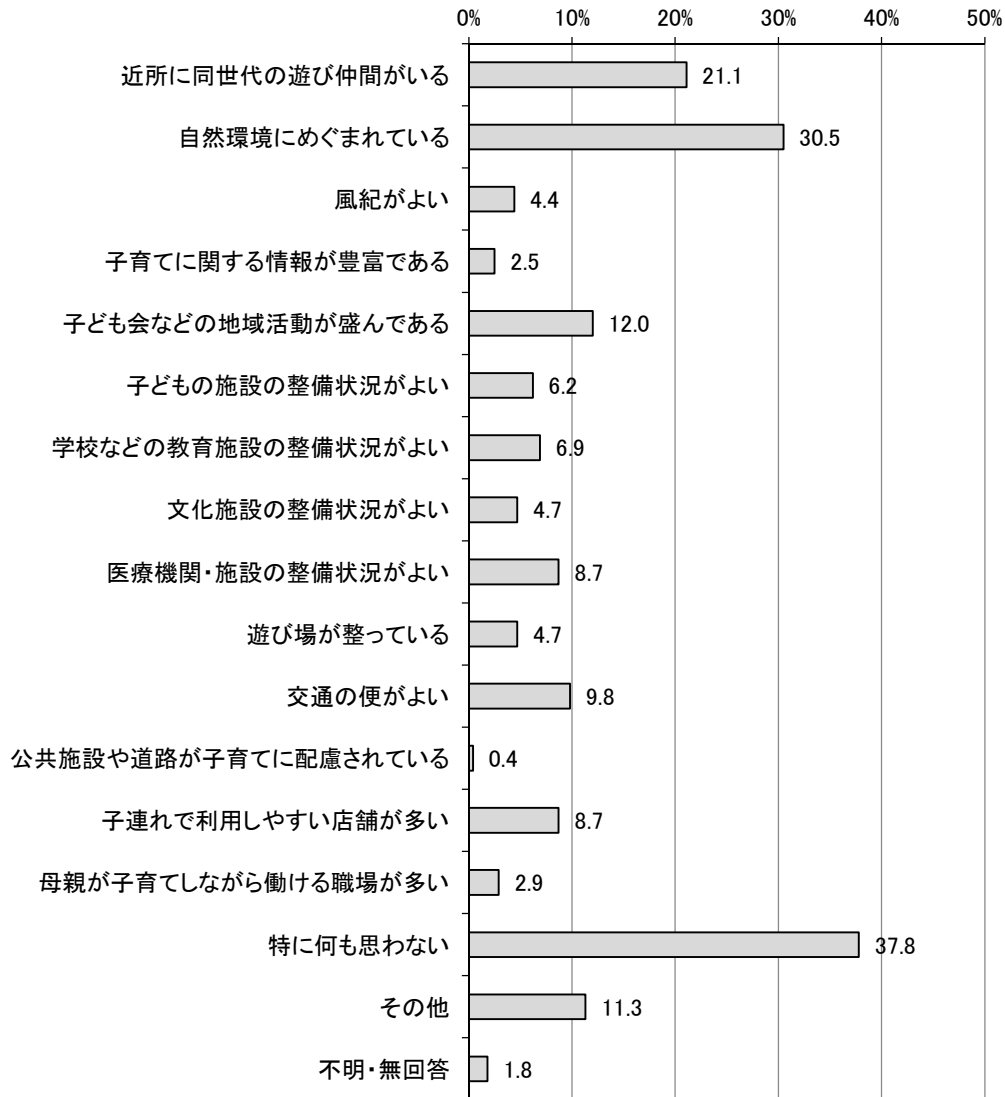
子どもが欲しいとは思わない理由についてみると、「子育てのための経済的負担が大きそうだから」が 76.9%（10 件）で最も高く、次いで「子育ては精神的負担が大きそうだから」「自分の生活を大切にしたいから」「今の社会では子どもの将来に希望がもちにくい」がともに 46.2%（6 件）となっています。

(N=13)	件数	%
子育てのための経済的負担が大きそうだから	10	76.9
社会で子育てするための制度・体制が整っていないから	2	15.4
子育ては肉体的負担が大きそうだから	1	7.7
子育ては精神的負担が大きそうだから	6	46.2
自分の生活を大切にしたいから	6	46.2
自分や配偶者の仕事にさしつかえそうだから	1	7.7
自分や配偶者の趣味やレジャーの時間が欲しいから	2	15.4
出産における医療体制が不安だから	1	7.7
住宅事情が悪いから	1	7.7
子どもが好きでないから	3	23.1
今の社会では子どもの将来に希望がもちにくい	6	46.2
わからない	1	7.7
その他	1	7.7
不明・無回答	0	0.0

問 19 彦根市の子育て環境についてどう思いますか。（複数回答）

彦根市の子育て環境をどう思うかについてみると、「自然環境にめぐまれている」が 30.5%、「近所に同世代の遊び仲間がいる」が 21.1%、「子ども会などの地域活動が盛んである」が 12.0%となっています。また、「特に何も思わない」が 37.8%となっています。

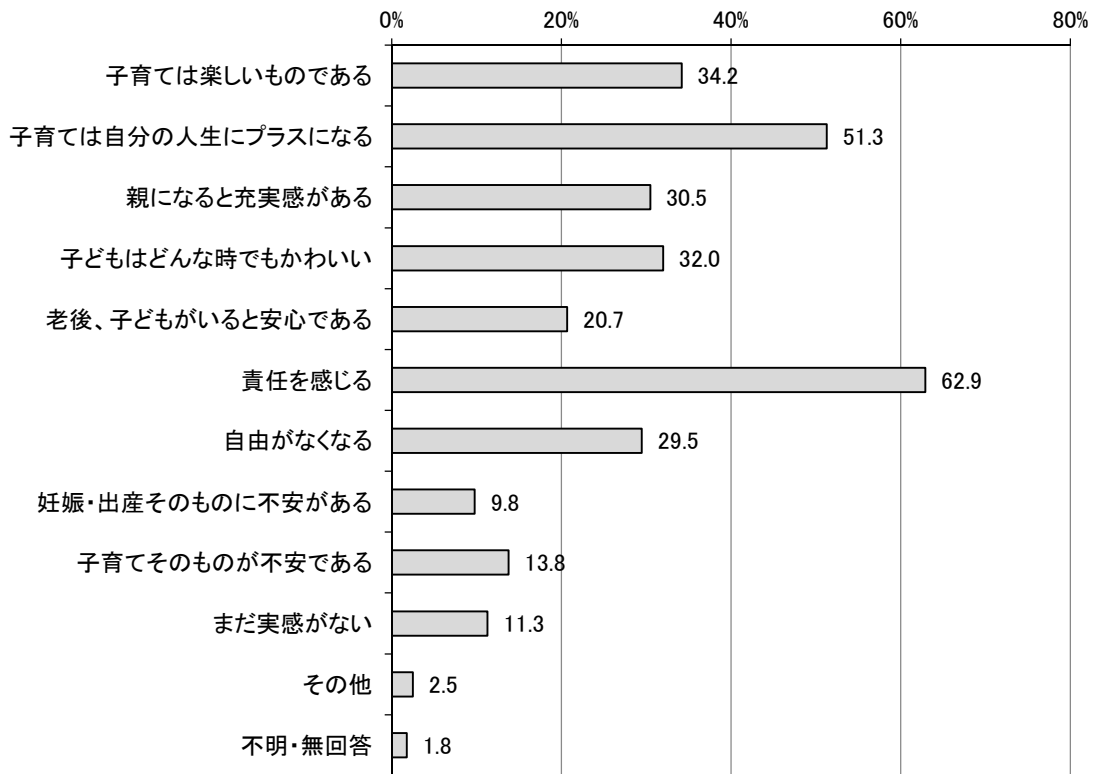
(N=275)



問 20 子どもや子育てについて、あなたのイメージに近いものは何ですか。（複数回答）

子どもや子育てで、回答者のイメージに近いものについてみると、「責任を感じる」が62.9%で最も高く、次いで「子育ては自分の人生にプラスになる」が51.3%、「子育ては楽しいものである」が34.2%となっています。

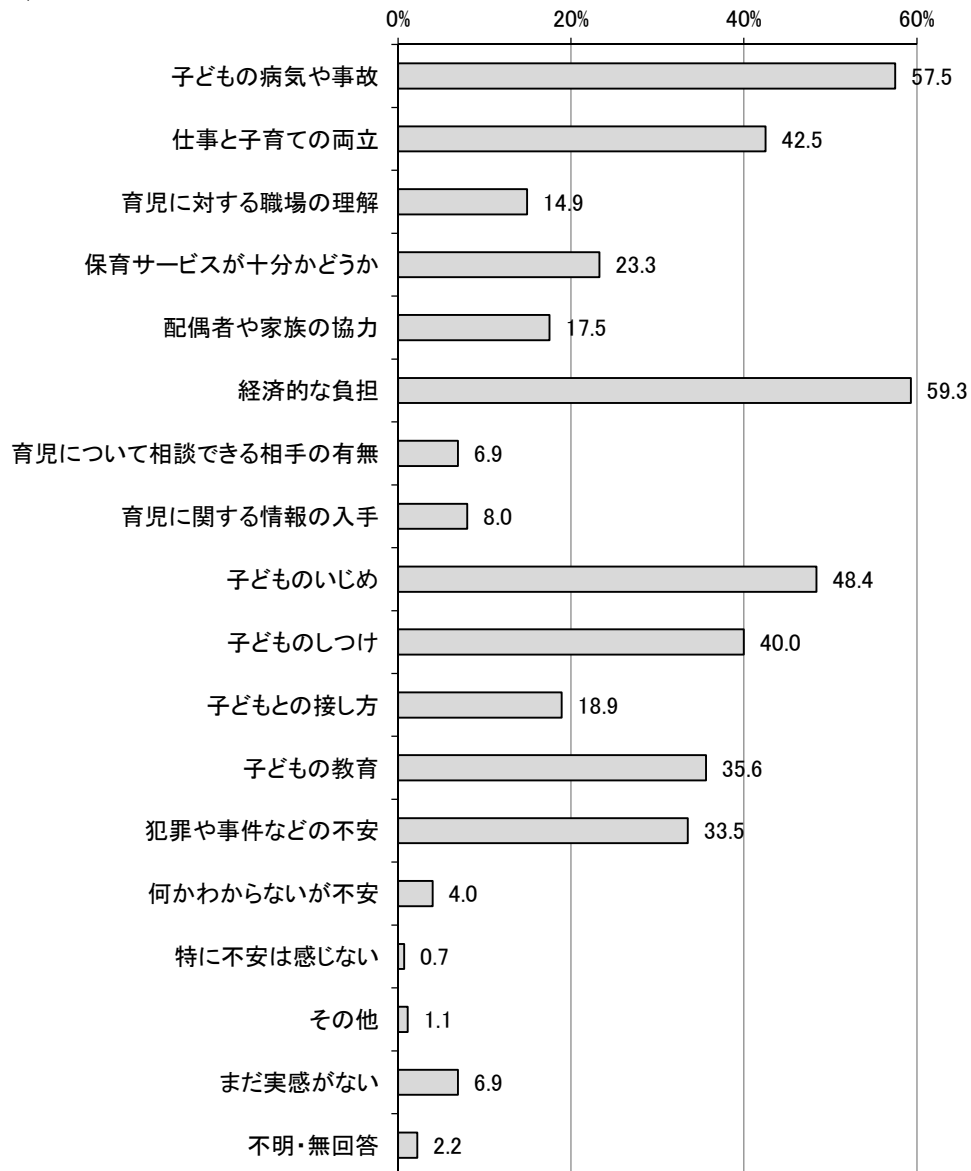
(N=275)



問 21 子どもや子育てについて、どのようなことに不安を感じますか。（複数回答）

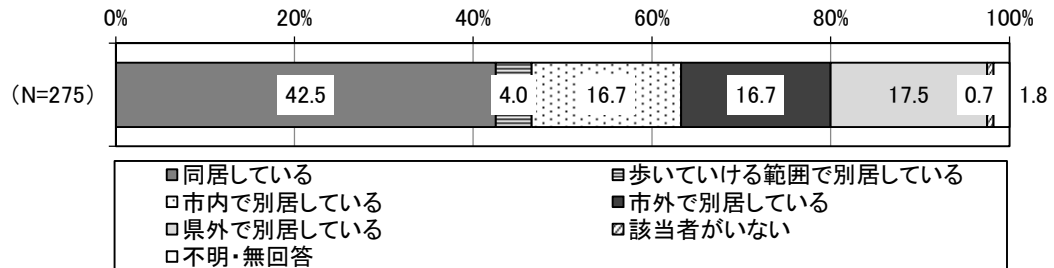
子どもや子育てで、不安に感じることにしてみると、「経済的な負担」が59.3%で最も高く、次いで「子どもの病気や事故」が57.5%、「子どものいじめ」が48.4%となっています。

(N=275)



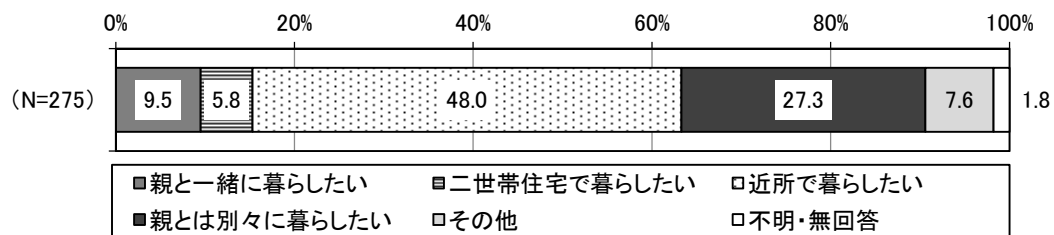
問 22 あなたは自分の親と同居していますか。(単数回答)

自分の親との同居の有無についてみると、「同居している」が 42.5%で最も高く、次いで「県外で別居している」が 17.5%、「市内で別居している」「市外で別居している」がともに 16.7%となっています。



問 23 将来、親とはどのように暮らしたいですか。(単数回答)

将来、親とどのように暮らしたいかについてみると、「近所で暮らしたい」が 48.0%で最も高く、次いで「親とは別々に暮らしたい」が 27.3%、「親とは一緒に暮らしたい」が 9.5%となっています。

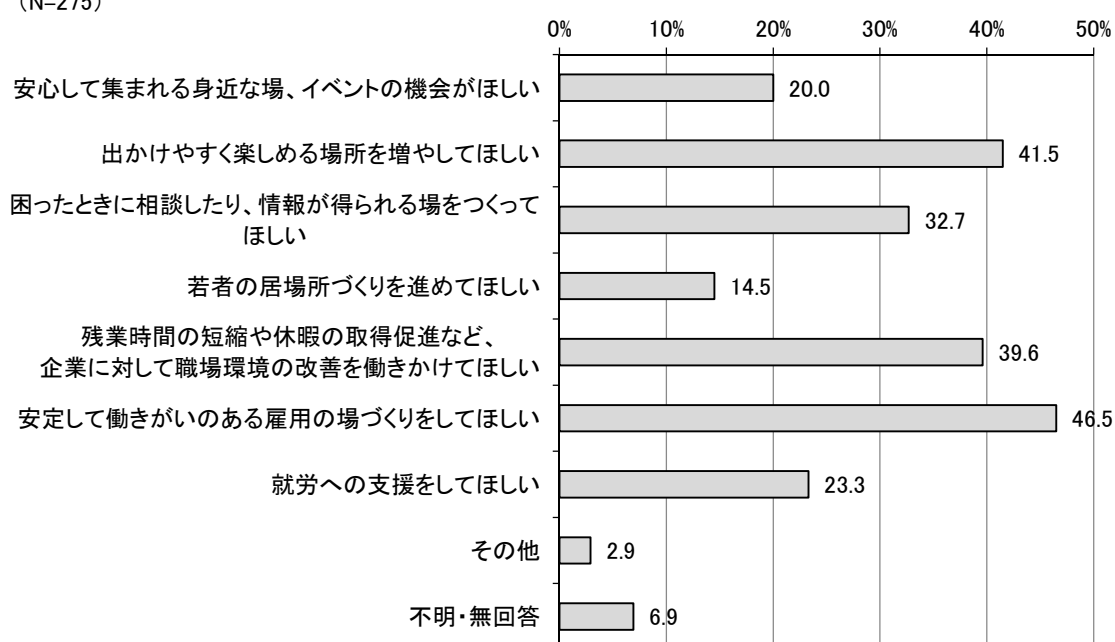


5 全体を通して

問 24 彦根市のこれからの若者支援について、どのようなことを期待しますか。 (複数回答)

彦根市のこれからの若者支援で期待することについてみると、「安定して働きがいのある雇用の場づくりをしてほしい」が46.5%で最も高く、次いで「出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が41.5%、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」が39.6%となっています。

(N=275)



6 調査結果のまとめ

(1) 回答者について

- 調査票の回答者の年齢については、「35～39 歳」が 35.3%で最も高く、次いで「30～34 歳」が 24.7%となっています。職業についてみると、「民間企業、団体、研究機関等の正社員（正職員）」が 43.3%で最も高く、次いで「契約社員、派遣社員、パート・アルバイト、臨時職員」が 26.2%となっています。また、同居している家族では、「配偶者」が 47.4%で最も高く、次いで「母」が 44.9%となっています。

(2) 現代社会の中での回答者の考え方について

- 将来の夢や希望の有無について、「将来の夢（希望）がある」が 53.8%で最も高く、次いで「今はないが、いずれ見つけたいと思う」が 26.5%であがっている一方で、「人生に夢や希望を持っても意味がない」が 2.9%となっています。社会で生きていくために必要だと思うことについては、「個人の才能や努力」が 72.0%で最も高くなっていますが、「相談できる人をもつこと」が 60.0%、「いろいろな人と交流すること」が 52.4%となっており、人と人とのつながりも必要と考えている方が多いことがうかがえます。

(3) 回答者の状況について

- 現在悩みや心配ごと、困っていることの有無について、「ある」が 66.2%、「ない」が 33.1%となっています。悩みや心配ごと、困ったことの内容についてみると、「仕事や職場のこと」「収入や生活費のこと」がともに 46.7%と高く、次いで「自分の生き方や将来のこと」が 45.1%、「気分や体調のこと」が 22.0%となっています。若者を支援していくために必要な相談体制では、「親身に聴いてくれる相談体制」が 41.8%で最も高く、次いで「無料で相談できる相談体制」が 40.0%で高くなっている一方で、「相談等の支援は受けたくない」が 10.2%となっています。相談等の支援を受けたくない理由では、「支援を受けても解決できないと思う」が 72.0%で最も高くなっており、相談を受けるだけでなく、解決に導くことができる相談支援のあり方が必要となっています。相談支援について、「（仮称）彦根市子ども・若者支援センター」が必要だと思うかについてみると、「必要である」が 56.4%で最も高く、「とりあえず」の相談への対応（72.3%）や「若者が社会への参加の足がかりをつかむ機会の提供」（54.8%）、「医療・福祉、教育、雇用等関連機関等へのつなぎ」（51.0%）の役割を求められています。

(4) 仕事と家庭、子育てについて

- 仕事に対する意識では、現在共働きをしている（未婚者は、結婚したら共働きをする）かについては、「共働きをしている（する）」が 64.0%で最も高くなっています。また、現在の仕事と家庭のバランス（優先度）を崩す原因として、「仕事が忙しい」が 60.6%で最も高く、次いで「仕事が休めない」が 47.2%で上位にあがっており、仕事と家庭、子育てにおいて「仕事」の比重が大きいことがうかがえます。また、回答者の子どもの有無についてみると、「いない」が 55.3%、「い

る」が 43.3%となっています。子どもがいない方で、将来、子どもは欲しいかについてみると、「欲しい」が 66.4%あがっている一方で、子どもが欲しいと思わない方（問 18 で「子どもが欲しいとは思わない」（7.2%）、「子どもはつくらない」（1.3%）のいずれかを選んだ方）の理由では、「子育てのための経済的負担が大きそうだから」が 76.9%（10 件）で最も高く、次いで「子育ては精神的負担が大きそうだから」「自分の生活を大切にしたいから」「今の社会では子どもの将来に希望がもちにくい」がともに 46.2%（6 件）となっており、子どもを欲しいと思わない理由についても経済的・精神的な負担があがっています。

（５）全体を通して

- 彦根市のこれからの若者支援で期待することについてみると、「安定して働きがいのある雇用の場づくりをしてほしい」が 46.5%で最も高く、次いで「出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が 41.5%、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」が 39.6%となっています。若者の仕事や家庭、子育てを含めた日常生活の中において、仕事に対する比重が大きく、経済的・精神的負担感につながっていることがうかがえます。相談支援を必要としている方も多いことから、まずは「とりあえず」の相談への対応からはじめ、親身に相談に対応し、解決まで導くことができる体制が求められています。

資 料

1 調査票（就学前児童用調査）

「(仮称)彦根市子ども・若者プラン」策定に係る ニーズ調査 (就学前児童用)

【調査ご協力をお願い】

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。
平成 24 年8月、国において「子ども・子育て支援法」が制定され、各自治体は「子ども・子育て支援事業計画」を策定することになりました。

彦根市では、この事業計画をおして、子どもたちにとって、質の高い教育・保育・子育て支援を保障し、一人ひとりの子どもたちが健やかに成長できる社会の実現に向けて取り組むこととしています。

このため、市民の皆様の子育て支援に関する生活実態、ご意見などを把握すべく、「子ども・子育て支援新制度」におけるニーズ調査を行います。

この調査は、これからの事業計画策定の基礎資料となる大変重要なものですので、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 11 月

彦根市長 大久保 貴

【ご記入にあたってのお願い】

1. アンケートには、**おまさんの保護者の方**にご記入ください。特にことわりのある場合以外、**おまさん**の**あて名**と**おまさん**の**こと**についてご記入ください。
2. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
3. 選択肢の場合、お選びいただく数が増減によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、**24時間制**（例：午後6時～18時）でご記入ください。
5. 説明によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、**ことわり書きや失印に依ってご回答ください**。特にことわりのない場合は次の説明にお進みください。
6. ご記入が済みしたら、お手数ですが、**同封の返信用封筒に入れた 11月15日(金)まで**にご返送ください。
7. この調査は、住民基本台帳の中から就学前のお子さんをお無作為に 2000 人抽出し、ご協力をお願いするものです。また、統計法（昭和 22 年法律第 18 号）第 8 条に基づき、総務大臣に届出を行っている届出統計調査であり、調査対象者は調査票の記入内容を他に漏らしたり、統計以外の目的に使用したりすることを強く禁じられています。そのため、ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただきます。回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に流れたり、他の目的に利用されたりすることはございません。
8. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】彦根市福祉保健部 子育て支援課

TEL：0749-23-9597 FAX：0749-26-1768

ご回答いただくに当たってお読みください

彦根市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間で一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施する予定です。（平成 27 年度から実施予定）

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

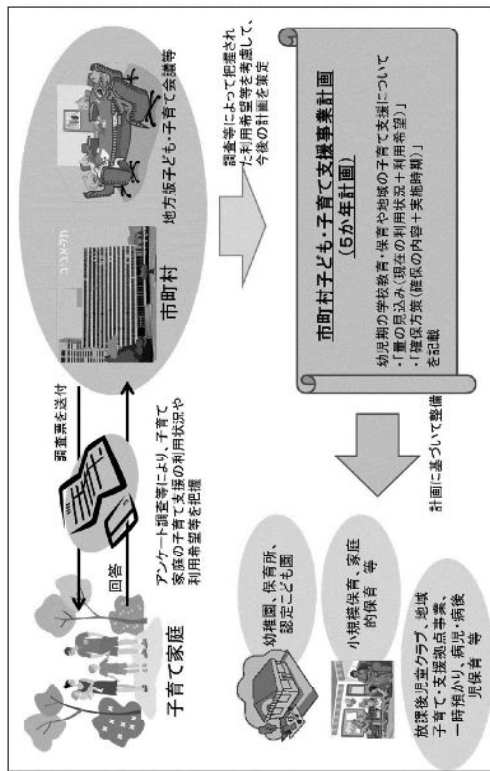
なお、ここでご回答いただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に 대응して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
 - 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通して、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
 - 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
- 地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。



お住まいの地域についてうかがいます。



この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
 - ・保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（新卒前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・子育て：教育・保育その他の子どもたちの健やかな成長のために行われる支援
- ・教育：間15までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、間16以降においては幼児期の幼稚園・認定こども園における教育の意味で用いています。

の推進に関する法律第2条第6項)

とち國における教育の意味で用いています。

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | | |
|--------|--------|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 城東 | 2. 城西 | 3. 城南 | 4. 平田 | 5. 城北 | 6. 弘和山 |
| 7. 旭森 | 8. 城陽 | 9. 若葉 | 10. 金城 | 11. 鳥居本 | 12. 河瀬 |
| 13. 集山 | 14. 菅宮 | 15. 稻枝東 | 16. 稻枝西 | 17. 稲枝北 | 18. わがらない |

封筒の宛名のお子さんとはご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。()内に数字でご記入ください。

平成()年()月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、来子の年の生年月月をご記入ください。

きょうだい数()人 末子の生年月 平成()年()月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみに関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父親 2. 母親 3. その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに〇をつけてください。

1. 配出者がいる
2. 配出者がいない

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしているのはなですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父と母に 2. 父親 3. 母親 4. 祖父 5. その他()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※認定こども園……就学前の子どものための教育・保育を促進する機能（保護者が働いている、いないにかかわらず受け入れて、教育・保育を一時的に行う施設）や、地域における子育て支援を行う機能。すべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談活動や、給食の集約の場の提供などを目標とする。また、給食費減額などの経済的負担軽減を図ることも目指します。

1. 父母ともに 2. 父親 3. 母親 4. 祖父母 5. 他市町の認定こども園
6. 幼稚園 7. 認可保育所 8. その他()

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○を付けてください。

1. 家庭 2. 地域 3. 他市の認定こども園 4. 幼稚園
5. 認可保育所 6. その他()

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親戚にみてもらえる	⇒ 問9-1へ
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親戚にみてもらえる	
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	
5. いずれもない	⇒ 問10へ

問9-1 問9で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親戚にお子さんをみてもらえる状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親戚の身体的・精神的な負担や精神的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親戚の身体的負担が大きい心配である
3. 祖父母等の親戚の精神的制約や精神的な負担が大きい心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をがけていることが心配しい
5. 子どもの教育や発達にとってさらさらしい環境であるが、少し不安がある
6. その他（ ）

問9-2 問9で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や精神的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きい心配である
3. 友人・知人の精神的制約や精神的な負担が大きい心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をがけていることが心配しい
5. 子どもの教育や発達にとってさらさらしい環境であるが、少し不安がある
6. その他（ ）

問10 あなたは、子育て（教育を含む）に関して気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある ⇒ 問10-1へ	2. いない ⇒ 問11へ
-------------------	---------------

問10-1 問10で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。どのようなところ（誰に）相談していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者	2. 父母（子どもの祖父母）
3. 親戚	4. 友人・知人
5. 近所の人	6. 子育て中の仲間
7. 保育園、幼稚園	8. 子育て支援センター（子どもセンター・夢見屋・児童館）
9. 夢見屋相談室（子ども青少年課）	10. 福祉保健センター（健康性相談）
11. 福祉保健センター（子育て支援課）	12. 子育てホットライン
13. 子ども療育センター	14. 子ども発達相談センター（児童相談所）
15. ファミリー・サポート・センター	16. 民生委員・児童委員
17. 教育相談	18. 医師
19. 教育委員会	20. その他（ ）

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

--

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、専業主婦等含む）をうかがいます。（1）父親【母子家庭の場合、記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 育児・介護休業中ではない	⇒ 問14へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 育児・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しており、 育児・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しているが、 育児・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

(1)-1 (1)で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内に数字をご記入ください。

1週当たり（ ）日	1日当たり（ ）時間
-----------	------------

(1)-2 (1)で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。（ ）内に数字をご記入ください。

家を出る時間（ ）時	帰宅時間（ ）時
------------	----------

(2)母親【父子家庭の場合、記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 産休・育児・介護休業中ではない	⇒ 問14へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育児・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しており、 産休・育児・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しているが、 産休・育児・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

(2)-1 (2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけただけにうかがいます。連当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を指す)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いワタシについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。

1日当たり () 日	1日当たり () 時間
-------------	--------------

(2)-2 (2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけただけにうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いワタシについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

家を出る時間 () 時	帰宅時間 () 時
--------------	------------

問13 問12の(1)または(2)で「3」「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- (1) 父親
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
 - フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 - パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
 - パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

- (2) 母親
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
 - フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 - パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
 - パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5」以前は就労していたが、現在は就労していない)または「6」これまで就労したことない)に○をつけただけにうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号をそれぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

- (1) 父親
- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 - 1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい
 - すぐにも、もしくは1年以上以内に就労したい
- 希望する就労形態
- | | |
|------------------------------|--------------|
| ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労) | () |
| イ. パートタイム アルバイト等(「ア」以外) | () |
| →1日当たり () 日 | 1日当たり () 時間 |
- (2) 母親
- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 - 1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい
 - すぐにも、もしくは1年以上以内に就労したい
- 希望する就労形態
- | | |
|------------------------------|--------------|
| ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労) | () |
| イ. パートタイム アルバイト等(「ア」以外) | () |
| →1日当たり () 日 | 1日当たり () 時間 |

問15 彦根市にはひとり親家庭のために次のような制度やサービスがあります。あなたはこれを知っていますか。それぞれ、「知っている」「知らない」のいずれかに○をつけてください。

事業名及び事業内容	認知度
1. 児童手当 父兄の職別によりとり現となった家庭の所得に応じて支給される手当	知っている ・ 知らない
2. 日常生活支援事業 一時的に生活援助や保育サービスの必要がある、生活支援員を派遣し、家事や児童のお世話をします	知っている ・ 知らない
3. 家庭支援事業利用助成 保護者が病弱、仕事や育児の両方によって、家庭における児童の養育が一時的に困難になった場合に活用する子育て支援事業の経費に、対し補助を行います	知っている ・ 知らない
4. 自立支援教育訓練付加金事業 働け、就職できない若年者に対し、県・市がゆかりのある指定した職業能力開発施設を受講し、修了された後、就職の一部を支援します	知っている ・ 知らない
5. 高等学校就学支援費事業 書留などの資格取得を目的とし、高校課程で2年以上のカリキュラムを受講する場合に、奨学金の生活費を支給します	知っている ・ 知らない
6. 母子自立支援プログラム策定事業 就業を希望している若年者、若年者に対する仕事から遠ざかる若年者の相談に応じ、就労による自立を支援します	知っている ・ 知らない

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」には、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問16-1に示した事業が該当します。

問16 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問16-1へ
2. 利用していない ⇒ 問16-5へ

問16-1 問16-1～問16-4は、問16で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| 1. 幼稚園
(通常の就園時間利用のみ) | 2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で、超過時間等の認可を受けたもの) | 4. 他市町の認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 家庭内保育(保育ママ)
(保育者の家庭等で子どもを保育する事業) | 6. 事業所内保育施設
(企業が主に就業用に運営する施設) |
| 7. その他の認可外の保育施設 | 8. 居宅訪問型保育
(ベビシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) |
| 9. ファミリー・サポート・センター
(地域の会員相互の助け合いサービス) | 10. 一時預かり
(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを預かるサービス) |
| 11. その他 () | |

※「認定こども園」現在、彦根市では実施していません。

問16-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、（ ）内に具体的な数字で記入ください。時間は、必ず（例）9時～18時のように24時間制で記入ください。

(1) 現在

1週当たり（ ）日	1日当たり（ ）時間	【（ ）時～（ ）時】
-----------	------------	-------------

(2) 希望

1週当たり（ ）日	1日当たり（ ）時間	【（ ）時～（ ）時】
-----------	------------	-------------

問16-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当ではまる番号1つに○をつけてください。

1. 夢根市内	2. 他の市区町村
---------	-----------

問16-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため 2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している 3. 子育て（教育を含む）をしている方が育児予定がある／求職中である 4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親戚などを介している 5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある 6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である 7. その他（ ）
--

問16-5 問16で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてのもとも当ではまる番号すべてに○をつけてください。

1. (子どもの父親が母親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない 2. 子どもの祖父母や親戚の人があいている 3. 近所の人や父母の友人・知人があいている 4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない 6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない 8. 子どもがまだ小さいため【（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている】 9. その他（ ）



問17 すべてのの方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当ではまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園 (通常の幼稚園時の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の幼稚園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人ものもの)	6. 家庭的保育 (保育ママ) (保育者の家庭等で5人以下の子どもの保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主にした業営用に運営する施設)	8. その他の認可外の保育施設
9. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	10. ファミリー・サポート・センター (地域の会員相互の助け合いサービス)
11. 保育所の延長保育 (19時を超えての延長保育) (通常の保育時間に加え、延長して解かるサービス)	12. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを預かるサービス)
13. その他（ ）	

問17-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当ではまる番号1つに○をつけてください。

1. 夢根市内	2. 他の市区町村
---------	-----------

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問18 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「きらきらひろば」「子育て支援センター」等と明かれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものをすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字で記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場） 1週当たり（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり（ ）回程度	2. その他夢根市で実施している類似の事業（具体名： 1週当たり（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり（ ）回程度
3. 利用していない	

問 19 問 18 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますが、当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字で記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい	2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
1. 遠当たり（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり（ ）回程度		
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい		
1. 遠当たり 更に（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり 更に（ ）回程度		
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない		

問 20 彦根市には次のような子育て支援サービスがありますが、知っている、利用したこと、あるいは、まだ、今後利用したいと願っています。サービスごとにA、B、Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれか○をつけてください。

	A 知っている	B 利用したこと がある	C 今後利用したい
子育て支援事業等	①マタニティママのつどい [ハロ- Baby教室] (健康推進課) 妊婦・出産にまつわる疑問が解消できる場として提供しています。	はい・いいえ	はい・いいえ
	②Vマママ学校 (健康推進課) これから出産を控える夫婦を対象に開催しています。赤ちゃんの成長と子育ての悩みを解消し、子育ての楽しさを伝える場として提供しています。	はい・いいえ	はい・いいえ
	③すくすく教室・OIKO(おこ)教室 (子ども未来会) 市内各公民館で、子育ての悩みを解消し、子育ての楽しさを伝える場として提供しています。	はい・いいえ	はい・いいえ
	④ほほキッズクラブ (NPO法人ほほ)	はい・いいえ	はい・いいえ
	⑤親子体操教室・チャピッコ体操教室 (市民体育センター) 市内各公民館で、親子で一緒に運動を楽しむ場として提供しています。また、健康な赤ちゃんの成長を促す場として提供しています。	はい・いいえ	はい・いいえ
	⑥おうちで子育て (健康推進課) 生後1～6ヶ月の子育ての悩みを解消する場として提供しています。	はい・いいえ	はい・いいえ
	⑦保育所の無償開放	はい・いいえ	はい・いいえ
	⑧お祭りの1遊び広場	はい・いいえ	はい・いいえ
	⑨子育てサークル活動・ひろば活動	はい・いいえ	はい・いいえ
	⑩地域子ども文庫・地域親子文庫 (市立図書館)	はい・いいえ	はい・いいえ
交流活動等	⑪子育て相談 ～就学前～ 地域子育て支援センター (豊橋市児童福祉センター・子どもセンター)	はい・いいえ	はい・いいえ
	⑫子育て相談 (家庭相談課) 子育ての悩みを解消し、子育ての楽しさを伝える場として提供しています。	はい・いいえ	はい・いいえ
	⑬子育て相談 (家庭相談課) 子育ての悩みを解消し、子育ての楽しさを伝える場として提供しています。	はい・いいえ	はい・いいえ
	⑭子育て相談 (家庭相談課) 子育ての悩みを解消し、子育ての楽しさを伝える場として提供しています。	はい・いいえ	はい・いいえ
	⑮子育て相談 (家庭相談課) 子育ての悩みを解消し、子育ての楽しさを伝える場として提供しています。	はい・いいえ	はい・いいえ
	⑯子育て相談 (家庭相談課) 子育ての悩みを解消し、子育ての楽しさを伝える場として提供しています。	はい・いいえ	はい・いいえ
	⑰子育て相談 (家庭相談課) 子育ての悩みを解消し、子育ての楽しさを伝える場として提供しています。	はい・いいえ	はい・いいえ

	A 知っている	B 利用したこと がある	C 今後利用したい
相談窓口	①子育て相談 ～幼児・児童・生徒～ (教育研究所) 子育て全般について、幼児・児童・生徒の保護者の相談に応じます。	はい・いいえ	はい・いいえ
	②子どもと親の悩み相談 (教育研究所) 悩める子ども自身や、子育てで悩んでいる保護者や家族からの相談に応じます。	はい・いいえ	はい・いいえ
	③虐待相談 (子ども虐待相談センター・虐待相談ダイヤル) 子どもの虐待被害など、相談し必要に応じて対応します。	はい・いいえ	はい・いいえ
	④子育てガイドブック (子ども未来会) 彦根市の子育てに関する情報をまとめた冊子	はい・いいえ	はい・いいえ
		はい・いいえ	はい・いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか？（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように24時間制で記入してください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、保育園、幼稚園、認可外保育園などの事業を指します。塾・習い事・習字などは含まれません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯 () 時から () 時まで

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯 () 時から () 時まで

問 21-1 問 21 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方がいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回行事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 家族の介護や手伝いが必要のため
4. 急ぎのため
5. その他 ()

問 22 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の長期休暇中の教育・保育の事業の利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように24時間制で記入してください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数回利用したい

利用したい時間帯 () 時から () 時まで

問 22-1 問 22 で「3. 週に数回利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

宛名のお子さんの病気の療育の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問23 平日の定例的な教育・保育の事業を利用しているとお答えした保護者の方(問16で「1」に○をつけた方)にうかがいます。利用していらっしゃる方は、問24にお答えください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ⇒ 問 23-1 ハ
2. なかった ⇒ 問 24 ハ

問23-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対応方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字で記入ください。(半日程度の場合は1日とカウントしてください)

1年間の対応方法		日数
ア. 父親が仕事を休んだ	()	() 日
イ. 母親が仕事を休んだ	()	() 日
ウ. 親族や知人に預けた(同居者を含む)	()	() 日
エ. 子どもだけで留守番をさせた	()	() 日
オ. 就労していない保護者が世話をした	()	() 日
カ. 病児・病後児の保育サービスを利用した	()	() 日
キ. その他 ()	()	() 日

→問23-1で「ア」「イ」のいずれかに回答された方にうかがいます。

問23-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字で記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかり、利用前に医師の受診が必要となります。

※多岐県では、戸賀町(高野・大谷)にのみ実施しています。「病児保育室・あそび」開所時間 8:30~18:00(木・土は 8:30~12:30)

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ () 日 ⇒ 問 24 ハ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 23-3 ハ

問 23-3 問 23-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人にまわすのが不安
2. 事業の費に不安がある
3. 事業の利便性(立地や利用可能時間・回数など)が不十分
4. 利用料が高くなる・高い
5. 利用がわからない
6. 親の仕事が休んで対応する
7. その他 ()

⇒ 問 24 ハ

問23-1で「ウ」から「キ」のいずれかに回答された方にうかがいます。

問23-4 その際、「できれば父兄のいずれかが仕事を休んでほしい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「キ」の日数のうち仕事を休んでくれた日数についても数字で記入してください

1. できれば仕事を休んでほしい ⇒ () 日 ⇒ 問 24 ハ
2. 休んでほしいとは非常に難しい ⇒ 問 23-5 ハ

問 23-5 問 23-4 で「2. 休んでほしい」と答えた場合は「非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの言葉を理解しにくい
2. 自営業なので休みがない
3. 休暇日数が足りない
4. その他 ()

問 24 宛名のお子さんが病気やケガをした場合、かかりつけ医はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある ⇒ 問 24-1 ハ
2. ない ⇒ 問 24-2 ハ

問24-1 かかりつけ医の所在地について伺います。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 彦根市内
2. 他の市区町村

問24-2 かかりつけ医のいない理由について伺います。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いろいろな医療機関(診療所)にかかっている
2. どこをかりつけ医にすればいいかわからない
3. 医療機関(診療所)を受診しない
4. その他 ()

問25 夜間・休日の小児救急相談センター(※8000)を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 知っている ⇒ 問 25-1 ハ
2. 知らない

※小児救急電話相談「こどもがけいけん」は、小児科の専門医が、休日・夜間の急な子どもの病気にどう対応したらいいのかわからない場合は、小児科医・看護師に電話で相談することができます。

問25-1 小児救急電話相談(※8000)を利用したことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある
2. ない

問26 日曜・祝日・年末年始に開設している彦根休日急病診療所を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 知っている ⇒ 問 26-1 ハ
2. 知らない

問26-1 彦根休日急病診療所を利用したことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある
2. ない

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問27 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、リフレッシュ、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字で記入ください。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり （利用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）	（ ）日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	（ ）日
3. ファミリー・サポーター・エンター （地域の会員相互の助け合いサービス）	（ ）日
4. 夜間預託等事業：トワイライトステイ （児童福祉施設等で休日・夜間、子どもを保育する事業）	（ ）日
5. ベビーシッター	（ ）日
6. その他（ ）	（ ）日
7. 利用していない	

⇒ 問28へ

問27で「7. 利用していない」と回答された方にうかがいます。

問27-1 現在利用していない理由は何か。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 事業の質に不安がある	4. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない	8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）	

問28 宛名のお子さんについて、リフレッシュ、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の日数を（ ）内に数字で記入ください。）
なな事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい → 年間 計（ ）日 （理由別）	
① 利用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的	（ ）日
② 冠婚葬祭、子どもの親の通院	（ ）日
③ 不定期の就労	（ ）日
④ その他（ ）	（ ）日
2. ない → 問29へ	

問28-1へ

問28-1 問28で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問28の目的でお子さんを預ける場合、下記のもの1つ以上の事業形態が望ましいと期待されます。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 大規模施設（定員20人以上）で子どもを預かる事業（例：幼稚園・保育所等）
- 小規模施設（定員概ね6～19人）で子どもを預かる事業
- 地域住民が子育て支援の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポーター・センター等）
- その他（ ）

問29 この1年間に、保護者の用事などにより、宛名のお子さんを泊りだけで預けなければならないことはありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- あった（預け先がなかった場合を含む） ⇒ 問29-1へ
- なかった ⇒ 問30へ

問29-1 問29で「1」を選ばれた方にうかがいます。この1年間の対応方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字で記入ください。

1. （同居者を含む）親族・知人に預けた	（ ）泊	⇒ 問29-2へ
2. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した	（ ）泊	
3. 2以外の保育事業（認可外保育施設等）を利用した	（ ）泊	
4. 仕方なく子どもも同行させた	（ ）泊	⇒ 問30へ
5. 仕方なく子どもだけで留守番させた	（ ）泊	
6. その他（ ）	（ ）泊	

問29-2 問29-1で「1」を選ばれた方にうかがいます。その場合の困難はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 非常に困難
- どちらかという困難
- 特に困難ではない

宛名のお子さん5歳以上（平成25年4月1日現在）である保護者の方に、
小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問30 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を（ ）に具体的な数字で教えてください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字で記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制で記入ください。

※「放課後児童クラブ」とは、地域によって児童保育などと呼ばれる場合があります。保護者が就労等により児童家庭にない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 児童館	週（ ）日くらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育）	週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで
6. ファミリー・サポーター・センター	週（ ）日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい

問31 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後の）時間をどのような場所まで過ごさせたいと願いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を（ ）に具体的な数字でお答えください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間（ ）内に数字でご記入ください。時間は秒ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。※将来のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答え下さい。

1. 自宅	週（ ）日くらいい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらいい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらいい
4. 児童館	週（ ）日くらいい
5. 放課後児童クラブ（学童保育）	週（ ）日くらいい → 下校時から（ ）時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらいい
7. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらいい

問32 問30または問31で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の頃は利用したい	⇔	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		（ ）時から（ ）時まで
3. 利用希望はない		

（2）日曜日・祝日

1. 低学年（1～3年生）の頃は利用したい	⇔	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		（ ）時から（ ）時まで
3. 利用希望はない		

問33 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の頃は利用したい	⇔	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		（ ）時から（ ）時まで
3. 利用希望はない		

子育て費やサービスの満足度などについてうかがいます。

問34 あなたは、子育てに関して不安や負担などを感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に不安や負担を感じる	2. なんとなく不安や負担を感じる
3. あまり不安や負担などは感じない	4. 全く感じない
5. どれもいえない	6. その他（ ）

問35 子育てに関する悩みや心配ことはありますか。また、その内容はどのようなことですか。1～27までのうち、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

＜子育て全般・方法など＞

- 遊びやしつけについて
- 子どもの性格や生活習慣について
- 子どもを叱りすぎているような気がする
- ストレスなどで子どもに手をあげてしまう
- 子育てサービスの内容や利用方法がよくわからない
- 周囲の理解や協力など
- 話し相手や相談相手がいらない
- 保護者同士の付き合いについて
- 配偶者（パートナー）の子育てへの協力が少ない
- 配偶者（パートナー）と子育てに関して意見が合わない
- 祖父母など周囲と子育てに関して意見が合わない
- 先生や保育士に聞きたいこと

＜時間的な問題＞

- 子どもの時間が十分にとれていない
- 仕事や社会活動との両立について
- 自分に自由な時間がもてないことについて
- 夫婦で過ごす時間がとれていない
- 子どもの健康など

＜子どもの健康など＞

- 病気やけいこについて
- 知能や言語の発達について
- 障害について
- 食事や栄養について
- 子どもの教育・発達について

- 友達づきあい（いじめなどを含む）について
- 学力や進学・受験について
- 登園拒否、不登校などについて
- 経済面・安全面

＜生活費について＞

- 就労について
- 犯罪や事件などの被害に合わないか心配なこと
- その他（ ）

＜その他＞

27. 悩みや心配ことは他に（ ）

問36 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思われることは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 急な残業が入ってしまう
- 自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になるとき、代わりに面倒を見る人がいない
- 家族の理解が得られない
- 職場の理解が得られない
- 子どもの他に面倒をみなければならぬ人がいる
- 子どもの面倒をみてくれる保育園などが見つからない
- 子どもと接する時間が少ない
- その他（ ）

問37 一般的には、母親が子育てに関わることが多い中で、お父さんは、子育てに積極的に参加されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 積極的に参加している	2. できるだけ参加している
3. あまり参加していない	4. 全く参加していない
5. 母子家庭である	6. その他 ()

問38 問37で「1～3」に回答された方にうかがいます。お父さんは、どのような子育てに参加されていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもと遊ぶ	2. 子どものしつけ
3. 病気のとき、病院等につれていく	4. 保育所、幼稚園の送迎
5. 子どもの食事の調理や世話	6. 子どもの入浴や着替え
7. 子どものオムツやトイレの世話	8. その他 ()

問39 子どもと過ごす時間はどのくらいありますか。1日当たりの「子どもと過ごす時間」をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。(平日・休日の該当する曜日すべてに○をしてください。また、時間は () 内に数字で記入ください。)

父親	平日 (仕事のある日)	月・火・水・木・金・土・日	() 時間
	休日 (仕事の無い日)	月・火・水・木・金・土・日	() 時間
母親	平日 (仕事のある日)	月・火・水・木・金・土・日	() 時間
	休日 (仕事の無い日)	月・火・水・木・金・土・日	() 時間

問40 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者	2. 父母 (子どもの祖父母)
3. 親戚	4. 友人、知人
5. 近所の人	6. 子育て中の仲間
7. 保育所・幼稚園	8. 子育て支援センター (子どもセンター・産婦人科保健所)
9. 家庭児童相談室 (子ども青少年課)	10. 福祉保健センター (健康支援課)
11. 福祉保健センター (子育て支援課)	12. 子ども療育センター
13. 教育委員会	14. テレビ、ラジオ、新聞
15. 子育て雑誌、育児書	16. インターネット
17. コミュニティ誌	18. 市の広報やウェブサイト
19. 情報の入手先がない (わからない)	20. その他 ()

問41 彦根市の子育て環境についてどう思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 近所に子どもと世代の遊び仲間がいる	2. 自然環境にめぐまれている
3. 施設がよい	4. 子育てに関する情報が豊富である
5. 子ども会などの地域活動が盛んである	6. 子どもの施設の数が多い
7. 学校などの教育施設の整備状況がよい	8. 文化施設の整備状況がよい
9. 医療機関・施設の整備状況がよい	10. 遊び場が整っている
11. 交通の便がよい	12. 公共施設や道路が子育てに配慮されている
13. 子育てに利用しやすい店舗が多い	14. 母親が子育てしながら働ける職場が多い
15. 特に何も思わない	16. その他 ()

問42 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い	1	2	3	4	5	満足度が高い
--------	---	---	---	---	---	--------

問43 彦根市のこれからの子育て支援施策について、どのようなことを期待しますか。1～35までのうち、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<教育・保育>	
1. 一時保育など、多様な保育サービスの充実	18. 女性も男性も家事、育児に参画するという考え方の普及
2. 保育所や幼稚園での教育・保育内容の充実	19. 子育てしやすい労働環境の整備 (在宅勤務、勤務時間の短縮) 等、ワークライフバランスの実現
3. 保育所・幼稚園の施設の充実	20. 親同士の交流の場や仲間づくりの機会の充実
4. 個性を尊重したゆとりある教育の推進	21. 子育てグループやNPO団体の育成支援
5. 他人や自分を大切にし、人とのかわりを学ぶ教育の推進	22. 子育てを助け合うコミュニティづくり
6. 学力の向上のための教育内容の充実	23. 子ども会など地域の健全育成活動の充実
7. 教育施設の充実	24. 若者の居場所づくり
8. 障害児の教育・保育の充実	<安全・経済支援>
<健康・就労支援>	25. 交通安全・防犯教育の充実
9. 妊産婦や乳幼児の健康診査、保健指導などの充実	26. 地域のハートローカルや見守り活動などの充実
10. 医療機関・施設の充実	27. 保育所や幼稚園の費用負担の軽減
11. 妊娠に関する支援・相談の充実	28. 児童手当などの経済的な支援
<相談・情報提供>	29. 出産費用や乳幼児医療費用負担の軽減
12. 気軽に相談できる窓口の充実	30. 不妊治療費用負担の軽減
13. 子育てに関する情報提供の充実	31. 不育症治療費用負担の軽減
14. 子育てについての教室や講座の充実	32. 就労への支援
15. 虐待防止のための相談窓口の充実	33. 安定した雇用への支援
16. いじめに関する相談窓口の充実	<その他>
17. 不登校に関する相談窓口の充実	34. その他 ()
<地域・企業ぐるみの子育て支援>	35. 特にない

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問44 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。父親、母親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

父親 (い/ずれかに○)	母親 (い/ずれかに○)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した (取得中である)	2. 取得した (取得中である)
3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んで記入ください) (い/くつでも)	3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んで記入ください) (い/くつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が多かった
3. (産休後) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に返るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の家族にみてももらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てが家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業開始に定めたがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できなかったことを知らず、退職した
15. その他 ()

問44-1 子どもが原則1歳 (保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月) になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等 (法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間給付した育児休業に準ずる措置) 期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

⇒ 問44-2へ

問44で「2. 取得した (取得中である)」と回答された方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問45へ
問44-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 父親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問44-9へ 2. 現在も育児休業中である ⇒ 問45へ 3. 育児休業中に退職した
(2) 母親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問44-9へ 2. 現在も育児休業中である ⇒ 問45へ 3. 育児休業中に退職した

問44-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答された方にうかがいます。

問44-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

(1) 父親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった
(2) 母親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問44-4 育児休業からは、「実親」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取り戻りたかったですか。() 内に数字でご記入ください

(1) 父親	実際の取得期間 () 歳 () ヶ月	希望 () 歳 () ヶ月
(2) 母親	実際の取得期間 () 歳 () ヶ月	希望 () 歳 () ヶ月

問44-5 お勤め先は、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さん何歳何ヶ月のときまで取り戻りたかったですか。() 内に数字でご記入ください

(1) 父親	() 歳 () ヶ月
(2) 母親	() 歳 () ヶ月

問 44-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問44-6 希望の時期に就職希望しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください

(1) 父親	
1. 希望する保育園に入居するため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

(2) 母親

1. 希望する保育園に入居するため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください

(1) 父親	
1. 希望する保育園に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪化しなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていないため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	

(2) 母親

1. 希望する保育園に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪化しなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていないため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	

問44-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 父親

1. 利用する必要があった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	
2. 利用した	3. 利用しなかったが、利用できなかった (利用できなかった) ⇒ 問 44-8へ

(2) 母親

1. 利用する必要があった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	
2. 利用した	3. 利用しなかったが、利用できなかった (利用できなかった) ⇒ 問 44-8へ

問 44-7 で「3. 利用しなかったが、利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

問 44-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何か。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	
2. 仕事が多かった	
3. 短時間勤務にすると給与が軽減される	
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる	
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえなると、制度を利用する必要がなかった	
7. 子育てや家事に専念するため退職した	
8. 職場に短時間勤務制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	
10. その他 ()	

(2) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	
2. 仕事が多かった	
3. 短時間勤務にすると給与が軽減される	
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる	
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえなると、制度を利用する必要がなかった	
7. 子育てや家事に専念するため退職した	
8. 職場に短時間勤務制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	
10. その他 ()	

問 44-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答された方にうかがいます。

問44-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか、または、利用できる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	2. 1歳になる前に復帰したい
----------------------	-----------------

(2) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	2. 1歳になる前に復帰したい
----------------------	-----------------

問45 総合的にみて、彦根市は子育てしやすいところだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 子育てしやすい	2. やや子育てしやすい
3. どちらともいえない	4. やや子育てにくい
5. 子育てにくい	6. その他 ()

問46 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、11月15日（金）までにご投函ください。

2 調査票（小学生用調査）

ご回答いただくに当たってお読みください

彦根市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施する予定です。（平成27年度から実施予定）

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

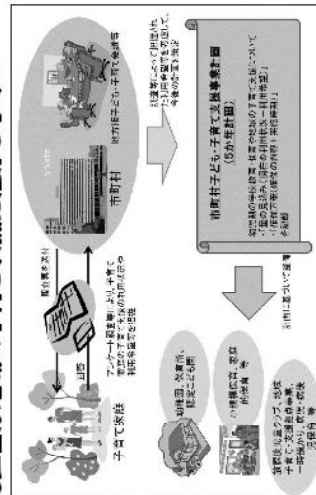
なお、ここで回答いただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳幼児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持つて育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることを目指しています。

■いただいた回答は地域の子ども子育て支援に活かします！



「（仮称）彦根市子ども・若者プラン」策定に係る

ニーズ調査 （小学生児童用）

【調査ご協力をお願い】

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

平成24年8月、国において「子ども・子育て支援法」が制定され、各自治体は「子ども・子育て支援事業計画」を策定することになりました。

彦根市では、この事業計画をとおして、子どもたちにとって、質の高い教育・保育・子育て支援を保障し、一人ひとりの子どもたちが健やかに成長できる社会の実現に向けて取り組むこととされています。

このため、市民の皆様の子ども子育て支援に関する生活実態、ご意見などを把握すべく、「子ども・子育て支援新制度におけるニーズ調査」を行います。

この調査は、これからの事業計画策定の基礎資料となる大変重要なものですので、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年11月

彦根市長 大久保 貴

【ご記入にあたってのお願い】

1. アンケートには、**お子さんの保護者の方**にご記入ください。特にご住居のある場合以外は、**封筒のあて名はお子さんのこと**にご記入ください。
2. ご回答は、選別紙に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
3. 選別紙の場合、お選びいただく数に制限によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容を記入してください。
4. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、**24時間制**（例：午後6時→18時）でご記入ください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、**ごわかりずきや失礼に便してご回答ください**。特にご住居のない場合は次の設問にお返さずください。
6. ご記入が済みしたら、お手数ですが、**同封の返信用封筒に入れて11月15日（金）まで**にご投函ください。
7. この調査は、住民基本台帳の中から小学生のお子さんの数を無作為に1,000人抽出し、ご協力をお願いするものです。また、統計法（昭和22年法律第18号）第8条に基づき、総務大臣に届出を行っている届出統計調査であり、調査関係者は調査票の記入内容を他に漏らしたり、統計以外の目的に使用したりすることを強く禁じられています。そのため、ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただきます。回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にまたり、他の目的に利用されたりすることはありません。
8. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】 彦根市福祉保健部 子育て支援課

TEL：0749-23-9597 FAX：0749-26-1768

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1. 城塞 2. 城西 3. 城南 4. 平田 5. 城北 6. 佐和山
7. 旭森 8. 城陽 9. 若葉 10. 金城 11. 黒田本 12. 河津
13. 釜山 14. 高宮 15. 稲枝東 16. 稲枝西 17. 龍城北 18. わがらない

宛名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。()内に数字でご記入ください。

平成()年()月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数()人 末子の生年月 平成()年()月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
当ではまる番号1つに○をつけてください。

1. 父親	2. 母親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 父親 3. 母親 4. 祖父母 5. その他()



1

放課後や普段の過ごし方についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所でお過ごしだと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を（ ）内に数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

戦後児童クラブ」……何によって児童を虐待などと呼ばれています。保護者が海外等により外国国籍にない場合などに、児童会の下で子どもの生活の場を提供するのです。

「ファミリ・サポーターズ・グループ」や「ターゲッティング……」など、子どもたちの親を支援する人（支援者）が全国各地を巡り、援助を行う「ファミリー・サポーターズ・グループ」は、一定のノウハウが蓄積されている。

1. 自宅 週 () 日くらい
2. 祖父母や友人・知人宅 週 () 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 週 () 日くらい
4. 児童館 週 () 日くらい
5. 放課後児童クラブ (学童保育) 週 () 日くらい
→ 下校時から () 時まで
6. ファミリー・サポーター・センター 週 () 日くらい
7. その他 (公民館、公園など) 週 () 日くらい

問8 宛名の男子さんについて、小学校学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をとどのような場所でご過ごせたいと聞きますが、当てはまる番号すべてに○を付、それぞれの週当たり日数を（ ）内に数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の申込には利用を希望する時間帯も（ ）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時～24時間で記入ください。

1. 自宅	週 () 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 () 日くらい
3. 習い事 (ピアノ/教室、リッカークラブ、学習塾など)	週 () 日くらい
4. 児童館	週 () 日くらい
5. 放課後児童クラブ (学童保育)	週 () 日くらい → 下校時から () 時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週 () 日くらい
7. その他 (公民館、公園など)	週 () 日くらい

問9 問7または問8で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に〇をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
事業の利用は、一定の利用料がかかります。(1) (2) それぞれについて、当てはまる番号
1つに○をつけてください。また利用したし時間帯を、() 内に(例) 9時～18時のように24時
間制でご記入ください。

(1) 土曜日

利用したい時間帯

利用したい時間帯
↑
()時から()時まで

1. 医学部 (1~3年生) の間は利用したい
2. 医学部 (4~6年生) になっても利用したい
3. 利用希望はない

(2) 日曜・祝日 ※現在彦根市では実施していません。

1. 医学年(1~3年生)の間は利用したい
2. 医学年(4~6年生)になっても利用したい
3. 利用希望はない

↑↓

利用したい時間帯
()時から()時まで

2

問 10 すべての方にうかがいます。宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用がかりがあります。当ではまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、() 内に (例) 9時～18時 のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい	⇒	利用したい時間帯
2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい		
3. 利用希望はない		() 時から () 時まで

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問11 宛名のお子さんの子育て (教育を含む) に日常的に関わっている方はどなた (施設) ですか。お子さんから見た関係で当ではまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 父親	3. 母親	4. 祖父母	5. 小学校
6. 放課後児童クラブ	7. その他 ()			

問12 宛名のお子さんの子育て (教育を含む) に、影響すると思われる環境すべてに○を付けてください。

1. 家庭	2. 地域	3. 小学校	4. 放課後児童クラブ
5. その他 ()			

問13 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいいますか。当ではまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	⇒ 問 13-1 へ	
2. 緊急時もしくは用事の場には祖父母等の親族にみてもらえる		
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる		⇒ 問 13-2 へ
4. 緊急時もしくは用事の場には子どもをみてもらえる友人・知人がいる		
5. いずれもない		
⇒ 問 14 へ		

問13-1 問13で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当ではまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	⇒ 問 14 へ
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きいく心配である	
3. 祖父母等の親族の精神的制約や精神的な負担が大きいく心配である	
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが嬉しい	
5. 子どもの教育や発達にとってささけし心配であるが、少し不安がある	
6. その他 ()	

問13-2 問13で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当ではまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	()
2. 友人・知人の身体的負担が大きいく心配である	
3. 友人・知人の精神的制約や精神的な負担が大きいく心配である	
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが嬉しい	
5. 子どもの教育や発達にとってささけし心配であるが、少し不安がある	
6. その他 ()	

問14 宛名のお子さんの子育て (教育を含む) をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所はありますか。当ではまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある ⇒ 問 14-1 へ	2. ない ⇒ 問 15 へ
---------------------	----------------

問 14-1 問14で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て (教育を含む) に関して、気軽に相談できる人は、誰 (どこ) ですか。当ではまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者	2. 父母 (子どもの祖父母)
3. 親戚	4. 友人・知人
5. 近所の人	6. 子育て中の仲間
7. 小学校	8. 保育園、幼稚園
9. 子育て支援センター (子どもセンター・子育て支援センター)	10. 家庭訪問相談室 (子ども青少年課)
11. 福祉保健センター (健康推進課)	12. 福祉保健センター (子育て支援課)
13. 子育てホットライン	14. 子ども療育センター
15. 子ども家庭相談センター (児童相談所)	16. ファミリー・サポート・センター
17. 民生委員・児童委員	18. 教育相談
19. 医師	20. 教育委員会
21. その他 ()	

問 15 宛名のお子さんは、地域活動やグループ活動などに参加されたことがありますが、当ではまる番号1つに○をつけてください。

1. 参加したことがある	2. 参加したことはない
--------------	--------------

問15-1 問15で「1. 参加したことがある」に○をつけた方にうかがいます。参加したことがある活動は何ですか。当ではまる番号すべてに○をつけてください。

1. スポーツ活動	2. 文化・音楽活動
3. キャンプ等の野外活動	4. 高齢者訪問等の社会福祉活動
5. 国際交流活動	6. 子ども会など青少年団体の活動
	(ボーイスカウト・ガールスカウト等)
7. リサイクル活動等の環境分野での社会貢献活動	8. 農業や林業などの体験活動
9. 地元自治会での活動	10. その他 ()

問 16 今後、参加させたいと思われる活動はありますか。また、それは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. スポーツ活動	2. 文化・音楽活動
3. キャンプ等の野外活動	4. 高齢者や同等の社会福祉活動
5. 国際交流活動	6. 子ども会など青少年団体活動
	(ボーイスカウト・ガールスカウト等)
7. リサイクル活動等の環境分野での社会貢献活動	8. 農業や商工業などの体験活動
9. 地元自治会での活動	10. その他 ()
11. 今後参加させたい活動は、特になし	

問 17 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 18 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、 有休・介護休業中ではない	⇒ (1) -1へ
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、 有休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労)で就労しており、 有休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労)で就労しているが、 有休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

(1) -1 (1)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。有休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。

1週当たり()日	1日当たり()時間
-----------	------------

(1) -2 (1)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間を教えてください。時間が一でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。有休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間: 必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

家を出る時間()時	帰宅時間()時
------------	----------

(2) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、 産休・有休・介護休業中ではない	⇒ (2) -1へ
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、 産休・有休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労)で就労しており、 産休・有休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労)で就労しているが、 産休・有休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

(2) -1 (2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・有休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。

1週当たり()日	1日当たり()時間
-----------	------------

(2) -2 (2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間を教えてください。時間が一でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・有休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間: 必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

家を出る時間()時	帰宅時間()時
------------	----------

問 19 問 18 の(1)または(2)で「3」「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 21へお進みください。

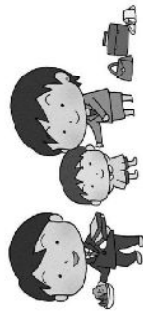
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外)をやめて子育てや家事に専念したい



問20 問18の(1)または(2)で「5、以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6、これまで就労したことがない」に○をつけただけにうかがいます。該当しない方は、問21へお進みください。
就労したいという希望はありますか、当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

(1) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	
→1週当たり()日 1日当たり()時間	

(2) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	
→1週当たり()日 1日当たり()時間	

問21 彦根市にはひとり親家庭のために次のような制度やサービスがあります。あなたはこれらを知っていますか。それぞれ、「知っている」「知らない」「わからない」のいずれかに○をつけてください。

事業名及び事業内容	認知度
1. 児童扶養手当 父母の所得等により定められた世帯の範囲に当てはめられる世帯	知っている ・ 知らない
2. 日常生活支援事業 一時的に生活困難や経済サービスが困難な場合、生活支援員を派遣し、家事や育児のお世話をします	知っている ・ 知らない
3. 家庭支援事業(利用助成) 保護者の労働、仕事等の理由によって、家庭に居る子ども達の養育が一時的に困難になった場合に利用する子育て支援事業の経費に対し補助を行います	知っている ・ 知らない
4. 自立支援教育訓練給付金事業 働いた経験がない若者を対象に、県・市があらかじめ指定した職業訓練施設を受講し、修了された場合、受給額の一部を支払います	知っている ・ 知らない
5. 高等技能訓練促進事業 若者などの職業取得を目的とし、養成課程で2年以上のカリキュラムを修了する場合、修業期間の生活費を支援します	知っている ・ 知らない
6. 母子自立支援プログラム推進事業 就業を希望されている方、自営・自働に就いている仕事から求めている方が居る方に、就労による自立を支援します	知っている ・ 知らない



特別な場合のサービス利用についてうかがいます。

問22 この1年間に、宛先のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ⇒ 問22-1へ 2. なかった ⇒ 問23へ

問22-1 宛先のお子さんが病気やケガで学校を休んだ場合に、この1年間に就労した対応方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字をご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

1年間の対応方法	日数
ア. 父親が仕事を休んだ	()日
イ. 母親が仕事を休んだ	()日
ウ. 親族や知人に預けた(同居者を含む)	()日
エ. 子どもだけで留守番をさせた	()日
オ. 就労していない保護者が世話をした	()日
カ. 病児・病後児の保育サービスを利用した	()日
キ. その他()	()日

問22-1で「ア」「イ」のいずれかに回答された方にうかがいます。

問22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたが、当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字をご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前に医師の受診が必須となります。

※彦根市では、毎月10歳未満の児童を対象に、戸別訪問(木・土) 8:30~12:30

「病児保育室」がある(彦根市) 8:30~18:00(木・土) 8:30~12:30

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ ()日 ⇒ 問23へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問22-3へ

問22-3 問22-2で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に育ててもらったのは不安
2. 事業の質に不安がある
3. 事業の利便性(立地や利用可能曜日数など)
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他()

⇒ 問23へ

問22-1で「ウ」から「キ」のいずれかに回答された方にうかがいます。

問22-4 その際、「できれば父兄のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたが、当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「キ」の日数のうち仕事を休んで看だかつた日数についても数字をご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ ()日 ⇒ 問23へ
2. 休んで看することは非難に感じない ⇒ 問22-5へ

問 22-5 問 22-4 で「2. 休んで書くことは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください

1. 子どもの看護を理由に休みがたれない	2. 自営業なので休めない
3. 休題日数が足りないのではない	4. その他（ ）

問 23 この1年間に、保護者の用事などにより、宛名のお子さんを泊りがけで預けなければならぬことはありませんでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった（預け先がみつからなかった場合を含む）	⇒ 問 23-1 へ
2. なかった	⇒ 問 24 へ

問 23-1 問 23 で「1」を選ばれた方にうかがいます。この1年間の対応方法とそれぞれの日数の日数は概ね同じですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

1. 〈同居者を含む〉親族・知人に預けた	() 泊	⇒ 問 23-2 へ
2. 短期入所生活支援事業（ショートステイ）を利用した	() 泊	} ⇒ 問 24 へ
3. 仕方なく子どもも同行させた	() 泊	
4. 仕方なく子どもだけでも泊りで留守番させた	() 泊	
5. その他（ ）	() 泊	

問 23-2 問 23-1 で「1」を選ばれた方にうかがいます。その場合の経験数はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかというと困難	3. 特に困難ではない
----------	---------------	-------------

彦根市の子育て支援サービスについてうかがいます。

問 24 彦根市には次のような学習支援・子育て支援サービスがありますが、知っていたり、利用したことはありますか。また、今後利用したいと望みますか。サービスごとにA、B、Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている	B 利用したこと がある	C 今後利用したい
① 少年少女利用クラブ（学校教育課）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
② 適応指導教室「オアシス」（教育研究科）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
③ サイエンスプロジェクト（生涯学習課）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
④ 地域子ども教室（生涯学習課）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑤ 青少年立ち回り支援センター「あすくる夢見」（少年センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑥ 芸術子ども文庫・地域親子文庫（市立図書館）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑦ 地域子ども文庫・地域親子文庫（市立図書館）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

	A 知っている	B 利用したこと がある	C 今後利用したい
⑧ いじめ相談ホットライン（学校支援課）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑨ 子ども虐待相談（児童相談所）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑩ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑪ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑫ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑬ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑭ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑮ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑯ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑰ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑱ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑲ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑳ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㉑ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㉒ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㉓ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㉔ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㉕ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㉖ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㉗ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㉘ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㉙ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㉚ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㉛ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㉜ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㉝ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㉞ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㉟ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㊱ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㊲ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㊳ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㊴ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㊵ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㊶ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㊷ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㊸ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㊹ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㊺ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㊻ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㊼ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㊽ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㊾ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
㊿ 子育て支援センター（子育て支援センター）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

子育て親やサービスの満足度などについてうかがいます。

問 25 あなたは、子育てに關して不安や負担などを感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に不安や負担を感じる	2. なんとか不安や負担を感じる
3. あまり不安や負担などは感じない	4. 全く感じない
5. どれともいえない	6. その他（ ）

問 26 子育てに關する悩みや心配ことはありますか。また、その内容はどのようなことですか。1～27までのうち、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

＜子育て全般・方法など＞
1. 遊びやしつけについて
2. 子どもの性格や生活習慣について
3. 子どもを叱りすぎているような気がする
4. ストレスなどで子どもに手をあげてしまう
5. 子育てサービスの内容や利用方法がよくわからない
＜周囲の理解や協力など＞
6. 話し相手や相談相手がいらない
7. 保護者同士の付き合いについて
8. 配偶者（パートナー）の子育てへの協力が少ない
9. 配偶者（パートナー）と子育てに關して意見が合わない
10. 祖父母など周囲と子育てに關して意見が合わない
11. 先生に關すること
＜時間的な問題＞
12. 子どもとの時間が十分にとれていない
13. 仕事や社会活動との両立について
14. 自分に自由な時間がもてないことについて
15. 夫婦で過ごす時間がとれていない

<子どもの健康など>
16. 病気や発育について
17. 知能や言語の発達について
18. 障害について
19. 食事や栄養について
<子どもの教育・友達つきあい>
20. 友達つきあい（いじめなどを含む）について
21. 学力や進歩・受験について
22. 不登校などについて
<経済面・安全面>
23. 生活費について
24. 就労について
25. 犯罪や事件などの被害にあわないか心配なこと
<その他>
26. その他（
27. 悩みや心配ことは特にない
）

問27 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思われることは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 高な残業が入ってしまう
2. 自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になったとき、代わりに面倒を見る人がいない
3. 家族の理解が得られない
4. 職場の理解が得られない
5. 子どもの他に面倒をみなければならぬ人がいる
6. 子どもの面倒をみてくれる放課後児童クラブなどが見つからない
7. 子どもと接する時間が少ない
8. その他（
）

問28 一般的には、母親が子育てに関わることが多い中で、お父さんは、子育てに積極的に参加されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 積極的に参加している
2. できるだけ参加している
3. あまり参加していない
4. 全く参加していない
5. 母子家庭である
6. その他（
）

問29 問28で「1～3」に回答された方にうかがいます。お父さんは、どのような子育てに参加されていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもと遊ぶ
2. 子どものしつけ
3. 病気のとき、病院等につれていく
4. 放課後児童クラブの送迎
5. 子どもの食生活の調理や世話
6. 子どもの入浴や着替え
7. 子どもの教育（学習）など
8. その他（
）

問30 子どもと過ごす時間はどのくらいありますか。1日当たりの「子どもと過ごす時間」をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。（平日・休日の該当する曜日すべてに○をしてください。また、時間は（ ）内に数字でご記入ください。）

父親
平日（仕事のある日）
月・火・水・木・金・土・日
（
）時間
休日（仕事の無い日）
月・火・水・木・金・土・日
（
）時間
母親
平日（仕事のある日）
月・火・水・木・金・土・日
（
）時間
休日（仕事の無い日）
月・火・水・木・金・土・日
（
）時間

問31 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者
2. 父母（子どもの相父母）
3. 親戚
4. 友人、知人
5. 近所の人
6. 子育て中の仲間
7. 学校・保育所・幼稚園
8. 子育て支援センター（子どもセンター・彦根朝児保育所）
9. 家庭児童相談室（子ども青少年課）
10. 福祉保健センター（健康増進課）
11. 福祉保健センター（子育て支援課）
12. 子ども障害センター
13. 教育委員会
14. テレビ、ラジオ、新聞
15. 子育て相談、育児書
16. インターネット
17. コミュニティ誌
18. 市の広報やパンフレット
19. 情報の入手先がない（わからない）
20. その他（
）

問32 彦根市の子育て環境についてどう思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 近所に子どもと同世代の遊び仲間がいる
2. 自然環境にめぐまれている
3. 風紀がよい
4. 子育てに関する情報が豊富である
5. 子ども会などの地域活動が盛んである
6. 子どもの施設の整備状況がよい
7. 学校などの教育施設の整備状況がよい
8. 文化施設の整備状況がよい
9. 医療機関・施設の数が多い
10. 遊び場が整っている
11. 交通の便がよい
12. 公共施設や道路が子育てに配慮されている
13. 子連れで利用しやすい店舗が多い
14. 母親が子育てしながら働ける職場が多い
15. 特に何も語らない
16. その他（
）

問33 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い
←
1
2
3
4
5
→
満足度が高い

問34 彦根市のこれからの子育て支援施策について、どのようなことを期待しますか。1～35までのうち、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<教育・保育> - 一時保育など、多様な保育サービスの充実 - 保育所や幼稚園での教育・保育内容の充実 - 保育所・幼稚園の施設の充実 - 個性を尊重したゆとりある教育の推進 - 他人や自分を大切に、人とのかわりを学ぶ教育の推進 - 学力の向上のための教育内容の充実 - 教育施設の充実 - 障害児の教育・保育の充実 <健康・発達支援> - 妊娠前や乳幼児の健康診査、保健指導などの充実 - 医療機関・施設の充実 - 発達に関する支援・相談の充実 <相談・情報提供> - 気軽に相談できる窓口の充実 - 子育てに関する情報提供の充実 - 子育てについての教室や講座の充実 - 虐待防止のための相談窓口の充実 - いじめに関する相談窓口の充実 - 不登校に関する相談窓口の充実 <地域・企業ぐるみの子育て支援> - 女性も男性も家事、育児に参画するという考え方の普及 - 子育てしやすい労働条件の整備（生活勤務、勤務時間の短縮）等ワークライフバランスの実現 - 親同士の交流の場や仲間づくりの機会の充実 - 子育てでサークルやNPO団体の育成支援 - 子育てを助け合うコミュニティづくり - 子ども会など地域の健全育成活動の充実 - 若者の居場所づくり <安全・経済支援> - 交通安全・防犯教育の充実 - 地域のバトロールや見守り活動などの充実 - 保育所や幼稚園の費用負担の軽減 - 児童手当などの経済的な支援 - 出産費用や乳幼児医療費用負担の軽減 - 不妊症治療費の費用負担の軽減 - 不妊症治療費の費用負担の軽減 - 就労への支援 - 安定した雇用への支援 <その他> - その他（ ） - その他（ ）

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問35 宛名のお子さんが生まれた際、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたが、父親、母親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください

父親（いずれかに○）	母親（いずれかに○）
- 働いていなかった - 取得した - 取得していない ⇒ 取得していない理由（トから番号を添えて記入ください）（1つでも）	- 働いていなかった - 取得した - 取得していない ⇒ 取得していない理由（トから番号を添えて記入ください）（1つでも）

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった

2. 仕事が多かった

3. （産休後）仕事に早く復帰したかった

4. 仕事にやる気が衰えた

5. 異給・異格などが遅れそうだった

6. 収入減となり、経済的に苦しくなる

7. 保育所などに預けることができた

8. 配偶者が育児休業制度を利用した

9. 配偶者が無職、祖父母等の親戚にみてもらえするなど、制度を利用する必要がなかった

10. 子育てや家事に専念するため退職した

11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）

12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった

13. 育児休業を取得できることを知らなかった

14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した

15. その他（ ）

1. 育児休業給付は、保険料免除のいずれも知っていた

2. 育児休業給付のみ知っていた

3. 保険料免除のみ知っていた

4. 育児休業給付は、保険料免除のいずれも知らなかった

問35-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業法を定める期間に達した育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか、当てはまる番号1つに○をつけてください

⇒ 問35-2へ

問35で「2. 取得した」と回答された方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 36へ

(1) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 育児休業中に転職した ⇒ 問36へ

(2) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 育児休業中に離職した
- ⇒ 問36へ

問 35-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答された方にうかがいます。

問3-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせてタイミングででしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めの認可保育所入所を希望して、1月～2月で復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合はとも11に当てはまります。また、年度初めの入所を希望して復帰したが、実際に希望する保育所に入所できなかったという場合は11を選択してください。

(1) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

(2) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミグだった
2. それ以外だった

問35-4 育児休業からは、「実態」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お母が先
の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取り戻したのですが、()内に数字で記入
ください。

(1) 父親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 実際の取得期間 () 歳 () ヶ月 | 希望 () 歳 () ヶ月 |
|----------------------|-----------------|

(2) 母親

- | | |
|-------------|------------------|
| 希望()歳()ヶ月 | 実際の取得期間()歳()ヶ月 |
|-------------|------------------|

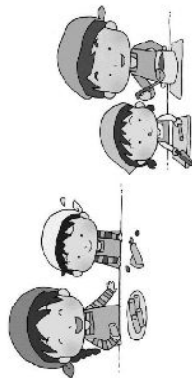
問35-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休職を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さん
が何歳何ヶ月のときまで取れたかったですか。()内に数字でご記入ください。

(1) 父親

- () 歳 () ヶ月

(2) 母親

- () 歳 () ヲ月



問 35-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問35-6 希望の時期に職場復帰できなかった理由についてうかがいます。

※(1)「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 父親

1. 希望する保育者になるため
2. 配偶者が家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事変動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）

(2) 母親

1. 希望する保障所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く働かなければならぬため
4. 人事異動や業務の転移のため
5. その他（ ）

(2)「希望」より遅く復帰した方

(1) 父兄

1. 希望する保育所に入らなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため
3. 配属先や家族の希望があったため
4. 職員の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（ ）

(2) 図題

1. 希望する保育所に入らなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が悪いからだったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職種の受け入れ態勢が整っていないからため
5. 子どもをみってくれる人がいなかったため
6. その他（ ）

問35-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった） ⇒ 問35-8へ

(2) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用しなかったが、利用できなかった（利用できなかった） ⇒ 問35-8へ

問35-7で「3. 利用したかったが、利用できなかった(利用できなかった方にうかがいます。

問35-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 父

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が増しかった
3. 短時間勤務にするご協力が得られなかった
4. 短時間勤務にするご希望の申し出が下がり、配属が他の部署になった
5. 配属が他の部署になったため短時間勤務制度を利用した
6. 配属が同じ職場、同じ部署の短時間勤務制度を利用した
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

(2) 母嬰

1. 職間・短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事に代りかった
3. 短時間勤務にすると給与が削減される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の環境にみてもらええるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職間・短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

問36 総合的にみて、彦根市は子育てしやすいところだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 子育てしやすい
2. やや子育てしやすい
3. どちらともいえない
4. やや子育てにくい
5. 子育てにくい
6. その他（

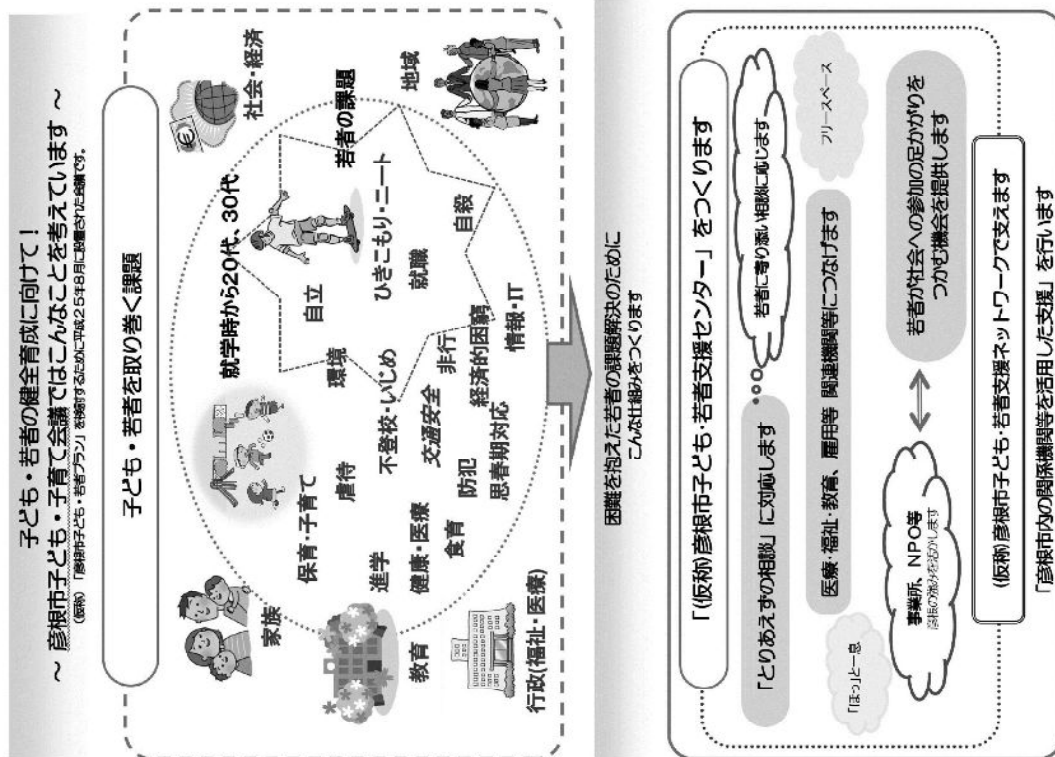
問37 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

[illegible]

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、11月15日(金)までにご投函ください。

3 調査票（19歳～30歳の市民用調査）



(仮称)「彦根市子ども・若者プラン」策定に係る 若者の意識調査について

(19歳～39歳対象)

意識調査ご協力をお願い

若者を取り巻く環境が複雑化・多様化するなか、若者の抱える困難が、「ひきこもり」や「ニート」「自殺」といった生きづらさとなって表れ、深刻な社会問題となっています。

若者は世代を担うかけがえのない存在です。一人ひとりが大切にされ支えられながら、たくましく生きていけるよう、社会全体で見守り、育てていかねばなりません。

若者の“自立”について、ともに考え若者が抱える困難な課題や新たなニーズを把握し、今後の子ども・若者施策に反映させていくため、アンケート調査を実施することになりました。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成26年 2月

彦根市長 大久保 貴

【ご記入にあたってのお願い】

1. このアンケートには、ご本人による記入が難しい場合を除き、引等のあて名の方がご自身で記入ください。
2. ご回答は、選択肢○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入いただく場合がございます。
3. 選択肢の場合、お選びいただく数に制限がありますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある()内に具体的な内容を記入ください。
4. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ご回答の機会を失わないでください。特にご回答の難しい場合は次の設問にお進みください。
5. ご記入が済みましたら、お手紙ですが、同封の返信用封筒に入れて 2月28日(金)までにご返送ください。
6. この調査は、住民基本台帳の中から19歳から39歳の方を無作為に500人抽出し、ご協力をお願いするものです。また、総務法(昭和22年法律第18号)第8条に基づき、総務大臣に届け出を行っている岡山統計調査であり、調査関係者は調査票の記入内容を他に譲りたり、統計以外の目的に使用したりすることを固く禁じられています。そのため、ご回答いただいた調査内容は、子ども・若者プラン作成の検討にのみ利用させていただきます。回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他目的に利用されたりすることは一切ございません。
7. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】 彦根市福祉保健部 子ども青少年課

TEL : 0749-26-0894 FAX : 0749-26-1768

まず、ご自身のことについてうかがいます。

問1 性別はどちらですか。

1. 男性2. 女性

問2 お住まいの小学校区はどちらですか。(Oは1つ)

1. 城東2. 城西3. 城南4. 平田5. 城北6. 佐和山7. 旭森8. 城陽9. 若葉10. 金成11. 烏帽子本12. 河瀬13. 亀山14. 高宮15. 稲佐東16. 稲佐西17. 稲佐北18. わからない

問3 年齢についてうかがいます。(Oは1つ)

1. 19歳2. 20歳~24歳3. 25歳~29歳4. 30歳~34歳5. 35歳~39歳

問4 学歴（最終または現在の状況）についてうかがいます。(Oは1つ)

1. 中学校2. 高校（全日制）3. 高校（定時制・通信制・単位制）4. 短大・高等5. 専門学校（専門学校専門課程）6. 大学7. 大学院8. その他（ ）

問5 職業についてうかがいます。(Oは1つ)

1. 民間企業、団体、研究機関等の正社員（正職員）2. 公務員（正職員）3. 契約社員、派遣社員、パート・アルバイト、臨時職員4. 会社経営者5. 自営業・自由業6. 専業主婦・主夫7. 学生・生徒8. 無職9. その他（ ）

問6 あなたは配偶者がおられますか。

1. 配偶者がいる2. 配偶者がいない

問7 同居している家族はあなたを含めて何人ですか。

（ ）人

問7-1 同居している家族についてうかがいます。(Oはいくつでも)

1. 父2. 母3. 兄弟・姉妹4. 祖父母5. おじ・おば6. 配偶者7. ご自身のお子さん8. その他（ ）9. 同居家族はいない

現代社会の中でのご自身の考え方についてうかがいます。

問8 将来の夢や希望がありますか。(Oは1つ)

1. 将来の夢（希望）がある2. 今はないが、いずれ見つけたいと思う3. 自分の将来には夢や希望もないと思う4. 人生に夢や希望を持っても意味がない5. よくわからない6. その他（ ）

問9 現在と将来の考えについてどのようなようにお考えですか。(Oは1つ)

1. 将来のために計画・努力するよりも、今の自分の人生を楽しみたい2. 将来の自分の夢を実現するためにあれば今は苦勞してもかまわない3. どちらとも言えない4. その他（ ）

問10 社会で生きていくために必要だとと思うことは何ですか。(Oはいくつでも)

1. 個人の才能や努力2. 学歴3. 資格があること4. 運やチャンスをうまくつかうこと5. いい上司や先輩を持つこと6. 相談できる人をもつこと7. 失敗しても立ち直れる仕組み8. 友人をもつこと9. いろいろな人と交流すること10. 必要とと思うものはない11. その他（ ）

問11 あなたが考える日本の社会における問題点は何ですか。(Oはいくつでも)

1. 非正規雇用の増加、サービス残業による長時間労働等の労働環境の問題2. 労働者を雇えば・選別し、使い捨てにする企業の存在（いわゆる「ブラック企業」の存在）3. 所得格差から生じる教育格差の問題4. 社会や家庭での男女共同参画の進みが遅い5. 脚車や地獄、家庭での人権問題（虐待、DV、セクハラ、パワハラ等）が蔓延している6. 少子高齢社会における福祉サービスの不足7. 少子高齢社会における社会保障の負担増8. 情報化社会の負の影響（ネット犯罪・ネット依存等）9. 学歴によって人生が決まってしまう10. 個性的な人が社会で受け入れられにくい11. 失敗すると、再チャレンジが難しい12. 学齢期に学校以外の場所で体験する機会が少ない13. 若者が仕事について学ぶ機会が少ない14. 問題はない15. その他（ ）

ご自身の状況についてうかがいます。

問12 現在悩みや心配ごと、困っていることはありませんか。(Oは1つ)

1. ある⇒問12-1へ2. ない⇒問13へ

問12-1 問12で「1」にOをつけた方にかがいます。

現在悩みや心配ごと、困っていることはどのような内容ですか。(Oは1つでも)

1. 学校での勉強や成績のこと	2. 進学のこと	3. 就職のこと
4. 仕事や勉強のこと	5. 子育てのこと	6. 友人や仲間との人間関係
7. 家族関係や喧嘩のこと	8. 異性との交際に関すること	9. 気分や体調のこと
10. 病気のこと	11. 仕格のこと	12. 容姿のこと
13. 政治や社会のこと	14. 環境問題	15. 収入や生活費のこと
16. 自分生き方や将来のこと	17. どこにも自分の居場所がない	
18. はっきりとした悩みはないがなんとなく不安である		
19. 何に困っていることや悩み事はない		
20. その他 ()		

問12-2 問12で「1」にOをつけた方にかがいます。

悩みや心配ごと、困っていることについて、相談する相手は誰ですか。(Oは1つでも)

1. 家族や親戚	2. 友人	3. ネット上の仲間
4. 学校の先生	5. 恋人	6. 行政などの専門相談機関
7. 職場の上司	8. 先輩	9. 同僚
10. 近隣の人	11. 相談する人がいない	12. 悩みがあっても相談しない
13. その他 ()		

問13 悩みや心配ごと、困っていることにに対し、若者を支援していくために、あなたはどのような相談体制が必要だと思いますか。(Oは1つでも)

1. 得意に聞いてくれる相談体制	2. 医学的な助言をくれる相談体制
3. 心理学の専門家がいて相談体制	4. 精神科医がいて相談体制
5. 就労を支援してくれる相談体制	6. 同じ悩みを持つ人と出会える相談体制
7. 匿名で(自分の名前を知らずに)相談できる相談体制	
8. 無料で相談できる相談体制	
9. 公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPO など)が運営する相談体制	
10. 自分に専門家が来てくれる体制	
11. 自分に専門家ではない民間団体のスタッフや地域のボランティアが来てくれる相談体制	
12. いろいろな悩みをまとめて聞いてくれる相談体制	
13. 自分のペースでゆっくりと段階的な支援をしてくれる相談体制	
14. 自分から近いこと	
15. 相談がなくても気軽にいくことができるフリースペースが充てる相談場所	
16. その他 ()	
17. 相談等の支援は受けたくない ⇒ 問13-1へ	

問13-1 問13で「17」を選んだ人にかがいます。

あなたが相談等の支援は受けたくないと思う理由は何ですか。(Oは1つでも)

1. 自分(または家族)のことが知られたくない	2. 支援を受けても解決できないと思う
3. 何を聞かれるか不安に思う	4. 相手にうまく話せないと思う
5. 支援を受けていることを人に知られたくない	6. お金がつかないと思う
7. 相談等の機関が近くにない	8. その他 ()

問14 若者が抱える課題を解決するために、2ページの図で提案させていただいたような、※「(仮称)若者子ども・若者支援センター」は必要だと思いますか。(Oは1つ)

※若者の相談にに対し関係機関へのつなぎや社会参加への足がかりの機会を提供します。

1. 必要である	2. 必要ではない	3. わからない
----------	-----------	----------

問14-1 問14で「1」を選んだ人にかがいます。

「(仮称)若者子ども・若者支援センター」のどのような機能が必要だと思いますか。(Oは1つでも)

1. 「とりあえず」の相談への対応 (例：友人関係の悩み、進学の悩み、就職活動の方法、結婚、子育て…)
2. 医療・福祉、教育、雇用等関連機関等へのつなぎ
3. 若者が社会への参加の足がかりをつなぐ機会の提供
4. その他 ()

問15 地域や市民活動との関わりについてうかがいます。あなたは、地域活動や市民活動に参加していますか。(Oは1つ)

1. 参加している	2. 参加したいが、どうすれば参加できるのかわからない	3. 参加したいが、参加する時間がない	4. 地域活動や市民活動に興味がないので参加したいとは思わない	5. どのような地域活動や市民活動があるのかわからない	6. その他 ()
-----------	-----------------------------	---------------------	---------------------------------	-----------------------------	------------

問16 あなたはどんなどのくらい外出しますか。(Oは1つ)

1. 仕事や学校で休みの日以外は毎日外出する	⇒ 問16-6へ
2. 仕事や学校で週に3~4日外出する	
3. 遊びや買い物、育児等で頻りに外出する	⇒ 問16-1へ
4. 人づきあいのためにときどき外出する	
5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事るときだけ外出する	⇒ 問16-1へ
6. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	
7. 自宅からは出るが、家からは出ない	
8. 自宅からほとんど出ない	

問16-1 問16で「5」「6」「7」「8」を選んだ人にかがいます。

あなたが現在の状態になってどのくらい経ちますか。(Oは1つ)

1. 6か月未満	2. 6か月~1年	3. 1年~3年
4. 3年~5年	5. 5年~7年	6. 7年以上
7. わからない		

問16-2 問16で「5」「6」「7」「8」を選んだ人にうかがいます。
 あなたが現在の状態になったきっかけは何ですか、記号がついている説明を答えた方は該当する
 記号もお答えください。(Oはいくつでも)

1. 不登校 (ア. 小学校 イ. 中学校 ウ. 高校)
2. 中退 (ア. 高校 イ. 大学・短大・高等・専門学校)
3. 受験に失敗した (ア. 高校 イ. 大学・短大・高等・専門学校)
4. 就職活動がうまくいかなかった
5. 職場になじめなかった
6. 人間関係がうまくいかなかった
(ア. 友人 イ. 職場の上司・同僚 ウ. 家族 エ. 先生 オ. その他の人 ())
7. 病気 (病名:)
8. その他 ()
9. 特に理由はない
10. わからない

問16-3 問16で「5」「6」「7」「8」を選んだ人にうかがいます。
 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いませんか。(Oは1つ)

1. 非常に思う	2. 思う	3. 少し思う
4. 思わない	5. わからない	

問16-4 問16で「5」「6」「7」「8」を選んだ人にうかがいます。

現在の状態について、関係機関に相談したことがありますか。または現在相談していますか。
 (Oは1つ)

1. ある ⇒ 問16-5へ	2. ない
----------------	-------

問16-5 問16-4で「1」を選んだ人にうかがいます。

どのような機関に相談しましたか。相談したところのある機関にOをつけてください。
 (Oはいくつでも)

1. 福祉保健センター (福祉事務所)
2. 子ども家庭相談センター (児童相談所)
3. あすくる産科 (少年センター)
4. 学校・スクールカウンセラー
5. 精神保健福祉センター (ひきこもり支援センター) (草津市)
6. 保健所
7. 病院・診療所
8. 発達障害者支援センター いのき (米原市)
9. ハローワーク・ジョブカフェなどの就労支援機関
10. 地域若者サポートステーション (草津市・彦根市・高島市)
11. 警察
12. 民生委員児童委員
13. その他の施設・機関 (具体的に)

問16-6 問16で「1」「2」「3」「4」を選んだ人にうかがいます。
 あなたの家族や親しい友人等で、次のような状況の方はありますか。おられる場合は該当する
 番号もお答えください。(Oは1つ)

(状況)
①ふだんは家にいるが、自分の趣味に關する用事のときだけ外出する
②ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
③自宅からは出るが、家からは出ない
④自宅からほとんど出ない
1. 居ない
2. 居る (該当番号 ① ② ③ ④)
3. わからない

問16-7 問16-6で「2」を選んだ人にうかがいます。
 家族や友人等が現在の状態になってどのくらい経ちますか。(Oは1つ)

1. 6か月未満	2. 6か月～1年	3. 1年～3年
4. 3年～5年	5. 5年～7年	6. 7年以上
7. わからない		

問16-8 問16-6で「2」を選んだ人にうかがいます。

家族や友人等が現在の状態になったきっかけは何だと思いませんか。記号がついている説明を答えた方は該当する記号もお答えください。(Oはいくつでも)

1. 不登校 (ア. 小学校 イ. 中学校 ウ. 高校)
2. 中退 (ア. 高校 イ. 大学・短大・高等・専門学校)
3. 受験に失敗した (ア. 高校 イ. 大学・短大・高等・専門学校)
4. 就職活動がうまくいかなかった
5. 職場になじめなかった
6. 人間関係がうまくいかなかった
(ア. 友人 イ. 職場の上司・同僚 ウ. 家族 エ. 先生 オ. その他の人 ())
7. 病気 (病名:)
8. その他 ()
9. 特に理由はない
10. わからない

問16-9 問16-6で「2」を選んだ人にうかがいます。

家族や友人等の現在の状態について、関係機関に相談したいと思いませんか。(Oは1つ)

1. 非常に思う	2. 思う	3. 少し思う	4. 思わない
5. わからない			

問16-10 問16-6で「2」を選んだ人にうかがいます。

家族や友人等の現在の状態について、関係機関に相談したことがありますか。または現在相談
 していますか。(Oは1つ)

1. ある ⇒ 問16-11へ	2. ない
-----------------	-------

問20 子どもや子育てについて、あなたのイメージに近いものは何ですか。(Oはいくつでも)

1. 子育ては楽しいものである	2. 子育ては自分の人生にプラスになる
3. 親になると充実感がある	4. 子どもはどんな時でもかわいい
5. 老後、子どもがいると安心である	6. 責任を感じる
7. 自由がなくなる	8. 妊娠・出産そのものに不安がある
9. 子育てそのものが不安である	10. まだ実感がない
11. その他 ()	

問21 子どもや子育てについて、どのようなことに不安を感じますか。(Oはいくつでも)

1. 子どもの病気や事故	2. 仕事と子育ての両立
3. 育児に対する職場の理解	4. 保育サービスが十分かどうか
5. 配偶者や家族の協力	6. 経済的な負担
7. 育児について相談できる相手の有無	8. 育児に関する情報の入手
9. 子どものいじめ	10. 子どものしつけ
11. 子どもとの接し方	12. 子どもの教育
13. 犯罪や事件などの不安	14. 何かからならないが不安
15. 特に不安は感じない	16. その他 ()
17. まだ実感がない	

問22 あなたは自分の親と同居していますか。(Oは1つ)

1. 同居している	2. 歩いていける範囲で別居している
3. 市外で別居している	4. 市外で別居している
5. 県外で別居している	6. 該当者がいない

問23 将来、親とはどのように暮らしたいですか。(Oは1つ)

1. 親と一緒に暮らしたい	
2. 二世帯住宅で暮らしたい	
3. 近所で暮らしたい	
4. 親とは別々に暮らしたい	
5. その他 ()	

全体を通してうかがいます。

問24 彦根市のこれらの若者支援について、どのようなことを期待しますか。(Oはいくつでも)

1. 安心して集まれる身近な場、イベントの機会がほしい
2. 出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい
3. 困ったときに相談したり、情報が得られる場をつくってほしい
4. 若者の居場所づくりを進めてほしい
5. 就業機会の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい
6. 安定して働きたいのある雇用の場づくりをしてほしい
7. 就労への支援をしてほしい
8. その他 ()

問25 その他、自由なご意見を聞かせてください。
～彦根市の若者にとってもっと住みよいまちになるために、何か必要だと感じますか～

【お願い】

今回実施いたしましたアンケートに関しまして、さらにご意見等をお聞きすることは可能ですか。
可能な方は、是非、下記に連絡先をご記入ください。なお、記入いただきました連絡先につきましては、アンケート調査に関する処理以外に使用することはありません。

※アンケートに関してさらにご意見を聞きることが可能な方はご記入ください。
(電話番号のみでも構いません。担当課から連絡を取らせていただきます。)

ご住所	
お名前	
電話番号	

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
切手は貼らずに同封の返信用封筒に入れて、2月28日(金)までにご返函ください。

(仮称)彦根市子ども・若者プラン策定にかかる
調査結果報告書

発 行：彦根市
編 集：彦根市福祉保健部 子育て支援課
住 所：〒522-0041
滋賀県彦根市平田町 670 番地
T E L：0749-23-9597
F A X：0749-26-1768

発行年月：平成 26 年 3 月
